

上智大学履修要覧

[対象：14年次生以降]

2015年度

本学の教育理念

上智大学は、キリスト教精神を基底とし、真実と価値を求めて、人間形成につとめるものの共同社会である。したがって、本学は、構成員のおのおのが、人格の尊厳と基本的人権を認め合い、責任ある連帯感と謙虚な心構えをもって、それぞれの持ち場で大学の形成に参加することを期待する。

教授は、学術の研究を尊重し、みずからの研究を深めることを通して、人類の精神的・知的文化を新しい世代に伝達するとともに、現代に生起する諸問題に目をそそぎ、人類の当面する課題について、意識を喚起するよう心掛けることが必要である。

学生は、専攻の学問を研究すると同時に、現代社会に対する鋭敏な問題意識と判断力を養成することが必要である。これによって、学生はみずからの人格を形成し、社会の建設に貢献する力を身につけることができるのである。

本学は、その特色をいかして、キリスト教とその文化を研究する機会を提供する。これと同時に、本学は思想の多様性を認め、多種の思想の学問的研究を奨励する。このようにして、人間と世界の問題についての洞察力と批判的精神が養われる。

学問の発展のためには、思想と研究の自由が保障され、厳正な学問的態度が堅持されなければならない。したがって、本学は思想と研究に対して加えられる政治的、イデオロギー的圧力及びいかなる権力の介入も、これを許さない。

われわれは、激動する現代世界に向かって広く窓を開き、人類の希望と苦悩をわかちあい、世界の福祉と創造的進歩に奉仕することを念願する。



【校章と校名（ソフィア）の由来】

校章の鷲は真理の光を目ざして力強くはばたく鷲をかたどったもので、その姿は上智大学の本质と理想とを表わしている。

中央にしるされた文字は、本学の標語「真理の光」Lux Veritatisの頭文字である。

上智大学は、海外では早くからソフィア・ユニバーシティの名で親しまれてきたが、このソフィアはギリシア語のΣΟΦΙΑからとったものであり、その意味は「人を望ましい人間へと高める最上の叡智」である。この叡智こそ本学が学生に与えようとする究極のものであり、本学の名称“上智”（SOPHIA）にほかならない。

目 次

本学の教育理念…………… (2)		掲示板の場所・内容……………後見返し
1. ガイドページ	共通事項	2015年度 四谷キャンパス行事予定表…………… (10) よくあるQ&A…………… (15) 各種問い合わせ先／窓口時間について…………… (17) Loyolaによる掲示について…………… (18) 各種ガイダンスについて…………… (18) 教員との連絡について…………… (19) 住所変更の手続き…………… (19) 公共交通機関運行停止時の取扱いについて… (19) 個人情報の取扱いについて…………… (19)
	教務	1. 授業…………… (22) 2. 単位と科目…………… (25) 3. ナンバリング…………… (26) 4. 履修登録…………… (27) 5. 国際教養学部開講科目の履修について…… (32) 6. 履修中止…………… (33) 7. 試験…………… (35) 8. 学力の評価・成績…………… (40) 9. 卒業要件と自己判定…………… (42) 10. 単位換算・単位認定…………… (43) 11. 海外短期語学講座・海外短期研修・実践型プログラム…… (46)
	学籍	1. 学籍…………… (52) 2. 証明書…………… (56) 3. 留学…………… (57) 4. 転部・転科／再入学／学士入学…………… (58) 5. 9月卒業・早期卒業…………… (59)
2. 目白聖母キャンパスについて (看護学科2年次生)	2015年度行事予定表 (看護学科2年次生) …… (62)	注意事項…………… (66)
開講科目担当表の見方…………… (67)		
3. 全学共通科目	1 全学共通科目について…………… (72)	
	2 全学共通科目 (14年次生以降) ※国際教養学部, 理工英語 コースを除く	履修上の注意…………… (78) [必修] 「ウエルネスと身体」, [選択] 身体文化系科目…………… (81) [選択] 「情報リテラシー」・「情報フルエンシー」… (86) [選択必修] キリスト教人間学科目…………… (87) [選択科目] 選択科目…………… (92) [選択科目] 高学年向け教養科目…………… (103) [選択科目] 学科科目で全学共通科目として 認められる科目 (学全科目)…………… (104)

4. グローバル教育センター	グローバル教育センターについて……………	(110)		
	グローバル教育センター開講科目について……………	(111)		
	グローバル・コンピテンシー・プログラム……………	(115)		
5. 語学科目	語学科目について……………	(134)	イタリア語……………	(160)
	学科別履修指定言語……………	(137)	ロシア語・(ブラジル)ポルトガル語……………	(161)
	英語……………	(139)	アジア・アフリカ諸語……………	(163)
	初習言語について……………	(146)	日本語……………	(164)
	ドイツ語……………	(151)	翻訳科目……………	(166)
	フランス語……………	(153)	履修モデル……………	(167)
	イスパニア語……………	(155)	海外短期語学講座……………	(168)
	中国語……………	(157)	開講科目一覧表……………	(169)
	コリア語……………	(159)		
6. 学科科目	1 神学部	神学科……………	(198)	
	2 文学部	文学部横断型人文学プログラム・文学部共通専門科目……………	(208)	
		哲学科……………	(214)	
		史学科……………	(222)	
		国文学科……………	(232)	
		英文学科……………	(243)	
		ドイツ文学科……………	(260)	
		フランス文学科……………	(272)	
	新聞学科……………	(287)		
	3 総合人間科学部	総合人間科学部について……………	(296)	
		教育学科……………	(299)	
		心理学科……………	(309)	
		社会学科……………	(317)	
		社会福祉学科……………	(324)	
		看護学科……………	(337)	
	4 法学部	法律学科・国際関係法学科・地球環境法学科共通……………	(350)	
		法律学科……………	(360)	
		国際関係法学科……………	(369)	
		地球環境法学科……………	(379)	
	5 経済学部	経済学科……………	(390)	
経営学科……………		(403)		
経済学部共通……………		(416)		

6. 学 科 科 目	6 外国語学部	外国語学部について…………… (418)	
		英語学科…………… (423)	
		ドイツ語学科…………… (432)	
		フランス語学科…………… (440)	
		イスパニア語学科…………… (447)	
		ロシア語学科…………… (454)	
		ポルトガル語学科…………… (460)	
		北米研究コース…………… (466)	
		ヨーロッパ研究コース…………… (471)	
		ラテンアメリカ研究コース…………… (479)	
	ロシア・ユーラシア研究コース…………… (484)		
	言語研究コース…………… (489)		
	アジア研究コース…………… (497)		
	中東・アフリカ研究コース…………… (502)		
	国際政治論研究コース…………… (507)		
	市民社会・国際協力論研究コース…………… (513)		
	7 総合グローバル学部	総合グローバル学科…………… (520)	
	8 国際教養学部	国際教養学科…………… (531)	
	9 理工学部	理工学部の学生諸君へ・理工学部共通科目… (534)	
		物質生命理工学科…………… (544)	
		機能創造理工学科…………… (551)	
		情報理工学科…………… (561)	
7. 資 料	本学の沿革と年譜…………… (570)	研究所・センター等および	
	上智大学学則(抜粋)…………… (573)	事務関係一覧…………… (605)	
	上智大学国外留学に関する細則… (579)	クラス主任について…………… (606)	
	編入学者の単位認定に関する細則… (581)	教員研究室・オフィスアワー・	
	入学前既修得単位認定に関する細則… (582)	学科事務室一覧…………… (608)	
	留学期間中に修得した単位の換算	授業担当教員一覧…………… (624)	
	および認定に関する取扱要領…………… (583)		
	技能審査による単位認定に関する細則… (585)		
	海外短期語学講座に関する細則… (586)		
	海外短期研修に関する細則…………… (587)		
	国内他大学との学生交流に関する細則… (588)		
	学部生の大学院入学前科目履修に		
	関する細則…………… (589)		
	上智大学学則第40条の運用細則… (590)		
	施設(四谷キャンパス教室) …… (591)		
	施設(目白聖母キャンパス教室) …… (599)		
	施設(市谷キャンパス教室) …… (602)		
	施設(キャンパスマップ) …… (603)		
	施設(市谷キャンパス・目白聖母キャンパス		
	アクセスガイド)…………… (604)		

※国際教養学部、理工英語コースの全学共通科目については、本学ホームページの学部履修要覧ページを参照してください。

※教職課程科目及び学芸員課程科目については、『履修要覧(課程編)』を参照してください。

授業履修への心構え

大学では、学生が自らの学問的興味・関心に応じて履修計画を立て、授業科目の履修を通じて単位を取得し、卒業要件を満たしていくことになります。そのようにして卒業要件を満たした者に学位が授与されます。上智大学が学生に付与する単位（credit）および学位（degree）は、原語の意味が示すように、本学が学生個々の学力、教養、識見等を社会に対して保証するものです。皆さんは、その自覚をもって授業に取り組み、卒業後には社会で活躍することが期待されています。

皆さんはさまざまに工夫された各学部・学科のカリキュラムをよく理解し、将来の進路を意識した上で綿密な履修計画を立て、着実に単位を取得して卒業を目指してください。この履修要覧はそのための必携の資料となります。入学したばかりの新生は、本学が開講する授業科目の全容をつかむことが難しいと思われます。履修科目の選定に際しては、学科の先生方の指導を受けることも必要でしょう。2年次以上の学生は、履修した科目の成績や将来の目標などを踏まえ、かつ学問の体系を意識して年度ごとに履修計画を見直すことが求められます。年度によっては、全学的に、または各学部・学科ごとにカリキュラムや履修制度の大幅な変更が行われる場合がありますので、新しい学年や学期を迎えるにあたっての履修要覧の読み返しは必須です。履修登録の誤りや卒業要件の読み違えで卒業を断念しなければならないこともあります。また、本学は履修登録期間をはじめとして、各種の願書、申請書類の提出期限をきわめて厳格に取り扱っていますので、期限が記されてある事項はそれを守るよう特に留意してください。

翻って、キャンパスでの学究活動は単に授業を履修することだけにとどまるものではありません。教員や学友との人間的にかかわり、学内で開催されるセミナー・講演会等への参加、課外活動を通じての自己研鑽も学生の資質を磨き上げるために有用なものです。4年間の学生生活は人生にとって最も意味のある期間といっても過言ではありません。皆さんが充実した学生生活を送り、Sophianと呼ばれる価値のある人材として社会に巣立っていかれることを切に願います。

学事センター長 浅見昇吾

1 ガイドページ

共通事項

教務

学籍

共通事項

教

務

学

籍

共通事項

2015年度 四谷キャンパス行事予定表	…… P. 10
よくあるQ&A	…… P. 15
各種問い合わせ先／窓口時間について	…… P. 17
Loyolaによる掲示について	…… P. 18
各種ガイダンスについて	…… P. 18
教員との連絡について	…… P. 19
住所変更の手続き	…… P. 19
公共交通機関運行停止時の取扱いについて	…… P. 19
個人情報の取扱いについて	…… P. 19

共通事項

● 2015年度 四谷キャンパス行事予定表（春学期）

目白聖母キャンパスの行事予定についてはP.62～参照。

カレンダー ○：休日・祝日・土曜日 □：祝日以外の休業日 □：みなし曜日		学部年間予定																																																		
2015年 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th colspan="7">4月</th> </tr> <tr> <th>月</th> <th>火</th> <th>水</th> <th>木</th> <th>金</th> <th>土</th> <th>日</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>10</td> <td>11</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>14</td> <td>15</td> <td>16</td> <td>17</td> <td>18</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>20</td> <td>21</td> <td>22</td> <td>23</td> <td>24</td> <td>25</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>27</td> <td>28</td> <td>29</td> <td>30</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		4月							月	火	水	木	金	土	日			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30				3月30日 3月30日, 31日 3月31日 1日 1日 1日～10日 1日～3日 2日 3日～6日 3日～8日 7日 13日 29日	<転部科・学士入学・再入学>ガイダンス <2年次生>学科別ガイダンス <2年次生>2014年度通年・秋学期科目「成績評価確認願」提出期限 入学式 春学期開始 <2年次生>健康診断 <新生入生>履修登録・学生生活ガイダンス <新生入生>英語プレイズメントテスト <新生入生>オリエンテーション・キャンプ <新生入生>健康診断 英語プレイズメントテスト（追試：未受験者用） 春学期授業開始 授業実施日（昭和の日）
4月																																																				
月	火	水	木	金	土	日																																														
		1	2	3	4	5																																														
6	7	8	9	10	11	12																																														
13	14	15	16	17	18	19																																														
20	21	22	23	24	25	26																																														
27	28	29	30																																																	
※29日 昭和の日は授業実施日 春学期授業期間4月13日～7月22日		<履修登録関係日程> ※詳細は p.27～を参照すること。																																																		
		2日～13日 3日～13日 2日～7日 3日～7日 8日 8日～9日 10日 10日 11日 11日～13日 14日 15日～17日 21日	<2年次生>履修登録期間 <1年次生>履修登録期間 <2年次生>抽選科目登録期間（1次） <1年次生>抽選科目登録期間（1次） <全学部生>抽選科目登録（1次）結果発表 <全学部生>抽選科目登録期間（2次） <全学部生>抽選科目登録（2次）結果発表 <全学部生>抽選科目登録期間（3次：語学科目のみ） <全学部生>抽選科目登録（3次）結果発表 <全学部生>抽選科目登録期間（先着順） <全学部生>履修登録確認期間 <全学部生>履修登録修正期間 履修登録確認																																																	
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th colspan="7">5月</th> </tr> <tr> <th>月</th> <th>火</th> <th>水</th> <th>木</th> <th>金</th> <th>土</th> <th>日</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>12</td> <td>13</td> <td>14</td> <td>15</td> <td>16</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>18</td> <td>19</td> <td>20</td> <td>21</td> <td>22</td> <td>23</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>25</td> <td>26</td> <td>27</td> <td>28</td> <td>29</td> <td>30</td> <td>31</td> </tr> </table>		5月							月	火	水	木	金	土	日					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	29日 31日	春学期休学願提出期限 ソフィアンズ・デー
5月																																																				
月	火	水	木	金	土	日																																														
				1	2	3																																														
4	5	6	7	8	9	10																																														
11	12	13	14	15	16	17																																														
18	19	20	21	22	23	24																																														
25	26	27	28	29	30	31																																														

カレンダー ○：休日・祝日・土曜日 ■：祝日以外の休業日 □：みなし曜日		学部年間予定																																																									
<table border="1"> <tr><th colspan="7">6月</th></tr> <tr><th>月</th><th>火</th><th>水</th><th>木</th><th>金</th><th>土</th><th>日</th></tr> <tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td></tr> <tr><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>13</td><td>14</td></tr> <tr><td>15</td><td>16</td><td>17</td><td>18</td><td>19</td><td>20</td><td>21</td></tr> <tr><td>22</td><td>23</td><td>24</td><td>25</td><td>26</td><td>27</td><td>28</td></tr> <tr><td>29</td><td>30</td><td colspan="5"></td></tr> </table>		6月							月	火	水	木	金	土	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30						5日～7日 6日～11日	上南戦（於：上智大学） 春学期履修中止申請期間							
6月																																																											
月	火	水	木	金	土	日																																																					
1	2	3	4	5	6	7																																																					
8	9	10	11	12	13	14																																																					
15	16	17	18	19	20	21																																																					
22	23	24	25	26	27	28																																																					
29	30																																																										
		27日	春学期補講日																																																								
<table border="1"> <tr><th colspan="7">7月</th></tr> <tr><th>月</th><th>火</th><th>水</th><th>木</th><th>金</th><th>土</th><th>日</th></tr> <tr><td></td><td></td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td></tr> <tr><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td></tr> <tr><td>13</td><td>14</td><td>15</td><td>16</td><td>17</td><td>18</td><td>19</td></tr> <tr><td>20</td><td>21</td><td>22</td><td>23</td><td>24</td><td>25</td><td>26</td></tr> <tr><td>27</td><td>28</td><td>29</td><td>30</td><td>31</td><td colspan="2"></td></tr> </table> ※20日 海の日は授業実施日		7月							月	火	水	木	金	土	日			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31			4日・11日・18日 9日 20日 22日 23日～29日, 8月3日 23日～	春学期補講日 春学期試験日程公開 授業実施日（海の日） 春学期授業終了 春学期試験期間（8月3日は予備日） 夏期集中プログラム（サマーセッション）（8月14日まで）							
7月																																																											
月	火	水	木	金	土	日																																																					
		1	2	3	4	5																																																					
6	7	8	9	10	11	12																																																					
13	14	15	16	17	18	19																																																					
20	21	22	23	24	25	26																																																					
27	28	29	30	31																																																							
<table border="1"> <tr><th colspan="7">8月</th></tr> <tr><th>月</th><th>火</th><th>水</th><th>木</th><th>金</th><th>土</th><th>日</th></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td><td>2</td></tr> <tr><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td></tr> <tr><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>13</td><td>14</td><td>15</td><td>16</td></tr> <tr><td>17</td><td>18</td><td>19</td><td>20</td><td>21</td><td>22</td><td>23</td></tr> <tr><td>24</td><td>25</td><td>26</td><td>27</td><td>28</td><td>29</td><td>30</td></tr> <tr><td>31</td><td colspan="6"></td></tr> </table> ※8月4日～9月28日 夏期休業		8月							月	火	水	木	金	土	日						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31							4日～ 4日～	夏期休業（9月28日まで） 集中科目開講期間（9月18日まで） 春学期追試験（8月下旬）
8月																																																											
月	火	水	木	金	土	日																																																					
					1	2																																																					
3	4	5	6	7	8	9																																																					
10	11	12	13	14	15	16																																																					
17	18	19	20	21	22	23																																																					
24	25	26	27	28	29	30																																																					
31																																																											

カレンダー ○：休日・祝日・土曜日 ■：祝日以外の休業日 □：みなし曜日		学部年間予定																																																		
<table border="1"> <tr><th colspan="7">9月</th></tr> <tr><th>月</th><th>火</th><th>水</th><th>木</th><th>金</th><th>土</th><th>日</th></tr> <tr><td></td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td></tr> <tr><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>13</td></tr> <tr><td>14</td><td>15</td><td>16</td><td>17</td><td>18</td><td>19</td><td>20</td></tr> <tr><td>21</td><td>22</td><td>23</td><td>24</td><td>25</td><td>26</td><td>27</td></tr> <tr><td>28</td><td>29</td><td>30</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>		9月							月	火	水	木	金	土	日		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30					12日～20日	<2年次生>成績公開・卒業自己判定
9月																																																				
月	火	水	木	金	土	日																																														
	1	2	3	4	5	6																																														
7	8	9	10	11	12	13																																														
14	15	16	17	18	19	20																																														
21	22	23	24	25	26	27																																														
28	29	30																																																		
		13日～20日	<1年次生>成績公開・卒業自己判定																																																	
		20日	春学期終了																																																	
		21日	秋学期開始																																																	
		21日	<国際教養学部・理工学部英語コース>入学式, 新入生ガイダンス																																																	
		24日～25日	<国際教養学部・理工学部英語コース>オリエンテーション・キャンブ																																																	
		22日	春学期科目「成績評価確認願」提出期限(語学科目)																																																	
		25日	春学期科目「成績評価確認願」提出期限(語学科目以外)																																																	
		29日	秋学期授業開始																																																	
※8月4日～9月28日 夏期休業 秋学期授業期間 9月29日～1月23日		<履修登録関係日程> ※詳細は p.27～を参照すること。																																																		
		21日～30日	<2年次生>履修登録期間																																																	
		22日～30日	<1年次生>履修登録期間																																																	
		21日～26日	<2年次生>抽選科目登録期間(1次)																																																	
		22日～26日	<1年次生>抽選科目登録期間(1次)																																																	
		27日	<全学部生>抽選科目登録(1次)結果発表																																																	
		27日～28日	<全学部生>抽選科目登録期間(2次)																																																	
		29日	<全学部生>抽選科目登録(2次)結果発表																																																	
		29日～30日	<全学部生>抽選科目登録期間(先着順)																																																	
		10月1日～2日	<全学部生>履修登録確認期間																																																	
		10月3日～5日	<全学部生>履修登録修正期間																																																	
		10月7日	履修登録確認																																																	

● 2015 年度 四谷キャンパス行事予定表 (秋学期)

目白聖母キャンパスの行事予定についてはP.62～参照。

カレンダー ○ : 休日・祝日・土曜日 ■ : 祝日以外の休業日 □ : みなし曜日	学部年間予定	
10月 月 火 水 木 金 土 日 1 2 ○ 3 ○ 4 5 6 7 8 9 ○ 10 ○ 11 ○ 12 13 14 15 16 ○ 17 ○ 18 19 20 21 22 23 ○ 24 ○ 25 26 27 28 29 30 ○ 31	12 日 31 日	授業実施日 (体育の日) ソフィア祭前夜祭 (全学休講)
※12 日 体育の日は授業実施日 秋学期授業期間 9 月 29 日～1 月 23 日	※履修登録関係の日程は 9 月の欄と p.27 を参照すること	
11月 月 火 水 木 金 土 日 1 2 ○ 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 ○ 14 ○ 15 16 17 18 19 20 ○ 21 ○ 22 ○ 23 24 25 26 27 ○ 28 ○ 29 30	1 日 1 日～3 日 2 日 23 日 30 日	創立記念日 (全学休講) ソフィア祭 先哲祭 (全学休講) ※看護学科 3 年次生を除く 授業実施日 (勤労感謝の日) ※看護学科 3 年次生を除く 秋学期休学願提出期限
※23 日 勤労感謝の日は授業実施日		
12月 月 火 水 木 金 土 日 1 2 3 4 ○ 5 ○ 6 7 8 9 10 11 ○ 12 ○ 13 14 15 16 17 18 ○ 19 ○ 20 21 22 ○ 23 24 25 ○ 26 ○ 27 28 29 30 31	3 日 7 日～11 日 12 日・19 日 21 日 22 日～	ザビエル祭 (全学休講) ※目白聖母キャンパス看護学科 2 年次生を除く 秋学期履修中止申請期間 秋学期補講日 秋学期授業終了 冬期休業 (1 月 4 日まで)
※12 月 22 日～1 月 4 日 冬期休業		

<p>カレンダー</p> <p>○：休日・祝日・土曜日 ■：祝日以外の休業日 □：みなし曜日</p>	学部年間予定																																											
<p>2016年</p> <p style="text-align: center;">1月</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><th>月</th><th>火</th><th>水</th><th>木</th><th>金</th><th>土</th><th>日</th></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>①</td><td>②</td><td>③</td></tr> <tr><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td></tr> <tr><td>11</td><td>12</td><td>13</td><td>14</td><td>15</td><td>16</td><td>17</td></tr> <tr><td>18</td><td>19</td><td>20</td><td>21</td><td>22</td><td>23</td><td>24</td></tr> <tr><td>25</td><td>26</td><td>27</td><td>28</td><td>29</td><td>30</td><td>31</td></tr> </table> <p>※12月22日～1月4日 冬期休業</p>	月	火	水	木	金	土	日					①	②	③	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	<p>5日</p> <p>6日・15日</p> <p>8日</p> <p>9日・17日</p> <p>10日・16日・23日</p> <p>23日</p> <p>25日～2月1日</p>	<p>秋学期授業再開</p> <p>みなし月曜日</p> <p>秋学期試験日程公開</p> <p>秋学期補講日</p> <p>TEAP 実施日*</p> <p>秋学期授業終了</p> <p>秋学期試験期間（2月1日は予備日）</p> <p>* ACADEMIC COMMUNICATION-2 の受講者は必ず受験すること。詳細は p.141 を参照。</p>
月	火	水	木	金	土	日																																						
				①	②	③																																						
4	5	6	7	8	9	10																																						
11	12	13	14	15	16	17																																						
18	19	20	21	22	23	24																																						
25	26	27	28	29	30	31																																						
<p style="text-align: center;">2月</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><th>月</th><th>火</th><th>水</th><th>木</th><th>金</th><th>土</th><th>日</th></tr> <tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td></tr> <tr><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>13</td><td>14</td></tr> <tr><td>15</td><td>16</td><td>17</td><td>18</td><td>19</td><td>20</td><td>21</td></tr> <tr><td>22</td><td>23</td><td>24</td><td>25</td><td>26</td><td>27</td><td>28</td></tr> <tr><td>29</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>※2月2日～3月31日 春期休業</p>	月	火	水	木	金	土	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29							<p>2日～</p>	<p>春期休業（3月31日まで）</p> <p>秋学期追試験（2月中旬～下旬）</p>
月	火	水	木	金	土	日																																						
1	2	3	4	5	6	7																																						
8	9	10	11	12	13	14																																						
15	16	17	18	19	20	21																																						
22	23	24	25	26	27	28																																						
29																																												
<p style="text-align: center;">3月</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><th>月</th><th>火</th><th>水</th><th>木</th><th>金</th><th>土</th><th>日</th></tr> <tr><td></td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td></tr> <tr><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>13</td></tr> <tr><td>14</td><td>15</td><td>16</td><td>17</td><td>18</td><td>19</td><td>20</td></tr> <tr><td>21</td><td>22</td><td>23</td><td>24</td><td>25</td><td>26</td><td>27</td></tr> <tr><td>28</td><td>29</td><td>30</td><td>31</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>※2月2日～3月31日 春期休業</p>	月	火	水	木	金	土	日		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31				<p>17日～30日</p> <p>18日～30日</p> <p>25日</p> <p>31日</p> <p>31日</p>	<p><2年次生>成績公開・卒業自己判定</p> <p><1年次生>成績公開・卒業自己判定</p> <p>学位授与式</p> <p>2015年度通年科目・秋学期開講科目「成績評価確認願」提出期限</p> <p>秋学期終了</p>
月	火	水	木	金	土	日																																						
	1	2	3	4	5	6																																						
7	8	9	10	11	12	13																																						
14	15	16	17	18	19	20																																						
21	22	23	24	25	26	27																																						
28	29	30	31																																									

● よくあるQ&A

Q 各種問い合わせ先を教えてください

A 以下の表を参照してください。場所についてはp.17及びp.592～p.598を参照してください。

履修相談, 成績, 授業, 単位, Loyola パスワードについて	学事センター (教務) 各学部担当	2号館1階
証明書, 学生証, 住所変更, 学費につ いて	学事センター (学籍) 窓口	2号館1階
課外活動, 奨学金, ボランティア, 住居, 保険, 学生相談, 障がい学生支援, アルバイト	学生センター	2号館1階
交換留学, 海外短期語学講座・研修, 国際交流プログラム, 留学カウンセリング	グローバル教育センター	2号館1階
教職・学芸員課程について	課程センター	2号館1階
PCログインパスワード, コンピュータ ルーム利用, moodleについて	総合メディアセンター 総合メディアセンターウェブページ (http://ccweb.cc.sophia.ac.jp) の利用ガイドを参照	2号館3階
落とし物, 忘れ物	管財グループ	2号館1階
就職活動, インターンシップ, セミナーなど	キャリアセンター	2号館1階
応急処置, 健康相談, 健康診断証明書	保健センター	11号館入り口前, ホフマン・ホール2階
大学生生活で困ったこと, 悩み相談	カウンセリングセンター	10号館3階

Q 教員の連絡先が知りたいのですが…。

A まず、教員一覧 (p.624～) を参照してその教員が「専任教員」か「非常勤教員」なのか調べましょう。「職名」に「*」が付いている教員は「非常勤教員」です。

「専任教員」の場合 ……p.608から始まる教員研究室・学科事務室一覧を参照してください。なお、専任教員の個人メールアドレスは公開していません。

「非常勤教員」の場合…本学に研究室はありません。学生へ公開可能な連絡先があるかどうか、学生証を持参し、学事センター (教務) 窓口でお問合せください。

Q 履修の相談をしたいのですが、いつ、どこでできますか？

A 履修の相談は学事センター (教務) 窓口でのみ行っています (電話での相談はできません)。窓口は平日の9:30～11:30, 12:30～17:00に開いていますので、その時間帯に来てください。

Q 時間割に記載されている教室に行ったら違う授業が行われていました。

A 教室が変更されている可能性があります。Loyolaの「授業掲示板」「時間割表」で最新の教室情報を確認できます。

Q 授業開始時間が過ぎているのに、教員が来ない場合はどうしたらよいですか？

A まずは、Loyolaに休講情報が掲示されているか確認してください。

休講情報が掲示されていないにもかかわらず、授業開始時間から30分経過しても担当教員が入室しない場合は、学事センターに連絡し、その指示に従ってください。

Q 忌引きのために授業を欠席しなければなりません。公欠届はありますか？

A 本学には公欠や欠席届の制度はありません。やむを得ず授業を欠席した場合は、各自で担当教員に事情を説明してください。学事センターで欠席の連絡を取り次ぐことは出来ませんので、登校でき次第、受講している科目の担当教員とコンタクトをとってください。(感染症等に罹患した場合はp.24参照)

定期試験を欠席した場合は、追試験が認められるケースがあります。(p.36～参照)

Q 休暇や定期試験の日程など、大学のスケジュールを知りたいのですが…。

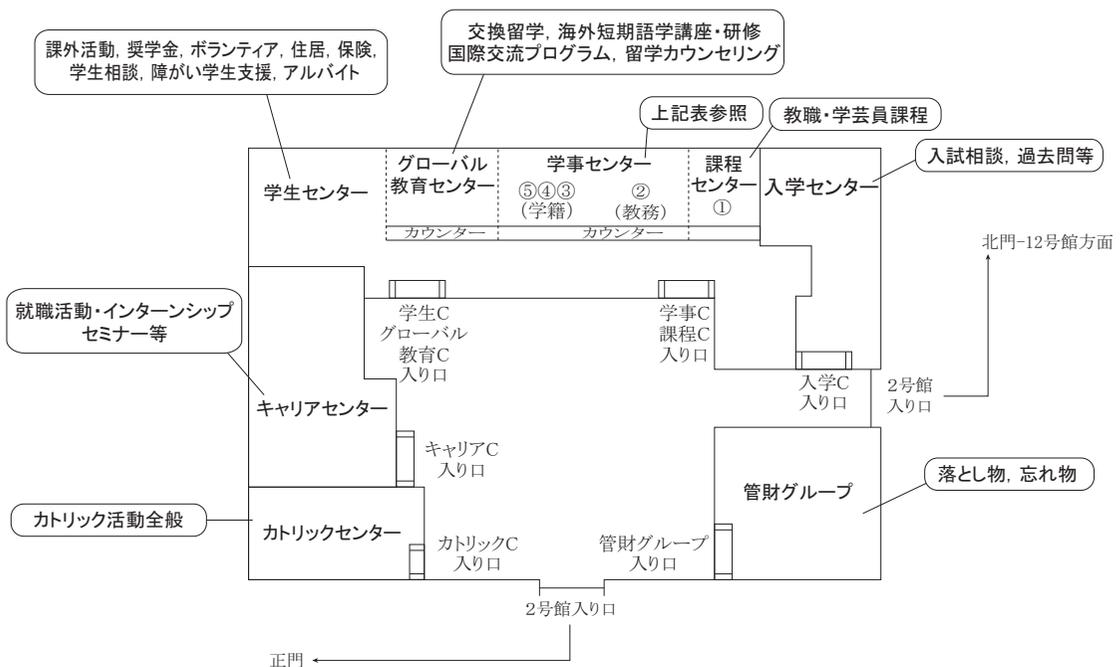
A 2015年度四谷キャンパス行事予定表 (p.10～) / 目白聖母キャンパス行事予定表 (p.62～) を参照してください。

● 各種問い合わせ先について

学事センターで取り扱っているお問い合わせ内容および窓口番号は下記のとおりです。

お問い合わせ内容	窓口番号
教職・学芸員課程について	課程センター窓口 ①番窓口
履修相談、成績、授業、単位について	学事センター（教務）②番窓口 各学部担当
証明書、学生証、住所変更、休学・留学等について	学事センター（学籍）③番窓口
研究生、科目等履修生、聴講生について	学事センター（学籍）④番窓口
学費について	学事センター（学籍）⑤番窓口

(※) 各種相談は、原則として窓口のみにて受け付けています。
特に履修相談、成績等については電話ではお受けできませんので注意してください。



● 窓口時間について

月～金	午前 9 : 30～11 : 30	午後 12 : 30～17 : 00
-----	-------------------	--------------------

- ※ 上記窓口時間外に各種相談、受付、必要書類の提出等を行うことはできません。
- ※ 土曜・日曜・祝日は休業です。
- ※ 夏期・冬期の休業中や特別な場合の窓口時間については、その都度Loyola掲示板等でお知らせします。

● Loyola による掲示について

大学から学生へのお知らせは、Webによる教学支援システム「Loyola（ロヨラ）」の掲示によって行います。この掲示を見なかったために生じる不利益は学生本人の責任となります。

授業に関する情報（休講、補講、教室、臨時の教室変更、試験やレポートの告知など）や、学生への個人連絡、また緊急を要する重要な掲示等もLoyolaで行います。

大学が発信する最新の情報を得るためにも毎日必ずLoyolaの掲示板を見るように習慣付けてください。また、紙による掲示を併用する場合がありますので掲示板の位置については後見返しを参照してください。

＜Loyola掲示板＞ 重要な掲示がされますので、毎日確認するようにしましょう！

主な掲示板名	掲示内容
授業掲示板	教室変更・担当教員からのお知らせを掲示します。 ※休講・補講については「掲示板（休/補/教室変更）→ 休講・補講・臨時教室変更参照」を見てください。 履修登録している授業の情報のみ参照できます。
呼び出し	各部署からの、個人連絡メッセージが表示されます。呼び出しの場合は、速やかに対応してください。
大学掲示板	上智大学に関係する行事、または大学からのお知らせ等を掲示します。
学科・専攻別掲示板	各学科・専攻からのお知らせを掲示します。
学事センター（教務）掲示板	履修登録、カリキュラム変更などの重要なお知らせを掲示します。必ず確認してください。
学事センター（学籍・学費）掲示板	学籍・学費・証明書等についてのお知らせを掲示します。

＜その他 Loyolaで確認できること＞

内容	参照メニュー
教室を確認したい	カリキュラム履修関係 → 時間割 → 時間割参照
休講・補講・臨時教室変更情報を見たい	掲示板（休/補/教室変更）→ 休講・補講・臨時教室変更参照
シラバスを見たい	カリキュラム履修関係 → シラバス参照
履修登録をしたい。履修登録した内容を確認したい	カリキュラム履修関係 → 履修登録 → 履修登録・登録状況照会
成績を見たい	成績 → 履修成績照会
自己判定機能を使いたい	成績 → 自己判定
定期試験の日程やレポートの課題を確認したい	定期試験 → 定期試験時間割照会（学生用）
Loyolaの機能や詳しい使い方を知りたい	HOME → Loyola Handbook（学生用）

● 各種ガイダンスについて

大学生活は、自らの意志と計画によって勉強し生活していくものです。その一助として、学年のはじめに、科目の選択・登録・カリキュラムの内容、学習活動の手引きを目的とする各種のガイダンスが行われます。必ず出席してください。代表的なものとして、以下のようなガイダンスがあります。

対象者	出席すべきガイダンス
新入生	新入生ガイダンス
2年次生以上	在校生ガイダンス
教職課程履修希望者	教職課程説明会（4月） 教職課程新規履修者ガイダンス（9月）
学芸員課程履修希望者	学芸員課程新規履修者ガイダンス（4月）

この他にも必要に応じて各種ガイダンスが行われます。日時・場所などについては、随時Loyolaでお知らせします。

● 教員との連絡について

授業担当教員は、本学に籍を置いている教員（専任教員）と本学に籍がなく担当授業時に来校し講義を行う兼任講師（非常勤教員）がいます。教員と連絡を取りたい場合、専任教員か非常勤教員かによって連絡を取る方法が異なります。

■専任教員の場合

学内に研究室があり、学生との相談時間（オフィスアワー）が設けられていますので、その時間であれば相談や面会をすることが可能です。また、オフィスアワー以外の曜日や時間に面会を希望する場合は、教員が所属する学科の事務室へ相談し、教員と連絡を取ってください。

また、各学部学科のクラスまたはゼミ単位でクラス主任が置かれています。勉学や履修、進路に関することなど学生生活における問題について相談することができます。

- | | |
|---------------------|------------------------------|
| ・教員の研究室およびオフィスアワー一覧 | ： p.608～参照 |
| ・各学科の事務室 | ： p.608～参照（各学科の一番前に記載されています） |
| ・各学科のクラス主任一覧 | ： p.606参照 |

■非常勤教員の場合

学内に個人の研究室はありませんので、担当する授業の前後で連絡を取ってください。また、教員によっては学生に対してメールアドレスなどの連絡先を公開している場合があります。

学生に対して連絡先を公開しているかどうか、またその連絡先については学事センター（教務）の窓口で問い合わせることができますので、希望する場合は学生証を持って窓口にきてください。

なお、個人情報保護の観点から電話での連絡先照会を受け付けできません。

また、学事センターが教員へ連絡を取り次ぐことは行っていません。

■連絡を取りたい教員が専任か非常勤が分からない場合

授業担当教員一覧（p.624～）から名前を探しましょう。

職名の欄に「*」がついている教員は非常勤教員、ついていない教員は専任教員です。

● 住所変更の手続き

本人または保証人の住所に変更があった場合は、Loyolaの「学生住所変更」メニューから変更するか、もしくは学事センター（学籍・証明書）窓口備付の「住所変更届」を提出してください。

国外に在住する保証人の住所変更はLoyolaから変更できないため、窓口で「住所変更届」を提出してください。

本人の住所変更のある場合は、学生証裏面の「在籍確認シール」を上記窓口で受け取り、貼り替えてください。

● 公共交通機関運行停止時の取扱いについて

台風・大雨など各種の自然災害や事故・ストライキなどによる電車運行停止のため、授業や定期試験を平常通り行うことができないと判断された場合は、休講もしくは試験日の振替などの特別措置をとることがあります。特別措置の内容については、大学ホームページ、Loyolaもしくは公式フェイスブックでお知らせしますので各自で確認してください。

● 個人情報の取扱いについて

上智学院個人情報保護への取組みについては下記URLを参照してください。

http://www.sophia.ac.jp/jpn/info/privacypolicy/joho_toriatsukai

教務（履修・成績・授業など）

1. 授業

… P. 22

授業期間・学期期間・授業時間・みなし曜日
祝日の授業日・教室について・教科書・休講・補講
欠席した場合・感染症に罹患した場合
裁判員制度に伴う授業等の出欠の取扱い

2. 単位と科目

… P. 25

単位とは・科目の区分・履修度

3. ナンバリング

… P. 26

4. 履修登録

… P. 27

履修登録日程・履修登録とは
最高履修限度
同一科目の重複履修
抽選科目
履修登録の注意点

5. 国際教養学部開講科目の履修について

… P. 32

受講資格・必要書類・履修申込方法
サマーセッション

6. 履修中止

… P. 33

履修中止とは・履修中止申請期間
履修中止申請の注意点・「履修中止願」による申請

7. 試験

… P. 35

試験の種類
定期試験（筆記試験）・レポート試験日程等の掲示
定期試験（筆記試験）の心得
定期試験（筆記試験）での不正行為の禁止
公共交通機関運行停止時の取り扱い
追試験
レポート試験での不正行為の禁止
試験やレポート・論文作成に臨むにあたって

8. 学力の評価・成績

… P. 40

評価基準・GPA・成績の公開スケジュール
成績評価確認願
単位修得不足の者の扱い

9. 卒業要件と自己判定

… P. 42

卒業要件
卒業必要単位の確認方法

10. 単位換算・単位認定

… P. 43

単位換算・単位認定とは
単位換算・単位認定された科目の成績
単位換算・単位認定の取り扱い期間
入学前既修得単位認定・編入学単位認定
教員免許取得のための単位認定
大学院入学前科目履修制度
技能審査（TOEFL）による英語の単位認定
学生交流協定校による単位認定
留学による単位換算

11. 海外短期語学講座・海外短期研修・実践型プログラム

… P. 46

海外短期語学講座による単位付与
海外短期研修による単位認定・単位付与
実践型プログラムによる単位付与

1. 授業

● 授業期間

1年間の授業を行う期間は、定期試験等の期間を含め35週にわたることを原則としています。授業の開始日・終了日、試験期間についてはp.10～14の「2015年度四谷キャンパス行事予定表」で確認してください。

※目白聖母キャンパスについてはp.62～参照。

● 学期期間

学期の期間は下記のとおりです。

春学期： 4月 1日 ～ 9月20日

秋学期： 9月21日 ～ 3月31日

● 授業時間

時限	時 間
0	8 : 15～ 9 : 00
1	9 : 15～10 : 45
2	11 : 00～12 : 30
3	13 : 30～15 : 00
4	15 : 15～16 : 45
5	17 : 00～18 : 30
6	18 : 45～20 : 15

※この他に、通常の授業日時・時間帯とは異なる形式で、土日や補講期間などに集中的に授業を行う「集中講義科目」もあります。この場合の授業日時・教室については別途Loyolaの（教務）掲示板もしくは「授業掲示板」で掲示します。（時間割上では「集中講義」として記載されています。）

● みなし曜日

「みなし曜日」とは、祝祭日が集中し十分な授業日数を確保できない曜日が発生した場合、それを補うために通常のカレンダー上の曜日とは違う曜日にみなして取扱う日のことをいいます。

2015年度のみなし曜日については2015年度行事予定表（p.10～）で確認してください。

※目白聖母キャンパスについてはp.62～参照。

● 祝日の授業日

授業日数を確保するため、特定の祝日にも授業を行うことがあります。2015年度の祝日の授業日については2015年度行事予定表（p.10～）で確認してください。

※目白聖母キャンパスについてはp.62～参照。

● 教室について

授業は、基本的にLoyolaに登録されている教室で行われます。しかし、授業開始後の受講者数や設備などの事情によって、一時的もしくは恒常的に教室が変更となる場合があります。特に授業開始後しばらくは教室の変更が多く発生しますので、授業の前に確認する習慣をつけてください。

■恒常的な教室変更の場合

Loyolaの「授業掲示板」に変更後の教室および変更日等について掲示が出ます。

またLoyolaの「カリキュラム履修登録関係→時間割」または「掲示板（休/補/教室変更）→休講・補講・臨時教室変更参照」でも確認できます。

■臨時の教室変更の場合

Loyolaの「掲示板（休/補/教室変更）→休講・補講・臨時教室変更参照」画面で確認できます。

● 教科書

授業に必要な教科書、参考図書はLoyolaの「カリキュラム履修登録関係→シラバス参照」で確認できます。特に事前の準備を求められていないものは、初回の授業で教員の指示に従って準備してください。教科書、参考図書は丸善購買部（2号館地下1階）で購入できます。各学期の開始時には別途教科書販売所が設置されます。

※目白聖母キャンパス開講科目については、目白聖母キャンパスで購入できます。

● 休講

公務、出張、学会、病気などによって担当教員が授業ができなくなり、休講となる場合があります。休講情報は担当教員からの連絡によりLoyolaに掲示されますが、やむを得ず当日のお知らせとなる場合もありますので、授業前にLoyolaを確認する習慣をつけてください。

なお、Loyolaに休講掲示が出ていない場合でも、授業開講時間から30分経過しても担当教員が入室しない場合は、学事センターに連絡し、その指示に従ってください。

● 補講

補講は、春学期と秋学期にそれぞれ設けられている補講日に原則として行いますが、このほかにも別日程で行う場合があります。いずれの場合もLoyolaに掲示をしますので、教室や日時を確かめて受講してください。

2015年度の補講日については2015年度行事予定表（p.10～）で確認してください。なお、補講は休講した分の授業を補うものなので、通常の授業と同様に扱います。

※目白聖母キャンパスについてはp.62～参照。

● 欠席した場合

本学に公欠や欠席届の制度はありません。忌引、交通機関遅延、病気、課外活動、就職活動などによってやむを得ず欠席した場合は、各自で担当教員に事情を説明してください。学事センターで欠席の連絡を取りつぐことはできません。ただし、定期試験の場合には、追試が認められるケースもあります（p.36～を参照）。

また、病気や怪我などの理由によって長期にわたり大学に来ることができない場合には、所属する学科の学科長もしくはクラス主任に相談してください（p.606～参照）。

● 感染症に罹患した場合

学校保健安全法に定められた感染症（インフルエンザ、はしか、百日咳、風疹、おたふくかぜ、水ぼうそう等）に学生が罹患した場合は、感染拡大を防ぐために所定の期間、登校禁止となります。万が一罹患した場合は、下記のとおり対応してください。

なお、新型インフルエンザなど新しい感染症の場合は、特別な措置がとられることがあります。Loyolaおよびホームページの掲示に注意してください。

1. 医師の指示に従い、感染の危険がなくなるまで自宅療養する。保健センターにFAX（報告用紙は大学ホームページからダウンロード）、Loyola、電話のいずれかで罹患を報告する。
2. 大学ホームページ上から「感染症治癒後登校許可証明書」をダウンロードし、登校が許可されたことを医師に記入してもらう。（登校禁止期間が記載されていれば医療機関発行の様式でも可）。
※ダウンロードできない場合は、保健センターへ用紙を請求してください。
3. 登校時、上記証明書原本を保健センターに提出する。各担当教員には証明書の写しを提出する。

※追試験を希望する学生は、併せて「追試験について」（p.36～）を参照すること。

● 裁判員選任等に伴う授業等の出欠の取扱いについて

「裁判員の参加する刑事裁判に関する法律」に基づいて、今般導入された裁判員制度のもとでは、学生は裁判員の辞退等が認められていますが、裁判員になることを希望する学生の意思を尊重するため、学生が裁判員に選任された場合（その選任手続を含む）の授業等の出欠について、下記のとおり取り扱うものとします。

1. 対象となる学生
本学に在籍する学部・大学院の正規生および科目等履修生（聴講生は含まない）
2. 対象となる事由
 - ① 裁判員候補者として裁判員選任手続のために裁判所へ出向くとき
 - ② 裁判員として裁判に参加するとき
 - ③ 補充裁判員として裁判に立会い等をおこなうとき
3. 手続
学生は、原則として事前に学事センター（教務）窓口申し出て、裁判員選任用所定の欠席届用紙を受取り、その欠席届とともに、裁判所から送達された文書（「選任手続日のお知らせ（呼出状）」）の写しを担当教員に提出し、当該授業を欠席することについて申し出る。また、事後には裁判所が発行する証明書類を提示して同教員に報告する。
4. 出欠の取り扱い
上記所定の文書による申し出および報告があった場合、本人の不利益とならないよう、教員側で次のように配慮することといたします。
 - ① 授業：「欠席」扱いとしない。代替措置については担当教員の判断による。
 - ② 授業内試験：「欠席」扱いとしない。代替措置については担当教員の判断による。
 - ③ 定期試験：追試験の対象とする。通常の追試験願を期限までに提出する（p.36～参照）。

* 参考

学生も裁判員候補者として選ばれるものの、法律により裁判員の辞退を申し出ることができる事由に該当するので、出廷に関して想定され得る対応例は次のようになります。

（学生の対応例）

- a) 裁判員の選任手続や裁判員として裁判に参加する
- b) 学生という身分で、一般的に辞退する
- c) 定期試験時など特定の月や日は辞退する

（辞退を申し出ることができる主な事由）

- ・1年間を通じて辞退することができる一般的事由がある…「学生」という身分
- ・裁判員になることが特に難しい特定の月がある…定期試験時など
- ・他の期日に行うことができない社会生活上の重要な用務がある場合

2. 単位と科目

● 単位とは

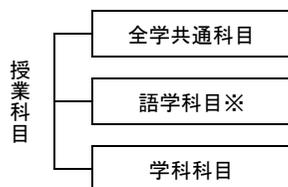
すべての科目には一定の単位が定められており、これらの科目を履修して試験などに合格すれば単位が修得できます。単位数の計算方法は科目の種類によって異なります。自分が履修している科目が何単位であるかは、履修要覧の各学科や全学共通科目のページにある「開講科目担当表」に記載されています。

卒業に必要な単位は、各学科また入学年次によって異なります。自分が所属する学科のページにある、「1. 卒業に要する科目、単位数の最低基準」「2. 標準配当表」を必ず参照してください。

なお、大学設置基準および学則第22条では、「授業科目の単位数は、1単位履修に45時間の学修を要することを標準とし」と定めています。このように、単位を修得するためには授業時間以外にも学習のための時間が要求されます。

● 科目の区分

授業科目は大きく三つの区分に分けられます。全学部共通で開講されている「**全学共通科目**」と「**語学科目**」、各学科で開講されている「**学科科目**」です。



※ここで述べる語学科目とは、言語教育研究センター開講の科目を指します。

【区分を確認することの重要性】

授業科目の区分については、科目によっては複数の区分にあてはめることができる科目もあります。これらの科目は**自分の卒業要件にあわせて履修登録の際に区分を決める必要があります**。複数の区分に属する科目の例は以下の通りです。（その他の複数区分にまたがる科目については、学科によって異なりますので、各学科のページを参照してください。）

	区分1	区分2
学全科目	学科科目（他学部他学科） [その他－他学部・他学科科目等]	全学共通科目（学全科目） [全学共通科目－選択科目－学全科目]
語学科目	語学科目 [語学科目－〇〇語]	学科科目 [学科科目－語学科目－〇〇語]

このような科目は履修登録時に区分を指定して履修する必要があるため、履修計画を立て、履修区分を予め理解した上で登録してください。**履修登録が終わった後の区分の変更はできません。**

● 履修度

全学共通科目、語学科目および学科科目は、それぞれ履修度によって、さらに以下の四つに分類されます。

必修科目	必ず履修しなければならない科目
選択必修科目	数科目の中から学生が選択し、各学科所定の単位数を必ず履修しなければならない科目
選択科目	学生が自由に選択して履修する科目
自由科目	学問的興味・関心に応じて学生が任意に履修する科目（卒業に必要な単位としては認められない）

それぞれ必要な単位数は学科によって異なりますので、詳細については自分の所属する学科のページの「1. 卒業に要する科目、単位数の最低基準」と「2. 標準配当表」を必ず参照してください。

3. ナンバリング

2014年度より、全学部でナンバリングを導入しています。

ナンバリングとは、授業科目に適切な番号を付けて分類することで、学修の段階や順序を表し、カリキュラムの体系性を明示する仕組みです。

ナンバリングによって科目の分野やレベル設定、履修順序などを読み取ることができます。履修計画を立てる際の指針として役立ててください。

1) ナンバリング対象科目
全学部開講科目が対象です。

2) ナンバリング基本方針

↓科目の分野を表す（任意のアルファベット3文字）

AAA 111

↑100の位で科目のレベルを表す

【100の位のレベル分類】

100番台 導入レベル科目

200番台 基礎から専門的レベルへの橋渡しとなる科目

300番台 専門領域の科目、もしくは専門的な知識を踏まえ社会との接点を探る科目

400番台 専門領域の科目（上級レベル、専門領域の演習）

・各学科の詳細な付番方針・科目の分野については、各学科のページの履修上の注意に記載をしています。

3) ナンバリング掲載箇所

開講科目担当表の科目コードの隣の列に記載があります。

※例

科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	備考
BGS50100	GBG200	グローバル化と政治学	2	春	上 智 太 郎	1・2	[190]
BGS50200	GBG201	グローバル化と経済学1	2	春	*上 智 花 子	1・2	[190]
BGS50201	GBG202	グローバル化と経済学2	2	秋	*上 智 花 子	1・2	[190]

4. 履修登録

履修登録は、春学期・秋学期ともに、所定の期間内に、Loyolaで履修登録手続きをする必要があります。

履修登録の際のLoyolaの操作手順や注意事項などの詳細は、「Loyola Handbook」の該当部分を参照し、間違いのないよう手続きをしてください。

■春学期登録日程

	行事	年次	期間	備考
①	卒業自己判定期間	2・3・4年次生	4月1日(水) 10:00～	Loyolaで自己判定ができます。
②	履修登録期間(春学期)	2・3・4年次生	4月2日(木) 10:00 ～4月13日(月) 21:00まで	春学期および通年科目(抽選科目を除く)を履修する場合は、必ずこの期間内にLoyolaで履修登録をおこなうこと。
		1年次生	4月3日(金) 10:00 ～4月13日(月) 21:00まで	
③	抽選科目登録期間(1次)	2・3・4年次生	4月2日(木) 10:00 ～4月7日(火) 18:00まで	春学期および通年科目の抽選科目を履修する場合は、必ずこの期間内にLoyolaで抽選科目のエントリーを行うこと。なお、1次の登録期間で定員を満たした科目には2次の登録期間にエントリーを行うことはできません。
		1年次生	4月3日(金) 10:00 ～4月7日(火) 18:00まで	
④	抽選科目登録(1次)結果発表	全学生	4月8日(水) 13:00～	③の期間にエントリーした科目の抽選結果をLoyola確認することができます。
⑤	抽選科目登録期間(2次)	全学生	4月8日(水) 13:00 ～4月9日(木) 18:00まで	1次の抽選科目登録で定員に満たなかった科目に対してエントリーを行うことができます。
⑥	抽選科目登録(2次)結果発表	全学生	4月10日(金) 13:00～	⑤の期間にエントリーした科目の抽選結果をLoyolaで確認することができます。
⑦	抽選科目登録期間(3次)【語学科目のみ】※	全学生	4月10日(金) 13:00 ～4月10日(金) 21:00まで	語学科目のうち、2次の抽選科目登録で定員に満たなかった科目に対してエントリーを行うことができます。
⑧	抽選科目登録(3次)結果発表【語学科目のみ】※	全学生	4月11日(土) 13:00～	⑦の期間にエントリーした科目の抽選結果をLoyolaで確認することができます。
⑨	抽選科目登録期間(先着順)	全学生	4月11日(土) 13:00 ～4月13日(月) 21:00まで	1次・2次・3次の抽選科目登録期間で定員に満たなかった科目に対して、Loyolaで先着順に登録を受け付けます。
⑩	履修登録確認期間	全学生	4月14日(火) 10:00 ～21:00まで	履修登録した科目(②, ③, ⑤, ⑦, ⑨)の期間に行った登録の結果をLoyolaで確認することができます。
⑪	履修登録修正期間	全学生	4月15日(水) 10:00 ～4月17日(金) 21:00まで	履修登録した結果をLoyolaで修正することができます。
⑫	履修登録確認期間(春学期最終結果)	全学生	4月21日(火) 13:00～	修正登録した結果(②, ③, ⑤, ⑦, ⑨, ⑪)の期間に行った登録)をLoyolaで確認することができます。
⑬	卒業自己判定期間	1年次生	5月1日(金) 10:00～	Loyolaで自己判定ができます。

※ここで述べる語学科目とは、言語教育研究センター開講の科目を指す。

■秋学期登録日程(予定)

	行事	年次	期間	備考
①	卒業自己判定期間	FLA新入生を除く全学年	9月14日(月) 10:00～	Loyolaで自己判定ができます。
②	履修登録期間(秋学期)	2・3・4年次生	9月21日(月) 10:00 ～9月30日(水) 21:00まで	秋学期科目(抽選科目を除く)を履修する場合は、必ずこの期間内にLoyolaで履修登録をおこなうこと。
		1年次生	9月22日(火) 10:00 ～9月30日(水) 21:00まで	
③	抽選科目登録期間(1次)	2・3・4年次生	9月21日(月) 10:00 ～9月26日(土) 18:00まで	秋学期の抽選科目を履修する場合は、必ずこの期間内にLoyolaで抽選科目のエントリーをおこなうこと。なお、1次の登録期間で定員を満たした科目には2次の登録期間にエントリーを行うことはできません。
		1年次生	9月22日(火) 10:00 ～9月26日(土) 18:00まで	
④	抽選科目登録(1次)結果発表	全学生	9月27日(日) 13:00～	③の期間にエントリーした科目の抽選結果を確認することができます。
⑤	抽選科目登録期間(2次)	全学生	9月27日(日) 13:00 ～9月28日(月) 18:00まで	1次の抽選科目登録で定員に満たなかった科目に対してエントリーを行うことができます。
⑥	抽選科目登録(2次)結果発表	全学生	9月29日(火) 13:00～	⑤の期間にエントリーした科目の抽選結果をLoyolaで確認することができます。

	行事	年次	期間	備考
⑦	抽選科目登録期間 (先着順)	全学生	9月29日(火) 13:00 ～9月30日(水) 21:00まで	1次・2次の抽選科目登録期間で定員に満たなかった科目 に対して、Loyolaで先着順に登録を受け付けます。
⑧	履修登録確認期間	全学生	10月1日(木) 10:00 ～10月2日(金) 21:00まで	履修登録した科目(②, ③, ⑤, ⑦)の期間に行った登録) の結果をLoyolaで確認することができます。
⑨	卒業自己判定期間	FLA新入生	10月1日(木) 10:00～	Loyolaで自己判定ができます。
⑩	履修登録修正期間	全学生	10月3日(土) 10:00 ～10月5日(月) 21:00まで	履修登録した結果をLoyolaで修正することができます。
⑪	履修登録確認期間 (秋学期最終結果)	全学生	10月7日(水) 13:00～	修正登録した結果(②, ③, ⑤, ⑦, ⑩)の期間に行った 登録)をLoyolaで確認することができます。

● 履修登録とは

履修登録は、指定の期間内に各自が履修(授業を受ける)する科目を自ら決定し、自分自身の責任において登録する手続きのことで、履修登録は、抽選科目かどうかで、登録できる期間が異なります。

履修登録の手続きを誤ると、自分が履修しようと思っていた科目の履修が認められず、かつ、成績・単位の修得はできないため、登録は慎重に行ってください。また、登録の際にはLoyola上にある「[Loyola Handbook](#)」を熟読するようにしてください。なお、新入生は「履修登録クイックナビ」も参照してください。

ミスを防ぐために、履修登録完了後、必ず再度Loyolaにログインし、希望の科目が登録できているかを確認してください。画面のコピーをとっておくことを推奨します。

また、急なカリキュラム変更については、Loyolaの学事センター(教務)掲示板で都度お知らせしますので、必ず確認してください。

● 最高履修限度について

単位修得に必要な十分な学習時間を確保し、勉学の質を維持するため、各学期および年間に履修登録できる単位数は上限(最高履修限度)が定められています。

最高履修限度は学科および入学年次によって異なりますので、自分の所属する学科の「履修上の注意」のページを参照してください。

※最高履修限度は履修登録できる単位数の上限です。単位を修得しなかったもの(履修中止したもの(W)や評価がFとなった科目)も含まれます。

※春学期の上限単位数+秋学期の上限単位数>年間の上限単位数の場合、春学期・秋学期がそれぞれ上限単位数内であっても年間の上限単位数を上回ることはできません。

■ 最高履修限度の数の例

春	秋	年間
26	26	44

春学期科目20単位分を履修登録した場合

→秋学期には、年間(44単位)－春学期(20単位)＝24単位までしか登録できません。

上記の最高履修限度はあくまでも一例です。自分の学科の該当ページをよく確認して、年間の履修計画を立てるようにしましょう。

● 同一科目の重複履修について

同一科目を2回以上履修しても、卒業に必要な単位としては認められません。

同一科目とは、原則として科目コードが同じ科目のことです。

そのため、一度単位を修得した科目を再び履修することは原則としてできません。また、科目コードが異なっても、同一科目とみなされる科目は、履修登録することができません。

ただし、一部の科目については重複履修することができるものもあります。

詳細については各学部学科のページを参照してください。

同一科目の履修が必要な場合は学事センター(教務)窓口に相談に来てください。

● 抽選科目について

抽選科目とは、履修する定員数が定められている科目のことです。

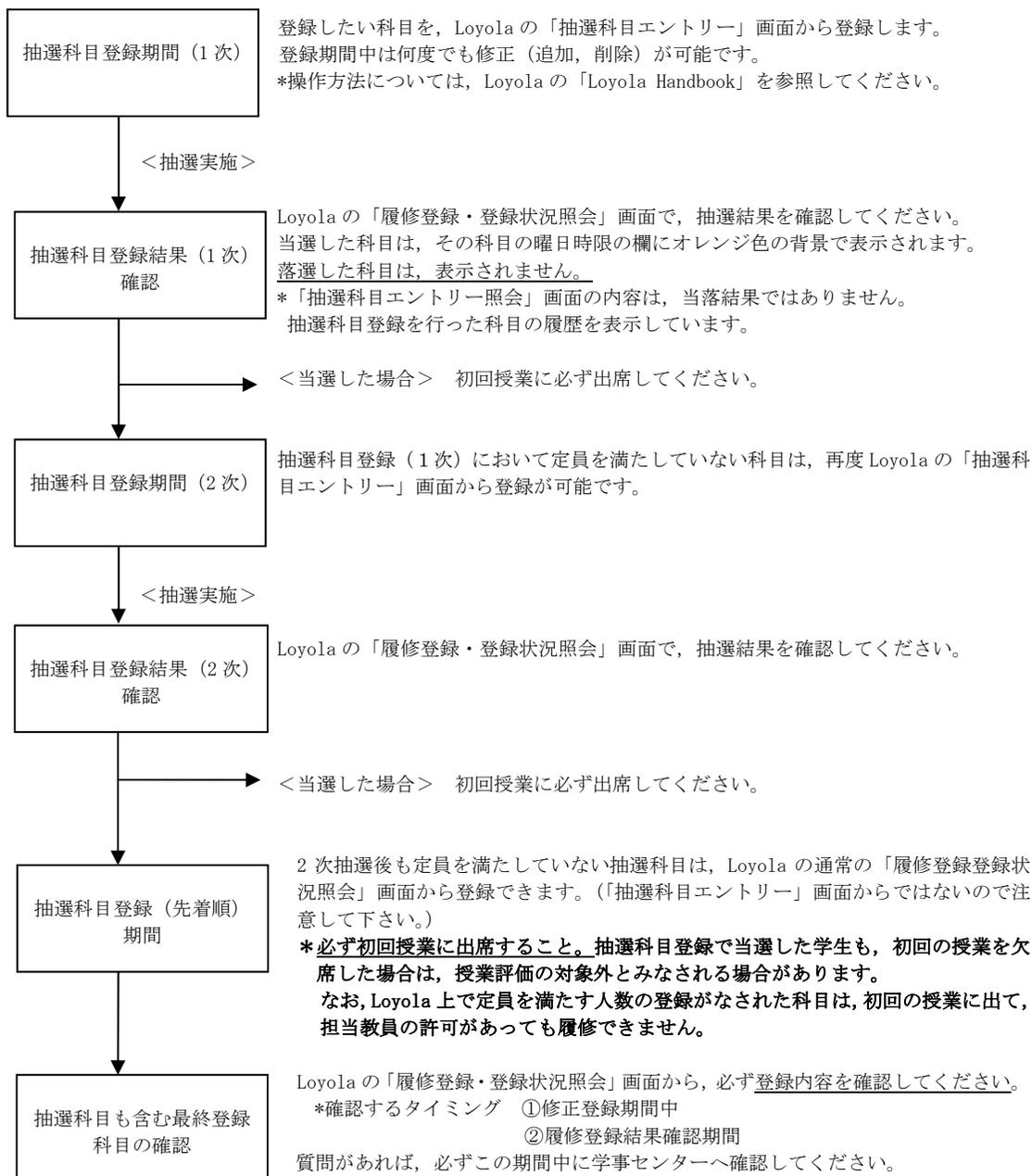
開講科目担当表の備考欄に「○○名」という形で定員数が記載されています。

抽選科目の履修希望者は、各学期の抽選科目登録期間にLoyolaでエントリーを行う必要があります。

なお抽選はコンピュータにより行われ、当選者のみ自動的に履修登録されます。

抽選科目に当選した場合、当選した科目を削除することはできません。ただし、必修科目を除き履修中止期間に履修中止を行うことができます（※例外もありますので、併せてp.34も参照してください）。

■ 抽選科目登録の流れ（語学科目の抽選の流れは次項を参照。）



■ 抽選科目登録の流れ（語学科目）

必修（英語を除く）／選択必修として履修する言語を登録（自言語登録）

※この登録をしていないと、抽選科目のエントリーができません。自言語登録の方法はクイックナビを参照すること。



自言語登録した言語の語学科目のみエントリー可能。
当選結果の確認方法は上記の「抽選科目登録の流れ」と同じです。
当選した場合は、自動的に語学科目（選択必修）の区分となります。
また、初回の授業に必ず出席してください。

自言語登録した言語のうち、選択として履修する科目および
自言語登録した以外の言語の語学科目は先着申込で登録してください。
また自言語登録した言語で、抽選科目エントリーを忘れてしまった
場合や抽選にすべて外れてしまった場合もここで登録してください。
※先着申込登録の際に、履修度および区分を選択すること。

- ・履修登録期間中であれば、一度登録した「必修/選択必修として履修する言語」を変更することができます。ただし、選択している言語の科目の履修登録情報および抽選科目エントリー中の情報がある場合は、変更ができません。抽選エントリー取消および履修登録削除を行ったうえで、登録した言語の変更を行って下さい。（ただし、抽選科目で当選した場合は科目の削除は認められないため、登録した言語の変更はできません）

■ 抽選科目登録の注意点

- ・1次～3次の抽選科目登録期間中、登録結果発表前までは何度でも登録を修正することができますが、当選した抽選科目は、履修登録期間中に削除することはできません。また、抽選科目登録（先着順）では、結果が即時履修登録画面に反映されるため、登録期間中であっても、登録後の削除はできません。
- ・登録を取り消したい場合は、6月または12月の履修中止期間中に履修中止の手続きをとってください。ただし必修科目等、履修中止対象外の科目は履修中止できません。履修中止申請した科目の単位数も年間の最高履修限度に含まれますので、履修計画は慎重に立ててください。履修中止の詳細については、p.33を参照してください。
- ・抽選時にエラーがあった場合は、抽選科目エントリー画面に表示されるエラー内容を確認してください。

● 履修登録の注意点

■ 履修計画を綿密に立てる

卒業に必要な要件を確認しつつ、履修要覧およびシラバスを参照しながら、1年間の履修計画を立てましょう。2年次生以上の学生は、前年度までの単位修得状況も確認する必要があります。科目によっては、秋学期に春学期の続きの科目を履修しなければならない場合もあります。春学期の履修登録時には、秋学期の必修科目の時間割も考慮しましょう。このように、履修計画は年間単位で考えるようにしてください。また、学期および年間の最高履修限度の単位数も意識して履修計画を立てましょう。(最高履修限度についてはp.28「最高履修限度について」を参照)

■ 履修登録期間内に必ず登録する

「履修しようとする授業科目は所定の期間に登録しなければならない(学則第50条)」

履修登録は、上記のように学則第50条で規定されているとおり、所定の期間以外に行うことはできません。登録期間は学年によって異なることがありますので十分気をつけてください。

■ 初回の授業へ必ず出席すること

初回の授業では、今後の授業スケジュールや評価方法など重要な説明がある場合がありますので、必ず出席してください。初回の授業の出席から授業評価の対象になっている科目もありますので(シラバスを参照してください)、欠席すると、以後の授業に出席することを認められない場合があります。またその場合でも、履修登録が自動的に削除になることはありません。自分で履修中止を行う必要があります。

■ 履修登録の確認を行う

履修登録したつもりが、きちんと登録されていない場合、いくら授業に出席していても評価の対象外となり単位の修得はできません。履修登録は自分自身で責任持って行うものです。履修登録ミスを防ぐため、履修登録後、履修確認期間に必ず再度確認し、間違っていた場合には修正登録期間に修正してください。

■ 履修登録操作に関する注意点

- ・履修登録操作をする際は、「[Loyola Handbook](#)」(Loyolaメニューから閲覧可能)をよく読んで行ってください。なお、新入生は「履修登録クイックナビ」も参照してください。
- ・Loyolaによる履修登録では、登録最終日の最終時刻までに登録を完了している必要があります(「履修登録・登録状況照会」画面にて、「登録完了」ボタンをクリックすることで完了します)。登録期間内にログインしていても、最終時刻までに「登録完了」ボタンをクリックしていないと履修登録が完了したことにはならないので、注意してください。登録最終日にパソコン、通信環境のトラブルで登録できなかった場合も、特例の措置はとりません。余裕をもって登録をおこなってください。
- ・履修登録の最終日は、大変混雑が予想されるため、できれば前日を目途に早めに登録を完了するよう心がけてください。期間中であれば、「登録完了」ボタンを押した後でも、繰り返し修正(追加・削除)することが可能です。ただし、当選した抽選科目および先着申込で登録した科目は修正・削除できません。
- ・履修登録完了後は、登録されている科目に誤りがないかを期間中に必ず確認してください。最終時刻までの間に、「登録完了」ボタンを押した最後の状況が登録されます。
- ・最終段階の「履修登録・登録状況照会画面」をプリントアウトするか、もしくは画面のコピーのデータを保存しておくことを推奨します。その際は「登録完了」ボタンを押して、一旦ログアウトした後、再度ログインしたときのものでプリントアウトしてください。

■ 質問は窓口時間内に

履修登録についての質問がある場合は学事センター(教務)窓口で聞いてください。電話での履修相談や問合せは受け付けできません。

5. 国際教養学部開講科目の履修について

● 受講資格

以下のいずれかの条件を満たしている事。

	条件	証明書類
TOEFL	550 (Internet-basedは79) 点以上	公式スコア* テスト実施日より2年以内のもののみ有効
TOEFLのITP	550点以上	
TOEIC (IPも可)	730点以上	
IELTS	6.0以上	
実用英語検定	1級・準1級	合格証書または証明書*
上智大学協定校交換留学	英語圏・英語で教育を行っている大学	履修願に大学名を記入

*いずれもコピー可

● 必要書類

- ① 履修願 (所定用紙)
- ② 受講資格を証明できるもの (上記証明書類の欄を参照)

● 履修申込方法

- ① 履修登録期間までに、Loyola (教務) 掲示板から履修願・Course Scheduleをダウンロードし、履修計画を立てます。履修希望科目選択にあたっては、Loyola上のシラバスを確認して下さい。
*なお、以下の科目は国際教養学部正規生のための必修科目のため、他学部生は履修できません。

ENG001 BASIC SKILLS (WRITING) ENG002 BASIC SKILLS (READING)
ENG111 ENGLISH COMPOSITION 1 ENG112 ENGLISH COMPOSITION 2
ENG115 PUBLIC SPEAKING THP101 THINKING PROCESS

- *また、一部の科目は前提履修を必要としている為、履修を希望する場合は「FLA Bulletin」及びシラバスを参照すること。
- ② 履修願に必要事項を記入し、履修登録期間・履修登録修正期間内に学事センター (教務) 窓口へ提出してください。Loyola上では履修登録はできません。(登録日程の詳細についてはLoyolaの学事センター (教務) 掲示板で確認すること)。以下の点に特に注意してください。
*一度提出した履修願は取り下げることができないので、十分注意すること。履修願を提出した科目を取りやめた場合は所定の期間に履修中止申請を行うこと。
- ③ 国際教養学部開講の抽選科目は国際教養学部生の優先科目です。他学部生の履修に関しては、定員に満たなかった科目のみ履修登録が可能です。定員に達し、登録が出来ない場合、対象の学生に個別にご連絡します。

なお、履修登録にあたっては、Loyolaで登録した科目が優先的に登録されます。従って、Loyolaで履修登録した科目と、国際教養学部の科目で履修手続を行った科目が曜日時限の重複をしていたり、国際教養学部の科目を履修登録した場合に年間の最高履修限度を超えてしまう場合には、申請した科目は登録されないで十分注意すること。

● サマーセッション

国際教養学部開講のサマーセッション科目を履修することができます。登録期間は2015年6月15日 (月)～19日 (金)です。サマーセッション科目は学期および年間の最高履修限度には含まれません。登録方法やプログラムの詳細については6月初旬に、Loyola学事センター (教務) 掲示板でお知らせします。

なお、サマーセッション科目の履修には、別途授業料がかかります。

6. 履修中止

● 履修中止とは

授業に出席してみたものの、①授業の内容が自分の勉強したいものと違って、②授業のスピードについていけないだけの知識が不足していることに気がついた、③自分の履修計画を見直した結果、履修科目を減らしたい、という場合、定められた期間内に履修中止の手続きをすることができます。

履修中止の手続きは2種類あり、①Loyolaで行うものと、②学事センター（教務）窓口で「履修中止願」（紙）を提出するものがあります。

● 履修中止申請期間について

2015年度の履修中止申請期間は下記のとおりです。

行事	期間	結果確認期間	対象科目
春学期履修中止	6月6日（土）10：00 ～6月11日（木）21：00まで	6月13日（土）10：00～	通年科目・春学期科目（必修科目を除く）
秋学期履修中止	12月7日（月）10：00 ～12月11日（金）21：00まで	12月15日（火）10：00～	通年科目・秋学期科目（必修科目を除く）

*Loyola（Web）画面から、各自確認してください。「入力したつもり」であっても画面に反映されていない場合は無効です。

*必ず操作終了後、再度ログインしなおしたうえで、履修中止一覧に表示されているか、確認してください。

*コンピュータの不具合や通信環境のトラブルによって履修中止申請最終日に操作ができなかった場合、特例の措置はとりません。

*余裕をもって、できる限り締切り前日までに申請を済ませ、履修中止期間中に再確認が行えるようにしてください。

● 履修中止申請の注意点

■ 履修中止できない科目

- ① 必修科目（全学共通科目、学科科目を問わず）
- ② 語学科目（例外についてはP.34「履修中止願」による申請を参照してください）
- ③ 教育実習 ・ 博物館実習
- ④ 履修中止申請期間より前に授業が終了する科目

ただし、学科によっては必修科目以外でも履修中止できない科目や、履修中止ができる必修科目がある場合があります。各学科とも「履修上の注意」で確認してください。

■ 4年次生は履修登録単位の合計が卒業に必要な単位数、要件を満たしているか、十分に確認してください。

■ 履修中止期間外の履修中止および履修中止の取消はできません

履修中止期間内であれば、Loyola上で履修中止の取消は可能ですが、期間終了後の取消や新たな科目の履修中止は一切認められません。履修中止を行いたい科目がある場合は期間内に余裕をもって行ってください。ただし、履修中止した科目を翌年度以降再度登録することは可能です。

■ 抽選科目でも履修中止することができます

抽選科目に当選したが、履修中止をしたい場合はLoyolaで履修中止をすることができます。（必修科目等の履修中止ができない科目もあります。）

■ 最高履修限度に含まれます

履修中止した科目の単位数分も学期および年間の最高履修限度に含まれます。

秋学期の履修登録の際には、その分も含めて最高履修限度内で履修計画を立てるようにしてください。

■ 履修中止の確認を行う

履修中止期間終了後の取消や新たな科目の履修中止は一切認められません。申請ミスを防ぐために、履修中止手続

完了後、必ず再度Loyolaにログインし、履修中止手続ができていることを確認するようにしてください。画面のコピーをとっておくことを推奨します。

● 「履修中止願」による申請

2015年度の「履修中止願」の配布・受付期間は下記のとおりです。

行事	期間	結果確認期間	対象科目
春学期「履修中止願」の配布・受付期間	6月8日（月）9：30 ～6月11日（木）17：00まで	6月13日（土）10：00～	通年科目・春学期科目 (必修科目を除く)
秋学期「履修中止願」の配布・受付期間	12月7日（月）9：30 ～12月11日（金）17：00まで	12月15日（火）10：00～	通年科目・秋学期科目 (必修科目を除く)

「履修中止願」の申請結果が確認期間になっても反映されない場合は、至急学事センター（教務）窓口まで来てください。

※窓口受付は平日のみ、11：30～12：30を除く。

※看護学科2・3・4年次生は、目白聖母キャンパス事務センターに提出できます。

■ 履修中止願の提出をもってのみ中止が認められる科目

学科科目

神学部：「卒業論文Ⅰ・Ⅱ」

文学部：哲学科「卒業論文指導」・「卒業論文」/史学科、国文学科、フランス文学科「卒業論文Ⅰ・Ⅱ」/フランス文学科「卒業論文演習A・B」/英文学科(15年次生)「RESEARCH PROJECT 1・2」/英文学科(14年次生)、ドイツ文学科「卒業論文1・2」/新聞学科「卒業論文a, b」

総合人間科学部：教育学科「卒業論文Ⅰ・Ⅱ」/心理学科「卒業研究A・B」/社会福祉学科「論文指導」・「レポート指導」

法学部：「演習(必修のみ)」

理工学部：電気・電子工学科「卒業研究及び講義Ⅰ・Ⅱ」

物質生命理工学科・機能創造理工学科・情報理工学科「卒業研究Ⅰ・Ⅱ」

* 上記の学科科目については学科長の承認が必要。学科長の押印がないものは、受付期間内であっても受理できません。

語学科目

①必修もしくは選択必修として履修する言語を変更する場合

②海外短期語学講座の単位付与にかかる確認書を提出済みで、その単位の修得をもって卒業に必要な単位に余剰が見込まれる場合

③TOEFL、編入学及び留学等における単位が認定済みであり、それによって必要単位数に余剰が出ている場合

※①②について、履修中止が認められた場合、次学期以降にその言語を必修もしくは選択必修として履修することはできません。

※③について、すでに申請が認められ、単位が認定済みの場合に限りです。これから申請予定及び申請中の場合は受け付けません。

7. 試験

● 試験の種類

春学期・秋学期それぞれの学期中および学期末に行われる試験については、その実施時期により以下の種類に分けられます。

試験種類	実施／提出日	日程等の揭示	追試験	備考
授業内試験	授業期間中(主に最終授業日等)に随時実施	各担当教員より授業内に個別に指示	対象外	語学科目は原則授業内試験となる。
定期試験(筆記試験)	定期試験期間中に実施	学事センターよりLoyolaにて揭示	対象	
レポート試験	学期末の指定された日迄に提出	(日程については下記参照)	—	Loyola揭示は一部の情報のみ。詳細は、各担当教員から授業内に個別に指示される場合あり。

● 定期試験(筆記試験)・レポート試験の日程等の揭示

上記のうち、「定期試験(筆記試験)」および「レポート試験」がある科目については、その詳細について下記の日程で学事センターよりLoyolaにて揭示します。

また、授業内試験等の科目については「その他」として揭示されます。

四谷キャンパス

	日程揭示／公開日	定期試験(筆記試験)期間
春学期	2015年7月9日(木)	2015年7月23日(木)～7月29日(水)
秋学期	2016年1月8日(金)	2016年1月25日(月)～2月1日(月)

※目白聖母キャンパスの定期試験期間については、「2015年度目白聖母キャンパス行事予定表」(p.62～65)にて確認してください。なお各科目の定期試験実施日・時限については、Loyolaにて揭示します。

● 定期試験(筆記試験)の心得

■ 受験上の注意

- ・Loyolaで試験教室を確認し、指定された試験教室で受験してください(授業実施教室と試験教室は異なる場合があります)。
- ・携帯電話(スマートフォン)・PHSなどの電源は切って、鞆の中にしまってください。また、時計の代わりに使用することも認められません。
- ・試験開始後、20分以上遅刻すると理由の如何にかかわらず受験できません。
交通遅延を含むいかなる理由があっても、所定の試験時間を延長することはありません。試験当日は早めに試験教室へ到着するよう心がけましょう。
- ・途中退場は試験開始30分後から試験終了10分前までとし、それ以外の試験時間中は退場できません。
- ・答案用紙を提出しないと退場できません。
- ・試験監督の指示に従わない場合や私語・態度の不正を注意しても改めない場合、当該学生の試験は無効になります。

■ 持参するもの

- ① 学生証：必ず机上に置くこと。学生証を所持しない学生はいかなる理由があっても受験できません。
※学生証を忘れた場合は、2号館3階の証明書自動発行機にて「臨時学生証」(有料：500円、当日のみ有効)を発行してください。ただし、試験開始後20分までに「臨時学生証」を持って試験教室に入場できない場合は、他の遅刻者と同様、定期試験の受験ができません。
- ② 筆記用具
- ③ 下敷き：使用希望者のみ。白かそれに近い色に限ります。ノート・書籍などを下敷き代わりにすることはできません。

■ 答案について

- ・ 答案は、原則として1枚のみ配布します。配布の答案以外の用紙での提出は、無効になります。
- ・ 書き損じのため新たな用紙を再配布された場合、書き損じの分は回収されます。
- ・ 学生番号・氏名は、必ずボールペンもしくはサインペンで記入してください。未記入の答案は無効になります。

● 定期試験での不正行為の禁止

絶対に不正行為を行ってはいけません。本学では、不正行為に対して厳格な対応を行います。なお授業期間内に随時行われる授業内試験において不正行為を行った場合も、定期試験と同様に厳しく処分されます。試験においては常に誠実な受験態度で臨んでください。

【筆記試験における不正行為の例】

- ・ 持込みが許されていないものを持ち込んで使用すること（カンニング・ペーパーなど）
- ・ 答案を他の学生とすりかえたり、事前に行った答案を持ち込む行為
- ・ 身代わりに受験をしたり、受験をさせる行為
- ・ 携帯通信端末の使用（時計としての使用も含む）
- ・ 試験の公正な実施を妨げる行為

定期試験期間中の筆記試験において不正行為があった場合、以下の処分が厳しく下されます。

- ① 不正行為の状況により、退学、停学あるいは訓告の処分がなされます。
- ② 不正行為をおこなった科目の成績は「不合格 (F)」となります。加えて、当該定期試験期間中に行われたその他すべての筆記試験科目の成績も「不合格 (F)」となります。
- ③ 該当学生が不正行為をしたことについて、学内に掲示します。

【停学になった場合】

- ・ 停学期間は修業年限に算入されません。したがって、4年間（標準修業年限内）で卒業することはできません。
- ・ 奨学金の採用が取り消しになります。また、交換留学、海外短期語学講座・研修等、大学で主催するプログラムの学内選考合格が取り消しになることがあります。

筆記試験において不正行為を行うことは、1科目の成績にとどまらず、あなた自身にとっての大きな不利益をもたらすことになります。安易な気持ちや一時の気の迷いから不正行為をすることの絶対がないよう注意してください。また、試験前に、持込みの可否、持込みが許されているものの内容についてLoyolaにて充分確認してください。

● 公共交通機関運行停止時の取扱い

共通事項の「公共交通機関運行停止時の取扱いについて」(p.19)を参照してください。

● 追試験について

下記の事由により、定期試験を受験できなかった学生は、『追試験願』（所定用紙）を提出することによって追試験受験を認められることがあります。追試験を受験するには、所定の期間内に申請し許可を得るとともに追試験料を納める必要があります。

なお、授業内（定期試験期間外）に試験を実施した科目は追試験を申請することができません。

① 追試験願を提出する事由

原則として、『病気』、『三親等以内の忌引き』、『災害』、『交通機関の遅延』、『裁判員制度での選任』とします。申請時には試験当日に当該試験を受験できなかったことが証明できる以下の書類を添付し、定められた期日内に手続きを完了させなければなりません。

② 各事由の証明書および手続きについて

追試験願の提出にあたり、事由毎に必要な証明書（以下参照）とLoyolaの定期試験科目照会画面のプリントアウトを必ず持参してください。

1『病気』の場合	医師が発行した診断書または感染症治療後登校許可証明書（本学所定様式） ※領収書は不可
----------	--

診断書は、以下のすべての内容が記載されていることが必要である。

- a) 病名または病状と診察内容、試験当日に試験を受験できる状態になかったことが記載されていること。
 - b) 受験できなかった試験日が受診日または療養期間として明記されていること。
- ※ 数日にわたって試験を欠席した場合、該当期間が受診日または療養期間として明記されていることが必要。上記a)b)の内容が記載されていない場合、書類記載内容不備により、追試験申請ができないので注意すること。

※ なお、感染症の罹患による追試験申請についても、追試験申請期間中の申請が必要となるので、申請期間中に登校できない場合は、期間終了前に学事センターまで問い合わせること。

2『三親等以内の忌引き』の場合	会葬御礼のはがき等
-----------------	-----------

試験が受験できなかった日付が記載されていること。

※ 移動日は追試験対象とはならないので注意すること。

3『交通機関の遅延』の場合	各交通機関が発行した遅延証明書（乗車日付が当日のもの、および遅延時間が記載されたもの）インターネット上の遅延証明書を印刷したものでも可。
---------------	--

交通機関が20分以上遅延し、試験会場への到着が試験開始定刻から20分を超えたことにより、定期試験を受験できなかった場合、追試験を申請することができる。ただし、交通機関の遅延当日のみ申請が可能。

※ 試験翌日以降に申し出ても、追試験の申請はできないので注意すること。

注意

遠距離通学や交通機関のストップ等やむを得ない事情で遅延当日に学校に来ることができない場合のみ、当日17:00まで（5・6限の試験は当該の試験時間が終わるまで）に学事センター追試験担当まで電話連絡（TEL03-3238-3515）し「仮申請」を行うこと。上記の期間内に「仮申請」を行わなかった場合および「仮申請」の後、所定の期限までに追試験申請を行わなかった場合は、いかなる理由があっても当該遅延による追試験申請はできない。

- ※ 学生本人自宅から大学へ通常使用している路線の遅延に限る（自宅外からは申請不可）。申請の際に、学生証裏面の「通学証明書シール」記載の住所を学事センターにて確認の上、申請を受け付ける。
- ※ 遅れた時間以上の遅延証明（例えば、試験開始から30分遅れた場合は、30分以上の遅延証明）でなければ認められない。初めから遅刻入室を想定して登校した場合、追試験の申請は不可。
- ※ 交通遅延が事由の場合、代理申請は不可。

<<交通遅延により試験開始時刻に間に合わなかった場合、遅延の時間により以下の対応を行うこと>>

- ◎ **試験開始後20分以内に到着した場合**
20分までの遅刻ならば受験可能なため、速やかに試験会場に向かうこと。そのまま受験をする。
- ◎ **試験開始後20分を超えて到着した場合**
遅延証明書を持って、速やかに2号館1階の学事センター（教務）窓口に来ること。到着時間等を確認し、遅延証明書を提出の上、追試験申請をすることができる。
★判断に迷う場合は、まず試験教室に行き、試験監督の指示に従うこと。
※目白聖母キャンパス開講科目については、目白聖母キャンパス事務センター窓口に来ること。

その他、『災害』、『裁判員制度での選任』の場合は、学事センター追試験担当宛に問い合わせをしてください。手続き等の詳細の指示を行います。

- ③ 追試験料
1科目あたり2,000円

④ 追試験関連スケジュール（四谷キャンパス・目安） ※詳細はLoyola-学事センター（教務）掲示板を確認すること。

	2015年度春学期	2015年度秋学期
追試験申請期間 (追試験願提出期間)	春学期定期試験期間中（7月下旬）	秋学期定期試験期間中（1月下旬～2月初旬）
追試験料納入期間	7月下旬～8月初旬	1月下旬～2月初旬
追試験日程揭示（Loyola）	8月下旬	2月中旬
追試験日	8月下旬～9月初旬 ※追試験日を選択することはできません。	2月中旬～2月下旬 ※追試験日を選択することはできません。

目白聖母キャンパスでの追試験関連スケジュールは、Loyolaの学事センター（教務）掲示板を確認してください。具体的な追試験申請期間および注意事項等は定期試験前にLoyolaの学事センター（教務）掲示板に掲示します。この掲示板を見なかったために生じる不利益は学生本人の責任となります。

● レポート試験での不正行為の禁止

レポート試験においても、不正行為・不適切行為を絶対に行ってはけません。本学ではこれらの不正行為・不適切行為を以下のようにとらえ、厳格な対応を行います。

〔レポート試験における不正行為の例〕

- ・書籍や各種資料、インターネットのWeb情報などを、引用先を明記しないまま、自分が考え書いたかのような文章として用いること
- ・当該科目あるいは過去の類似科目などで、先輩や友人・知人など他人が書いたレポートを、自分が書いたものとして提出すること

〔レポート試験における不適切行為の例〕

- ・自分が書いたレポートではあるが、他の科目で書いたレポート内容と同じものを使いまわす形で違う科目に提出すること

レポート試験におけるこれらの行為が判明した場合、当該科目が「不合格 (F)」になるだけでなく、定期試験と同様に処分の対象とすることがあります。(定期試験における不正行為の処分についてはp.36参照)

レポート試験における不正行為・不適切行為は、あなた自身の事前の注意深い態度によって十分に防ぐことが可能です。下記の「試験やレポート・論文作成に臨むにあたって」を熟読し、「アカデミック・オネスティ (学問的誠実性)」の遵守を心がけて、そのようなことのないように注意してください。

● 試験やレポート・論文作成に臨むにあたって

◆ 「アカデミック・オネスティ (学問的誠実性)」の涵養と遵守

上智大学は、その校名Sophiaが意味するように、叡智を究極のものとして尊重します。そのため、以下の (1) (2) にしめされるような「アカデミック・オネスティ (academic honesty/学問的誠実性)」の態度の涵養を、皆さんに求めていると考えます。それは、Men and Women for Others, with Others の考え方にに基づき、他者の尊重・他者との協調を重視する本学の取り組みの方向とも関連するものであります。

- (1) 先人や同時代人の研究・情報源に敬意をはらって学習しつつ、自ら新たに深めていく。
- (2) 継続的な努力をつづけることで、自らの基本的な学力の向上に努める。

学問的にオリジナルであろうとするあまり、守るべき研究上のルールが守られないこと (データの偽装や捏造など)、また、他者の研究成果を自らのものであるかのように偽ったり、それに無自覚的であることなどは、共に「アカデミック・オネスティ」に反する態度であるといえます。

自らの学習の成果を確認する場面である定期試験 (筆記試験やレポート試験) においても、日ごろの学習と変わらぬ「アカデミック・オネスティ」の態度の遵守が求められます。したがって、カンニングやレポートの盗用など、不正行為は強く戒められるものとなります。上智大学の学生らしい知を愛する姿勢を、皆さんが様々な場面で尊重し、涵養していくことを望みます。

◆レポートや論文作成の上で守るべき引用の方法について

各授業科目での成績評価方法の一つとして、レポートや論文の提出を求められることがあります。その作成において、最終的には自身による分析や考えを述べる必要があります。内容がひとりよがりにならないためには、過去や現在において行われている様々な研究成果に学び、それを活用して、その上に研究を積み上げていくことが大事になってきます。レポートや論文の作成に際しては、以下の点を守る必要があります。

- ①レポートや論文で論ずる考え方や発想、図表などが、何らかの文献や資料、Webサイトにのっている場合には、どの文献や資料、Webサイトのどの箇所にのっているかを明らかにしなければなりません。
- ②文献や資料、Webサイトから直接引用する場合には、それが引用であることを「 」などで明示し、どの文献や資料のどの箇所から引用したかを明らかにしなければなりません。
- ③言うまでもなく、レポート・論文は自らが書いたものであり、友人・先輩・家族・知人などが書いたものを自分が書いたかのように提出することは許されません。

もし、あなた自身が書いた文章や論文が遠くの身知らぬ人に、あるいは身近で知っている人に、何の許しも相談もなく勝手に「自分が書いたものだ」として使われたら、あなたはと思うでしょうか。引用や参照は著作者の権利保護と共に、学習や研究をする者同士のマナーとして考える必要があります。

上記①②の処理を怠って、引用であることを示さないまま、あるいはアイデアを負っている文献や資料を示さないまま、内容を引き写したり記述を進めたりすることは盗用や剽窃（ひょうせつ）と見なされます。海外では、「プレジャリズム(plagiarism)」とも称され、文献やWebサイトからの安易な切り貼りとして強く非難されています。また、他人の書いたものの提出である③が、虚偽行為にあたることは言うまでもありません。盗用や他人が書いたものの提出が明らかになった場合は、筆記試験での不正行為（カンニング）と同様に厳しい処分と嚴重注意の対象となります。したがって、引用や参照にあたっては次の2つの重要なルールについて充分に注意を払い、守ってください。

- ▼ (1) 書籍やWebサイトからの引用や参照にあたっては、レポートや論文において、注記をつけて、資料の出所を明らかにします。引用の記載方法などは、学問分野ごとに多少の相違があるので、詳細は各教員に確認してください。以下のような内容を含んでいることが一般的です。

- ◇書籍からの引用例：著者名『書名』出版社名、刊行年、引用頁
- ◇学術誌の論文等の引用例：著者名「論文名」『所収雑誌名』○巻△号、刊行年、引用頁
- ◇Webサイトからの引用例： 作成者名「サイト名や記事名」〈URL <http://www.〇〇〇.△△△>〉
閲覧日-20XX年11月1日（または最終更新日-20XX年6月30日）

- ▼ (2) 必要があり、他人の文章を自分のレポートや論文に直接取り込んで引用する場合は、その部分に「 」をつけ、直接引用した部分と自分が書いている地の文との違いを明瞭にする必要があります。

◇直接引用する箇所の例：

“著者の上智太郎はこの点について、「大学の存在というものは3つの観点から・・・ととらえる必要がある」と述べている（上智太郎，20XX，p.215）。”

高校段階までなら文献・資料やWebサイトを調べ並べるだけで評価されることもあったでしょうが、大学では誰のどの研究成果なのかを明らかにし、その上で自分の議論・分析を組み立てていくことが大事になります。レポート・論文の執筆と提出に際しては、上記に記載したように、引用先や参照先の明記ならびに引用文と自分の地の文の明瞭な区別を行って、「アカデミック・オネスティ（学問的誠実性）」を遵守する態度で臨むことを強く求めます。

8. 学力の評価・成績

● 評価基準

学力の評価は、担当教員の授業方針・評価方針によって、試験（筆記・口頭・実技など）、レポート、授業参加の状況その他に基づいて行われます。

成績評価と判定基準は次のとおりです。

		評価	評点	QPI	内 容
判 定	合 格	A	100～90点	4.0	特に優れた成績を示したもの
		B	89～80点	3.0	優れた成績を示したもの
		C	79～70点	2.0	妥当と認められる成績を示したもの
		D	69～60点	1.0	合格と認められるための最低限度の成績を示したもの
		P	——	—	合格と認められる成績を示したもの
定	不 合 格	F	59点以下	0	合格を「A」「B」「C」「D」とする科目において、合格と認められるに足る成績を示さなかったもの
		X	——	—	合格を「P」とする科目において、合格と認められるに足る成績を示さなかったもの
無 判 定	履 修 中 止	W	——	—	所定の期日までに履修中止の手続きをしたもの
	認 定 科 目	N	——	—	修得単位として認定されたもの

● G. P. A. (Grade Point Average)

各評価のQuality Point Index (=QPI: 上表参照) と呼ばれる値に各科目の単位数をかけたものがQuality Pointとなり、Quality Pointの総合計を履修登録科目の総単位数 (W, N, P, Xとして表示された科目を除く) で割ったものがGPAとなります。W (履修中止), N (認定科目), P (合格), X (不合格) は計算式に含まれません。

【GPAの計算式】

$$\frac{4.0 \times A \text{の修得単位数} + 3.0 \times B \text{の修得単位数} + 2.0 \times C \text{の修得単位数} + 1.0 \times D \text{の修得単位数}}{\text{履修登録科目の総単位数 (W, N, P, Xとして表示された科目を除く)}}$$

● 成績の公開スケジュール

2015年度の成績公開スケジュールは以下のとおりです。

対象科目	学年	公開期間	公開方法
春学期科目を含めた累計の成績	4年次生	8月26日 (水) ～	Loyolaの「成績－履修成績照会」
	3年次生	9月11日 (金) ～	
	2年次生	9月12日 (土) ～	
	1年次生	9月13日 (日) ～	
秋学期科目を含めた累計の成績	4年次生	2月25日 (木) ～	
	3年次生	3月16日 (水) ～	
	2年次生	3月17日 (木) ～	
	1年次生	3月18日 (金) ～	

● 成績評価確認願について

成績評価について疑問のある場合は、「成績評価確認願」を学事センター（教務）窓口で受取り、下記の提出締切日までに提出してください。期日を過ぎた場合の願い出は一切受け付けられません。

なお、4年次生については、各学期、別途受付期間を設けます。本人の申請のみ受け付けますので、日程についてはp.10～の行事日程表やLoyola（教務）掲示板で確認してください。

対象科目	提出締切
2015年度春学期科目	語学科目のみ：2015年 9月22日（火）17：00まで※ 語学科目以外：2015年 9月25日（金）17：00まで※
2015年度通年科目・秋学期科目	2016年 3月31日（木）17:00まで

※ここで述べる語学科目とは、言語教育研究センター開講の科目を指す。

提出にあたっては、該当科目に自分が臨んだ状況を充分吟味し、A～Fの成績評価基準を理解したうえで、学事センターで配布される記入上の注意をよく読み提出して下さい。

なお、以下のような理由による成績評価確認願の提出は受け付けることができません。

- ①単に再評価・再検討を願うもの。
- ②担当教員に情状を求めること。（卒業や教職員免許等の取得に関わる、等）
- ③他の学生との対比上の不満を訴えるもの。（友人はB評価だが、なぜ自分はC評価になったのか等）
- ④評価に疑問がなく、その評価になった理由のみを問い合わせるもの。（先生からの講評、解説がほしい、試験等の点数の開示を求めるもの等）
- ⑤「出席はしました」「試験は受けました」等具体的な内容の記載がないもの。

● 単位修得不足者の扱い

連続する2か年（注）において、学部学科が指定する科目を含む**合計32単位**以上修得できない者は退学となります。詳細は、p.590の学則第40条第1項運用細則を参照のこと。

（注）連続する2か年について

神学部、文学部、総合人間科学部、法学部、経済学部、外国語学部、総合グローバル学部、理工学部（英語コース除く）	国際教養学部、理工学部英語コース																								
在学した連続2か年度をいう。ただし、休学した学生については、休学期間を含む年度は含めず、前後の年度とする。	休学した期間を除く連続した4学期とする。																								
（例）前年度の春学期を休学した場合 <table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">春学期</td> <td style="text-align: center;">秋学期</td> </tr> <tr> <td>● 前々年度</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">在学</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">在学</td> </tr> <tr> <td>前年度</td> <td style="background-color: #cccccc; border: 1px solid black; text-align: center;">休学</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">在学</td> </tr> <tr> <td>● 今年度</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">在学</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">在学</td> </tr> </table>		春学期	秋学期	● 前々年度	在学	在学	前年度	休学	在学	● 今年度	在学	在学	（例）前年度の春学期を休学した場合 <table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">春学期</td> <td style="text-align: center;">秋学期</td> </tr> <tr> <td>前々年度</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">在学</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">●在学</td> </tr> <tr> <td>前年度</td> <td style="background-color: #cccccc; border: 1px solid black; text-align: center;">休学</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">●在学</td> </tr> <tr> <td>今年度</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">●在学</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">●在学</td> </tr> </table>		春学期	秋学期	前々年度	在学	●在学	前年度	休学	●在学	今年度	●在学	●在学
	春学期	秋学期																							
● 前々年度	在学	在学																							
前年度	休学	在学																							
● 今年度	在学	在学																							
	春学期	秋学期																							
前々年度	在学	●在学																							
前年度	休学	●在学																							
今年度	●在学	●在学																							
※●印のついた年度が連続する2か年に該当する。	※●印のついた4学期が連続する2か年に該当する。																								

単位の計算にあたり、以下の点に注意すること。

- ・ 単位の計算は、連続する2か年の修得単位を合算することによって算出される。神学部、文学部、総合人間科学部、法学部、経済学部、外国語学部、総合グローバル学部、理工学部（英語コース除く）の学生は、休学を含む年度に修得した単位は含まない。
- ・ 再入学、学士入学をした者については、再入学、学士入学後の在学年数及び修得単位数を計算する。
- ・ 編入学をした者については、編入学による認定年数を含めた在学年数及び編入学による認定単位を修得単位数を計算する。
- ・ 留学期間が1年を超える場合、超える期間は休学として扱う。
- ・ 連続する2か年に許可を受けた留学等による各種認定単位数は修得単位に含める。

9. 卒業要件と自己判定

● 卒業要件について

本学に入学した学生が卒業し、学位を取得するためには以下の2つの条件を満たすことが必要です。いずれかの条件を満たせない場合は、卒業できず在学継続（留年）となります。

- 1：修業年限を満たすこと。
(原則としては4年です。ただし、編入学・再入学・学士入学の場合は修業年限が異なることがあります。)
- 2：卒業に必要な所定の授業科目および必要単位数を修得すること。
(卒業に必要な所定の授業科目および必要単位数は所属の学科および入学年次等によって異なります。)

● 卒業必要単位の確認は自分自身で行ってください

① 上記の卒業要件を満たすための科目履修の計画を立てること ②卒業要件を満たしているかを確認すること
以上の事柄は、学生個人の責任で行われるべきものです。

学事センターでは履修に関する相談は行っていますが、卒業の可否についての照会や、一人ひとりの単位の確認および計算は行っていません。卒業の可否についての最終確認は、必ず各自の責任において行ってください。

● 卒業必要単位の確認方法について

①履修要覧による確認

卒業に必要な科目および単位数については、所属の学科および入学年次等によって異なります。

まずは、履修要覧の自分の学科および年次の「卒業に要する科目、単位数の最低基準」「標準配当表」「履修上の注意」を熟読したうえで、単位を修得した科目について、卒業必要単位数のどの区分の単位にあたるかを1つずつ確認してください。

②Loyola『自己判定機能』による確認

上記の①履修要覧による確認とあわせて、Loyolaで公開している「自己判定機能」を使った確認もあわせて行いましょう。「自己判定機能」については下記を参照してください。

■自己判定機能とは

Loyola上で、履修中単位数と修得済単位数を合計した累計単位数から不足単位数を算出し、卒業必要科目および単位数の修得状況について各区分ごとに参照することができます。

この機能は卒業に必要な単位数の確認を学生自身がスムーズに行えるよう公開しています。あくまでもシステム上で単位計算を行った結果を示しているもので、卒業を保証するものではありません。

■自己判定機能でうまく反映されないケースがあります

学科によってはカリキュラムが複雑なため、正しく計算・表示されないケースがあります。詳細についてはLoyola（教務）掲示板に「自己判定画面における注意点」として掲載されていますので、必ず確認するようにしてください。

■自己判定機能の公開期間について

自己判定機能はいつでも使用できるわけではなく、公開期間が決まっています。2015年度の公開期間スケジュールについてはLoyola（教務）掲示板で確認してください。

10. 単位換算・単位認定

● 単位換算・単位認定とは

本学入学前に他の大学・短期大学等で修得した単位、もしくは入学に海外の大学等へ留学し修得した単位を本学の修得単位に相当するものとして認定を受けることができます。

なお、単位認定の種類によって条件や認定の上限単位数などが異なります。単位認定を希望する場合は、詳細についてよく確認してから申請してください。

単位認定は、複数の部署や学科等を回覧し決裁されるため、受付後認定の結果が出るまで約1ヶ月かかります。科目の認定状況によって、その後の履修計画も変わってきますので余裕をもって申請しましょう。

なお、留学の単位換算に関しては、「留学期間中に修得した単位の換算および認定に関する取扱要領」(p.583～)も参照してください。

● 単位換算・単位認定された科目の成績について

単位換算および単位認定により認められた単位については、「N(認定)」という成績で表記されます。

また、必修科目を除き、基本的にはそれぞれの科目名ではなく科目の区分(選択必修、選択、〇〇群等)単位でまとめて表記されます。

「N(認定)」で表記されている成績については、履修登録の際の各学期および年間の「最高履修限度」の単位数には含まれません。また、GPAの計算にも含まれません。

● 単位換算・単位認定の取り扱い期間について

単位換算の申請書類の提出時期によって、「春学期」および「秋学期」のいずれの学期での「N」(認定)扱いとなるかが異なります。

2015年2月2日(月)～2015年7月31日(金)学事センター受付分→「2015年度春学期」の単位として認定

2015年8月3日(月)～2016年1月29日(金)学事センター受付分→「2015年度秋学期」の単位として認定

● 入学前既修得単位認定について

本学に1年次生として入学した学生(または再入学、学士入学した学生)が、入学以前に他の大学・短期大学・高等専門学校もしくは上智社会福祉専門学校において修得した単位を、30単位を上限として本学の修得単位に相当するものとして認定を受けることができます(入学後3ヶ月以内)。ただし、過去に本学で認定した既修得単位は対象外となります。詳細については、学事センター(教務)窓口にお問い合わせください。また、「入学前既修得単位認定に関する細則」(p.582)も参照してください。

● 編入学者の単位認定について

編入学者は、卒業までに修得することが定められている科目のうち、他大学等で既に修得した単位を本学の修得単位に相当するものとして認定を受けることができます。

■ 認定できる単位の上限

① 全学共通科目および語学科目、学科科目のそれぞれにつき、各学科で定める卒業に必要な単位数を超えないものとする。

② 認定できる総単位数の上限は、各学科で定める卒業に必要な単位数の2分の1までの範囲内で学科が定める。

あわせて、「編入学者の単位認定に関する細則」(p.581)も参照してください。

● 教員免許取得のための単位認定について

本学の修得単位として認定された単位のうち、教員免許取得のための単位として認定できる場合がありますので、単位認定を希望する場合は、課程センターにお問い合わせください。

● 大学院入学前科目履修制度について

成績優秀な学部生は、審査を経て、大学4年次に大学院各研究科があらかじめ指定した科目を履修することができます。本学の大学院進学後、定められた上限単位数の範囲内で入学前単位として認定されます。

※大学院入学前科目履修制度で履修した科目は、卒業に必要な単位としては認められません。

大学院入学前科目履修制度を実施している研究科・専攻は次のとおりです。

入学前科目履修の詳細については、各研究科あるいは各専攻事務室にお問い合わせください。

- ・ 神学研究科
- ・ 文学研究科フランス文学専攻
- ・ 総合人間科学研究科社会福祉学専攻
- ・ 経済学研究科
- ・ 地球環境学研究科
- ・ 理工学研究科

詳細については「学部生の大学院入学前科目履修に関する細則」(p.589)も参照してください。

● 技能審査 (TOEFL・TOEFL ITP) による英語の単位認定について

TOEFLもしくはTOEFL ITPの試験において、ある一定基準以上のスコアを取得した場合、申請をすることで語学科目「英語」必修科目4単位分として認定を受けることができます。

スコアの基準値および申請方法等の詳細については、「語学科目」(p.142)および「技能審査による単位認定に関する細則」(p.585)を参照してください。

● 学生交流協定による単位認定について

在学中に本学と交流協定を締結している国内の他大学において修得した単位を本学の修得単位に相当するものとして認定することができます。

学生交流の形態は、「国内留學型」と「単位互換型」の2種類あります。

本学学生が交流先大学で修得した科目の単位は、「国内留學型」は30単位、「単位互換型」は10単位を上限として本学の修得単位として認定することができます。

学生交流協定の詳細については、学事センター（教務）窓口にお問い合わせください。あわせて「国内他大学との学生交流に関する細則」(p.588)も参照してください。

種類	交流先大学名	認定単位数の上限	交流の形態
国内留學型	清泉女学院大学 エリザベト音楽大学 長崎純心大学 藤女子大学	30単位	所属大学に学籍を置き(本学の学籍上の身分は「留學」)、交流期間中は受入大学で科目履修及び研究を行う。
単位互換型	東京純心女子大学 東京音楽大学 聖心女子大学	10単位	本学に籍を置き、当該大学における科目履修と並行して受入大学で科目履修及び研究を行う。

● 留学による単位換算について

在学中に交換留学（本学と交換留学協定を結んでいる海外の大学への留学）または一般留学（学位授与権があり、事前に学長が許可した大学）において修得した単位を、30単位を上限として本学の修得単位に相当するものとして換算することができます（帰国後3ヶ月以内）。

■ 単位換算の計算式

(1) アメリカ等大部分の大学

1回の授業時間(分換算) × 週の授業回数 × 科目の開講期間(週数) ÷ 上智大学の基準時間

(2) スペイン、ブラジル等一部の大学

1年間の総授業時間数 × 60(分換算) ÷ 上智大学の基準時間

上智大学の基準時間

科目種別	基準授業時間数
講義・演習	675分(1単位)
外国語・演習	1,350分(1単位)
実験・実習	2,025分(1単位)
体育実技	1,350分(1単位)

* 単位換算の計算式の根拠となるクラススケジュールがないと換算はできないので、注意してください。

※認定された単位「N」は、年間の最高履修限度には含まれません。またGPAの計算にも含まれません。

その他の詳細については、グローバル教育センター発行の『留学ハンドブック』を参照してください。

11. 海外短期語学講座・海外短期研修・実践型プログラム

● 海外短期語学講座による単位付与について

本学授業休業中に海外の本学協定校等にて実施される語学講座プログラムに参加し、合格した科目については、外国語科目の単位（2単位分）が付与されます。ただし、単位が付与される学期をもって卒業を希望する学生は、プログラムには参加可能ですが単位は付与されません。

語学講座の成績については「P（合格）」もしくは「X（不合格）」のいずれかとなります。「P」「X」で表記されている成績については、GPAの計算に含まれません。

また、当プログラムに関しては履修登録の際の各学期および年間の「最高履修限度」の単位数には含まれません。

語学講座のプログラム内容や詳細については、「語学科目」（p.134）、グローバル教育センター発行の『留学ハンドブック』および「海外短期語学講座に関する細則」（p.586）を参照してください。

● 海外短期研修による単位認定・単位付与について

本学授業休業中に海外の本学協定校等にて実施されるプログラムに参加し、外国語による授業で専門科目を学ぶもので、ある程度の語学力がある学生を対象としています。ただし、プログラムが実施される学期をもって卒業を希望する学生は、プログラムには参加可能ですが単位は付与されません。

海外短期研修には2種類あり、それぞれ成績の表記が異なります。

① 研修校で修得した単位を単位換算手続きによって認定するもの

→表記は「N（認定）」となります。

② 本学の開講科目として科目登録を行うもの（単位換算手続きは不要）

→表記は「P（合格）」もしくは「X（不合格）」となります。

「P」「X」「N」で表記されている成績については、GPAの計算に含まれません。

また、当プログラムに関しては履修登録の際の各学期および年間の「最高履修限度」の単位数には含まれません。

海外短期研修の種類や詳細については、p.48の一覧表、グローバル教育センター発行の『留学ハンドブック』および「海外短期研修に関する細則」（p.587）を参照してください。

● 実践型プログラムによる単位付与について

本学では、学期中・休業中に海外での現地研修を含むさまざまなプログラムを用意しています。

【夏期・春期休業中実践型プログラム】

本学授業休業中に海外での現地研修を含むプログラムに参加し、合格した科目については、全学共通科目の選択科目の単位が付与されます。ただし、単位が付与される学期をもって卒業を希望する学生は、プログラムには参加可能ですが単位は付与されません。

各プログラムの成績については「P（合格）」もしくは「X（不合格）」のいずれかとなります。「P」「X」で表記されている成績については、GPAの計算にも含まれません。

また、当プログラムに関しては履修登録の際の各学期および年間の「最高履修限度」の単位数には含まれません。

【国連ユースボランティア実習】

学内選抜と事前研修を経て、秋学期中に国連関係機関にて実践型実習を行うものです。派遣学期中は他の科目の履修はできません。事前事後の研修を受けた上で、実習終了後に「P（合格）」もしくは「X（不合格）」のいずれかの成績が付与されます。

実践型プログラムの詳細については、p.49の一覧表、全学共通科目の選択科目のページ、外国語学部のp.421を参照してください。

海外短期語学講座、海外短期研修、実践型プログラム全てにおいて、海外での現地研修を伴う科目であるので、実費負担がかかること、プログラム参加者が最少催行人数に満たない場合や、やむを得ない事情で現地プログラムが中止となり、プログラムそのものの開講中止や内容変更もありうるので、慎重に履修計画を立てる必要があります。

また、2015年度より本学と協定を結んだ国内の企業、国際機関の日本代表部で就業経験を行うインターンシップ（2～4年生対象）が単位付与されることとなりました。インターンシップ実施期間、派遣先企業・機関等詳細はインターンシップ科目のページ（p.112）もしくはグローバル教育センター（2号館B1F）にお問い合わせください。

インターンシップ科目の成績については「P（合格）」もしくは「X（不合格）」のいずれかとなります。「P」「X」で表記されている成績については、GPAの計算に含まれません。

また、インターンシップ科目に関しては履修登録の際の各学期および年間の「最高履修限度」の単位数には含まれません。

<海外短期研修一覧>

※下記内容は変更、中止される可能性があります。また下記以外にも、追加で新たに実施が決定されることもあります。最新の情報についてはグローバル教育センターに確認してください。

①本学の修得単位として認定するもの

大学名	講義での使用言語	実施国名	授業期間	付与単位数	対象学科	成績・単位の取り扱い
カリフォルニア大学ロサンゼルス校 (UCLA)	英語	アメリカ	夏期休業中	参加者の履修科目による	全学部生可	<ul style="list-style-type: none"> * 全学共通科目（選択科目）または学科科目として認定可。語学科目としての認定不可。 * 事前に所属学科長と面談・相談のうえ参加し、学生が帰国後単位換算願を提出する必要がある。 * 2015年度秋学期分単位として認定し、修了した者の成績は“N”（認定）となる。
アンジェ高等商業科学大学 (ESSCA)	英語	ハンガリー	春期休業中	参加者の履修科目による	全学部生可	<ul style="list-style-type: none"> * 全学共通科目（選択科目）または学科科目として認定可。語学科目としての認定不可。 * 事前に所属学科長と面談・相談のうえ参加し、学生が帰国後単位換算願を提出する必要がある。 * 2016年度春学期分単位として認定し、修了した者の成績は“N”（認定）となる。 * 本学の交換協定に基づき実施されるため、授業料は免除となる（航空運賃、宿舍費等は自己負担）。ただし国際教養学部生が単位認定された場合は認定単位数分の授業料が発生する。

②本学の開講科目として取り扱うもの

大学名	講義での使用言語	実施国名	授業期間	付与単位数	対象学科	成績・単位の取り扱い	開講学部・学科
カリフォルニア大学デービス校	英語	アメリカ	夏期休業中	2	理工学部のみ	<ul style="list-style-type: none"> * 理工共通科目 I 群の自由科目として算入可。ただし卒業に必要な単位には充当できない。 * 2015年度春学期分単位として付与され、修了した者の成績は“P”となる。 	理工学部共通 (p.540参照)
オックスフォード大学エクセターカレッジ	英語	イギリス	夏期休業中	2	全学部生可	<ul style="list-style-type: none"> * 全学共通科目（選択科目）または学科科目として算入可。語学科目としての算入不可。 * 2015年度春学期に単位が付与され、合格した者の成績は、“P”となる。 	外国語学部 (p.420参照)
ロンドン大学 SOAS	英語	イギリス	夏期休業中	4	全学部生可	<ul style="list-style-type: none"> * 全学共通科目（選択科目）または学科科目として算入可。語学科目としての算入不可。 * 2015年度春学期に単位が付与され、合格した者の成績は、“P”となる。 	外国語学部 (p.420参照)
トリア大学	ドイツ語	ドイツ	夏期休業中	2	ドイツ語学科のみ	<ul style="list-style-type: none"> * 外国語学部ドイツ語学科選択科目「ドイツ語Ⅲ」として算入可。 * 2015年度春学期に単位が付与され、合格した者の成績は、“P”となる。 * 問合せ先：ドイツ語学科事務室 	外国語学部 (p.420参照)
教皇立ハベリアナ大学	イスパニア語	コロンビア	夏期休業中	2	イスパニア語学科のみ	<ul style="list-style-type: none"> * 学科科目として算入可。ただし、専攻外国語としてのイスパニア語科目として算入する場合は学科の指導に従うこと。 * 2015年度春学期に単位が付与され、合格した者の成績は、“P”となる。 	外国語学部 (p.420参照)
ジョージ・ワシントン大学	英語	アメリカ	夏期休業中	2	全学部生可 (ただし、定員を超えた場合は法学部生優先)	<ul style="list-style-type: none"> * 法学部生は学科科目として算入可。 * 法学部生以外は全学共通科目（選択科目）または学科科目として算入可。 * 語学科目としては算入不可。 * 2015年度春学期に単位が付与され、合格した者の成績は、“P”となる。 	法学部 (p.368, 378, 387参照)
ノースカロライナ大学シャーロット校	英語	アメリカ	春期休業中	2	理工学部のみ	<ul style="list-style-type: none"> * 理工共通科目 I 群の自由科目として認定可。ただし卒業に必要な単位には充当できない。 * 2015年度秋学期分単位として付与され、修了した者の成績は“P”となる。 	理工学部共通 (p.540参照)
パリ政治学院	英語	フランス	春期休業中	4	全学部生可	<ul style="list-style-type: none"> * 全学共通科目（選択科目）または学科科目として算入可。語学科目としての算入不可。 * 2015年度秋学期に単位が付与され、合格した者の成績は、“P”となる。 	外国語学部 (p.420参照)
西オーストラリア大学	英語	オーストラリア	春期休業中	4	全学部生可 (ただし、定員を超えた場合は法学部生優先)	<ul style="list-style-type: none"> * 法学部生は学科科目として算入可。 * 法学部生以外は全学共通科目（選択科目）または学科科目として算入可。 * 語学科目としては算入不可。 * 2015年度秋学期に単位が付与され、合格した者の成績は、“P”となる。 	法学部 (p.368, 378, 387参照)

<実践型プログラム一覧>

※下記内容は変更、中止される可能性があります。最新の情報についてはそれぞれの問い合わせ先に確認してください。

プログラム名	授業期間	付与単位数	成績・単位の取り扱い	プログラム概要	問い合わせ先
AJCU-AP サービスマーケティング・ プログラム	夏期 休業中	2	* 全学共通科目（選択科目）としてのみ認定可。 * 2015年度春学期分単位として認定し、合格した者の成績は“P”（合格）となる。	イエズス会の教育の精神“Men and Women for others, with others”に基づいた人間的な成長を目指し、環境保全・地域開発をテーマに、アジア諸国の学生と共に社会貢献について考え、現地にて実践するプログラム。(2015年度は韓国にて実施予定)	グローバル教育センター
GLP グローバルリーダーシップ・ プログラム	夏期 休業中	2	* 全学共通科目（選択科目）としてのみ認定可。 * 2015年度春学期分単位として認定し、合格した者の成績は“P”（合格）となる。	イエズス会5大学（上智、西江大学（韓国）、輔仁大学（台湾）、アテネオ・デ・マニラ大学（フィリピン）、サナタ・ダルマ大学（インドネシア））から学生が集い、テーマに沿って学内での事前・事後指導、現地での討論・講演を通じて「国際理解とは何か」を学ぶプログラム。(2015年度は台湾にて実施予定)	グローバル教育センター
アフリカに学ぶ	夏期 休業中	2	* 全学共通科目（選択科目）としてのみ認定可。 * 2015年度春学期分単位として認定し、合格した者の成績は“P”（合格）となる。	事前指導及びカメルーンの首都ヤウンデにある中央アフリカ・カトリック大学にて、アフリカ地域、特にアフリカ中部地域の歴史と現在（政治・経済・文化・日常生活）について現地での講義と実習（産業育成・農業・畜産関連施設、飲料工場、芸術・エコツーリズムなどのセンター、日本大使館、JICA事務所等を予定）を中心に学ぶプログラム。	グローバル教育センター
カンボジア・ エクスポージャーツアー	夏期 休業中	2	* 全学共通科目（選択科目）としてのみ認定可。 * 2015年度春学期分単位として認定し、合格した者の成績は“P”（合格）となる。	カンボジアに赴き、現地の人々と時間を共有し、異国の文化や歴史に触れることにより、他者を思いやる気持ち、異文化を理解する気持ちを育むのみならず、学生が日々生活している恵まれた環境や生きることの意味を省みる機会を通じて、本学の教育精神“Men and Women for Others, with Others”を実体験として学ぶプログラム。	学生センター
国際外交の実態を学ぶ	夏期 休業中	2	* 全学共通科目（選択科目）としてのみ認定可。 * 2015年度春学期分単位として認定し、合格した者の成績は“P”（合格）となる。	ニューヨーク国連本部の現場で、国連日本政府代表、国連本部職員、国連関係機関（UNDP、UNICEF等）、国連専門機関（FAO、UNIDO等）、国連非政府機関（NGO）の職員や教育機関関係者、国連との取引を行う日系企業関係者たちからブリーフィングを受け、その後のディスカッション、半日インターン経験を通じて彼らの日常の仕事ぶりを理解し、各自の国際機関で働く将来計画構築の基礎を作り、持続可能なネットワーク維持を試みる。	グローバル教育センター

プログラム名	授業期間	付与単位数	成績・単位の取り扱い	プログラム概要	問い合わせ先
国連の役割と機能 (国連集中研修プログラム)	春期 休業中	2	* 全学共通科目（選択科目）としてのみ認定可。 * 2015年度秋学期分単位として認定し、合格した者の成績は“P”（合格）となる。	国連の役割と機能に関する理解を深めるために、実際に国連の活動に従事している職員達からニューヨーク国連本部で講義を受ける。その講義を通じて国連の理論と実践をより深く研究する。	グローバル教育センター
インド・サービスマスタープログラム	春期 休業中	4	* 全学共通科目（選択科目）としてのみ認定可。 * 2015年度秋学期分単位として認定し、合格した者の成績は“P”（合格）となる。	インドのデリー・アグラ・バラナシ・コルカタに滞在し、インドの歴史や文化、宗教を学ぶとともに、マザーテレサが設立したマザーハウスで、ボランティア活動を行う国際サービスマスタープログラム。	グローバル教育センター
国連ユースボランティア実習	秋学期	6	* 外国語学部開講科目。学内選抜後、UNVでの審査を経て、派遣先が決定する。 * 外国語学部生は「専門分野科目その他」（3・4年次生）または「その他選択科目」（1・2年次生）として算入可 * 外国語学部以外では、所属学科の卒業要件による。 * 2015年度秋学期分単位として認定し、合格した者の成績は“P”（合格）となる。	国連ボランティア計画（UNV）と日本の大学が連携して、学生を開発途上国へボランティアとして派遣するプログラム。派遣学生は、約5ヶ月間、開発途上国で国連や政府機関、NGOスタッフ、そして現地の人々とともに開発支援活動に従事し単位を修得する。	グローバル教育センター

※国際教養学部の学生が参加する際には、付与単位数分の授業料がかかる。

学籍（各種届出・証明書など）

1. 学籍

…… P. 52

学生番号・学生証・在学期間・在学継続・休学
復学・停学・退学・その他

2. 証明書

…… P. 56

証明書自動発行機による発行のもの
窓口申込による発行のもの

3. 留学

…… P. 57

願出・単位換算

4. 転部・転科／再入学／学士入学

…… P. 58

転部・転科
再入学・学士入学

5. 9月卒業・早期卒業

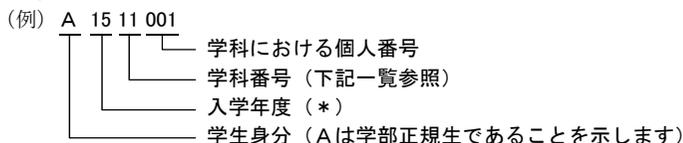
…… P. 59

9月卒業・早期卒業

1. 学籍

● 学生番号

入学すると各人に固有の学生番号が与えられます。学生生活を送る上で大切な番号ですから、正確に記憶して使用しましょう。



* 編入学者、学士入学者、再入学者は指定された学年にしかがっていませんので、実際に入学した年度と異なる場合があります。

■ 学科番号一覧

学部	学科	学科番号
神学部	神学科	91
文学部	哲学科	11
	史学科	14
	国文学科	15
	英文学科	16
	ドイツ文学科	17
	フランス文学科	18
	新聞学科	19
総合人間科学部	教育学科	81
	心理学科	82
	社会学科	83
	社会福祉学科	84
	看護学科	85
法学部	法律学科	31
	国際関係法学科	32
	地球環境法学科	33

学部	学科	学科番号
経済学部	経済学科	41
	経営学科	42
外国語学部	英語学科	51
	ドイツ語学科	52
	フランス語学科	53
	イスパニア語学科	54
	ロシア語学科	55
	ポルトガル語学科	56
総合グローバル学部	総合グローバル学科	21
国際教養学部	国際教養学科 (春入学)	67
	国際教養学科 (秋入学)	68
理工学部	物質生命理工学科	76
	機能創造理工学科	77
	情報理工学科	78
	電気・電子工学科	72

● 学生証

学生証は上智大学の学生であることを証明するものです。学生生活を送る上で、学内・学外を問わず提示が必要な場合がありますので、**常に携帯**してください。特に下記にあげたケースで学生証を持参していない場合、サービスを受けられないことがあります。

学生証は、いかなる理由があっても**他人に貸与、譲渡することはできません**。また、退学等により学籍を失った場合は、本学に返却してください。

■ 学生証が必要な場合

- ① 試験を受けるとき
- ② 証明書や学割証を取得するため証明書自動発行機を利用するとき
- ③ 本学図書館に入館するとき、図書の新し出しを受けるとき
- ④ 通学定期券を購入するとき
- ⑤ 通学定期券や学割で乗車船し、係員の要請があったとき
- ⑥ 本学教職員から提示を求められたとき

■在籍確認シールの貼り替え

学生証は、裏面に在籍確認シールを貼った状態で、はじめて学生証として機能します。在籍確認シールの有効期限は1年間ですので、**年度はじめに必ず貼り替えてください**。住所を変更して通学区間が変更になった場合や、定期券の発行控欄が足りなくなった場合は、学事センター（学籍・証明書）窓口申し出てください。

■記載事項に変更がある場合

学生証の記載事項（氏名や生年月日等）に誤りや変更がある場合は、学事センター（学籍・証明書）窓口申し出てください。

■紛失・汚損・破損してしまった場合

再発行となりますので、「**学生証再発行願**」（所定用紙）に手数料分の証紙（1,000円）を購入・貼付の上、学事センター（学籍・証明書）窓口申し込んでください。

● 在学期間

本学に在学可能な期間は8年間です。なお、休学期間はこの在学期間に含まれません（学則第38条）。
 本学の教育課程を修了するために必要な期間（修業年限）は、早期卒業の場合を除き、4年です。なお、休学・停学期間および1年を超える留学期間は修業年限に含まれません。（学則第13条、第57条の2）

● 在学継続

入学後4年間で卒業の要件を満たさなかった場合は、在学継続となります。
 在学を継続することになった場合、有効期限を延長した学生証を、3月下旬に学生本人住所宛、郵送します。
 休学期間を除く在学期間が3.5年以上の者で、卒業に要する残余単位数が12単位以下の者については、自動的に学費が減額となります。詳細は学事センター（学費）窓口にお問い合わせください。

● 休学

病気、その他のやむを得ない理由で休学しようとする場合は、所属学科長またはクラス主任と相談のうえ、所定の「**休学願**」に必要事項を記入して学事センター（学籍・証明書）窓口提出してください。なお、病気の場合は医師の診断書を添付する必要があります。
 なお、休学期間は修業年限に含まれないので、休学期間分は卒業が延期されます。また、卒業要件を満たしていても、休学している学期は卒業することができません。

■期間

休学できる期間は**1学期**（春学期・秋学期）単位です。休学期間は、連続2年、通算4年を超えることはできません。（学則第32条）

■提出期限

	休学期間	提出期限
春 学 期 休 学	4月 1日～9月20日	5月29日（金）
秋 学 期 休 学	9月21日～3月31日	11月30日（月）

前もって休学の計画がある場合は、休学をする年度または学期がはじまる1ヶ月前に「**休学願**」を提出してください。**提出期限を過ぎた場合は、どのような理由であっても受理できません**ので注意してください。郵送による提出の場合、提出期限当日の消印有効になります。連続2年分まで一括して受け付けることができます。

■学費

休学期間中の授業料等学費は減額されます。詳細は学事センター（学費）窓口にお問い合わせください。

● 復学

休学期間が満了した場合は、自動的に復学となるので復学の届出は必要ありません。ただし下記の場合は、復学を希望する学期が始まる前日までに、所定の「**復学届**」を提出してください。

- ① 病気により休学した場合（「**医師の診断書**」を添付してください）。
- ② 2学期以上の休学について許可が下りている場合で一部の学期で休学の事由が終了したため、休学期間を短縮して復学する場合（1学期以下に短縮することはできません）。

● 停学

試験の際の不正行為等に対しては、学則第60条により停学、退学等厳しい処分が行なわれます。なお停学期間は修業年限に算入されませんので、標準修業年限（4年）内に卒業することはできません。無期停学の場合は、解除日の翌日から、有期停学の場合は期間満了の翌日から復学扱いとなります。

● 退学

退学には自主退学と退学を命ぜられるものと2種類あります。

■ 期日

退学の期日は学期末日（9月20日または3月31日）に限ります。

■ 自主退学

事情により退学しようとする場合は、所属学科長または クラス主任と相談のうえ、所定の「**退学願**」に必要事項を記入し、原則として希望する退学の期日までに学事センター（学籍・証明書）窓口にて**学生証を添付して提出**してください。

退学を願ひ出る者はその時期までの授業料等学費を納入済みでなければなりません。

なお、春学期末日を退学日とする「退学願」を春学期末までに提出し、許可された場合、学費は減額されます。詳細は学事センター（学費）窓口にお問い合わせください。

■ 退学を命ぜられるもの

下記の者は退学を命じられます。

- ① 在学期間満了
在学期間（休学期間は含まない）が8年を満了した者。
- ② 学則40条該当者
連続する2年間において、学部学科が指定する科目を含む合計32単位以上を修得できなかった者。
- ③ 授業料等学費未納
定められた授業料等学費を期限までに納付しない者。
- ④ その他
学則第60条、61条に該当する者など。

● その他

下記の変更があった場合は、学事センター（学籍・証明書）窓口へ届け出をしてください。

■ 住所の変更

本人または保証人の住所に変更があった場合は、Loyolaの「学生住所変更」メニューから、もしくは学事センター

(学籍・証明書) 窓口備付の「住所変更届」を提出してください。

国外に在住する保証人の住所変更はLoyolaから変更できないため、窓口で「住所変更届」を提出してください(保証人住所を国外に変更できるのは外国籍の学生に限ります)。

本人の住所変更のある場合は、学生証裏面の「在籍確認シール」を上記窓口で受け取り、貼り替えてください。

■本人氏名の変更

本人氏名の変更があった場合は、「住民票の写し」(本人氏名・性別・生年月日が記載されたもの。本籍・続柄は不要。)を添付して、窓口備付けの所定用紙で届け出をしてください。

■保証人の変更

保証人を変更する場合は、窓口備付の所定用紙で届け出をしてください。

なお、日本国外に在住する者を保証人に指定できるのは、外国籍の学生に限ります。

■在留資格・期間の報告

外国籍の者で在留期間を更新または在留資格を変更したときは、在留カードのコピーを必ず提出してください。提出がない場合、LoyolaのID使用停止、奨学金受給、資格の喪失、その他在学する上で不利となる扱いを受けることがあります。

*在留資格が「留学」の在留期間を更新、または他の在留資格から「留学」の在留資格に変更を希望する場合は、在留資格変更許可申請及び在留期間更新許可申請様式の「申請人等作成用1~3」を記入したうえで、学事センターにて申し込んでください。「所属機関1, 2」は学事センターにて作成します。手数料は200円です。不明な点は学事センター(学籍・証明書)窓口に問い合わせてください。

2. 証明書

各種証明書は、証明書自動発行機によるものと、窓口申込によるものがあります。証明書の種類を確認のうえ、申込を行ってください。それぞれの発行手順等は下記のとおりです。

● 証明書自動発行機による発行のもの (注1)

証明書種類	発行手数料	所要日数	備考
在学証明書 (和文・英文)	200円	即日	証明書自動発行機の設置場所 2号館3F 目白聖母キャンパス (事務センター内) 取扱い時間 月～金 9:00～17:00 *行事等で変更する場合は掲示します。
成績証明書 (和文・英文)	200円		
卒業見込証明書 (和文・英文) (注2)	200円		
学割証 (年間10枚)	無料		
健康診断証明書 (本学所定用紙・和文)	300円		
臨時学生証 (定期試験期間中のみ発行)	500円		

証明書自動発行機のアナウンスに従って操作してください。

(注1) 学生証がないと発行できません。証明書自動発行機は在学生のみ利用可能です。

(注2) 卒業見込証明書は、あくまでも学生本人がその必要要件を満たすことにより卒業が可能であることを証明するものであり、大学が卒業の保証をするものではありません。
4年次生 (最終学年の授業開始日となる日) 以降に発行します。

(注3) 暗証番号については学事センター (学籍・証明書) で問い合わせてください。

● 窓口申込による発行のもの

証明書種類	発行手数料	所要日数
教員免許状取得見込証明書	400円	3業務日後発行
在留資格変更及び在留期間更新許可申請に係る証明書	200円	月・火申込→同週の金曜日発行 水・木申込→次週の月曜日発行
授業料等納付金証明書	300円	金 申込→次週の水曜日発行
調査書	500円	事前にご確認ください
学生証再発行	1,000円	即日発行

取扱い窓口：2号館1F学事センター (学籍・証明書)

取扱い時間：月～金 9:30～11:30, 12:30～17:00

*行事等で変更する場合は掲示します。

- ① 窓口に着付けの申込票に必要事項を記入してください。
- ② 発行手数料分の証紙を証紙販売機で購入し、所定欄に貼付してください。
- ③ 申込票に学生証を添えて窓口へ提出してください。領収票をお渡します。
- ④ 所要日数経過後、窓口で領収票を提示してください。証明書をお渡します。

3. 留学

留学の種類や期間によって、学費、願出書類、修業年限への算入や単位の換算の可否などが異なります。留学を希望する学生は、グローバル教育センター発行の『留学ハンドブック』を熟読の上、計画を立てて手続きを行ってください。

● 願出

一般留学の場合の「留学願」の提出先は、学事センター（学籍・証明書）窓口です。
交換留学の願出についてはグローバル教育センターの指示に従ってください。
帰国後は速やかに「帰国届」を学事センター（学籍）窓口に提出してください。

● 単位換算

留学中に修得した科目の単位は、最高30単位まで本学の単位に換算することができます（ただし、休学による海外勉強の場合を除く）。詳しくはp.43「10.単位換算・単位認定」、およびグローバル教育センター発行の『留学の手引』を参照してください。

4. 転部・転科／再入学／学士入学

● 転部・転科

所属する学部他学科、もしくは他学部の学科へ移籍を志望する場合、次の条件を満たす者は、転部科を願い出ることができます。出願後、各学科において試験を行います。

■ 出願資格

- ① 出願時に休学期間を除き、4学期以上在学の者（4学期目在学中の者を含む）
- ② 出願時まで修得済みの語学科目（必修のみ）および全学共通科目のGPAが、2.6（小数第2位切り捨て）以上である者。
- ③ 志望先の定める条件を満たしていること。
- ④ 相当の理由があること。

■ 転部科の制限

- ① 一度転部科をした者は、以後転部科を願い出ることはできません。
- ② 編入学者及び再入学者は、転部科を願い出ることはできません。

● 再入学

本学を退学した者が、以前在籍していた学部・学科に再び入学することを再入学といいます。

■ 出願資格

下記のいずれかに該当すること。

- ① 学則39条適用退学者（自主退学：2015年9月20日以前の退学）
- ② 学則64条適用退学者（学費未納退学：2015年9月20日以前の退学）
- ③ 学則40条適用退学者（32単位制退学：2015年3月31日以前の退学）
- ④ 学則60条適用退学者（本分違反行為処分：2015年3月31日以前の退学）
- ⑤ 学則61条適用退学者（在学不適4項目処分：2015年3月31日以前の退学）

ただし、以下の者は出願できません。

- ① 学則38条在学期間満了（8年間在籍）で退学した者。
- ② 再入学後再び退学した者。

■ 出願期間

2016年1月上旬～中旬予定

● 学士入学

本学卒業生（卒業見込者を含む）で、卒業学部他学科、あるいは他学部他学科に入学を希望する者を対象に、学士入学の制度があります。出願後、各学科において試験を行います。

出願できる学科は受入先学科に定員の余裕がある場合となり、年度によって異なりますので注意してください。詳細は、学事センター（学籍・証明書）窓口にお問い合わせください。

※転部・転科、再入学、学士入学の各要項は2015年12月より配布予定です。
詳細は学事センター（学籍・証明書）窓口にお問い合わせください。

5. 9月卒業・早期卒業

● 9月卒業

卒業要件を満たした者は、期日までに申し出ることによって9月卒業が可能です。たとえ卒業要件を満たしていたとしても9月卒業は自動的に適用されるわけではありません。2015年9月に卒業を希望する学生は、**2015年7月22日（水）**までに学事センター（教務）窓口へ所定用紙で申し出てください。詳細についてはLoyola（教務）掲示板で確認してください。

なお、授業料等学費は減額されます。詳細は学事センター（学費）窓口にお問い合わせください。

● 早期卒業

大学の標準修業年限は4年となっていますが、①本学に3年以上在学し、②卒業に必要な所定の授業科目の単位を優秀な成績をもって修得し、③早期卒業を希望する場合には、当該学部の教授会の議を経て学長が早期卒業を認定することができます。現在、早期卒業を認めている学部は、以下の学部です。

- ① **国際教養学部**
詳細は国際教養学部の「Bulletin of Information」を参照してください。
- ② **法学部**
詳細については各学科のページを参照してください。
- ③ **経済学部**
詳細については各学科のページを参照してください。
- ④ **総合グローバル学部**
詳細については総合グローバル学部のページを参照してください。
- ⑤ **理工学部**
詳細については理工学部のページを参照してください。

■学費

- ① 在籍しない学年の学費は徴収しません。
- ② 3.5年卒業の場合、授業料等学費は減額されます。（国際教養学部を除く）
詳細は学事センター（学費）窓口にお問い合わせください。

2 目白聖母キャンパスについて

(総合人間科学部看護学科)

2015年度行事予定表 (2年次生)

※他の年次生は四谷キャンパス行事予定表を参照すること

注意事項

行事予定表
(2年次生)

注意事項

● 2015年度 目白聖母キャンパス行事予定表（春学期）

（総合人間科学部看護学科2年次生）

<div style="text-align: center;">カレンダー</div> <div style="font-size: small;"> : 休日・祝日・土曜日 : 祝日以外の休業日 : みなし曜日 </div>	学事日程																																											
2015年 <div style="text-align: center; background-color: #cccccc; padding: 2px;">4月</div> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center; font-size: x-small; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>月</th><th>火</th><th>水</th><th>木</th><th>金</th><th>土</th><th>日</th> </tr> <tr> <td></td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td></td> </tr> <tr> <td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td> </tr> <tr> <td>13</td><td>14</td><td>15</td><td>16</td><td>17</td><td>18</td><td>19</td> </tr> <tr> <td>20</td><td>21</td><td>22</td><td>23</td><td>24</td><td>25</td><td>26</td> </tr> <tr> <td>27</td><td>28</td><td>29</td><td>30</td><td></td><td></td><td></td> </tr> </table> <p style="font-size: x-small; margin-top: 5px;"> ※春学期授業期間4月6日～7月29日 ※29日 昭和の日は授業実施日 （うち春学期実習期間7月6日～18日） </p>	月	火	水	木	金	土	日		1	2	3	4	5		6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30				3月31日 1日 4日 6日 29日	2014年度通年・秋学期科目「成績評価確認願」提出期限 在校生ガイダンス（四谷キャンパス） 春学期開始 健康診断（四谷キャンパス） 春学期授業開始 授業実施日（昭和の日）
月	火	水	木	金	土	日																																						
	1	2	3	4	5																																							
6	7	8	9	10	11	12																																						
13	14	15	16	17	18	19																																						
20	21	22	23	24	25	26																																						
27	28	29	30																																									
	<履修登録関係日程> ※詳細は p.27～を参照すること。																																											
	2日～13日 2日～7日 8日 8日～9日 10日 10日 11日 11日～13日 14日 15日～17日 21日	履修登録期間 抽選科目登録期間（1次） 抽選科目登録（1次）結果発表 抽選科目登録期間（2次） 抽選科目登録（2次）結果発表 抽選科目登録期間（3次） 抽選科目登録（3次）結果発表 抽選科目登録期間（先着順） 履修登録確認期間 履修登録修正期間 履修登録確認																																										
<div style="text-align: center; background-color: #cccccc; padding: 2px;">5月</div> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center; font-size: x-small; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>月</th><th>火</th><th>水</th><th>木</th><th>金</th><th>土</th><th>日</th> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td></td> </tr> <tr> <td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td> </tr> <tr> <td>11</td><td>12</td><td>13</td><td>14</td><td>15</td><td>16</td><td>17</td> </tr> <tr> <td>18</td><td>19</td><td>20</td><td>21</td><td>22</td><td>23</td><td>24</td> </tr> <tr> <td>25</td><td>26</td><td>27</td><td>28</td><td>29</td><td>30</td><td>31</td> </tr> </table>	月	火	水	木	金	土	日				1	2	3		4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	29日 31日	春学期休学願提出期限 ソフィアーズ・デー
月	火	水	木	金	土	日																																						
			1	2	3																																							
4	5	6	7	8	9	10																																						
11	12	13	14	15	16	17																																						
18	19	20	21	22	23	24																																						
25	26	27	28	29	30	31																																						
<div style="text-align: center; background-color: #cccccc; padding: 2px;">6月</div> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center; font-size: x-small; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>月</th><th>火</th><th>水</th><th>木</th><th>金</th><th>土</th><th>日</th> </tr> <tr> <td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td> </tr> <tr> <td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>13</td><td>14</td> </tr> <tr> <td>15</td><td>16</td><td>17</td><td>18</td><td>19</td><td>20</td><td>21</td> </tr> <tr> <td>22</td><td>23</td><td>24</td><td>25</td><td>26</td><td>27</td><td>28</td> </tr> <tr> <td>29</td><td>30</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> </table>	月	火	水	木	金	土	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30						5日～7日 6日～11日 13日・20日・27日 30日	上南戦（於：上智大学） 春学期履修中止申請期間 春学期補講日 <留学者（出国）・休学予定者（15年秋～16年春）>継続履修願提出期限
月	火	水	木	金	土	日																																						
1	2	3	4	5	6	7																																						
8	9	10	11	12	13	14																																						
15	16	17	18	19	20	21																																						
22	23	24	25	26	27	28																																						
29	30																																											

カレンダー ○ : 休日・祝日・土曜日 ◐ : 祝日以外の休業日 □ : みなし曜日		学事日程																																																		
7月 <table border="1"> <tr><th>月</th><th>火</th><th>水</th><th>木</th><th>金</th><th>土</th><th>日</th></tr> <tr><td></td><td></td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td></tr> <tr><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td></tr> <tr><td>13</td><td>14</td><td>15</td><td>16</td><td>17</td><td>18</td><td>19</td></tr> <tr><td>20</td><td>21</td><td>22</td><td>23</td><td>24</td><td>25</td><td>26</td></tr> <tr><td>27</td><td>28</td><td>29</td><td>30</td><td>31</td><td></td><td></td></tr> </table> ※20日 海の日は授業実施日		月	火	水	木	金	土	日			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31			4日 6日 9日 20日 29日 30日～8月6日	春学期補講日 春学期実習期間（～18日） 春学期試験日程公開 授業実施日（海の日） 春学期授業終了 春学期試験期間（6日は予備日）							
月	火	水	木	金	土	日																																														
		1	2	3	4	5																																														
6	7	8	9	10	11	12																																														
13	14	15	16	17	18	19																																														
20	21	22	23	24	25	26																																														
27	28	29	30	31																																																
8月 <table border="1"> <tr><th>月</th><th>火</th><th>水</th><th>木</th><th>金</th><th>土</th><th>日</th></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td><td>2</td></tr> <tr><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td></tr> <tr><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>13</td><td>14</td><td>15</td><td>16</td></tr> <tr><td>17</td><td>18</td><td>19</td><td>20</td><td>21</td><td>22</td><td>23</td></tr> <tr><td>24</td><td>25</td><td>26</td><td>27</td><td>28</td><td>29</td><td>30</td></tr> <tr><td>31</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> ※8月7日～9月22日 夏期休業		月	火	水	木	金	土	日						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31							4日～ 7日～	集中講義・補講期間（～9月18日） 夏期休業（～9月22日） 春学期追試験（8月下旬）
月	火	水	木	金	土	日																																														
					1	2																																														
3	4	5	6	7	8	9																																														
10	11	12	13	14	15	16																																														
17	18	19	20	21	22	23																																														
24	25	26	27	28	29	30																																														
31																																																				
9月 <table border="1"> <tr><th>月</th><th>火</th><th>水</th><th>木</th><th>金</th><th>土</th><th>日</th></tr> <tr><td></td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td></tr> <tr><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>13</td></tr> <tr><td>14</td><td>15</td><td>16</td><td>17</td><td>18</td><td>19</td><td>20</td></tr> <tr><td>21</td><td>22</td><td>23</td><td>24</td><td>25</td><td>26</td><td>27</td></tr> <tr><td>28</td><td>29</td><td>30</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> ※8月7日～9月22日 夏期休業 ※23日 秋分の日は授業実施日 ※秋学期授業期間 9月23日～2月20日		月	火	水	木	金	土	日		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30					12日 20日 21日 23日 22日～ 23日 25日 26日	成績公開・卒業自己判定 春学期終了 秋学期開始 秋学期授業開始 <留学者(帰国)・休学者(復学)>継続履修登録(窓口)（～10月6日） 2015年度春学期開講科目「成績評価確認願」提出期限(外国語科目) 授業実施日（秋分の日） 2015年度春学期開講科目「成績評価確認願」提出期限(外国語科目以外) みなし水曜日							
月	火	水	木	金	土	日																																														
	1	2	3	4	5	6																																														
7	8	9	10	11	12	13																																														
14	15	16	17	18	19	20																																														
21	22	23	24	25	26	27																																														
28	29	30																																																		
<履修登録関係日程> ※詳細は p.27～を参照すること。																																																				
		21日～30日 21日～26日 27日 27日～28日 29日 29日～30日 10月1日～2日 10月3日～5日 10月7日	履修登録期間 抽選科目登録期間（1次） 抽選科目登録（1次）結果発表 抽選科目登録期間（2次） 抽選科目登録（2次）結果発表 抽選科目登録期間（先着順） 履修登録確認期間 履修登録修正期間 履修登録確認																																																	

● 2015 年度 目白聖母キャンパス行事予定表（秋学期）

（総合人間科学部看護学科2年次生）

カレンダー : 休日・祝日・土曜日 : 祝日以外の休業日 : みなし曜日	学事日程																																																									
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><th colspan="7">10月</th></tr> <tr><th>月</th><th>火</th><th>水</th><th>木</th><th>金</th><th>土</th><th>日</th></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>1</td><td>2</td><td style="border: 2px solid black;">3</td><td style="border: 2px solid black;">4</td></tr> <tr><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td style="border: 2px solid black;">10</td><td style="border: 2px solid black;">11</td></tr> <tr><td style="border: 2px solid black;">12</td><td>13</td><td>14</td><td>15</td><td>16</td><td style="border: 2px solid black;">17</td><td style="border: 2px solid black;">18</td></tr> <tr><td>19</td><td>20</td><td>21</td><td>22</td><td>23</td><td style="border: 2px solid black;">24</td><td style="border: 2px solid black;">25</td></tr> <tr><td>26</td><td>27</td><td>28</td><td>29</td><td>30</td><td style="border: 2px solid black;">31</td><td></td></tr> </table> <p>※12日 体育の日は授業実施日</p>	10月							月	火	水	木	金	土	日				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31		12日 24日 31日	授業実施日（体育の日） みなし火曜日 ソフィア祭前夜祭（全学休講）							
10月																																																										
月	火	水	木	金	土	日																																																				
			1	2	3	4																																																				
5	6	7	8	9	10	11																																																				
12	13	14	15	16	17	18																																																				
19	20	21	22	23	24	25																																																				
26	27	28	29	30	31																																																					
※履修登録関係の日程は9月の欄と p.27 を参照すること																																																										
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><th colspan="7">11月</th></tr> <tr><th>月</th><th>火</th><th>水</th><th>木</th><th>金</th><th>土</th><th>日</th></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td style="border: 2px solid black;">1</td></tr> <tr><td>2</td><td style="border: 2px solid black;">3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td style="border: 2px solid black;">7</td><td style="border: 2px solid black;">8</td></tr> <tr><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>13</td><td style="border: 2px solid black;">14</td><td style="border: 2px solid black;">15</td></tr> <tr><td>16</td><td>17</td><td>18</td><td>19</td><td>20</td><td style="border: 2px solid black;">21</td><td style="border: 2px solid black;">22</td></tr> <tr><td style="border: 2px solid black;">23</td><td>24</td><td>25</td><td>26</td><td>27</td><td style="border: 2px solid black;">28</td><td style="border: 2px solid black;">29</td></tr> <tr><td>30</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>※23日 勤労感謝の日は授業実施日</p>	11月							月	火	水	木	金	土	日							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30							1日 1日～3日 2日 7日 23日 28日 30日	創立記念日（全学休講） ソフィア祭 先哲祭（全学休講） みなし月曜日 授業実施日（勤労感謝の日） <留学者（出国）・休学予定者（15年秋～16年春）>継続履修願提出期限 秋学期休学願提出期限
11月																																																										
月	火	水	木	金	土	日																																																				
						1																																																				
2	3	4	5	6	7	8																																																				
9	10	11	12	13	14	15																																																				
16	17	18	19	20	21	22																																																				
23	24	25	26	27	28	29																																																				
30																																																										
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><th colspan="7">12月</th></tr> <tr><th>月</th><th>火</th><th>水</th><th>木</th><th>金</th><th>土</th><th>日</th></tr> <tr><td></td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td style="border: 2px solid black;">5</td><td style="border: 2px solid black;">6</td></tr> <tr><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td style="border: 2px solid black;">12</td><td style="border: 2px solid black;">13</td></tr> <tr><td>14</td><td>15</td><td>16</td><td>17</td><td>18</td><td style="border: 2px solid black;">19</td><td style="border: 2px solid black;">20</td></tr> <tr><td>21</td><td>22</td><td style="border: 2px solid black;">23</td><td>24</td><td>25</td><td style="border: 2px solid black;">26</td><td style="border: 2px solid black;">27</td></tr> <tr><td>28</td><td>29</td><td>30</td><td>31</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> <p>※3日 ザビエル祭は授業実施日 ※12月23日～1月4日 冬期休業</p>	12月							月	火	水	木	金	土	日		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31				3日 5日・12日・19日 7日～11日 22日 23日～	授業実施日（ザビエル祭） 秋学期補講日 秋学期履修中止申請期間 秋学期授業終了 冬期休業（～1月4日）							
12月																																																										
月	火	水	木	金	土	日																																																				
	1	2	3	4	5	6																																																				
7	8	9	10	11	12	13																																																				
14	15	16	17	18	19	20																																																				
21	22	23	24	25	26	27																																																				
28	29	30	31																																																							

カレンダー ○ : 休日・祝日・土曜日 ■ : 祝日以外の休業日 □ : みなし曜日	学事日程																																																		
2016年 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><th colspan="7">1月</th></tr> <tr><th>月</th><th>火</th><th>水</th><th>木</th><th>金</th><th>土</th><th>日</th></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>①</td><td>②</td><td>③</td></tr> <tr><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td></tr> <tr><td>11</td><td>12</td><td>13</td><td>14</td><td>15</td><td>16</td><td>17</td></tr> <tr><td>18</td><td>19</td><td>20</td><td>21</td><td>22</td><td>23</td><td>24</td></tr> <tr><td>25</td><td>26</td><td>27</td><td>28</td><td>29</td><td>30</td><td>31</td></tr> </table> ※12月23日～1月4日 冬期休業	1月							月	火	水	木	金	土	日					①	②	③	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	5日 6日 8日 9日 12日	秋学期授業再開 みなし月曜日 秋学期試験日程公開 秋学期授業終了 秋学期補講日 秋学期実習期間（～2月20日）
1月																																																			
月	火	水	木	金	土	日																																													
				①	②	③																																													
4	5	6	7	8	9	10																																													
11	12	13	14	15	16	17																																													
18	19	20	21	22	23	24																																													
25	26	27	28	29	30	31																																													
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><th colspan="7">2月</th></tr> <tr><th>月</th><th>火</th><th>水</th><th>木</th><th>金</th><th>土</th><th>日</th></tr> <tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td></tr> <tr><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>13</td><td>14</td></tr> <tr><td>15</td><td>16</td><td>17</td><td>18</td><td>19</td><td>20</td><td>21</td></tr> <tr><td>22</td><td>23</td><td>24</td><td>25</td><td>26</td><td>27</td><td>28</td></tr> <tr><td>29</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	2月							月	火	水	木	金	土	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29							20日 22日～29日	秋学期実習終了 秋学期試験期間（2月29日は予備日） ※実際の試験日は試験掲示で確認すること
2月																																																			
月	火	水	木	金	土	日																																													
1	2	3	4	5	6	7																																													
8	9	10	11	12	13	14																																													
15	16	17	18	19	20	21																																													
22	23	24	25	26	27	28																																													
29																																																			
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr><th colspan="7">3月</th></tr> <tr><th>月</th><th>火</th><th>水</th><th>木</th><th>金</th><th>土</th><th>日</th></tr> <tr><td></td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td></tr> <tr><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>13</td></tr> <tr><td>14</td><td>15</td><td>16</td><td>17</td><td>18</td><td>19</td><td>20</td></tr> <tr><td>21</td><td>22</td><td>23</td><td>24</td><td>25</td><td>26</td><td>27</td></tr> <tr><td>28</td><td>29</td><td>30</td><td>31</td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> ※3月1日～31日 春期休業	3月							月	火	水	木	金	土	日		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31				1日～31日 17日～30日 31日 31日	春期休業 秋学期追試験（3月上旬～中旬） 成績公開・卒業自己判定 2015年度秋学期開講科目「成績評価確認願」提出期限 秋学期終了
3月																																																			
月	火	水	木	金	土	日																																													
	1	2	3	4	5	6																																													
7	8	9	10	11	12	13																																													
14	15	16	17	18	19	20																																													
21	22	23	24	25	26	27																																													
28	29	30	31																																																

目白聖母キャンパスにおける各種事項について

※下記の事項以外については、ガイドページ (p.7～) を確認してください。

● 行事予定表について

目白聖母キャンパスと四谷キャンパスでは、祝日の授業実施日や補講日、試験期間など授業に関する日程が異なります。そのため全学共通科目や教職課程科目など四谷キャンパス開講の授業を受講する場合は、四谷キャンパス行事予定表 (p.10～) を必ず確認してください。

● 各種問い合わせ先/窓口時間について

目白聖母キャンパス事務センター
03-3950-6151 (9:00～11:30, 12:30～17:00) 土日祝休

● 掲示・連絡について

大学からの連絡事項については、四谷キャンパス同様、Loyola掲示板でお知らせします。Loyola (教務) 掲示板、大学掲示板など必要に応じて確認するようにしてください。
(ガイドページp.18参照)

● 公共交通機関運行停止時の取り扱いについて

台風・大雨など各種の自然災害や事故・ストライキなどによる電車運行停止のため、授業や定期試験を平常通り行うことができないと判断された場合は、休講もしくは試験日の振替などの特別措置をとることがあります。特別措置の内容については、大学ホームページ、Loyolaもしくは公式フェイスブックでお知らせしますので各自で確認してください。

● 証明書について

目白聖母キャンパスにも四谷キャンパス同様、証明書自動発行機が設置されています。詳細については、ガイドページp.56を参照してください。

● 各種書類の配布および提出について

学籍(「休学願」「留学願」「退学願」、証明書申請等)および教務(履修登録、履修中止、成績等)関係の各種書類については、一部を除き四谷キャンパス学事センター(教務)窓口だけでなく、目白聖母キャンパス事務センターでも配布および提出受付を行っています。

その他個別書類の詳細については、目白聖母キャンパス事務センターへ問い合わせてください。

以上

開講科目担当表の見方

科目コードが同一の科目は、
原則として重複履修できない。

(重複して履修しても卒業単位にはならない)

[] は抽選科目を示す。[] 内は定員 (p.29参照)

科目の分野とレベルを示す

*は非常勤教員を示す。

別科目名の授業と
合同で行われる場合もある。

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	年次	備考	
選 択 科 目 群	158006	AAA101	社会心理学入門 I	2	春	上智 花子	1~4	[200名]	
	280403	BBB102	イギリス文学研究 I	2	春	* 紀尾井 太郎	2~4		
	700517	CCC201	地球環境とその生物	1	秋	四ツ谷 次郎 市谷 良子 千代田 三郎	1~3	「地球環境概論」と合併	
	776160	CCC202	化学実験	2		* 目白 肇	3・4	夏期集中	
	761016	DDD301	ドイツ文化と発展	2	休講	HOFFMAN Michael	2・3	隔年開講	
	700219	EEE302	次世代テクノロジー	1	春	石神井 香	2	同時担当	
	550929	FFF401	貧困と格差1	2	春	コーディネータ 秦野 唯	1	輪講 旧「貧困と格差」	
	460623	GGG402	看護学演習2	2	秋	* 越谷 智子	2~4		
	他学部他学科科目			他学部他学科開講科目担当表を参照			09年次以降・・・20単位 まで選択科目に算入可 08年次以前・・・12単位 まで選択科目に算入可		
	course : IBEで開講されているすべての科目							2~4	(他) 国際教養学部

集中講義につ
いてはp.22参
照

同一の授業に
おいて複数の
教員が同時に
担当する科目

複数教員によ
り輪講形式で
行われる科目

今年度休講の科目

履修対象とする年次。この年次以外の学生で
履修を希望する学生は、担当教員の許可を得
てから登録すること。

備考欄には重要な注意が書かれているので
見落とさないこと。

他学部他学科開講科目であるが、自学科の科目として
扱うことのできるもの。
開講元が記載されているので時間割では開講学科の
ページを参照すること。

◎ 担当表欄外にも履修に関する注意事項が記載されているので、必ず確認すること。

3 全学共通科目

全学共通科目について

全学（14年次生以降）
（国際教養学部，理工英語コースを除く）

全学共通科目について

全14年次生以降学

1

全学共通科目について

全学共通科目の履修について

1. 上智大学の全学共通教育

上智大学の全学共通教育はキリスト教ヒューマニズムを基礎とする教育である

上智大学は、「キリスト教精神を基盤におき、真理と普遍的価値観を求める教育研究により、人間形成につとめることを目的とする共同社会」です。上智大学で行われているさまざまな教育研究のなかでも、全学共通教育は、それらすべての教育の根本である「キリスト教ヒューマニズム」に基づいています。キリスト教ヒューマニズムとは、絶対的な価値に思いを至しつつ、人間と社会や自然の諸問題をその根本から考え、真の解決を目指そうとする考え方であり、生き方でもあります。

そうした考え方と生き方によって豊かな人間形成と平和な世界を実現するために、本学の学生諸君は、「他者のために、他者とともに生きる人間 Men and Women for Others, with Others」として、心身のバランスと深い教養を兼ね備えた人格を自覚的、主体的に育てていくことが求められます。上智大学の全学共通教育は、学生諸君がみずから問題を意識し、問いかけ、解決するためのさまざまな機会を提供します。全学共通教育によって身につけるさまざまな価値観を、みずからの人格形成のために役立ててください。

「キリスト教人間学」科目群がキリスト教ヒューマニズム教育の基礎をなす

上智大学の全学共通科目は、「必修科目」、「選択必修科目」と「選択科目」に大別されます。そのなかで、上に述べた教育の根本を示し、「キリスト教ヒューマニズム」教育の基礎を担うのが、本学のユニバーシティ・アイデンティティ科目である「キリスト教人間学」科目群です。

キリスト教人間学とは、キリスト教的な観点から、人間の超越性に開かれた哲学・倫理学・宗教学を基盤に、諸科学などの成果をも援用して、現実に生きる人間とその生き方を総合的に考える学問です。そこでは、「思索の基盤を深める」「キリスト教の精神に学ぶ」「人間として生きる」「よりよい世界をつくる」という4つの基本区分に沿って、他者とともに生き、他者に奉仕し、社会をより良く変革する人間、人間性のあらゆる次元を探求し、広く深みのある連帯を追求する人間となることが目標とされます（p.87の「キリスト教人間学科目群の共通講義概要」および「評価基準」を参照）。

本学で学ぶ諸君は、本学の教育のコア科目である「キリスト教人間学」科目群へ参加することを通じて、みずからの成長に真摯に取り組み、他者とのかかわりを大切に、倫理的思考と判断力を備え、超越的価値にも目を開きつつ、地球的な視野に立ってより人間的な世界を築き上げる人間となるよう努力してください。

全学共通の必修科目は現代の人間形成に欠かせない分野である

「ウエルネスと身体」が、全学共通教育の必修科目として課されています。「ウエルネスと身体」は、スポーツや運動に関する科目というだけでなく、人間として生きていく上で不可欠な、身体知と健康の問題を自覚し総合的に実践する科目です。他者とともに生き、他者に奉仕し、社会をより良く変革する人間となるために欠かすことのできない重要な科目です。

高学年向け教養科目を履修して、社会に出る前に自分自身を見つめなおす

14年次生からの大きな特徴としては、3・4年次に履修しなくてはならない「高学年向け教養科目」を履修することがあります。これは、社会の急激な変化に対応し、今後のグローバル社会で活躍するために、学科科目によりある程度専門性を身につけた上で高いレベルの教養科目を学修することを目的としています。

グローバル化の進む社会への対処のしかたを学んだり、社会との実践的なかかわり方を学べる科目、社会と専門分野の関係性、現代社会における学問のあり方、専門分野どうしとの関係性を学べる科目、実践・体験を重んじる科目が用意されています。これらの科目を履修することにより、専門教育だけでは身につけることのできない、深く豊かな教養を持つ人間になってください。

ナンバリングを活用し、履修計画を立ててみる

全ての科目にナンバリングを導入しています。（ガイドページp.26参照）付されている数字が難易度の目安となります。科目ごとのシラバスやナンバリングを参考にして、必要な教養を身につけることができるよう、履修計画を立ててください。

なお、開講科目担当表に記載されたナンバリングには意味があります。p.75の表を参考にしてください。

学際的な科目、「学科科目で全学共通科目として認められる科目（学全科目）」を受講して広範かつ専門的な視野をもつことができる

上智大学の全学共通科目の顕著な特色は、それらの科目が原則として、本学のいずれかの学部学科に所属している専任教員によって開講されていることです。そのため、各開講科目のテーマと内容には、本学の各研究分野の専門的な特色が反映されています。したがって、漫然と授業を受ければ一般的な教養が習得されるという類のものとは異なり、どの授業でも、学生諸君の積極的な受講態度が求められています。

上智大学の全学共通科目の中には、本学のルーツとアイデンティティ、地球環境問題、人権問題や平和問題など、専門分野の枠を超えた広い視野に触れることができる学際的な科目が多数開講されています。さらに、より深い専門的な知識と理解を求める学生諸君のためには、学際的な科目とは対照的な科目として、各学部学科が開講している専門科目を他の学部学科の学生諸君にも開放する「学全科目」が数多く提供されています。

学際的な総合分野から個別の専門分野までにわたるこれら広範な科目群は、9学部を擁する総合大学としての上智大学が豊富な人材と研究機構をもち、そこに所属する人々が専門性を保持しながら、「キリスト教ヒューマニズム」を基盤として全学的な協力関係をつくることで実現されるものです。本学の全学共通科目にそうした科目群が開講され、すべての学生諸君が利用できるということは、他では得ることのできない貴重な機会です。ぜひともこの教育資源を十分に活用して、自分の中に豊かな人間性を育て、「他者のために、他者とともに生きる人間 Men and Women for Others, with Others」となってください。

全学共通科目の全体構成

》》》 思索の基盤を深める

哲学・倫理学・宗教学を基盤として、人間を知り学問を深めるための基本を学びます。

》》》 キリスト教の精神に学ぶ

聖書・神学への理解などを通じて、キリスト教ヒューマンイズムの神髄に触れます。

● キリスト教人間学 ● (選択必修)

キリスト教的な観点に基づき、現実
に生きる人間とその生き方について
4つの側面から総合的に学びます。

》》》 人間として生きる

人間の尊厳を知り、自己を高
めながら他者のために生きる
姿勢を身につけます。

》》》 よりよい世界をつくる

環境保全や人権尊重、平和維
持など全地球的に取り組むた
めの態度・考え方を養います。



● 必修科目 ●

現代社会で働き生きる人間にとって不可欠
な心と体、情報、コミュニケーションに関す
る知識とスキルを学びます。

》》》 ウエルネスと身体

よりよく生きるための重要なメディアである身体
(身体知)について学び、トータルな健康を求める
ウエルネスへの理解を深めます。

● 選択科目 ●

現代社会を取り巻く複雑な課題に対処でき
るよう、専門分野の枠を超えた4つの視点
から学際的にアプローチします。

》》》 建学の理念

ルーツと伝統／キリスト教精神*

本学のアイデンティティを知り、キリスト教ヒュー
マンイズムを体得します。

》》》 思索の基盤

哲学*／倫理*／宗教

物事の本質を捉え、より深く考えるための基盤と
なる叡智を身につけます。

》》》 人間と文化

言語文学系*／歴史文化系*／身体文化系／基礎科学系

人類社会の未来を築く人間に欠かせない幅広い
教養と知見を養います。

》》》 共生と世界

地球環境系*／生命社会系*／人権平和系*／情報社会系*

ひとつの学問領域では解決できない全地球的な
課題への理解を深めます。

*印の科目群には学全科目(各学部・学科が全学共通科目として
提供する科目)が含まれます。

2. 全学共通科目の選択必修、選択科目履修方法について

1項の全学共通教育における使命に基づき、本学では多領域にわたって科目群や科目数を整え、充実したかたちで開講している。したがって学生はその一つの領域に偏ることなく、できるだけ幅広く履修し、また、専攻分野との有機的な関連づけを考慮し、学際的な理解を深める機会とするなど、各自が個性的で調和のとれた履修形態を主体的に選択することが強く望まれる。

全学共通科目（選択必修・選択）は、基本的には専攻の学科科目と並行して履修することによってその成果が期待されるものである。したがって学生は、うわべだけの履修に終わりがちな短期間での過密・集中的な履修を避け、また無計画で便宜的かつ安易な履修に陥ることなく、「コース・メニュー」を組み立てるなど、各自の関心に応じてある程度系統だった実のある履修形態を主体的に工夫することが強く期待される。

なお、学生は自分のニーズに合った適正な履修方法を考えるに当たって、所属学科の教員はもとより、全学共通科目担当教員の助言を求めることができる。

3. 全学共通科目（学全科目を除く）のナンバリングについて

開講科目担当表に記載されたナンバリングは下記の分野等を示すものである。ナンバリングについてはp. 26を参照すること。

分野名 (アルファベット)	分野名 (英語)	分野名 (日本語)	履修度
HPE	Health & Physical Education	ウェルネスと身体	必修
SCH	Studies in Christian Humanism	キリスト教人間学	選択必修
GFI	Founding ideals—Roots and tradition	◎建学の理念<ルーツと伝統>	選択
GTP	Foundation of thought—Philosophy	◎思索の基盤<哲学>	
GTE	Foundation of thought—Ethics	◎思索の基盤<倫理>	
GTR	Foundation of thought—Religion	◎思索の基盤<宗教>	
GHL	Humans and cultures—Languages and literatures	◎人間と文化<言語文学系>	
GHH	Humans and cultures—Histories and cultures	◎人間と文化<歴史文化系>	
GHB	Humans and cultures—Body and culture	◎人間と文化<身体文化系>	
GHS	Humans and cultures—Basic sciences	◎人間と文化<基礎科学系>	
GCE	Coexistence and world—Earth and environment	◎共生と世界<地球環境系>	
GCL	Coexistence and world—Life and society	◎共生と世界<生命社会系>	
GCR	Coexistence and world—Human rights and peace	◎共生と世界<人権平和系>	
GCI	Coexistence and world—Information and society	◎共生と世界<情報社会系>	

4. 履修登録について

所定の期間に各自で行うこと。クラス指定や必修科目であっても自動的に登録されないので、十分注意すること。履修登録については、p.27~および各ページの履修上の注意、「Loyolaハンドブック (Loyolaに掲載)」、「履修登録クイックナビ (新入生のみ配布)」を必ず参照すること。

5. 重複履修について

同一科目を2回以上履修しても、卒業に必要な単位として認められない。

同一科目とは、原則として科目コードが同じ科目である。

6. 抽選科目について

開講科目担当表の備考欄に「○○○名」というようにカッコで囲まれた定員数が記載されていて、Loyolaの時間割表上に赤字で表記されている科目が抽選科目である。

抽選科目の履修登録方法についてはp.29~および「Loyola ハンドブック (Loyolaに掲載)」、「履修登録クイックナビ (新入生のみ配布)」を参照すること。

2

全学共通科目 (14年次生以降)

※国際教養学部、理工英語コースについては全学共通科目の構成が異なる。詳細はそれぞれの「BULLETIN OF INFORMATION2015-2016」を参照すること。

※国際教養学部・理工英語コースの学生は、本学ホームページの学部履修要覧ページを参照してください。

全学共通科目履修上の注意

14年次生以降

※文学部英文学科、外国語学部英語学科、総合グローバル学部、総合人間科学部看護学科の学生は全学共通科目の構成や履修上の規定が異なるため、各自の所属学科の構成表・履修上の規定を参照すること。国際教養学部・理工学部英語コースについては、各「Bulletin of Information 2015-2016」を参照すること。

1. 全学共通科目の構成

履修度	科 目 群	合計必要単位数
必修科目	ウエルネスと身体 (2単位)	2
選択必修科目	キリスト教人間学科目	4
選択科目 (20単位)	建学の理念、思索の基盤、人間と文化、共生と世界、学全科目 高学年向け教養科目 (3・4年次に履修)	18 2
		26

(文学部英文学科、外国語学部英語学科)

履修度	科 目 群	合計必要単位数
必修科目	ウエルネスと身体 (2単位)	2
選択必修科目	キリスト教人間学科目	4
選択科目 (16単位)	建学の理念、思索の基盤、人間と文化、共生と世界、学全科目 高学年向け教養科目 (3・4年次に履修)	14 2
		22

2. 全学共通科目履修上の規定

1) 必修科目について

全学共通科目の必修科目については、「ウエルネスと身体」(2単位)を修得しなければならない。必修科目を卒業に必要な単位数を超えて履修しても、その超過分の単位を選択必修科目及び選択科目に充当することはできない。

2) 選択必修科目について

全学共通科目の選択必修科目については、キリスト教人間学科目の中から**4単位**履修すること。(原則として1年次生で履修すること。)4単位を超えて履修した場合には、選択科目に充当することができる。詳細については、p.87~を参照すること。

3) 選択科目について

全学共通科目の選択科目については、高学年向け教養科目(2単位)も含め、合計**20単位**(文学部英文学科、外国語学部英語学科は16単位)履修すること。

①科目群は、「建学の理念」「思索の基盤」「人間と文化」「共生と世界」「学科科目で全学共通科目として認められる科目(学全科目)」の中から履修すること。

・全学共通科目の選択科目のうち、**4単位まで**はp.104~108に掲げる「学科科目で全学共通科目として認められる科目(学全科目)」で充当することができる。ただし、「開講学部・学科/備考」欄の学部・学科生には全学共通科目として認められない。

・語学科目(p.134~)については、8単位までを全学共通科目の選択科目として充当することができる。

②「高学年向け教養科目」(p.103)(2単位)は3・4年次に履修しなくてはならない。2単位を超えて履修した場合には、選択科目に充当することができる。

- ・各科目の履修上の条件等については、科目一覧の備考欄及びシラバスを参照すること。
- ・学科が教育上その必要性を認めるときには、必修科目を除く全学共通科目の中から12単位までを学科の指定に従い、学科科目として充当することができる。ただし、学科により取り扱いが異なるので所属学科の「履修上の注意」等の頁を参照すること(特に記載のない場合には認められていない)。
- ・受講者が多数になり、教室の定員を鑑みて収容できない場合は登録を制限する場合がある。

(総合グローバル学部)

1. 全学共通科目の構成

履修度	科 目 群	合計必要単位数
必修科目	ウエルネスと身体 (2単位)	2
選択必修科目	キリスト教人間学科目	4
選択科目	建学の理念, 思索の基盤, 人間と文化, 共生と世界, 学全科目	20
		26

2. 全学共通科目履修上の規定

1) 必修科目について

全学共通科目の必修科目については、「ウエルネスと身体」(2単位)を修得しなければならない。必修科目を卒業に必要な単位数を超えて履修しても、その超過分の単位を選択必修科目及び選択科目に充当することはできない。

2) 選択必修科目について

全学共通科目の選択必修科目については、キリスト教人間学科目の中から**4単位**履修すること。(原則として1年次生で履修すること。)4単位を超えて履修した場合には、選択科目に充当することができる。詳細については、p.87を参照すること。

3) 選択科目について

全学共通科目の選択科目については、**20単位**履修すること。

科目群は、「建学の理念」「思索の基盤」「人間と文化」「共生と世界」「学科科目で全学共通科目として認められる科目(学全科目)」の中から履修すること。

- 全学共通科目の選択科目のうち、**4単位まで**はp.104～108に掲げる「学科科目で全学共通科目として認められる科目(学全科目)」で充当することができる。ただし、「開講学部・学科/備考」欄の学部・学科生には全学共通科目として認められない。
- 語学科目(p.134～)については、8単位までを全学共通科目の選択科目として充当することができる。
- 各科目の履修上の条件等については、科目一覧の備考欄及びシラバスを参照すること。
- 受講者が多数になり、教室の定員を鑑みて収容できない場合は登録を制限する場合がある。

※総合グローバル学部の学生は、選択必修科目と選択科目においては、履修できる科目が限られている。原則として[G]マークの付いている科目の中から履修すること。

(総合人間科学部看護学科)

1. 全学共通科目の構成

履修度	科目群	合計必要単位数
必修科目	外国語科目 (8単位) ウエルネスと身体 (2単位)	10
選択必修科目	キリスト教人間学科目	4
選択科目	建学の理念, 思索の基盤, 人間と文化, 共生と世界, 学全科目	16
		30

2. 全学共通科目履修上の規定

1) 必修科目について

全学共通科目の必修科目については、「ウエルネスと身体」(2単位)、「外国語科目」(8単位)(p.134参照)を修得しなければならない。必修科目を卒業に必要な単位数を超えて履修しても、その超過分の単位を選択必修科目及び選択科目に充当することはできない。

2) 選択必修科目について

全学共通科目の選択必修科目については、キリスト教人間学科目の中から**4単位**履修すること。(原則として1年次生で履修すること。)4単位を超えて履修した場合には、選択科目に充当することができる。詳細については、p.87～を参照すること。

3) 選択科目について

全学共通科目の選択科目については、**16単位**履修すること。

科目群は、「建学の理念」「思索の基盤」「人間と文化」「共生と世界」「学科科目で全学共通科目として認められる科目(学全科目)」の中から履修すること。

- ・全学共通科目の選択科目のうち、**4単位まで**はp.104～108に掲げる「学科科目で全学共通科目として認められる科目(学全科目)」で充当することができる。ただし、「開講学部・学科/備考」欄の学部・学科生には全学共通科目として認められない。

- ・各科目の履修上の条件等については、科目一覧の備考欄及びシラバスを参照すること。
- ・受講者が多数になり、教室の定員を鑑みて収容できない場合は登録を制限する場合がある。

全学共通科目「ウエルネスと身体」(必修) 及び身体文化系科目 (選択) 履修上の注意

1. 必修科目について

15年次生

授業科目	単位	履修時間
ウエルネスと身体	2	週1コマ, 春学期または秋学期

1) 受講クラスについて

- (7) 「ウエルネスと身体」は学科ごとに指定された曜日・時限で複数のクラスに分けて授業を行う。
下記日時に、各自が受講するクラスと登録コードをWEBにて掲示するので、掲示を確認してから履修登録期間中に各自で登録を行うこと。
【掲示日時】4月8日(水) 正午 Loyola「学事センター(教務) 掲示板」にて発表
(春学期に履修する学生を対象としたクラスのみ掲示。秋学期に履修する学生のクラスは9月下旬に同掲示板にて掲示を行うので、各自確認のうえ登録すること。)
<注意>指定されたクラスで受講すること。また、クラスの変更は認められないので十分注意すること。
- (4) 特別の事情がない限り、定められた年次(原則として1年次)に履修すること。ただし、ドイツ文・フランス文・ドイツ語・フランス語学科のドイツ語・フランス語既習者及び哲学科等で、必修の学科科目と時間割が重複した場合に限り、受講クラスの変更を認める場合があるので、時間割が重複した場合は、必ず授業開始前に保健体育研究室事務室(7号館2階225号室)まで相談に来ること。
- (9) 「特別クラス」での受講で希望するものは、3)を参照すること。

14年次生

1) 受講クラスについて

- 14年次生で単位を修得していない学生は、15年次生対象の「ウエルネスと身体」を履修すること。
春学期開講科目の受講希望者は、4月8日(水) 10:00-12:00、秋学期開講科目の受講希望者は、9月24日(木) 10:00-12:00 7号館2F保健体育会議室(7-220)において受講クラスの決定を行うので必ず来室すること(先着順受付、人数制限あり)。受講クラスが決定した学生は、その場で追加登録の許可用紙を交付するので、下記期限内までに学事センターに提出すること。

<許可用紙提出期間>

- 春学期開講クラス 4月13日(月)~17日(金)まで(窓口時間内)
秋学期開講クラス 9月29日(火)~10月5日(月)まで(窓口時間内)

- ※再履修者は、Loyolaで履修登録することができないので、許可用紙提出期間内に必ず許可用紙を提出すること。
※提出期間内に許可用紙の提出がない場合は、許可を得ても履修登録できず無効となるので注意すること。
また、提出された場合でも既にLoyolaで登録されている科目と曜日・時限が重複する場合や、最高履修限度を超えてしまう場合は登録できないので、履修登録エラーのないように注意すること。
※割り当てられた受講クラスの変更は原則として認められない。
※「特別クラス」での受講を希望するものは、3)を参照すること。

2) 初回授業について

- (7) 指定された時間帯および教室に平服で集合し、ガイダンスに出席すること。
(4) ガイダンスには、テキスト、筆記用具、3×3cmの顔写真を持参すること。
(9) テキスト『身体のリバラルアーツ』は、春・秋学期とも、各学期のはじめに教科書売り場で購入し必ず持参すること(秋学期分は秋学期に販売する)。

3) 「特別クラス」について

- (7) 心身の健康障害その他の理由で、指定された「ウェルネスと身体」クラスを履修することが困難である学生のために、春学期火曜日2時限に開講する。
- (4) 受講希望者は、指定されたクラスの授業開始以前に、保健体育研究室事務室（7号館2階225室）まで来室すること。担当教員と相談のうえ、受講可否の決定後、初回授業の翌日から履修登録修正期間内に各自Loyolaで履修登録を行うこと。（登録コードはGSF19000）
- (7) 特別クラス初回授業は、4月14日（火）2時限に7号館2階220室でガイダンスを行う。

全学共通科目〔必修科目〕ウエルネスと身体

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目名	単位	開講期	曜日	時限	担当者	学科・クラス
全学共通科目〔必修科目〕	ウエルネスと身体	GSF10100	HPE100	ウエルネスと身体	2	春	月 1	師岡文男 飯田祥明 大瀬串哲邦 島戸邦弘	ポルトガル語, 機能創造理工
		GSF10100	HPE100	ウエルネスと身体	2	春	月 3	飯瀬田祥明 金戸邦弘 師本めぐみ 大岡文男 島串哲邦	ドイツ語, フランス語, イスパニア語
		GSF10100	HPE100	ウエルネスと身体	2	春	火 1	島健男 師岡めぐみ 金本邦弘 瀬戸真美 國寶	神, ドイツ文, 地球環境法
		GSF10100	HPE100	ウエルネスと身体	2	春	水 1	金本めぐみ 國寶真美 吉田美和子 大串哲朗 飯田祥明	教育, フランス文, 社会福祉
		GSF10100	HPE100	ウエルネスと身体	2	春	水 3	金本めぐみ 飯田祥明 吉田美和子 *廣瀬立朗 國寶真美 瀬戸邦弘	物質生命理工, 国際教養 (春入学)
		GSF10100	HPE100	ウエルネスと身体	2	春	木 1	大串哲朗 吉田美和子 飯田祥明 國寶真美	情報理工
		GSF10100	HPE100	ウエルネスと身体	2	春	金 1	吉瀬田美和子 國寶邦弘 金本めぐみ 師岡文男	史, 国文, ロシア語
		GSF10100	HPE100	ウエルネスと身体	2	秋	月 1	大飯串哲朗 鈴田祥明 瀬戸邦弘 金本めぐみ 島戸健	総合グローバル
		GSF10100	HPE100	ウエルネスと身体	2	秋	月 3	金本めぐみ 島串哲朗 大鈴守 瀬戸邦弘	英語
GSF10100	HPE100	ウエルネスと身体	2	秋	火 1	島健男 吉田美和子 瀬戸邦弘 國寶真美 金本めぐみ	看護, 国際関係法		

全学共通科目
に
ついて
は
14
年生
以降
の
学

履修度	科目 コード	ナンバ リング	授業科目名	単 位	開講期	曜 日	時 限	担 当 者	学科・クラス	
全学共通科目〔必修科目〕	ウエルネスと身体	GSF10100	HPE100	ウエルネスと身体	2	秋	水	2	大串哲朗 金本めぐみ 飯田祥明 瀬戸邦弘 吉田美和子 國寶真美 *廣瀬立美朗	心理, 経営, 理工英語コース
		GSF10100	HPE100	ウエルネスと身体	2	秋	水	3	*廣瀬戸邦弘 飯田立祥明 大串哲朗 吉田美和子 國寶真美	哲, 社会, 国際教養 (秋入学)
		GSF10100	HPE100	ウエルネスと身体	2	秋	木	1	吉田美和子 國寶真美朗 飯田祥明 大串哲朗 島健	法律
		GSF10100	HPE100	ウエルネスと身体	2	秋	木	3	大串哲朗 吉田美和子 國寶真美 鈴木祥明 飯田	経済
		GSF10100	HPE100	ウエルネスと身体	2	秋	金	1	吉田美和子 金本めぐみ 國寶真美 瀬戸邦弘 鈴木祥明 飯田	英文, 新聞
		GSF10100	HPE100	ウエルネスと身体	2	春	火	2	吉田美和子	特別クラス

2. 選択科目について

選択科目の身体文化系科目については、p.93～94を参照すること。

身体文化系科目のうち、科目一覧の備考欄に定員が[〇〇名]で記載されている科目は抽選科目であるので、抽選科目登録期間に履修登録手続をすること。(抽選科目の登録方法はp.29～を参照。)

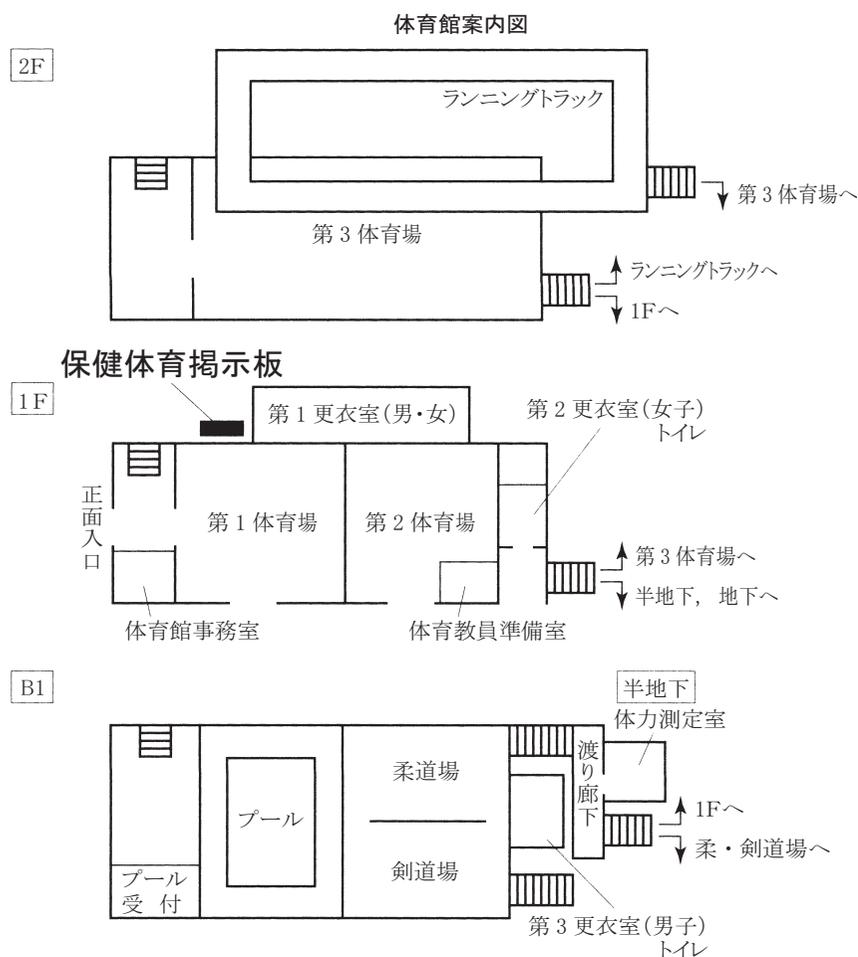
なお、備考欄に★印が付してある科目に関しては、初回授業(第1回目)で受講者を決定するための抽選を行う。したがって、初回授業で抽選結果を確認してから履修登録を行うこと。授業内抽選で当選した場合には、初回授業の翌日から修正登録期間内に各自Loyolaで科目の登録を行うこと。落選した場合には履修登録ができない。当選した場合でも自動的に科目の登録は行われぬ。

※2015年度より実技科目・演習科目(一部を除く)がLoyolaでの抽選科目に変更になったので注意すること。

〔保健体育に関する掲示について〕

保健体育科目に関する学生への連絡は、Loyola掲示板の「授業掲示板」「学事センター(教務)掲示板」および体育館第1更衣室脇掲示板(保健体育掲示板)、保健体育研究室事務室前掲示板に掲示する。

保健体育掲示板の位置は下図のとおり。



全学共通科目「情報リテラシー」「情報フルエンシー」（選択）

履修上の注意

14年次生以降

ワープロによる文書の作成、表計算ソフトによるデータの処理、プレゼンテーションソフトによる発表資料の作成、インターネットによる情報の収集や発信などの情報処理の基礎は、大学生活や社会生活を送る上で重要である。このため、本学では、全学共通科目の選択科目として、基礎から応用まで、下記の科目群を用意している。適切な履修を望みたい。

なお、情報系の科目はすべて選択科目であるので、開講科目担当表（p.98～99）を参照のうえ、登録を希望する場合は受講を希望する科目が開かれる学期の抽選科目登録期間に登録すること。

1. 情報リテラシー

- ①（一般）クラス（含む一般・英語クラス）
 - ・オリエンテーション（大学における情報リテラシーの活用）
 - ・レポート・論文作成支援技術
 - ・表計算ソフトによるデータ処理
 - ・プレゼンテーション支援技術
 - ・インターネットの活用技術
 - ・その他（セキュリティ、ネチケット等）
- ②（情報検索）クラス
一般クラスの内容に加えて、情報検索に関する項目を強化して行う。
- ③（統計処理）クラス
一般クラスの内容に加えて、統計処理に関する項目を強化して行う。
- ④（データの収集・分析・利用）クラス
一般クラスの内容に加えて、データの収集・分析・利用に関する項目を強化して行う。
- ⑤（情報学）クラス
一般クラスの内容に加えて、情報学に関する項目（基礎的なプログラムの作成・実行の演習）を強化して行う。

2. 情報フルエンシー

情報リテラシーに関して、中級的な知識を有する学生に対し、応用的な知識を提供しようとするものである。下記のようなクラスから成っている。

- ・（システム情報処理）クラス
- ・（プログラミング技法）クラス
- ・（システムコンサルティング）クラス
- ・（JAVA GRAPHICS & PROGRAMMING）クラス
- ・（HTMLとCSSを用いたWebページ作成技法）クラス
- ・（情報科学と人間）クラス
- ・（マルチメディア表現方法）クラス
- ・（情報メディア活用）クラス
- ・（情報とネットワーク社会）クラス
- ・（ITパスポート講座）クラス
- ・（Excelマスター講座）クラス
- ・（Excel処理応用講座）クラス
- ・（VBAによるExcel処理）クラス
- ・（Cプログラミング）クラス
- ・（ゲームプログラミング）クラス

全学共通科目「キリスト教人間学」(選択必修)

履修上の注意

14年次生以降

1. 「キリスト教人間学」科目群の共通講義概要

上智大学は、創立以来、キリスト教ヒューマニズムに基づく人間教育を基本理念としており、Men and Women for Others, with Others, すなわち、他者と共に生き、他者に奉仕し、社会をより良く変革する人間を育成することに努めている。それは、自己の成長に真摯に取り組み、他者とのかかわりを大切にし、倫理的思考・判断力を備え、超越的価値にも目を開きつつ、地球的な視野に立って、より人間的な世界を築き上げることのできる人間を育成することである。このような教育目標の具現に必要とされる、固有な学びの視点を培うために、本学ではユニバーシティ・アイデンティティ科目として「キリスト教人間学」科目群を設け、選択必修科目として全学部の学生に履修を課している。

「キリスト教人間学」科目群は、より詳しくは以下のような共通理念に基づいて開設、運営される。

1. 「キリスト教人間学」は、「人間性の諸次元をあますところなく見つけ、全人類の連帯を倦むことなく追求する現代のキリスト教ヒューマニズム」を支柱とする、本学の建学精神の発露であり、本学の教育のコア科目である。
2. 「キリスト教人間学」は、キリスト教的な観点から、人間の超越性に開かれた哲学・倫理学・宗教学を基盤に、諸科学の成果なども援用しつつ、人間存在の総合的な理解をめざし、「人間とその生き方」を探求することを旨とする。
3. 「キリスト教人間学」は、各自の思想や人間性の発展の基礎であることから、受講者が自ら問い、考え、選り、行動するという自覚的で主体的な営みがとくに重視される。
4. 「キリスト教人間学」は、受講者一人ひとりがそれぞれに見合った仕方で「人間とは何か」、「生きる意味とは何か」など、人間性の根本問題に主体的に取り組むため、以下の手段によって履修を支援する。
 - a) 履修上の目安として、「思索の基盤を深める」「キリスト教の精神に学ぶ」「人間として生きる」「よりよい世界をつくる」の4基本区分を設ける。
 - b) より高い選択性担保の一環として、「春学期開講」と「秋学期開講」の区別を活かし、原則として、「春」「秋」それぞれ1科目ずつ、計4単位を履修する。
 - c) さらに学ぶの道を開くため、選択必修4単位分を超えて履修した科目は、全学共通科目の選択科目として、「卒業のために必要な単位数」への算定を可能とする。

2. 「キリスト教人間学」科目群の共通評価基準

何らかの試験を実施し、出席を毎回確認する。欠席が4回を超えた場合には、原則として成績評価の対象としない。

3. 履修ブロック

15年次生は下記の指定されたブロックから履修すること。指定ブロック以外の科目を履修することはできない。原則として1年次生のうちに2科目4単位(春学期1科目2単位、秋学期1科目2単位)を履修すること。14年次生は全てのブロックの科目を履修することができる。

ブロック	学部学科	曜日時限
A	文学部(哲, 史, 国文, 新聞), 理工学部(英語コースを除く)	火曜1時限
B	総合人間科学部(看護), 法学部, 経済学部	火曜4時限
C	総合人間科学部(教育, 心理, 社会, 社会福祉), 外国語学部(イスパニア語, ポルトガル語), 総合グローバル学部	金曜1時限
D	神学部, 文学部(英文, ドイツ文, フランス文), 外国語学部(英語, ドイツ語, フランス語, ロシア語)	金曜4時限
E	国際教養学部, 理工学部英語コース	火曜5時限

4. 履修方法について

キリスト教人間学科目は全て抽選科目である。抽選科目登録期間に各自、登録を行なうこと。第1希望科目の抽選に外れた場合は、第2、第3希望…と順次抽選が行われる。抽選科目登録の際には、指定ブロック内の全ての科目に優先順位をつけないと登録できないので、あらかじめ履修希望する順位を決めておくこと。なお、総合グローバル学部の学生は、マークの付いている科目を上位に、付いていない科目を下位に、指定ブロック内の全ての科目に順位を付けて抽選科目登録を行うこと。

全学共通科目〔選択必修科目〕キリスト教人間学科目

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目名	単位	開講期	担当者	ブロック	備考	
全学共通科目〔選択必修科目〕	キリスト教人間学科目	<思索の基盤を深める>							
		GSG10600	SCH105	キリスト教人間学(倫理学入門)	2	春	*石井 雅之	A	[90名]
		GSG11400	SCH112	キリスト教人間学(東洋の自然観)	2	春	高山 貞美	A	[90名]
		GSG10500	SCH101	キリスト教人間学(哲学)	2	春	大橋 容一郎	B	[90名]
		GSG10900	SCH103	キリスト教人間学(古代中世の哲学)	2	春	荻野 弘之	B	[90名]
		GSG15500	SCH106	キリスト教人間学(哲学的人間論)	2	春	佐藤 直子	C	[90名], [G]
		GSG10300	SCH100	キリスト教人間学(哲学入門)	2	春	寺田 俊郎	D	[90名]
		GSG11000	SCH104	キリスト教人間学(近現代の哲学)	2	春	鈴木 伸国	D	[90名]
		GSG10600	SCH105	キリスト教人間学(倫理学入門)	2	秋	*石井 雅之	A	[90名]
		GSG18620	SCH108	キリスト教人間学 (哲学思索と宗教的共生)	2	秋	長町 裕司	A	[90名]
		GSG10600	SCH105	キリスト教人間学(倫理学入門)	2	秋	*石井 雅之	B	[90名]
		GSG10200	SCH111	キリスト教人間学(宗教学)	2	秋	高山 貞美	B	[90名]
		GSG13400	SCH113	キリスト教人間学(キリスト教の人間理解)	2	秋	HAIDAR Juan	C	[90名], [G]
		GSG10200	SCH111	キリスト教人間学(宗教学)	2	秋	高山 貞美	C	[90名]
		GSG10800	SCH107	キリスト教人間学(人間精神と超越者)	2	秋	佐藤 直子	D	[90名]
		GSG15400	SCH109	キリスト教人間学(日本の哲学)	2	秋	田中 裕	D	[90名]
		GSG10200	SCH111	キリスト教人間学(宗教学)	2	休講			
		<キリスト教の精神に学ぶ>							
		GSG18651	SCH135	キリスト教人間学(聖書にみる人間観)	2	春	月本 昭男	A	[90名]
		GSG18660	SCH134	キリスト教人間学(キリスト教と音楽)	2	春	森 裕子	A	[90名]
		GSG18680	SCH137	キリスト教人間学 (キリスト教の礼拝とシンボル)	2	春	FIRMANSYAH Antonius	A	[90名]
		GSG18660	SCH134	キリスト教人間学(キリスト教と音楽)	2	春	森 裕子	B	[90名]
		GSG14800	SCH121	キリスト教人間学(新約聖書入門)	2	春	久保 文彦	B	[90名]
		GSG18680	SCH137	キリスト教人間学 (キリスト教の礼拝とシンボル)	2	春	FIRMANSYAH Antonius	B	[90名]
		GSG13100	SCH133	キリスト教人間学(仏教とキリスト教)	2	春	高山 貞美	C	[90名], [G]
		GSG14800	SCH121	キリスト教人間学(新約聖書入門)	2	春	久保 文彦	C	[90名]
		GSG14500	SCH130	キリスト教人間学(イエスとその神)	2	春	光延 一郎	C	[90名]
		GSG18670	SCH136	キリスト教人間学 (歴史の中のキリスト教と人間)	2	春	伊藤 高章	D	[90名]
		GSG14000	SCH120	キリスト教人間学(旧約聖書入門)	2	春	久保 文彦	D	[90名]
		GSG14800	SCH121	キリスト教人間学(新約聖書入門)	2	秋	久保 文彦	A	[90名]
		GSG18680	SCH137	キリスト教人間学 (キリスト教の礼拝とシンボル)	2	秋	FIRMANSYAH Antonius	A	[90名]
		GSG18660	SCH134	キリスト教人間学(キリスト教と音楽)	2	秋	森 裕子	B	[90名]
		GSG18680	SCH137	キリスト教人間学 (キリスト教の礼拝とシンボル)	2	秋	FIRMANSYAH Antonius	B	[90名]
		GSG18690	SCH132	キリスト教人間学(福音としてのキリスト教)	2	秋	瀬本 正之	C	[90名], [G]
		GSG14800	SCH121	キリスト教人間学(新約聖書入門)	2	秋	久保 文彦	D	[90名]
		GSG18670	SCH136	キリスト教人間学 (歴史の中のキリスト教と人間)	2	秋	伊藤 高章	D	[90名]
GSG13900	SCH129	キリスト教人間学(キリスト教の展開)	2	休講					
GSG13800	SCH128	キリスト教人間学(イエスの人格と思想)	2	休講					

※総合グローバル学部の学生は原則として[G]マークの付いている科目の中から履修すること。

全学共通科目
に
ついて
は
14
年
次
生
以
降
の
学

履修年度	科目コード	ナンバリング	授業科目名	単位	開講期	担当者	ブロック	備考
全学共通科目〔選択必修科目〕 キリスト教人間学科目	<人間として生きる>							
	GSG18500	SCH156	キリスト教人間学(祈りの人間学)	2	春	原 敬 子	A	[90名]
	GSG18000	SCH150	キリスト教人間学(かかわりの人間学)	2	春	瀬 本 正 之	A	[90名]
	GSG18500	SCH156	キリスト教人間学(祈りの人間学)	2	春	原 敬 子	B	[90名]
	GSG11500	SCH158	キリスト教人間学(いのちの倫理:原点)	2	春	竹 内 修 一	B	[90名]
	GSG13300	SCH151	キリスト教人間学(キリスト教と文学)	2	春	片 山 はるひ	B	[90名]
	GSG18000	SCH150	キリスト教人間学(かかわりの人間学)	2	春	*石 井 雅 之	B	[90名]
	GSG18000	SCH150	キリスト教人間学(かかわりの人間学)	2	春	瀬 本 正 之	C	[90名], [G]
	GSG13300	SCH151	キリスト教人間学(キリスト教と文学)	2	春	片 山 はるひ	D	[90名]
	GSG15200	SCH155	キリスト教人間学(宗教体験としての回心)	2	春	具 正 謨	D	[90名]
	GSG18000	SCH150	キリスト教人間学(かかわりの人間学)	2	秋	森 裕 子	A	[90名]
	GSG18500	SCH156	キリスト教人間学(祈りの人間学)	2	秋	原 敬 子	A	[90名]
	GSG13300	SCH151	キリスト教人間学(キリスト教と文学)	2	秋	片 山 はるひ	A	[90名]
	GSG11900	SCH154	キリスト教人間学(死生学)	2	秋	武 田 なほみ	B	[90名]
	GSG18000	SCH150	キリスト教人間学(かかわりの人間学)	2	秋	吉 川 ま み	B	[90名]
	GSG11600	SCH159	キリスト教人間学(いのちの倫理:展望)	2	秋	竹 内 修 一	B	[90名]
	GSG11800	SCH153	キリスト教人間学(生と死の哲学)	2	秋	HAIDAR Juan	B	[90名]
	GSG13300	SCH151	キリスト教人間学(キリスト教と文学)	2	秋	片 山 はるひ	C	[90名], [G]
	GSG18000	SCH150	キリスト教人間学(かかわりの人間学)	2	秋	吉 川 ま み	C	[90名]
	GSG18500	SCH156	キリスト教人間学(祈りの人間学)	2	秋	原 敬 子	D	[90名]
	GSG18000	SCH150	キリスト教人間学(かかわりの人間学)	2	秋	*田 村 和 子	D	[90名]
	GSG11900	SCH154	キリスト教人間学(死生学)	2	休講			
	GSG11800	SCH153	キリスト教人間学(生と死の哲学)	2	休講			
	<よりよい世界をつくる>							
	GSG18100	SCH171	キリスト教人間学 (持続可能な社会づくりと環境教育)	2	春	吉 川 ま み	A	[90名]
	GSG18600	SCH173	キリスト教人間学(キリスト教と現代社会)	2	春	*MUKENGESHAYI Matata	A	[90名]
	GSG16200	SCH174	キリスト教人間学(キリスト教と人権)	2	春	久 保 文 彦	A	[90名]
	GSG12800	SCH177	キリスト教人間学(暴力と人間)	2	春	AUGUSTINE Sali	B	[90名]
	GSG18100	SCH171	キリスト教人間学 (持続可能な社会づくりと環境教育)	2	春	吉 川 ま み	B	[90名]
	GSG10100	SCH179	キリスト教人間学(倫理学)	2	春	ブエンカラム ジョジョセフ	C	[90名], [G]
	GSG13000	SCH178	キリスト教人間学(アジアにおける人権問題)	2	春	AUGUSTINE Sali	C	[90名]
	GSG18100	SCH171	キリスト教人間学 (持続可能な社会づくりと環境教育)	2	春	吉 川 ま み	C	[90名]
	GSG17800	SCH170	キリスト教人間学(平和学入門)	2	春	小 山 英 之	D	[90名]
	GSG18630	SCH181	キリスト教人間学(途上国の持続可能な開発)	2	春	ブエンカラム ジョジョセフ	D	[90名]
	GSG18100	SCH171	キリスト教人間学 (持続可能な社会づくりと環境教育)	2	春	吉 川 ま み	D	[90名]
	GSG18600	SCH173	キリスト教人間学(キリスト教と現代社会)	2	秋	*MUKENGESHAYI Matata	A	[90名]
	GSG17800	SCH170	キリスト教人間学(平和学入門)	2	秋	小 山 英 之	A	[90名]
	GSG11210	SCH172	キリスト教人間学(環境時代と人間の尊厳)	2	秋	吉 川 ま み	A	[90名]
	GSG16200	SCH174	キリスト教人間学(キリスト教と人権)	2	秋	久 保 文 彦	B	[90名]
	GSG11210	SCH172	キリスト教人間学(環境時代と人間の尊厳)	2	秋	瀬 本 正 之	B	[90名]
	GSG14600	SCH175	キリスト教人間学 (キリスト教的人間観と現代社会の諸問題)	2	秋	光 延 一 郎	B	[90名]
	GSG18600	SCH173	キリスト教人間学(キリスト教と現代社会)	2	秋	*MUKENGESHAYI Matata	C	[90名]
	GSG16200	SCH174	キリスト教人間学(キリスト教と人権)	2	秋	久 保 文 彦	C	[90名]

※総合グローバル学部の学生は原則として[G]マークの付いている科目の中から履修すること。

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目名	単位	開講期	担当者	ブロック	備考		
全学共通科目 〔選択必修科目〕	キリスト教人間学	GSG12400	SCH180	キリスト教人間学 (グローバルイゼーションの現状と思想)	2	秋	ブテンカラム ジョンジョセフ	C	[90名], [G]	
		GSG17800	SCH170	キリスト教人間学 (平和学入門)	2	秋	小山英之	D	[90名]	
		GSG12300	SCH182	キリスト教人間学 (発展途上国の人間開発)	2	秋	ブテンカラム ジョンジョセフ	D	[90名]	
		GSG11210	SCH172	キリスト教人間学 (環境時代と人間の尊厳)	2	秋	吉川まみ	D	[90名]	
		GSG12000	SCH184	キリスト教人間学 (生活の中のジェンダー)	2	休講				
		GSG12100	SCH183	キリスト教人間学 (映像の中のジェンダー)	2	休講				
		GSG18600	SCH173	キリスト教人間学 (キリスト教と現代社会)	2	休講				
		GSG12900	SCH176	キリスト教人間学 (マイノリティーズと人権)	2	休講				
		GSG11210	SCH172	キリスト教人間学 (環境時代と人間の尊厳)	2	休講				
		<キリスト教人間学 (英語での開講) > ※注1参照 (14年次生対象)								
		GSG17200	SCH195	PHILOSOPHY OF LOVE	2	春	小山英之	E	[5名]	
		GSG17000	SCH194	PHILOSOPHY OF THE HUMAN PERSON	2	春	Haidar Juan	E	[5名]	
		GSG18641	SCH198	FOUNDATIONS: TIME AND SACRED RHYTHMS	2	春	ROBOŮAM Thierry	E	[5名]	
		GSG18800	SCH199	UNDERSTANDING THE INTERIOR DIMENSIONS OF HUMANITY	2	春	*NAMPET Wajira	E	[5名]	
		GSG18640	SCH197	FOUNDATIONS: TERRITORY & SACRED SPACE	2	秋	ROBOŮAM Thierry	E	[5名]	
		GSG17500	SCH192	PHILOSOPHY OF HUMAN NATURE	2	秋	鈴木伸国	E	[5名]	
		GSG18800	SCH199	UNDERSTANDING THE INTERIOR DIMENSIONS OF HUMANITY	2	秋	*NAMPET Wajira	E	[5名]	
		GSG17000	SCH194	PHILOSOPHY OF THE HUMAN PERSON	2	秋	Haidar Juan	E	[5名]	
		GSG17100	SCH193	PHILOSOPHY OF HUMAN VIOLENCE	2	休講				
		GSG17100	SCH193	PHILOSOPHY OF HUMAN VIOLENCE	2	休講				
GSG18610	SCH191	MODERN PHILOSOPHY	2	休講						
GSG17200	SCH195	PHILOSOPHY OF LOVE	2	休講						
GSG16800	SCH190	PHILOSOPHY OF HUMAN RIGHTS AND HUMAN DIGNITY	2	休講						

※総合グローバル学部の学生は原則として[G]マークの付いている科目の中から履修すること。

(注1) 履修するためには、TOEFL550点以上 (iBT 79点以上) を目安とする。

(注2) 下記の科目は同一科目のため、どちらか一方しか卒業に必要な単位として認められない。

科目コード	ナンバリング	現在開講している科目名	変更年度	科目コード	過年度開講の同一科目
GSG18651	SCH135	キリスト教人間学 (聖書にみる人間観)	2015年度	GSG18650	キリスト教人間学 (聖書における人間観)

全学共通科目〔選択科目〕

◎建学の理念

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目名	単位	開講期	担当者	備考
全学共通科目 (選択科目)	＜ルーツと伝統＞						
	099330	GFI101	上智大学(ソフィア)のルーツとアイデンティティ	2	春	コーディネータ AUGUSTINE Sali	[100名], 輪講

◎思索の基盤

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目名	単位	開講期	担当者	備考
全学共通科目 (選択科目)	＜哲学＞						
	099354	GTP101	論理の世界	2	秋	浅見昇吾	[G]
	＜倫理＞						
	099385	GTE201	現代社会と生命倫理	2	秋	コーディネータ 浅見昇吾	[200名], 輪講
	099355	GTE202	ケアの倫理学	2	秋	コーディネータ 寺田俊郎	輪講
	099392	GTE101	生命倫理の世界	2	春	浅見昇吾	[200名], [G]
	＜宗教＞						
	099349	GTR101	諸宗教における自然と人間	2	休講		[100名], 輪講, 隔年開講

◎人間と文化

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目名	単位	開講期	担当者	備考
全学共通科目 (選択科目)	＜言語文学系＞						
	099210	GHL101	フランス文学入門Ⅰ	2	春	永井敦子	[80名], 隔年開講
	099211	GHL102	フランス文学入門Ⅱ	2	休講		[80名], 隔年開講
	099401	GHL103	ドイツ文学案内	2	秋	高橋明彦	[200名]
	002171	GHL104	言語と人間Ⅰ	2	春	コーディネータ 高橋亮介	[250名], 輪講
	002172	GHL105	言語と人間Ⅱ	2	秋	コーディネータ 高橋亮介	[250名], 輪講
	099153	GHL106	文章構成法Ⅰ	2	秋	瀬間正之	[80名], 注2参照, [G]
	099154	GHL107	文章構成法Ⅱ	2	春	*上野美穂子	[80名], 注2参照
	099155	GHL108	文章構成法Ⅲ	2	春	*原貴子	[80名], 注2参照
	099156	GHL109	文章構成法Ⅳ	2	秋	服部隆	[80名], 注2参照, [G]
	099157	GHL110	文章構成法Ⅴ	2	休講		[80名], 隔年開講, 注2参照
	099158	GHL201	国語表現Ⅰ	2	秋	*原貴子	[100名], 注2参照
	099159	GHL202	国語表現Ⅱ	2	春	本廣陽子	[100名], 注2参照, [G]
	099160	GHL203	国語表現Ⅲ	2	休講		[100名], 注2参照
	099161	GHL204	国語表現Ⅳ	2	春	小林幸夫	[100名], 隔年開講, 注2参照
	099391	GHL205	国語表現Ⅴ	2	秋	豊島正之	[100名], 注2参照, [G]
	099162	GHL111	国語の歴史Ⅰ	2	休講		注3参照

※総合グローバル学部の学生は原則として[G]マークの付いている科目の中から履修すること。

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目名	単位	開講期	担当者	備考	
全学共通科目 (選択科目)	099163	GHL112	国語の歴史Ⅱ	2	春	服部 隆	注3参照	
	099099	GHL208	[漢文Ⅰ] 中国古典入門	2	春	長尾直茂	注3参照, [G]	
	099100	GHL209	[漢文Ⅱ] 中国の文学と文章	2	春	福井辰彦	注3参照	
	099101	GHL210	[漢文Ⅲ] 中国の詩文を読む	2	秋	福井辰彦	注3参照	
	099240	GHL211	[漢文Ⅳ] 中国文学と日本文学	2	休講		注3参照	
	099165	GHL113	日本近代文学序説Ⅰ (小説)	2	休講		注3参照	
	099103	GHL114	日本近代文学序説Ⅱ (詩歌)	2	秋	小林幸夫	注3参照	
	099104	GHL115	日本古典文学入門Ⅰ	2	秋	本廣陽子	注3参照, [G]	
	099105	GHL116	日本古典文学入門Ⅱ	2	春	瀬間正之	注3参照	
	099106	GHL117	日本古典文学入門Ⅲ	2	春	*上野美穂子	隔年開講, 注3参照	
	099404	GHL301	INSIDE THE KALEIDOSCOPE-19TH. CENTURY EUROPEAN CULTURE	2		DOTTHAST Barbara	海外招聘客員教員担当科目, 英語による授業, 注16参照	
	<歴史文化系>							
		099167	GHH101	東南アジア史入門Ⅰ	2	春	根本敬	[120名]
	010816	GHH102	東南アジア史入門Ⅱ	2	秋	丸井雅子 川島 緑	[200名], 輪講	
	010824	GHH103	中東研究入門	2	春	小牧昌平	[200名]	
	010828	GHH104	南アジア研究入門	2	春	ヴェリヤト シル	[200名]	
	099123	GHH105	中東イスラム研究入門	2	秋	*高橋圭	[200名]	
	010821	GHH106	東南アジア研究入門Ⅰ	2	春	*鈴木佑記	[150名]	
	010822	GHH201	東南アジア研究入門Ⅱ	2	秋	*斎藤紋子	[200名]	
	010829	GHH107	アフリカ研究入門	2	春	眞城百華	[200名]	
	011001	GHH108	西洋美術史Ⅰ	2	春	*阿部真弓	[200名]	
	011003	GHH202	西洋美術史Ⅱ	2	秋	*阿部真弓	[200名]	
	099086	GHH109	歴史学Ⅰ (日本史)	2	春	佐々木英夫	[200名]	
	099087	GHH110	歴史学Ⅱ (東洋史)	2	春	笹川裕史	[200名], [G]	
	099088	GHH111	歴史学Ⅲ (西洋史)	2	秋	井上茂子	[200名], [G]	
	010701	GHH203	日本史	2	秋	北條勝貴	[G]	
	010850	GHH204	東洋史	2	春	山内弘一		
	010902	GHH205	西洋史	2	春	長井伸仁	[G], [250名]	
	047003	GHH112	文化人類学Ⅰa	2	春	*綾部真雄	[250名]	
	047004	GHH113	文化人類学Ⅰb	2	秋	*綾部真雄	[250名]	
	047003	GHH112	文化人類学Ⅰa	2	春	*大川真由子	[250名]	
	047004	GHH113	文化人類学Ⅰb	2	秋	*大川真由子	[250名]	
	011115	GHH114	音楽の歴史Ⅰ	2	秋	*北川森央	[100名], 隔年開講	
	099166	GHH115	音楽の歴史Ⅱ	2	休講		[100名], 隔年開講, 注9参照	
	099421	GHH116	INTRODUCTION TO WORLD ECONOMIC HISTORY	2	春	倉田正充	英語による授業	
<身体文化系>								
実技科目 (注5参照)	GSH11500	GHB101	テニス初級	1	春	*乙戸光男	[24名]	
	GSH11600	GHB102	テニス	1	春	*乙戸光男	[24名]	
	GSH11600	GHB102	テニス	1	秋	*乙戸光男	[24名]	
	GSH11600	GHB102	テニス	1	秋	*乙戸光男	[24名]	
	GSH11700	GHB103	バスケットボール	1	春	飯田祥明	[30名]	
	GSH11700	GHB103	バスケットボール	1	秋	飯田祥明	[30名]	
	GSH11800	GHB104	水泳	1	春	島 健	[24名], [G]	
	GSH11900	GHB105	サッカー	1	春	大串哲朗	[30名], [G]	
	GSH11900	GHB105	サッカー	1	秋	瀬戸邦弘	[40名]	

※総合グローバル学部の学生は原則として[G]マークの付いている科目の中から履修すること。

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目名	単位	開講期	担当者	備考	
全学共通科目(選択科目)	実技科目(注5参照)	GSH12000	GHB106	フットサル	1	秋	鈴木 守	[30名], G
		GSH12100	GHB107	卓球	1	春	金本 めぐみ	[40名], G
		GSH12100	GHB107	卓球	1	秋	金本 めぐみ	[40名]
		GSH12200	GHB108	ソフトボール	1	春	瀬戸 邦弘	[40名]
		GSH12300	GHB109	バレーボール初級	1	春	*廣 紀江	[42名]
		GSH12400	GHB110	バレーボール	1	秋	*廣 紀江	[42名]
		GSH12400	GHB110	バレーボール	1	秋	*廣 紀江	[42名]
		GSH12400	GHB110	バレーボール	1	春	*廣 紀江	[42名]
		GSH12500	GHB111	ゴルフ	1	秋	大串 哲朗	[24名], G
		GSH12600	GHB112	フライングディスク入門	1	春	師岡 文男	[40名], G
		GSH12700	GHB113	フライングディスク	1	秋	島 健	[40名], G
		GSH12800	GHB114	バドミントン入門	1	秋	金本 めぐみ	[36名], G
		GSH12900	GHB115	バドミントン	1	春	瀬戸 邦弘	[36名]
		GSH13000	GHB116	エアロビクス	1	春	*池田 美知子	[30名]
		GSH13000	GHB116	エアロビクス	1	秋	*池田 美知子	[30名]
		GSH13920	GHB117	リズムダンス	1	秋	飯田 祥明	[30名]
		GSH13600	GHB118	エアロビクス&トータルフィットネス	1	春	*池田 美知子	[25名]
		GSH10100	GHB119	レクリエーション・ニュースポーツ	1	春	師岡 文男	[40名]
		GSH13990	GHB120	世界の民族舞踊	1	春	國寶 真美	[25名]
		GSH14000	GHB121	ダンスパフォーマンス	1	春	國寶 真美	[25名]
	GSH14100	GHB122	健康づくりのヨガとピラティス	1	秋	國寶 真美	[25名]	
	演習科目	GSH10200	GHB201	太極拳運動の理論と実践	2	春	*美馬 美千代	[25名]
		GSH10600	GHB202	救急法の理論と実践	2	秋	島 健	[24名], G
		GSH10700	GHB203	気功の理論と実践	2	春	*遠藤 卓郎	[25名]
		GSH13980	GHB222	身体知演習 身体技法	2	秋	*遠藤 卓郎	[25名]
		GSH10800	GHB204	スキースポーツの理論と実践	2	秋	鈴木・吉田・瀬戸	★(25名), 輪講, 学外実習あり, 注4参照
		GSH10900	GHB205	ゴルフの理論と実践	2	春	大串 哲朗	★(20名), 学外実習あり, 注4・5参照
		GSH11000	GHB206	スクーバ・ダイビングの理論と実践	2	春	島 健	★(24名), 学外実習あり, 注4参照
		GSH13500	GHB207	演習24式太極拳	2	秋	*美馬 美千代	[24名]
		GSH13960	GHB220	身体知演習 ボディーワーク	2	春	吉田 美和子	[24名]
		GSH13960	GHB220	身体知演習 ボディーワーク	2	秋	吉田 美和子	[24名]
		GSH13970	GHB221	身体知演習 ヨガ	2	春	吉田 美和子	[24名]
		講義科目	GSH11100	GHB210	人間と運動・スポーツ	2	休講	
GSH11200			GHB211	健康・フィットネス論	2	春	大串・金本	★(60名, 男性30名, 女性30名) 輪講, 注4参照
GSH11300	GHB212		レジャー・スポーツ・レクリエーション論	2	春	師岡 文男	[100名]	
099366	GHB213		知としての身体を考える	2	秋	コーディネータ 吉田 美和子	[70名], 輪講	
GSH13900	GHB214		世界のスポーツ・身体文化論	2	秋	瀬戸 邦弘	[100名]	
002165	GHB215		現代文化としてのスポーツ I	2	秋	コーディネータ 鈴木 守	[70名], 輪講	
002166	GHB216		現代文化としてのスポーツ II	2	春	コーディネータ 飯田 祥明	[100名], 輪講	
099411	GHB217		演劇から見える世界と人間	2	秋	コーディネータ 東郷 公德	[200名], 輪講	

※総合グローバル学部の学生は原則としてGマークの付いている科目の中から履修すること。

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目名	単位	開講期	担当者	備考
全学共通科目 (選択科目)	<基礎科学系>						
	099125	GHS101	宇宙の科学	2	春	*和南城 伸也	[150名], 理工学部生履修不可
	099125	GHS101	宇宙の科学	2	秋	*和南城 伸也	[150名], 理工学部生履修不可
	099126	GHS102	身近な物理	2	秋	江馬 一弘	[300名] [G], 理工学部生履修不可
	099288	GHS201	ナノテクノロジー	2	秋	坂間・下村	[120名], 輪講 理工学部生履修不可
	099416	GHS202	技術の歴史	2	秋	武藤 康彦	[150名], 理工学部生履修不可
	099343	GHS103	数学入門 I	2	春	平田 均	[80名], [G] 理工学部生・経済学科生履修不可
	099344	GHS104	数学入門 II	2	秋	辻 元	[G] 理工学部生・経済学科生履修不可
	099345	GHS203	図形の世界	2	春	辻 元	[G], 理工学部生履修不可
	099346	GHS204	数の世界	2	秋	角 皆 宏	[G], 理工学部生履修不可
	099286	GHS105	現代数学A	2	春	中島 俊樹	
	099287	GHS106	現代数学B	2	秋	角 皆 宏	
	099266	GHS107	物質・エネルギー・環境A	2	春	*田中 大	[200名], 理工学部生履修不可
	099267	GHS108	物質・エネルギー・環境B	2	秋	*田中 大	[200名], 理工学部生履修不可
	099128	GHS109	化学と生活 I -物質の理解-	2	春	南部 伸孝	[G], 理工学部生履修不可
	099129	GHS110	化学と生活 II -身のまわりの化学-	2	秋	鈴木 由美子	[G], 理工学部生履修不可
	099245	GHS111	自然科学史 I	2	春	*鈴木 俊洋	
	099246	GHS205	自然科学史 II	2	秋	*鈴木 俊洋	
	099412	GHS206	つくる I (キャリア形成 I)	2	秋	コーディネータ 坂本 治 久夫 高橋 和彦 黒江 晴彦 五味 靖	輪講, [200名], 理工学部同窓会連携講座
	099436	GHS112	初期キャリア形成論	2	秋	コーディネータ 荒木 勉	[120名]

◎共生と世界

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目名	単位	開講期	担当者	備考
全学共通科目 (選択科目)	<地球環境系>						
	099413	GCE201	地球環境と経済	2	休講		[100名], 輪講, 隔年開講
	099417	GCE200	環境問題と法・政策	2	秋	コーディネータ まくじなるど あん	[100名], 輪講, 隔年開講
	GSH10300	GCE102	野外活動と環境	2	春	師岡 文男	[35名], 学外実習あり
	099186	GCE202	地球環境学 I	2	春	コーディネータ 筑紫 圭一	[180名], 輪講 三菱商事(株) 連携講座
	099187	GCE203	地球環境学 II	2	秋	コーディネータ 鈴木 政史	[180名], 輪講 三菱商事(株) 連携講座
	099414	GCE204	環境問題と科学技術	2	春	*長谷 代子	[50名], 夏期集中講義, 注6・15参照
	099114	GCE205	地球環境と科学技術 I	2	春	コーディネータ 宮武 昌史 神澤 信行	[180名], 輪講 三菱商事(株) 連携講座
	099115	GCE206	地球環境と科学技術 II	2	秋	コーディネータ 増山 芳郎 木川田 喜一	[180名], 輪講 三菱商事(株) 連携講座

※総合グローバル学部の学生は原則として [G] マークの付いている科目の中から履修すること。

履修度	科目 コード	ナンバ リング	授業科目名	単 位	開講期	担 当 者	備 考
全学共通科目 (選択科目)	<生命社会系>						
	099213	GCL101	入門毒物学	2	春	笹川展幸	[120名], [G]
	099418	GCL113	心理学概論	2	春	*石井辰典	[200名], 注1・14参照
	099418	GCL113	心理学概論	2	春	*大谷保和	[200名], 注1・14参照
	065025	GCL104	心理学 I A	2	春	*平尾元尚	[200名], 注14参照
	099418	GCL113	心理学概論	2	秋	*石井辰典	[200名], 注1・14参照
	099418	GCL113	心理学概論	2	秋	*大谷保和	[200名], 注1・14参照
	065026	GCL107	心理学 I B	2	秋	*平尾元尚	[200名], 注14参照
	099419	GCL201	INTRODUCTION TO PSYCHOLOGY	2	春	*SKOWRONSKY Dariusz	[200名], 英語による授業 注1・14参照
	099313	GCL202	ヒトの生物科学	2	春	コーディネータ 笹川展幸 新倉貴子	[100名], 輪講
	099289	GCL108	脳とホルモンの行動学	2	春	千葉篤彦	[200名]
	099290	GCL109	生命のしくみ-栄養・酵素・健康-	2	秋	小林健一郎	[G], [100名]
	099139	GCL110	我々をとりまく微生物の世界	2	休講		
	099292	GCL111	発生生物学入門	2	春	安増茂樹	[150名]
	099322	GCL112	環境分子生物学入門	2	春	齊藤玉緒	[150名]
	099415	GCL203	国際サービスラーニング論	2	春	伊藤高章	[60名]
	099415	GCL203	国際サービスラーニング論	2	秋	伊藤高章	[60名]
	N99308	GCL206	アフリカに学ぶ	2	春	未定	注10参照, 夏期集中講義, 実践型プログラム
	099427	GCL304	SPECIAL TOPICS IN GLOBAL ISSUES 1	2	春	水谷裕佳	[45名], 注16参照, 英語による授業
	099428	GCL305	SPECIAL TOPICS IN GLOBAL ISSUES 2	2	秋	水谷裕佳	[45名], 注16参照, 英語による授業
	<人権平和系>						
	031523	GCR101	概説国際関係論 I	2	春	*尾尻希和	[150名]
	031524	GCR102	概説国際関係論 II	2	秋	*尾尻希和	[150名]
	031533	GCR103	序説国際政治史 I	2	春	宮城大蔵	
	031534	GCR104	序説国際政治史 II	2	秋	*昇 亜美子	
	002157	GCR201	現代国際関係論 I	2	春	樋渡由美	[200名]
	002158	GCR202	現代国際関係論 II	2	秋	樋渡由美	[200名]
	031554	GCR105	INTRODUCTION TO INTERNATIONAL COOPERATION THEORY AND PRACTICE	2	春	廣里恭史	英語による授業
	031553	GCR106	INTRODUCTION TO UNITED NATIONS	2	秋	植木安弘	英語による授業
	099342	GCR203	グローバル・コンサーンと平和の促進	2	秋	コーディネータ HAIDAR Huan 田中雅子	[100名], 輪講, 隔年開講
	040001	GCR107	憲法	2	春	*吉川和宏	神・文・総合人間・外国語学部対象, 法学部生履修不可
	040001	GCR107	憲法	2	秋	*玉巻弘光	経済・理工・国際教養学部対象, 法学部生履修不可
	040001	GCR107	憲法	2	春	小島慎司	[200名], [G] 法学部生履修不可
030531	GCR108	法律学	2	秋	桑原勇進	[200名], [G] 法学部生履修不可	
030403	GCR109	政治学	2	秋	加藤浩三	[100名], [G] 法学部生履修不可	

※総合グローバル学部の学生は原則として[G]マークの付いている科目の中から履修すること。

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目名	単位	開講期	担当者	備考	
全学共通科目 (選択科目)	N99309	GCR204	AJCU-AP サービスマーケティング・プログラム	4	休講		注10参照, 実践型プログラム	
	N99314	GCR204	AJCU-AP サービスマーケティング・プログラム	2	春	未定	注10参照, 夏期集中講義, 実践型プログラム	
	N99302	GCR205	GLP グローバルリーダーシップ・プログラム	2	春	未定	注10参照, 夏期集中講義, 実践型プログラム	
	N99303	GCR206	カンボジア・エクスポート・ツアー	2	春	未定	注10参照, 夏期集中講義, 実践型プログラム	
	N99310	GCR209	国連外交の実際を学ぶ	2	春	コーディネータ 曄道佳明	注10参照, 夏期集中講義, 実践型プログラム	
	N99307	GCR210	インド・サービスマーケティング・プログラム	4	秋	伊藤高章	注10参照, 春期集中講義, 実践型プログラム	
	N99305	GCR207	国連の役割と機能 (国連集中研修プログラム)	2	秋	植木安弘	注10参照, 春期集中講義, 実践型プログラム	
	N99312	GCR301	国際協力の現状と課題 (インターンシップ科目)	2	春	コーディネータ 曄道佳明	受講者選抜あり(10名程度), 注13・16参照, 夏期集中講義, インターンシップ科目	
	N99312	GCR301	国際協力の現状と課題 (インターンシップ科目)	2	秋	コーディネータ 曄道佳明	受講者選抜あり(10名程度), 注13・16参照, 春期集中講義, インターンシップ科目	
	099429	GCR211	グローバリゼーション入門1	2	春	水谷裕佳	[120名]	
	099430	GCR212	グローバリゼーション入門2	2	秋	水谷裕佳	[120名]	
	099431	GCR303	INTERNATIONAL AND GLOBAL AFFAIRS 1	2	春	HEO Emilia	注16参照	
	099432	GCR304	INTERNATIONAL AND GLOBAL AFFAIRS 2	2	秋	HEO Emilia	注16参照	
	099433	GCR213	INTRODUCTION TO GLOBAL STUDIES 1	2	春	HEO Emilia		
	099434	GCR214	INTRODUCTION TO GLOBAL STUDIES 2	2	秋	HEO Emilia		
	099437	GCR215	アフリカにおける開発援助と ビジネス展開	2	春	コーディネータ 眞城百華	[60名], 豊田通商・国際協力機構・ アフリカ開発銀行連携講座	
	099438	GCR110	立場の心理学: マジョリティの特権を考える	2	秋	出口真紀子		
	<情報社会系>							
		099149	GCI101	メディア・対話・レトリック I	2	春	コーディネータ 浅見昇吾	[300名], 輪講
		099150	GCI102	メディア・対話・レトリック II	2	秋	コーディネータ 浅見昇吾	[300名], 輪講
	099151	GCI201	メディア・対話・レトリック III	2	春	コーディネータ 浅見昇吾	[50名], 演習, 輪講	
	032702	GCI103	企業と社会	2	春	小林順治	[150名], G 経済学部生履修不可	
	099120	GCI104	経営社会と人間の行動	2	春	細萱伸子	[150名], G 経済学部生履修不可	
	099121	GCI105	簿記入門	2	春	上妻義直	[200名], 経済学部生履修不可	
	099122	GCI106	会計学入門	2	休講		経済学部生履修不可	
	099118	GCI202	ディベロッピング・ワールド I	2	休講			
	099168	GCI203	ディベロッピング・ワールド II	2	休講			
	099422	GCI229	グローバル・ベンチャー	2	秋	*高橋透	[50名]	

※総合グローバル学部の学生は原則として G マークの付いている科目の中から履修すること。

履修度	科目 コード	ナンバ リング	授業科目名	単 位	開講期	担 当 者	備 考
全学共通科目 (選択科目)	099423	GCI123	日本の産業とイノベーション	2	春	コーディネータ 蓬 田 守 弘	[200名], (一財)経済広報センター 連携講座
	N99311	GCI301	グローバルビジネス (インターンシップ科目)	2	春	コーディネータ 曄 道 佳 明	受講者選抜あり(10名程度), 注13・16参照, 夏期集中講義, インターンシップ科目
	N99311	GCI301	グローバルビジネス (インターンシップ科目)	2	秋	コーディネータ 曄 道 佳 明	受講者選抜あり(10名程度), 注13・16参照, 春期集中講義, インターンシップ科目
	030601	GCI109	経済学	2	春	青 木 研	[250名] 経済学部生履修不可, [G]
	030601	GCI109	経済学	2	秋	青 木 研	[250名] 経済学部生履修不可, [G]
	099107	GCI110	社会学A	2	春	藤 村 正 之	[200名], [G]
	099194	GCI111	社会学B	2	秋	藤 村 正 之	[G]
	099189	GCI112	社会学	2	春	*金 崎 一 郎	神・文・総合人間科学部対象
	099189	GCI112	社会学	2	秋	*金 崎 一 郎	法・経・外・理工学部対象
	003310	GCI114	情報リテラシー (一般)	2	春	藤 井 麻 美 子	[90名] 情報理工学科生履修不可, 注7参照
	003310	GCI114	情報リテラシー (一般)	2	春	宮 本 裕 一 郎	[80名] 情報理工学科生履修不可, 注7参照
	003310	GCI114	情報リテラシー (一般)	2	春	山 中 高 夫	[44名] 情報理工学科生履修不可, 注7参照
	003310	GCI114	情報リテラシー (一般)	2	春	水 谷 由 宏	[80名] 情報理工学科生履修不可, 注7参照
	003310	GCI114	情報リテラシー (一般)	2	休講		情報理工学科生履修不可, 注7参照
	003310	GCI114	情報リテラシー (一般)	2	春	澁 谷 智 治	[44名] 情報理工学科生履修不可, 注7参照
	003310	GCI114	情報リテラシー (一般)	2	春	萬 代 雅 希	[66名] 情報理工学科生履修不可, 注7参照
	003310	GCI114	情報リテラシー (一般)	2	春	武 藤 康 彦	[66名] 情報理工学科生履修不可, 注7参照
	003310	GCI114	情報リテラシー (一般)	2	休講		情報理工学科生履修不可, 注7参照
	003310	GCI114	情報リテラシー (一般)	2	春	久 森 紀 之	[70名] 情報理工学科生履修不可, 注7参照
	003310	GCI114	情報リテラシー (一般)	2	秋	小 川 将 克	[70名] 情報理工学科生履修不可, 注7参照
	003310	GCI114	情報リテラシー (一般)	2	秋	水 谷 由 宏	[44名] 情報理工学科生履修不可, 注7参照
	003310	GCI114	情報リテラシー (一般)	2	休講		情報理工学科生履修不可, 注7参照
	003310	GCI114	情報リテラシー (一般)	2	休講		情報理工学科生履修不可, 注7参照
	003350	GCI115	情報リテラシー(一般・英語)	2	秋	ゴンサルバス タッド	[44名], 英語による授業, 情報理工 学科生履修不可, 注7参照
	003350	GCI115	情報リテラシー(一般・英語)	2	秋	荒 井 隆 行	[44名], 英語による授業, 情報理工 学科生履修不可, 注7参照
	003378	GCI116	情報リテラシー (情報検索)	2	春	田 村 恭 久	[90名]
	003330	GCI117	情報リテラシー (統計処理)	2	春	加 藤 剛	[19名]
	003340	GCI118	情報リテラシー (データの収集・分析・利用)	2	春	伊 藤 潔	[90名]
	099403	GCI119	情報リテラシー (情報学)	2	春	川 端 亮	[80名]
	099403	GCI119	情報リテラシー (情報学)	2	春	宮 本 裕 一 郎	[80名]
003378	GCI116	情報リテラシー (情報検索)	2	秋	田 村 恭 久	[90名]	
003330	GCI117	情報リテラシー (統計処理)	2	秋	野 村 一 郎	[44名]	

※総合グローバル学部の学生は原則として[G]マークの付いている科目の中から履修すること。

履修度	科目 コード	ナンバ リング	授業科目名	単 位	開講期	担 当 者	備 考
全学共通科目 (選択科目)	003340	GCI118	情報リテラシー (データの収集・分析・利用)	2	秋	川 端 亮	[90名]
	003360	GCI204	情報フルエンシー (システム情報処理)	2	春	川 端 亮	[44名]
	003361	GCI205	情報フルエンシー (プログラミング技法)	2	春	伊 藤 潔	[80名]
	099420	GCI206	情報フルエンシー (JAVA GRAPHICS & PROGRAMMING)	2	春	ゴンサルバス タッド	[19名] 情報理工学科生履修不可, 注1参照
	003369	GCI207	情報フルエンシー (情報科学と人間)	2	春	高 岡 詠 子	[90名]
	003371	GCI208	情報フルエンシー (マルチメディア表現方法)	2	春	荒 井 隆 行	[44名]
	003374	GCI209	情報フルエンシー (ITパスポート講座1)	2	春	田 村 恭 久	[36名]
	099397	GCI210	情報フルエンシー (VBAによるExcel処理)	2	春	*曾我部 潔	[80名]
	003361	GCI205	情報フルエンシー (プログラミング技法)	2	秋	川 端 亮	[80名]
	003364	GCI211	情報フルエンシー(システムコンサルティング)	2	秋	田 村 恭 久	[80名]
	099395	GCI212	情報フルエンシー (HTMLとCSSを用いたWebページ作成技法)	2	秋	菊 池 昭 彦	[44名]
	099396	GCI213	情報フルエンシー (Cプログラミング)	2	秋	伊呂原 隆	[36名], 理工学部生履修不可
	003372	GCI214	情報フルエンシー (情報メディア活用)	2	休講		
	003373	GCI215	情報フルエンシー (情報とネットワーク社会)	2	秋	萬 代 雅 希	[36名]
	003375	GCI216	情報フルエンシー (ITパスポート講座2)	2	秋	田 村 恭 久	[40名]
	003376	GCI217	情報フルエンシー (Excelマスター講座)	2	休講		
	003377	GCI218	情報フルエンシー (Excel処理応用講座)	2	秋	*曾我部 潔	[80名]
	003379	GCI219	情報フルエンシー (ゲームプログラミング)	2	秋	田 村 恭 久	[44名]
	099124	GCI220	マルチメディア情報社会論	2	春	コーディネータ 音 好 宏 矢 入 郁 子	[300名], 輪講
	099284	GCI221	情報化社会と情報倫理	2	春	*前 野 譲 二	
	099195	GCI222	情報と職業	2	秋	*坂 本 明 子	[130名]
	099190	GCI120	マス・コミュニケーション論 I	2	春	*上 原 伸 元	[100名]
	099191	GCI223	マス・コミュニケーション論 II	2	秋	鈴 木 雄 雅	[100名]
	099319	GCI224	現代の証券市場と上場会社	2	春	*榊 原 宏 司	[150名], 東証連携講座
	099370	GCI121	キャリアディベロップメント	2	春	荒 木 勉	[50名]
	099370	GCI121	キャリアディベロップメント	2	秋	荒 木 勉	[50名]
	099370	GCI121	キャリアディベロップメント	2	春	竹之下 弘 久	[50名]
	099409	GCI122	経営学入門	2	春	*芦 田 尚 道	経済学部生履修不可
	099409	GCI122	経営学入門	2	秋	*芦 田 尚 道	経済学部生履修不可
	099380	GCI225	グローバル・ビジネスの現状と課題	2	秋	コーディネータ 網 倉 久 永 未 定	定員30名, 輪講, 注8参照, 経団連連携講座
	099424	GCI231	ビジネスデータ分析入門	2	秋	*猪 瀬 淳 也	[100名], データサイエンスプロ ラム基礎科目, ㈱三菱総研連携講座
	099425	GCI232	データ活用と経営戦略	2	秋	*木 村 孝	[100名], データサイエンスプロ ラム基礎科目, ㈱三菱総研連携講座

※総合グローバル学部の学生は原則として[G]マークの付いている科目の中から履修すること。

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目名	単位	開講期	担当者	備考	
全学共通科目 (選択科目)	099426	GCI233	グローバル企業のビジネス展開 -THE DYNAMICS OF A WORLD LEADER IN SUSTAINABLE TRANSPORT SOLUTIONS-	2	秋	コーディネータ 鈴木 隆	[50名], ボルボグループ 連携講座	
	N99313	GCI234	ボルボグループインターンシップ -A DOOR TO A WORLD LEADER IN SUSTAINABLE TRANSPORT SOLUTIONS-	2	秋	コーディネータ 曄道佳明	受講者選抜あり(10名程度), 春期 集中講義, インターンシップ科目, ボルボグループ連携講座, 注13参照	
	099435	GCI124	異文化の視点とジャーナリズム	2	春	コーディネータ 浅見昇吾	[30名] 夏期集中講義, 東急エージェンシー連携講座	
	§ 教育イノベーション科目 (☆)							
	(☆) 上智らしい教育の推進, 教育内容・方法の改善・向上を目的とする「教育イノベーション・プログラム」に採択された, 時限的に開講される科目。							
	099348	GCI226	教養としてのインテリジェンス -国際情報リテラシーの課題と方法-	2	秋	コーディネータ 音好宏 阿部 るり	[150名], 輪講	
	099350	GCR208	グローバル化と国際貢献	2	秋	コーディネータ 曄道佳明 音好宏 永井敦子 杉村美紀	[150名], 輪講	
	099365	GCI227	総合的戦略論	2	春	コーディネータ 音好宏 阿部 るり	[150名], 輪講	
	099367	GHL212	実践英語ライティング -PRACTICAL ENGLISH WRITING-	2	秋	* MORRIS Charles	[25名], 英語による授業	
	099368	GCR209	国際協力概論 -日本による開発援助の潮流と仕組み-	2	春	コーディネータ 曄道佳明 音好宏 永井敦子 杉村美紀	[150名], 輪講	
099369	GCI228	社会統計学 -国際的な統計データの解釈-	2	春	* 藤本 隆 史	[25名]		
099708	GCL204	主体性をもって学ぶにはどうすればよいか -問題解決の認知科学入門-	2	春	* 安西 祐一郎	[100名]		
099708	GCL204	主体性をもって学ぶにはどうすればよいか -問題解決の認知科学入門-	2	休講				

※総合グローバル学部の学生は原則として[G]マークの付いている科目の中から履修すること。

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目名	単位	開講期	担当者	備考
全学共通科目 (選択科目)	SAIMS プログラム科目(☆)						
	(☆)「ヒューマン・エコロジー：社会と自然の多様性と連結性」を中心テーマとし、ASEANの学生と協働して既存の人文・社会および自然科学の枠組みを超えて「人間開発」に取り組むことを目指す学融合型プログラム。授業言語はすべて英語（語学スコア等の提出は求めないがTOEFL79 (iBT) 相当の英語力が必要。但し、「HUMAN ECOLOGY: RIVERS」はスコアの提出が必要。)						
	099714	GCE207	INTRODUCTION TO TRANS-DISCIPLINARY HUMAN DEVELOPMENT	2	春	コーディネータ 杉村美紀	注11参照，輪講
	099714	GCE207	INTRODUCTION TO TRANS-DISCIPLINARY HUMAN DEVELOPMENT	2	秋	コーディネータ 杉村美紀	注11参照，輪講
	099713	GCE301	HUMAN ECOLOGY: RIVERS	2	春	伊藤 毅 渡邊 剛弘	夏期集中講義，注12・16参照
	099710	GCE208	CONSERVATION	2	春	杉浦 未希子	
	099710	GCE208	CONSERVATION	2	秋	杉浦 未希子	
	099715	GCL301	URBAN ECOLOGY	2	春	BOONTHARM Davisi	注16参照
	099715	GCL301	URBAN ECOLOGY	2	秋	BOONTHARM Davisi	注16参照
	099717	GCE209	ENVIRONMENTAL CHANGE AND HUMAN DEVELOPMENT (City,Continuity,and Change)	2	春	BOONTHARM Davisi	注1参照
	099717	GCE209	ENVIRONMENTAL CHANGE AND HUMAN DEVELOPMENT (City,Continuity,and Change)	2	秋	BOONTHARM Davisi	注1参照
	099712	GCL205	ENVIRONMENTAL SCIENCE	2	春	杉浦 未希子	
	099712	GCL205	ENVIRONMENTAL SCIENCE	2	秋	杉浦 未希子	
	099716	GCE210	SUSTAINABLE DEVELOPMENT	2	春	杉浦 未希子	
	099716	GCE210	SUSTAINABLE DEVELOPMENT	2	秋	杉浦 未希子	
	099711	GCE302	A CRITICAL APPROACH TO SUSTAINABLE CITY	2	春	BOONTHARM Davisi	注16参照
099711	GCE302	A CRITICAL APPROACH TO SUSTAINABLE CITY	2	秋	BOONTHARM Davisi	注16参照	

※総合グローバル学部の学生は原則として[G]マークの付いている科目の中から履修すること。

(注1) 下記の科目は同一科目のため，どちらか一方しか卒業に必要な単位として認められない。

科目コード	ナンバリング	現在開講している科目名	変更年度	科目コード	変更年度以前の科目名
099717	GCE209	ENVIRONMENTAL CHANGE AND HUMAN DEVELOPMENT (City,Continuity,and Change)	2015	099709	ENVIRONMENTAL CHANGE & HUMAN DEVELOPMENT
099420	GCI206	情報フルエンシー (JAVA GRAPHICS & PROGRAMMING)		003367	情報フルエンシー (オブジェクト指向プログラミング&JAVA)

(注2) 「文章構成法Ⅰ～Ⅴ」「国語表現Ⅰ～Ⅴ」については、それぞれ2単位までしか卒業に必要な単位として認められない。ただし、国文学科の学生は、「文章構成法Ⅰ～Ⅴ」「国語表現Ⅰ～Ⅴ」については合計2単位までしか卒業に必要な単位として認められない。

(注3) 国文学科の学生は履修不可。ただし、交換留学生の履修については認める。

- (注4) ★印の科目は初回授業（第1回目）で受講者を決定するための抽選を行う。したがって、初回授業で抽選結果を確認してから履修登録を行うこと。授業内抽選で当選した場合には、初回授業の翌日から修正登録期間内に各自 Loyola で科目の登録を行うこと。落選した場合には登録ができない。当選した場合でも自動的に科目の登録は行われない。
- (注5) 初回授業はガイダンスを実施するので第3体育場（体育館2F）に私服で集合すること。
- (注6) 「地球環境と科学技術Ⅰ」、「地球環境と科学技術Ⅱ」、「地球環境学Ⅰ」、「地球環境学Ⅱ」のうち少なくとも1科目を修得済みであることが望ましい。
- (注7) 「情報リテラシー（一般）※含む英語」は同一科目であるため、重複履修不可。
- (注8) 2・3年生対象科目。受講にあたっては語学力と事前レポートで受講者選抜を行う。説明会開催・選抜時期、語学力の要件、レポート課題等は Loyola 「学事センター（教務）掲示板」に掲載するので確認すること。
- (注9) 「音楽の歴史Ⅰ」を修得済みであることが望ましい。
- (注10) 実践型プログラムの評価、単位の取り扱いについては p.46 参照
- (注11) 本プログラムを通じて ASEAN に留学を予定している学生は、留学前後の春学期か秋学期のいずれかに履修することが必要。
- (注12) TOEFL79 (iBT) 相当以上の語学スコアの提出が必要。履修希望者は志望動機について英文エッセイ（800-1000字）の提出が必要。エッセイを含む応募書類を基に履修の可否が決定する。また、この科目はフィールドワークが中心となるため、国際教養学部の「Nature & Society」(ANT461)、「Environmental Politics of Agriculture」(POL355)、「Agrarian Studies」(POL407)あるいは「Political Economy of Development」(POL441)を履修することが推奨される。詳細は専用ウェブサイト (<https://humanecologysophia.wordpress.com/>) を参照するか、グローバル教育センター（2号館1F）に問い合わせること。
- (注13) インターンシップ科目の詳細については p.112 参照。なお、単位が付与される学期をもって卒業を希望する学生あるいは40条判定に関わる学生には単位が付与されない。
- (注14) 「心理学概論」、「心理学IA（科目コード：065005, 065015, 065025）」、「心理学IB（科目コード：065006, 065016, 065026）」、「INTRODUCTION TO PSYCHOLOGY」、「心理学（2014年度まで開講）」については名称の異なる2科目（合計4単位）までしか卒業に必要な単位として認められない。
- (注15) 講義の実施が9月上旬になるため、春学期で卒業を希望する学生、あるいは40条判定に関わる学生は履修不可。
- (注16) 高学年向け教養科目ではないので注意すること。

全学共通科目〔選択科目〕高学年向け教養科目

※3・4年次で履修すること。

※総合人間科学部看護学科，総合グローバル学部の学生は履修できない。

※開講期・担当者・抽選定員等の詳細は2016年度に発表する。

◎建学の理念

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目名	単位	開講期	担当者	備考	
全学共通科目 (選択科目)	高学年向け教養	099705	GFI301	LIFE AFTER SOPHIA: SURVIVING THE GLOBAL WORKPLACE	2	休講	2016年度より開講，輪講	
		<ルーツと伝統>						
		099700	GFI302	上智大学(ソフィア)のルーツとアイデンティティ	2	休講	2016年度より開講，輪講	

◎思索の基盤

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目名	単位	開講期	担当者	備考	
全学共通科目 (選択科目)	高学年向け教養科目	099706	GTE303	UNDERSTANDING TODAY'S WORLD: A GLOBAL PERSPECTIVE	2	休講	2016年度より開講	
		<倫理>						
		099701	GTE301	ケアの臨床哲学	2	休講	2016年度より開講，輪講	
		077902	GTE302	グローバリゼーションの倫理学	2	休講	2016年度より開講	

◎人間と文化

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目名	単位	開講期	担当者	備考
全学共通科目 (選択科目)	高学年向け教養科目	<基礎科学系>					
		099703	GHS301	つくるⅡ(キャリア形成Ⅱ)	2	休講	2016年度より開講，輪講，理工学部同窓会連携講座

◎共生と世界

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目名	単位	開講期	担当者	備考
全学共通科目 (選択科目)	高学年向け教養科目	<人権平和系>					
		099707	GCR301	MINORITIES IN A GLOBALIZING WORLD	2	休講	2016年度より開講
		099722	GCR302	ジェンダーと法	2	休講	2016年度より開講，輪講
		<情報社会系>					
		099704	GCI301	開発経済学	2	休講	2016年度より開講
		<生命社会系>					
		099720	GCL301	アートと心理学	2	休講	2016年度より開講，輪講，隔年開講
		099721	GCL302	脳と心理学	2	休講	2016年度より開講，輪講，隔年開講

全学共通科目〔選択科目〕学科科目で全学共通科目として認められる科目（学全科目）

※「開講学部・学科」欄の学部・学科生には全学共通科目として認められない。

※時間割・教室については、Loyolaの「時間割表」の各開講学部・学科のページを参照すること。

◎建学の理念

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目名	単位	開講期	担当者	年次	開講学部・学科	備考
全学共通科目 (選択科目)	学全科目	＜キリスト教精神＞							
	121400	PHL233	キリスト教思想史	2	休講	長町裕司	2～4	哲学科	隔年開講

◎思索の基盤

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目名	単位	開講期	担当者	年次	開講学部・学科	備考
全学共通科目 (選択科目)	学全科目	＜哲学＞							
	127404	PHL372	社会哲学Ⅰ	2	春	*山脇直司	3・4	哲学科	隔年開講
	127405	PHL373	社会哲学Ⅱ	2	秋	*山脇直司	3・4	哲学科	隔年開講
	120902	PHL234	宗教哲学	2	秋	長町裕司	2～4	哲学科	
	125302	PHL374	政治哲学Ⅰ	2	休講	*山脇直司	3・4	哲学科	隔年開講
	125303	PHL375	政治哲学Ⅱ	2	休講	*山脇直司	3・4	哲学科	隔年開講
	125103	PHL314	自然哲学	2	休講	田中裕	3・4	哲学科	
	学全科目	＜倫理＞							
	128702	PHL223	西洋倫理思想史Ⅰ	2	春	長町裕司	2～4	哲学科	
	128703	PHL224	西洋倫理思想史Ⅱ	2	秋	コーディネータ 長町裕司	2～4	哲学科	輪講

◎人間と文化

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目名	単位	開講期	担当者	年次	開講学部・学科	備考
全学共通科目 (選択科目)	学全科目	＜言語文学系＞							
	501268	FLM201	INTRODUCTION TO LANGUAGE ACQUISITION	2	春	吉田研作	1・2	外国語学部	注2参照, [200名], 外国語学部の学生は, 学科科目としてしか履修できない
	501269	FEA196	INTRODUCTION TO PSYCHOLINGUISTICS	2	秋	吉田研作	1・2	英語学科	[200名], 外国語学部の学生は, 学科科目としてしか履修できない
	503803	FLM303	英語音声学	4	春	篠原茂子	2～4	外国語学部	注2参照, [40名], 外国語学部の学生は, 学科科目としてしか履修できない
	学全科目	＜歴史文化系＞							
	501267	FEA176	シェイクスピア入門	4	春	東郷公德	1・2	英語学科	[200名], 外国語学部の学生は, 学科科目としてしか履修できない
	540630	FFA101	フランス語圏研究A(歴史と文化)	2	春	水林章	1	フランス語学科	[120名]
	547870	FUC341	フランス近代芸術の歴史と理論	2	春	*松浦寿夫	3・4	外国語学部	注2参照, 外国語学部の学生は, 学科科目としてしか履修できない
	690139	FYJ201	ロシア・ユーラシア文化入門	2	春	原求作	1～4	外国語学部	注2参照, 外国語学部の学生は, 学科科目としてしか履修できない

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目名	単位	開講期	担当者	年次	開講学部・学科	備考	
全学共通科目 (選択科目)	学全科目	571004	FYJ202	ロシア・ユーラシア文化入門2	2	秋	原 求 作	1～4	外国語学部	注2参照, 外国語学部の学生は, 学科科目としてしか履修できない
		129011	PHL380	東洋思想	2	春	田 中 裕	3・4	哲学科	
		690146	FUH350	ポルトガル語圏アフリカ史	2	春	矢 澤 達 宏	2～4	外国語学部	注1・2参照, 外国語学部の学生は, 学科科目としてしか履修できない
		690143	FUH371	ポルトガル史	2	春	*荻野 恵	2～4	外国語学部	注1・2参照, 外国語学部の学生は, 学科科目としてしか履修できない
		690140	FYJ211	ロシア・ユーラシア地域研究入門1	2	春	安 達 祐 子	1～4	外国語学部	注2参照, 外国語学部の学生は, 学科科目としてしか履修できない
		572004	FYJ212	ロシア・ユーラシア地域研究入門2	2	秋	安 達 祐 子	1～4	外国語学部	注2参照, 外国語学部の学生は, 学科科目としてしか履修できない

◎共生と世界

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目名	単位	開講期	担当者	年次	開講学部・学科	備考	
全学共通科目 (選択科目)	学全科目	<地球環境系>								
		172001	HST234	地理学 I	2	春	*山本 充	1～4	史学科	
		172002	HST235	地理学 II	2	秋	*山本 充	1～4	史学科	
		<生命社会系>								
		290105	SPE401	社会福祉原論	2	秋	梶本 一三郎	2～4	社会福祉学科	
		298901	SPA302	地域福祉論	2	秋	梶本 一三郎	3	社会福祉学科	
		294412	SOF305	司法福祉論	2	秋	伊藤 富士江	3・4	社会福祉学科	
		299210	SOD201	福祉心理学	2	春	*五味 洋一	1～3	社会福祉学科	集中講義
		293813	SOE206	医学一般	2	春	*加藤 眞三	2	社会福祉学科	
		290131	SOE204	権利擁護と成年後見制度論	2	秋	*佐藤 彰一	2	社会福祉学科	
		154012	PSL226	認知心理学 I	2	春	道又 爾	2～4	心理学科	[180名]
		154711	PSL216	社会心理学 I	2	春	樋口 匡貴	2～4	心理学科	[350名]
		154212	PSL222	学習心理学 I	2	秋	廣瀬 英子	2～4	心理学科	[100名]
		154611	PSL236	発達心理学 I	2	春	荻野 美佐子	2～4	心理学科	[150名]
		153553	PSL206	精神分析 I	2	春	藤山 直樹	2～4	心理学科	[200名], 隔年開講
		154131	PSL231	生理心理学 I	2	休講	岡田 隆	2～4	心理学科	
		157512	PSL271	進化心理学	2	秋	*齊藤 慈子	2～4	心理学科	
		<人権平和系>								
		144312	EDU238	教育学特殊講義IV -文化変容のなかの子どもと若者-	2	秋	*荻原 建次郎	2～4	教育学科	
		144411	EDU239	教育学特殊講義V -学習科学とコンピテンシー・ベースの教育-	2	秋	*白水 始	2～4	教育学科	[19名], 教育学科生優先
		<情報社会系>								
		268755	JRN271	ジャーナリズムの現在 I	2	春	コーディネータ 音 好 宏	2～4	新聞学科	輪講, 注1参照
		268756	JRN272	ジャーナリズムの現在 II	2	秋	コーディネータ 音 好 宏 渡 辺 久 哲	2～4	新聞学科	輪講, 注1参照

履修年度	科目コード	ナンバリング	授業科目名	単位	開講期	担当者	年次	開講学部・学科	備考	
全学共通科目 (選択科目)	学全科目	260309	JRN231	時事問題研究Ⅰ	2	春	小此木 潔	2～4	新聞学科	[100名], 注1参照, 新聞学科生優先
		260310	JRN232	時事問題研究Ⅱ	2	秋	小此木 潔	2～4	新聞学科	[100名], 注1参照, 新聞学科生優先
		267107	JRN311	人間行動とマス・メディアⅠ	2	春	音 好 宏	3～4	新聞学科	注1参照
		267108	JRN312	人間行動とマス・メディアⅡ	2	秋	渡 辺 久 哲	3～4	新聞学科	[110名], 注1参照, 新聞学科生優先
		264304	JRN323	外国ジャーナリズムⅠa	2	秋	鈴 木 雄 雅	2～4	新聞学科	[105名], 注1参照, 新聞学科生優先
		264305	JRN324	外国ジャーナリズムⅠb	2	春	阿 部 る り	2～4	新聞学科	[105名], 注1参照, 新聞学科生優先
		264306	JRN325	外国ジャーナリズムⅡa	2	春	鈴 木 雄 雅	2～4	新聞学科	[105名], 注1参照, 新聞学科生優先
		264307	JRN326	外国ジャーナリズムⅡb	2	秋	田 島 泰 彦	2～4	新聞学科	注1参照
		264402	JRN327	外国ジャーナリズムⅢa	2	秋	*我孫子 和 夫	2～4	新聞学科	[100名], 注1参照, 新聞学科生優先
		264403	JRN328	外国ジャーナリズムⅢb	2	春	音 好 宏	2～4	新聞学科	[105名], 注1参照, 新聞学科生優先
		268752	JRN281	ジャーナリズム特殊Ⅰ	2	春	*野 口 悟	2～4	新聞学科	[60名], 注1参照, 新聞学科生優先
		268753	JRN282	ジャーナリズム特殊Ⅱ	2	秋	コーディネータ 音 好 宏 小此木 潔	2～4	新聞学科	輪講, 注1参照
		265251	JRN377	メディアと文化Ⅳa(大衆文化論)	2	春	柴 野 京 子	2～4	新聞学科	[100名], 注1参照, 新聞学科生優先
		265252	JRN378	メディアと文化Ⅳb(大衆文化論)	2	秋	柴 野 京 子	2～4	新聞学科	[70名], 注1参照, 新聞学科生優先
		263503	JRN265	出版論Ⅰ	2	春	柴 野 京 子	2～4	新聞学科	[100名], 注1参照, 新聞学科生優先
		263504	JRN266	出版論Ⅱ	2	秋	柴 野 京 子	2～4	新聞学科	[70名], 注1参照, 新聞学科生優先
		265221	JRN373	メディアと文化Ⅱa (コミュニケーションと技術)	2	春	*山 本 博 史	2～4	新聞学科	[70名], 注1参照, 新聞学科生優先
		265222	JRN374	メディアと文化Ⅱb (コミュニケーションと技術)	2	秋	*山 本 博 史	2～4	新聞学科	[70名], 注1参照, 新聞学科生優先
		282103	SOC208	都市社会学	2	春	園 部 雅 久	2～4	社会学科	[100名]
		284790	SOC314	現代大都市論	2	秋	園 部 雅 久	2～4	社会学科	[100名]
		282710	SOC210	組織社会学Ⅰ	2	休講	渡 辺 深	2～4	社会学科	隔年開講
		282720	SOC316	組織社会学Ⅱ	2	休講	渡 辺 深	2～4	社会学科	隔年開講
		285110	SOC211	経済と文化	2	春	渡 辺 深	2～4	社会学科	[100名], 隔年開講
		285120	SOC317	経済とネットワーク	2	秋	渡 辺 深	2～4	社会学科	[100名], 隔年開講
		283002	SOC312	社会心理学	2	春	*大 庭 絵 里	2～4	社会学科	
		283010	SOC313	逸脱の社会学	2	秋	*大 庭 絵 里	2～4	社会学科	
		284010	SOC204	宗教社会学Ⅰ	2	休講	芳 賀 学	2～4	社会学科	
		284011	SOC307	宗教社会学Ⅱ	2	休講	芳 賀 学	2～4	社会学科	隔年開講
		284740	SOC308	文化社会学	2	休講	芳 賀 学	2～4	社会学科	隔年開講
		284751	SOC205	家族社会学Ⅰ	2	春	田 渕 六 郎	2～4	社会学科	隔年開講
		284752	SOC309	家族社会学Ⅱ	2	休講	田 渕 六 郎	2～4	社会学科	隔年開講
		284910	SOC310	エイジングと世代の社会学	2	秋	田 渕 六 郎	2～4	社会学科	隔年開講
		284501	SOC206	ジェンダーの社会学	2	秋	*大 槻 奈 巳	2～4	社会学科	[120名]
		284710	SOC203	ライフスタイルの社会学	2	春	藤 村 正 之	2～4	社会学科	[180名]
		284720	SOC305	ライフコースの社会学	2	休講	藤 村 正 之	2～4	社会学科	隔年開講
		284730	SOC306	計画と政策の社会学	2	秋	藤 村 正 之	2～4	社会学科	隔年開講
		284810	SOC212	ナショナリズムの社会学	2	春	吉 野 耕 作	2～4	社会学科	[100名]
		284820	SOC318	グローバル化の社会学	2	秋	吉 野 耕 作	2～4	社会学科	[100名]
		283420	SOC207	社会階層論Ⅰ	2	春	竹ノ下 弘 久	2～4	社会学科	隔年開講
		283430	SOC311	社会階層論Ⅱ	2	休講	竹ノ下 弘 久	2～4	社会学科	隔年開講

(注1) 「年次」欄に記載されている年次より下の学年の学生の履修不可。

(注2) Loyolaの時間割に関しては、「外国語学部」の箇所を参照すること。

全学共通科目〔選択科目〕学科科目で全学共通科目として認められる科目（学全科目）

国際教養学部開講科目

- ※ 神・文・総合人間科学・法・経済・外国語・総合グローバル・理工の各学部生は、国際教養学部開講科目の以下の科目を全学共通科目の選択科目として履修することができる。卒業要件上の扱いとしては「学科科目で全学共通科目として認められる科目」となり、卒業単位への算入には上限があるので注意すること。
- ※ 国際教養学部開講科目の履修には特別の手続きが必要になる。手続きの詳細については、p.32の「国際教養学部開講科目の履修について」を参照すること。
- ※ 国際教養学部の学生は取り扱いが異なる。詳細については、「BULLETIN OF INFORMATION 2015-2016」を参照すること。

履修度	科目コード	授業科目名	単位	開講期	担当者	履修年次	備考
全学共通科目 (選択科目)	< Society and Culture >						
	HST251	DEVELOPMENT OF JAPANESE CIVILIZATION 1 日本文化史Ⅰ	4	休講	GRAMLICH-OKA Bettina	1～3	
	HST252	DEVELOPMENT OF JAPANESE CIVILIZATION 2 日本文化史Ⅱ	4	休講	SAALER Sven	1～3	
	HST261	HISTORY OF CHINESE CIVILIZATION 中国史	4	春	HESS Christian	1～3	
	SOC201	INTRODUCTION TO SOCIOLOGY 社会学入門	4	春	WANK David	1～3	
	SOC210	INTRODUCTION TO SOCIAL THEORY 社会理論入門	4	秋	FARRER James	1～3	
	SOC225	INTRODUCTION TO JAPANESE SOCIETY 日本社会入門	4	春	菅原友香	1～3	
	ANT202	INTRODUCTION TO CULTURAL AND SOCIAL ANTHROPOLOGY 文化人類学入門	4	秋	FAHY Sandra	1～3	
	ANT220	ANTHROPOLOGY OF JAPAN 日本研究概論	4	春	SLATER David	1～3	
	ANT230	CULTURE AND IDENTITY 人類学概論	4	秋	渡邊剛弘	1～3	
	< Cultural Traditions >						
	ART201	INTRODUCTION TO ART HISTORY/VISUAL CULTURE 1 美術論入門	4	秋	林道郎	1～3	
	ART250	INTRODUCTION TO ART HISTORY/VISUAL CULTURE 2 日本美術論入門	4	春	村井則子	1～3	
	LIT201	LITERARY GENRES 英米文学入門	4	秋	河野至恩	1～3	
	LIT231	INTRODUCTION TO JAPANESE LITERATURE 日本文学入門	4	春	YIU Angela	1～3	
	LIT260	WOMEN'S LITERATURE FROM MEIJI TO THE PRESENT 日本女流文学入門	4	春	DODD Stephen Howard	1～3	
	LIT270	THE KARMA OF LOVE IN CLASSICAL JAPANESE LITERATURE 日本古典文学購読	4	春	WASHBURN Dennis	1～3	
	RPH201	INTRODUCTION TO PHILOSOPHY 哲学入門	4	秋	ROBOUAM Thierry	1～3	
	RPH202	FUNDAMENTALS OF RELIGION 宗教学入門	4	春	村上辰雄	1～3	
	LNG210	INTRODUCTION TO LINGUISTICS 言語学入門	4	秋	本橋辰至	1～4	

全学共通科目
14年生以降

履修度	科目 コード	授業科目名	単 位	開講期	担当者	履修 年次	備考
全学共通科目 (選択科目) 学科科目で全学共通科目として認められる科目 (学全科目) 国際教養学部開講科目	<Politics and Economy>						
	IBE200	PRINCIPLES OF MICROECONOMICS 経済原論 I	4	春	浅野哲人	1~3	
	IBE200	PRINCIPLES OF MICROECONOMICS 経済原論 I	4	秋	小西祥文	1~3	
	IBE201	PRINCIPLES OF MACROECONOMICS 経済原論 II	4	春	井坂直人	1~3	
	IBE201	PRINCIPLES OF MACROECONOMICS 経済原論 II	4	秋	小阪みちる	1~3	
	POL201	THEORIES AND THEMES OF CONTEMPORARY POLITICS 政治学入門	4	秋	中野晃一	1~3	
	POL205	INTRODUCTION TO INTERNATIONAL RELATIONS 国際関係論入門	4	春	安野正士	1~3	
	POL210	INTRODUCTION TO COMPARATIVE POLITICS 比較政治学入門	4	秋	伊藤毅	1~3	
	POL215	CONTROVERSIES IN GLOBALIZATION グローバル政治入門	4	春	BURRETT Tina	1~3	
	MTH111	MATHEMATICS AND STATISTICS FOR BUSINESS AND ECONOMICS 経済・経営数学概論	4	春	*村上純子	1~4	
	MTH111	MATHEMATICS AND STATISTICS FOR BUSINESS AND ECONOMICS 経済・経営数学概論	4	秋	長谷部拓也	1~4	[40名], (注)
	<FLA General Courses>						
	COM211	COMPUTER STUDIES 1 コンピュータ概論 I	2	春	*BOSSIEUX Eric	1~4	[40名], Aクラス, (注)
	COM211	COMPUTER STUDIES 1 コンピュータ概論 I	2	春	*ASHTON Hugh	1~4	[40名], Bクラス, (注)
	COM212	COMPUTER STUDIES 2 コンピュータ概論 II	2	春	*ASHTON Hugh	1~4	[40名], (注)
	COM213	COMPUTER STUDIES 3 コンピュータ概論 III	2	秋	*BOSSIEUX Eric	1~4	[40名], Aクラス, (注)
	COM213	COMPUTER STUDIES 3 コンピュータ概論 III	2	秋	*BOSSIEUX Eric	1~4	[40名], Bクラス, (注)
	COM214	COMPUTER STUDIES 4 コンピュータ概論 IV	2	秋	*BOSSIEUX Eric	1~4	[40名], (注)
	ENV131	ENVIRONMENTAL ISSUES 1 環境科学 I	4	秋	*CAVASIN Nathalie	1~4	
	GEO201	HUMAN GEOGRAPHY 人文地理学	4	秋	*CAVASIN Nathalie	1~4	
GEO202	GEOGRAPHY 地理学	4	春	*CAVASIN Nathalie	1~4		
MTH101	COLLEGE MATHEMATICS 数学	4	春	*村上純子	1~4		

(注) 国際教養学部生優先科目。登録方法は p.32 を参照すること。

4 グローバル教育センター

グローバル教育センターについて

グローバル教育センター開講科目について

グローバル・コンピテンシー・プログラム

グローバル教育
センター
について

グローバル教育
センター
開講科目
について

グローバル
コンピテン
シー
プログラム
について

グローバル教育センターについて

上智大学のグローバル教育の強化を目的として2012年に外国語学部に設置されたグローバル教育センターは、2015年度から全学的なセンターへ発展し、全学生を対象として、より多様なプログラムや海外勉学の機会を提供します。

グローバル教育センターが実施するグローバル教養教育プログラムは、主に以下のように分類されます。これからグローバル化が加速化する社会に生きていく皆さんに、是非チャレンジしてほしいと願っています。

- ①講義科目 (p.111を参照)
- ②実践型プログラム科目 (p.111および留学ハンドブックを参照)
- ③インターンシップ科目 (p.112を参照)
- ④Sophia AIMS (SAIMS) プログラム科目 (p.112および留学ハンドブックを参照)
- ⑤グローバル・コンピテンシー・プログラム (p.115～を参照)
- ⑥データサイエンスプログラム (p.113を参照)
- ⑦グローバル教育センター短期集中講座 (夏期・春期休暇中) (p.114を参照)
- ⑧交換留学 (詳細は留学ハンドブックを参照)
- ⑨海外短期語学講座 (p.168および留学ハンドブックを参照)
- ⑩海外短期研修 (p.48および留学ハンドブックを参照)

グローバル教育センター開講科目について

【講義科目】

自分の将来や仕事に向き合う態度，ビジネスの実情，グローバリゼーションの光と陰など，様々な切り口からの授業を開講します。

※担当者・科目の詳細についてはp.92～を参照すること。

科目名	備考
グローバル・ベンチャー	講義は日本語と英語で行う
グローバル企業のビジネス展開 -THE DYNAMICS OF A WORLD LEADER IN SUSTAINABLE TRANSPORT SOLUTIONS-	ボルボグループとの連携講座。 上級生優先，講義は日本語と英語で行う。
主体性を持って学ぶにはどうすればよいか -問題解決の認知科学入門-	教育イノベーション・プログラム科目
立場の心理学-マジョリティの特権を考える	
アフリカにおける開発援助とビジネス展開	豊田通商，国際協力機構（JICA），アフリカ開発銀行との連携講座。
初期キャリア形成論	
グローバリゼーション入門1	
グローバリゼーション入門2	
INTRODUCTION TO GLOBAL STUDIES 1	講義は英語で行う
INTRODUCTION TO GLOBAL STUDIES 2	講義は英語で行う
INTERNATIONAL AND GLOBAL AFFAIRS 1	講義は英語で行う
INTERNATIONAL AND GLOBAL AFFAIRS 2	講義は英語で行う
SPECIAL TOPICS IN GLOBAL ISSUES 1	講義は英語で行う
SPECIAL TOPICS IN GLOBAL ISSUES 2	講義は英語で行う
LIFE AFTER SOPHIA: SURVIVING THE GLOBAL WORKPLACE	全学共通科目（高学年向け教養科目） ※2016年度以降開講
UNDERSTANDING TODAY'S WORLD: A GLOBAL PERSPECTIVE	全学共通科目（高学年向け教養科目） ※2016年度以降開講
MINORITIES IN A GLOBALIZING WORLD	全学共通科目（高学年向け教養科目） ※2016年度以降開講

【実践型プログラム科目】

休業中に海外での現地研修を含むプログラムに参加し単位を得るプログラムです。

単位の取り扱い，プログラムの内容，詳細についてはp.49～を参照すること。

プログラム名	実施期間
GLP グローバルリーダーシッププログラム	夏期休業中
AJCU-AP サービスラーニング・プログラム	夏期休業中
カンボジア・エクスポージャーツアー	夏期休業中
国連外交の実際を学ぶ	夏期休業中
アフリカに学ぶ	夏期休業中
国連の役割と機能（国連集中研修プログラム）	春期休業中
インド・サービスラーニング・プログラム	春期休業中
国連ユースボランティア	秋学期中

【インターンシップ科目】

本学と協定を結んだインターンシップ先（企業、国際機関の日本代表部など）で就業経験をし、事前事後の講義受講や課題提出を行うことで単位が付与されます。就業・実務経験を通じ、大学で学んだ専門知識や経験をグローバル社会の中でどう生かしていくのか、あるいは自分が残りの大学生活で何を学ぶべきか、といった気づきを得るための科目です。

※受講にあたっては別途説明会・選抜等を行う。詳細はLoyolaの「学事センター（教務）」掲示板で発表する。科目の性質上、2～4年生を対象とする。

※担当者・科目の詳細についてはp.92～を参照するか、グローバル教育センター（2号館B1F）に問い合わせること。

科目名	インターン実施期間	備考
グローバルビジネス (インターンシップ科目)	8月～9月（週5日×3～4週間）	派遣先企業は後日発表
	2月～3月（週5日×3～4週間）	
国際協力の現状と課題 (インターンシップ科目)	8月～9月（週5日×3～4週間）	派遣先機関は後日発表
	2月～3月（週5日×3～4週間）	
ボルボグループインターンシップ -A DOOR TO A WORLD LEADER IN SUSTAINABLE TRANSPORT SOLUTIONS-	2月～3月（4週間） ※課題により日程が異なる。 於ボルボグループUDトラック （埼玉県上尾市）	ボルボグループとの連携講座。 英語と日本語でのコミュニケーションが求められる。

【Sophia AIMS(SAIMS)プログラム科目】

「ヒューマン・エコロジー：社会と自然の多様性と連結性」を中心テーマとし、ASEANの学生と協働して既存の人文・社会および自然科学の枠組みを超えて「人間開発」に取り組むことを目指す学融合型プログラムです。自らASEAN諸国へ留学すること、ASEANから本学で受け入れている学生との交流を通じて、国際的な視野を持った人材育成を目指しています。

※下記の科目はプログラムに参加しない学生でも受講は可能で、授業言語はすべて英語で行う。（語学スコア等の提出は求めないがTOEFL79 (iBT) 相当の英語力が必要。ただし、「HUMAN ECOLOGY: RIVERS」はスコアの提出が必要。）
※担当者等の詳細はp.101、単位の取り扱いについては学科のページを参照すること。また、SAIMSプログラム自体の問い合わせに関してはグローバル教育センター（2号館1F）に問い合わせること。

科目名	開講期間
INTRODUCTION TO TRANS-DISCIPLINARY HUMAN DEVELOPMENT	春・秋
CONSERVATION	春・秋
A CRITICAL APPROACH TO SUSTAINABLE CITY	春・秋
ENVIRONMENTAL SCIENCE	春・秋
HUMAN ECOLOGY: RIVERS	春（夏期集中講義）
URBAN ECOLOGY	春・秋
SUSTAINABLE DEVELOPMENT	春・秋
ENVIRONMENTAL CHANGE AND HUMAN DEVELOPMENT (CITY, CONTINUITY, AND CHANGE)	春・秋

【データサイエンスプログラム】

グローバル社会で必須な素養であるデータ分析や情報を活用できる力を養うため、株式会社三菱総合研究所（MRI）との連携により、新規に開講するプログラムです。

このプログラムは、基礎・演習・応用の3部構成からなり、経営の視点に立ったデータ活用法を体系的に学ぶことができます。所定の単位を修得した場合、プログラム履修証明を発行します。

演習・応用科目は社会人とともに学ぶ講座です。なお、基礎科目だけの受講も可能です。

<プログラムの概要>

●基礎科目（演習科目・応用科目に進むためには以下①～④の4科目を履修）

① 経営学の入門科目

② 統計学の入門科目

③ 「データ活用と経営戦略」2015年度秋学期新規開講 ※15年次生履修不可

④ 「ビジネスデータ分析入門」2015年度秋学期新規開講 ※15年次生履修不可

①②の科目リストは、後日Loyolaで掲示するので確認すること。

なお、この入門科目については、学部によって、内容の重複する学科科目を履修済みの場合、履修免除となる可能性もあり、科目リストと同時に詳細を掲示するので併せて確認すること。

●演習科目（2016年度開講予定）

より実践を意識し、データ分析に基づく事業の仮説・提案能力を高める科目。

定員は15名。

2016年度開講予定。科目の詳細は2016年度に発表する。

●応用科目（2016年度開講予定）

ビッグデータを活用している最先端の業界の実務担当者を講師とする、ケーススタディ型の講義科目。

取扱う業界の分野例：金融・通信・流通・医薬など（予定）

2016年度開講予定。科目の詳細は2016年度に発表する。

【グローバル教育センター短期集中講座】

夏期・春期休業期間中に行われる集中講座です。講義科目のほか、外国語学部生を主な対象者とするドイツ語、フランス語、スペイン語、ロシア語、ポルトガル語の基礎力強化コースも開講します。

夏期休暇中（春学期）

履修登録期間（予定）：2015年7月23日（木）～7月29日（水）

講座実施期間（予定）：2015年8月4日（火）～8月8日（土）

春期休暇中（秋学期）

履修登録期間（予定）：2016年1月25日（月）～1月29日（金）

講座実施期間（予定）：2016年2月22日（月）～3月4日（金）

※講座日程、科目一覧、履修登録の手続き方法等については、Loyolaの学事センター（教務）掲示板に詳細を提示する。受講希望の学生は必ず確認すること。

【参考】

2014年度春学期短期集中講座開講科目一覧

言語科目	科目名	単位数
英語学科	TOEFL Preparation	1
	Writing skills	1
ドイツ語学科	ドイツ語 国際試験に挑戦	1
フランス語学科	フランス語基礎力強化コース（1年生用）	1
	フランス語基礎力強化コース（2年生用）	1
スペイン語学科	スペイン語基礎力強化コースI	1
	スペイン語基礎力強化コースII	1
ロシア語	ビジネスロシア語	1
	ロシア語基礎力強化講座1	1
	ロシア語基礎力強化講座2	1
ポルトガル語学科	上級ポルトガル語会話 (Português Avançado)	1

講義科目

東日本大震災とグローバル社会	2
小説と映像から見る北米文化圏	2
Consumers and Consumption: A global perspective	2
Community: Belonging in a globalized world	2
国際関係理論から見た現代中国外交	2
通訳基礎 Fundamentals of Spoken Language Interpreting	2
アフリカの自然と社会	2
日本語カレッジスキルズ	2
Financial Literacy for College Students	2

2014年度秋学期短期集中講座開講科目一覧

言語科目	科目名	単位数
英語学科	TOEFL Preparation	1
	Writing Skills Workshop	1
ドイツ語学科	在外履修のためのドイツ語-ドイツ語でコミュニケーションしましょう	1
フランス語学科	フランス語基礎力強化コース（1年生用）	1
	フランス語基礎力強化コース（2年生用）	1
スペイン語学科	スペイン語強化コース I	1
	スペイン語強化コース II	1
	スペイン語通訳法	1
ロシア語	ロシア語基礎力強化講座	1
	ロシア語会話力強化講座	1
	ビジネスロシア語2	1
ポルトガル語学科	ポルトガルのポルトガル語講座	1

講義科目

規範とアイデンティティの国際政治学	2
現代社会における人種とエスニシティ	2
国際貿易とグローバル経済	2
通訳基礎 II	2
Introduction to Intercultural Communication	2
日本語カレッジスキルズ2	2
English Presentation Skills through Acting Training	2

上智大学グローバル・コンピテンシー・プログラムについて

1. グローバル・コンピテンシー・プログラムとは

本プログラムは、自身の利益のためではなく、地球的な視野に立ち、世界の平和、人権擁護など、弱者への想いを常に心がける「他者のために、他者とともに」という本学の教育理念を体現する社会のリーダーを数多く輩出することを目的としている。高度な外国語能力とコミュニケーション能力を備え、幅広い人間性と高い倫理感に裏打ちされたグローバル・コンピテンシー＝グローバル化対応能力を発揮するための実践的、実務的な教養教育プログラムである。学科科目で専門性を身につけながら、さらに高度な教養教育プログラムを求める者を対象とする。

2. 開設プログラムについて

「国際協力」、「グローバル・ビジネス」、「グローバル・メディア」、「グローバル・アクション」の4プログラム。

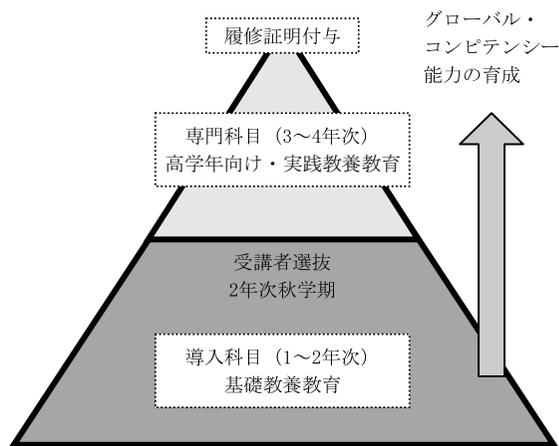
全学共通科目、学科科目から各プログラムで指定された科目を履修し、所定の単位を修得すれば、そのプログラムの履修証明を取得することができる。

3. 受講対象者

2013年度以降に1年次として入学した学生が対象。

*本プログラム参加希望者は、原則として申込時までに導入科目を履修し、修得することが必要である。

4. プログラム履修イメージ



5. 受講者申込・選抜について

(1) 申込条件

- ①各プログラムが定める指定の導入科目を履修済（もしくは履修中）であること *注1
- ②2年次春学期までの全科目のGPAが、各プログラムが定める基準値以上であること *注2
- ③申込時に各プログラムが定める必要な外国語要件を満たしていること

*注1 指定科目未履修の場合でも、申込を認める場合がある。例外要件は各プログラムの申込条件を参照のこと。
なお、学科必修科目との時間割重複など、申込までに導入科目の履修が難しい場合は個別に学事センターGCP担当に申し出て相談すること。

*注2 各プログラムの具体的な基準値、語学要件については各プログラムの概要参照。

(2) 申込時期

2年次秋学期（11月以降を予定）

(3) 申込に必要な書類

- ① プログラム申込書（所定フォーム）
- ② 各プログラムの志望動機エッセイ（字数制限あり）
- ③ 最新の成績通知書（2年次春学期までの成績・GPAが記載されたもの）
- ④ 語学能力を証明する書類（スコアについてはコピーでも可）

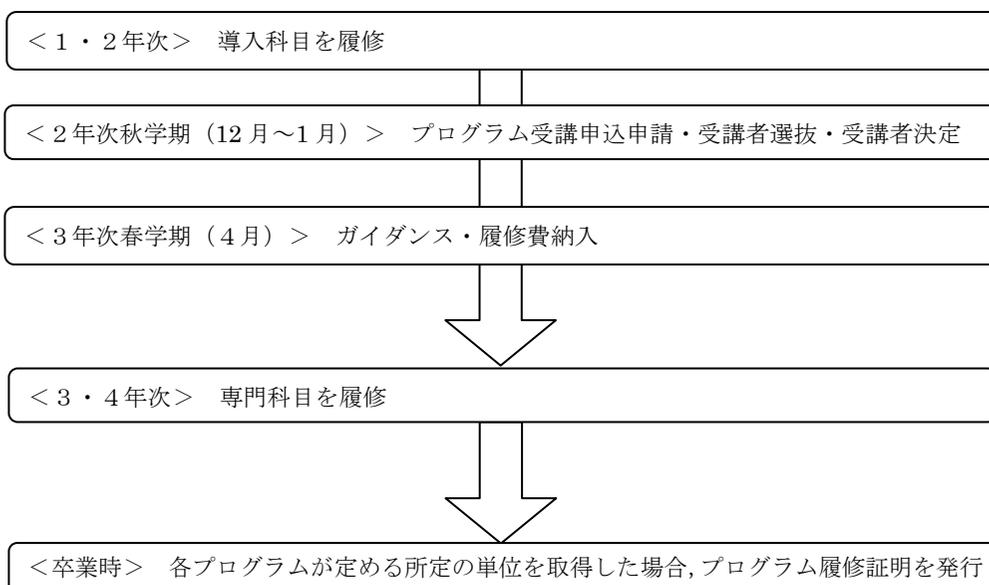
(4) 選抜方法

- ① 書類審査（エッセイ含む）
- ② 面接（各プログラムコーディネーター教員などによる面接を行う場合もある）

(5) 受講手続きについて

正式にプログラム受講が確定した後、プログラム履修費として、24,000円を納入すること。

6. プログラム履修の流れ



7. プログラム受講・履修上の注意

- ・3年次からの専門科目のうち、オリジナル科目（GCP生のみが履修可能な科目）については卒業に必要な単位として充当することはできないので注意すること。各プログラムのオリジナル科目については各プログラム概要参照。
- ・専門科目のうちオリジナル科目については、プログラム受講者全員の学科必修科目等との時間割重複を避けるため、6限や土曜日、休業中の集中講義などの時間帯で実施する場合があるので注意すること。
- ・導入科目の中には抽選科目も含まれるが、プログラム受講希望者が優先的に当選するわけではないので、この点も加味して履修計画を立てること。
- ・国際教養学部開講科目を履修するためには、別途語学要件が定められている。詳細はp.32を参照のこと。
- ・1人で複数のプログラム受講はできない。
- ・各プログラムの実践活動（インターンシップ、ボランティア等）に伴う各種経費（交通費、遠方・国外の場合に発生する期間中滞在費など）については、すべて自己負担となる。
- ・プログラムの履修中に学科の卒業要件を満たした場合は、卒業となる。プログラム履修のために在学継続をすることはできないので、特に3年次以降での申込や途中で留学を検討している場合は履修計画を綿密にたてること。
- ・いったん納入したプログラム履修費は、いかなる理由があっても返金しないので注意すること。

8. グローバル・コンピテンシー・プログラム掲示板について

よくある問い合わせ、受講者選抜の日程、申請フォームおよび専門科目やプログラムの最新情報などについては、Loyola「グローバル・コンピテンシー・プログラム掲示板」で通知するので、受講を考えている学生はこまめに確認すること。

9. グローバル・コンピテンシー・プログラム オリジナル科目

履修度	科目コード	ナンバリング	授業科目名	単位	開講期	担当者	備考
自由科目	GCP20010	GCP201	国際協力方法論	2	春	*山田 満	GCP(国際協力)履修者のみ受講可
	GCP30010	GCP301	国際協力事例研究	2	休講		GCP(国際協力)履修者のみ受講可,2016年度より開講,英語による授業
	GCP30020	GCP302	国際協力プロジェクト・マネジメント	2	春	*杉山・笠井・岩崎	GCP(国際協力)履修者のみ受講可,夏期集中講義
	GCP20020	GCP202	グローバルビジネス基礎セミナー	2	春	竹之内 秀行	GCP(グローバル・ビジネス)履修者のみ受講可
	GCP30030	GCP303	グローバルビジネス応用セミナーⅠ: 事例分析	2	休講		GCP(グローバル・ビジネス)履修者のみ受講可,隔年開講,2016年度より開講
	GCP30040	GCP304	グローバルビジネス応用セミナーⅡ: データ分析	2	休講		GCP(グローバル・ビジネス)履修者のみ受講可,隔年開講,2016年度より開講
	GCP30050	GCP305	グローバルビジネス応用セミナーⅢ: 英語で学ぶ経営学	2	秋	*GASPARI Paul	GCP(グローバル・ビジネス)履修者のみ受講可,隔年開講,英語による授業

- ・上記の科目は卒業に必要な単位として充当することはできない。
- ・グローバル・コンピテンシー・プログラムの各分野の合格者のみ履修可。

「国際協力」プログラム

1. プログラムの目的

今日の国際社会には、開発、人権、環境をはじめとする地球規模課題（Global Agenda）が山積している。こうした諸課題を解決するためには国境を越えた国際協力が不可欠であり、各国の政府機関・援助機関に加えて国際機関や国際NGOなどが果たす役割の重要性は、今後ますます高まっていく。そこで、これらの国際協力関連機関でのキャリアを目指す学生たちに対して、これからの時代の国際協力の専門家に求められる基礎的な知識・技能・経験を身につける機会を提供することが、本プログラムの目的である。

2. プログラムコーディネーター

総合人間科学部教育学科教授 小松 太郎

3. プログラム概要

	科目内容	備考
◆導入科目（1～2年次） 4科目：8～12単位	国際協力について、その基本的仕組みや課題について学ぶ。 *イノベーション科目（3科目のうち2科目選択必修） 「グローバル化と国際貢献」、「国際協力概論」、 「教養としてのインテリジェンス」 *全学共通科目（指定科目中2科目を履修） （指定科目は「国際関係」「国際協力」「地域研究」にカテゴリー分けされている。異なるカテゴリーから1科目ずつ修得すること。）	
◆専門科目（3～4年次）		
(1)基礎理論科目 （講義による知識・ 方法論の習得） 2科目：4単位	*国際協力を携わるうえで必要となる基礎的知識（政治、経済、法律、国際関係等）および国際協力の分析方法を身につける。（必修1科目、選択1科目を履修） 例）国際協力方法論（必修）、グローバル・ガバナンス、 発展途上国の開発経済、国際紛争、国際法など	
(2)実践科目 （ケーススタディ） 3科目：6単位	*国際協力に関するケーススタディを通じ、国際協力活動の具体的な実践課程と課題を複眼的な視点から分析する力を養う。（必修1科目、選択2科目を履修） 例）国際協力事例研究（必修）、特定地域（アジア、アフリカ等）や特定分野（教育、保健等）に焦点を当てた国際協力論など	
(3)実務科目 （基礎的技術の習得と 向上） 3科目：6単位	*国際協力の実践活動に必要な基礎的技能を取得する。（必修1科目、選択2科目を履修） 例）国際協力プロジェクト・マネジメント（必修）、実践英語、統計に関する科目など	
(4)国際協力業務・ フィールド体験	*インターンシップ、ボランティア、スタディーツアー等を通じて国際協力の業務や途上国フィールド体験することが推奨される。	
*国際キャリアセミナー	*将来的に国際協力を従事することを念頭に、国際協力を仕事とすることの意味や課題、ならびにキャリアパスを考える。	2年春休みに実施予定。 国際協力プログラム参加者は必ず参加すること。
合計 12科目：24～28単位とする。		

4. プログラム受講にあたって求められるスキルや前提条件（必要な知識等）

- ・国際協力を携わるうえで必要な語学力。英語はもとより、特に国際機関での勤務を志望する者は早い段階からの国連公用語を中心とする他の外国語の習得が望ましい。
- ・複眼的思考力や課題解決力に基づいた時事問題に対する分析手法。
- ・現在の国際問題を考えるうえで前提となる世界史の基礎知識。

5. 申込条件

- ・指定の導入科目を履修済（もしくは履修中）であること。ただし、選択必修科目について、申込までに異なる2科目以上に抽選エントリーしたが落選し、1科目もしくはすべて未履修の場合は、2年次秋学期に当該科目がある場合には必ず抽選エントリー、履修したうえで申し込むこと。（単位が修得できなかった場合はプログラム受講資格取消となる。）
- ・2年次春学期までの全科目のGPAが2.8以上であること
- ・下記のいずれかの外国語要件を満たしていること

	条件	証明書類
TOEFL	iBT 61 (PBT 500)点以上	公式スコア*
TOEIC	660点以上	テスト実施日より2年以内のもののみ有効
TEAP	110点以上(ReadingとListening の合計点)	合格証明または証明書*
実用英語検定(英検)	準1級以上	合格証明または証明書*
語学科目(英語)	Academic Communication1・2のINTERMEDIATE I レベル以上を受講中、またはELEMENTARYを修得済であること	不要

*いずれもコピー可。

6. 指定科目一覧表

		科目名	単位	開講元	プログラム科目履修にあたっての注意
導入科目	選択必修	グローバル化と国際貢献	2	全学共通科目	
		国際協力概論 -日本による開発援助の潮流と仕組み- 教養としてのインテリジェンス -国際情報リテラシーの課題と方法-	2	全学共通科目	
国際関係		概説国際関係論 I	2	全学共通科目	
		概説国際関係論 II	2	全学共通科目	
		現代国際関係論 I	2	全学共通科目	
		現代国際関係論 II	2	全学共通科目	
		序説国際政治史 I	2	全学共通科目	
		序説国際政治史 II	2	全学共通科目	
		国際政治学 1	2	総合グローバル学部	1年次履修不可
		国際政治学 2	2	総合グローバル学部	1年次履修不可
		INTRODUCTION TO INTERNATIONAL RELATIONS	4	国際教養学部	
		INTRODUCTION TO COMPARATIVE POLITICS	4	国際教養学部	
	国際協力	グローバル・コンサーンと平和の促進	2	全学共通科目	
		INTRODUCTION TO UNITED NATIONS	2	全学共通科目	英語による授業
		INTRODUCTION TO INTERNATIONAL COOPERATION THEORY AND PRACTICE	2	全学共通科目	英語による授業
		国際サービスラーニング論	2	全学共通科目	
		ボランティア論	2	神学部	
		平和学	2	神学部	
		多文化共生社会におけるESD・市民教育	2	教育学科	
		教育学特殊講義Ⅲ-国際教育開発の社会学-	2	教育学科	英語による授業
		国際法総論	4	法学部	1年次履修不可
		開発経済学	4	総合グローバル学部	旧「開発経済論1・2」
		グローバル化と発展途上国	4	総合グローバル学部	旧「グローバル化と発展途上国1・2」
		CONTROVERSIES IN GLOBALIZATION	4	国際教養学部	

			科目名	単位	開講元	プログラム科目履修にあたっての注意			
導入科目	選択	地域研究	ディベロッピング・ワールドⅠ	2	全学共通科目				
			ディベロッピング・ワールドⅡ	2	全学共通科目				
			南アジア研究入門	2	全学共通科目				
			中東イスラム研究入門	2	全学共通科目				
			東南アジア研究入門Ⅰ	2	全学共通科目				
			東南アジア研究入門Ⅱ	2	全学共通科目				
			民族関係論	2	神学部				
			ナショナリズムの社会学	2	社会学科				
			グローバル化の社会学	2	社会学科				
			ラ米政治社会概論1	2	外国語学部	1年次履修不可			
			ラ米政治社会概論2	2	外国語学部	1年次履修不可、「ラ米政治社会概論1」を履修済であることがのぞましい			
			アフリカ国際協力論	2	総合グローバル学部				
			専門科目	基礎理論科目	必修	国際協力方法論	2	グローバル教育センター	オリジナル科目
						選択	SPECIAL TOPICS IN GLOBAL ISSUES 1	2	全学共通科目
保健統計学	2	看護学科							
国際法各論	2	法学部							
国際紛争処理法	2	法学部							
アジア開発経済論	2	経済学科							
グローバル化と人権	2	外国語学部							
ACADEMIC WRITING 1	2	英語学科							
ACADEMIC WRITING 2	2	英語学科							
国際経済学1	2	総合グローバル学部							
国際経済学2	2	総合グローバル学部							
グローバル・国際研究1	2	総合グローバル学部							
グローバル・国際研究2	2	総合グローバル学部							
国際制度論1	2	総合グローバル学部		英語による授業					
国際制度論2	2	総合グローバル学部		英語による授業					
国連研究1	2	総合グローバル学部							
国連研究2	2	総合グローバル学部							
実践科目(ケーススタディ)	必修	国際協力事例研究		2	グローバル教育センター	オリジナル科目			
		選択		国際看護学概論	2	看護学科	前提科目あり		
				市民が関わる国際協力	2	外国語学部			
				市民社会・国際協力論概説	2	外国語学部			
				ブラジル社会開発協力	2	外国語学部			
				国際教育開発論1	2	総合グローバル学部			
				国際教育開発論2	2	総合グローバル学部			
				アジアの環境と開発	2	総合グローバル学部			
				アフリカ国際協力論	2	総合グローバル学部			
				実務科目	必修	国際協力プロジェクト・マネジメント	2	グローバル教育センター	オリジナル科目、夏期集中講義
						選択	社会統計学-国際的な統計データの解釈-	2	全学共通科目
			実践英語ライティング -PRACTICAL ENGLISH WRITING-				2	全学共通科目	
			統計学1				2	総合グローバル学部	
			統計学2				2	総合グローバル学部	

※科目の詳細内容については、各開講元のページ・シラバスを参照すること。オリジナル科目については p.117 参照。

「グローバル・ビジネス」プログラム

1. プログラムの目的

近年、ビジネスを取り巻く環境はグローバル化の程度を高めており、もはや一国のみに閉じた経済・経営活動は成立が困難になってきている。グローバル化によって、ビジネスの多様性と不確実性は一層高まっている。異なった価値観をもつ顧客やビジネス・パートナーを理解し、変化の早い流動的な状況で重要な決断を迫られる局面が今後ますます増加していく。本プログラムでは、多様性・不確実性が高いグローバルなビジネス環境において重要な役割を果たし、社会に貢献していくための基盤となる能力を養うために、多様なグローバル・ビジネスの現状に触れ、問題解決のガイドとなる経済・経営の諸理論・コンセプトを学習・習得する機会を提供することを目的としている。

2. プログラムコーディネーター

経済学部経営学科教授 竹之内 秀行

3. プログラム概要

	科目内容	備考
◆導入科目(1～2年次) 3～5科目：10単位	<経済学部生以外> *必修科目：経営学入門 2単位 (1科目) *選択科目：全学共通科目指定科目中 合計8単位 (3～4科目) 全学共通科目(経団連開講の基礎科目含む) および全学科目として指定されているFLA開講のIBE科目から選択する。	
	<経済学部生> *必修科目：経営学総論(経済学科生対象)/経営学概論(経営学科生対象) 2単位 (1科目) *選択科目：全学共通科目および経済/経営学科の指定科目中 合計8単位 (2～4科目) 全学共通科目(経団連開講の基礎科目) および経済学科・経営学科のB群指定科目から選択する。	
◆専門科目(3～4年次)		
(1)応用科目(講義) 4科目：8単位	*経済学・経営学のうちグローバル・ビジネスに関連する学科科目 例) オリジナル科目および指定された科目(経済学部各学科開講科目、FLA開講のIBE科目などを予定)より選択し履修する。 (必修1科目、選択3科目を履修)	
(2)実践科目(演習) 4科目：8単位	*ビジネス実務に関する実践的能力・スキルを養う科目 例) オリジナル科目および指定された科目、経団連開講の専門科目等より選択し履修する。(選択必修2科目、選択2科目を履修)	
(3)グローバル・ビジネス実践	*インターンシップ等を通じて、グローバルビジネスの現場を体験することが推奨される。	
合計 11～13科目：26単位とする。		

4. プログラム受講にあたって求められるスキルや前提条件(必要な知識等)

- ・不確実で複雑な環境下で高い成果を達成しようとする気概。
- ・未知の状況を解明しようとする、知的好奇心。
- ・多様な人々の、異なった価値観や考え方を受け入れ、チームとして仕事を進めていける柔軟性。
- ・言語や文化を異にする人々とも共感し、理解し合えるコミュニケーション能力。

5. 申込条件

- ・指定の導入科目を修得済（もしくは履修中）であること。ただし、経済学部以外の学生で必修科目「経営学入門」について、英語の学科指定ブロックと重なっていたために履修ができなかった場合は、2年次秋学期に当該科目がある場合には、必ず履修登録のうえで申し込むこと。（単位が修得できなかった場合にはプログラム受講資格は取り消しとなる。）
- ・2年次春学期までの全科目のGPAが2.8以上であること
- ・下記のいずれかの外国語要件を満たしていること

	条件	証明書類
TOEFL	iBT 61 (PBT 500)点以上	公式スコア*
TOEIC	660点以上	テスト実施日より2年以内のもののみ有効
TEAP	110点以上(ReadingとListeningの合計点)	
実用英語検定(英検)	準1級以上	合格証明または証明書*
語学科目(英語)	Academic Communication1・2のINTERMEDIATE Iレベル以上を受講中、またはELEMENTARYを修得済であること	不要

*いずれもコピー可。

6. 指定科目一覧表

<経済学部生以外>

		科目名	単位	開講元	プログラム履修にあたっての注意		
導入科目	必修	経営学入門	2	全学共通科目			
		選択	経営学系	グローバル・ビジネスの現状と課題	2	全学共通科目	受講者選抜あり, 経団連連携科目
			企業と社会	2	全学共通科目		
			経営社会と人間の行動	2	全学共通科目		
			簿記入門	2	全学共通科目		
			会計学入門	2	全学共通科目		
			経済学系	INTRODUCTION TO WORLD ECONOMIC HISTORY	2	全学共通科目	
				ディベロップング・ワールド I	2	全学共通科目	
				ディベロップング・ワールド II	2	全学共通科目	
				経済学	2	全学共通科目	
			IBE科目	PRINCIPLES OF MICROECONOMICS	4	国際教養学部	※これら3科目については、複数履修した場合もこのうち1科目しか指定科目として認められない。
				PRINCIPLES OF MACROECONOMICS	4	国際教養学部	
	専門科目	応用(講義)	必修	グローバルビジネス基礎セミナー	2	グローバル教育センター	オリジナル科目
選択			国際経済史 I	2	経済学科		
		国際経済史 II	2	経済学科			
		国際金融論 I	2	経済学科			
		国際金融論 II	2	経済学科			
		GLOBAL DEVELOPMENT GOALS	2	経済学科			
		国際経営論 I	2	経営学科			
		国際経営論 II	2	経営学科			
		人的資源管理論 I	2	経営学科			
		人的資源管理論 II	2	経営学科			
		英文会計	2	経営学科			
		国際貿易論	4	経済学科	前提科目あり		
		国際マクロ経済学	4	経済学科	前提科目あり		
		アジア開発経済論	2	経済学科			
		グローバル時代の企業戦略	2	経営学科			

			科目名	単位	開講元	プログラム履修にあたっての注意
専門科目	応用(講義)	選択	アジア経済成長論	2	経済学科	
			特別講義(開発援助論)	2	経済学科	
			INTERNATIONAL TRADE	4	国際教養学部	
			INTERNATIONAL FINANCE	4	国際教養学部	
			INTERNATIONAL MARKETING	4	国際教養学部	
			INTERNATIONAL BUSINESS	4	国際教養学部	
			グローバル化と経済学1	2	総合グローバル学部	
			グローバル化と経済学2	2	総合グローバル学部	
			国際経済学1	2	総合グローバル学部	
			国際経済学2	2	総合グローバル学部	
			開発経済学	4	総合グローバル学部	
			グローバル化と発展途上国	4	総合グローバル学部	
			アジアとグローバル企業	2	総合グローバル学部	
			実践(演習)	選択必修	グローバルビジネス応用セミナーⅠ:事例分析	2
	グローバルビジネス応用セミナーⅡ:データ分析	2			グローバル教育センター	オリジナル科目
	グローバルビジネス応用セミナーⅢ:英語で学ぶ経営学	2			グローバル教育センター	オリジナル科目
	選択	経営英語(Business Communication Strategy)		2	経営学科	
		経営英語Ⅰ		2	経営学科	
		経営英語Ⅱ		2	経営学科	
		経営英語(International Business)		2	経営学科	
		グローバルビジネスのフロンティア		2	経営学科	
		経済英語Ⅰ(Intermediate)		2	経済学科	
		経済英語Ⅱ(Intermediate)		2	経済学科	
		経済英語Ⅰ(Specialized)		2	経済学科	
		経済英語Ⅱ(Specialized)		2	経済学科	

※科目の詳細内容については、各開講元のページ・シラバスを参照すること。オリジナル科目については p.117 参照。

グローバル教養センター
5/15/2022
グローバル教養センター
開講目録
グローバル教養センター
5/15/2022

<経済学部生>

		科目名	単位	開講元	プログラム履修にあたっての注意	
導入科目	必修	経営学総論	2	経済学科	経済学科生対象	
		経営学概論Ⅱ	2	経営学科	経営学科生対象	
	選択	グローバルビジネスの現状と課題	2	全学共通科目	受講者選抜あり，経団連連携科目	
		経営戦略論Ⅰ	2	経営学科		
		経営戦略論Ⅱ	2	経営学科		
		経営組織論Ⅰ	2	経営学科		
		経営組織論Ⅱ	2	経営学科		
		マーケティング戦略論Ⅰ	2	経営学科		
		マーケティング戦略論Ⅱ	2	経営学科		
		簿記Ⅰ	2	経営学科		
		簿記Ⅱ	2	経営学科		
		原価計算論Ⅰ	2	経営学科		
		原価計算論Ⅱ	2	経営学科		
		ミクロ経済学Ⅱ	4	経済学科		
		経済発展論Ⅰ	2	経済学科	前提科目あり	
		経済発展論Ⅱ	2	経済学科	前提科目あり	
		国際金融論Ⅰ	2	経済学科		
		国際金融論Ⅱ	2	経済学科		
		GLOBAL DEVELOPMENT GOALS	2	経済学科		
		企業経済論Ⅰ	2	経営学科		
		企業経済論Ⅱ	2	経営学科		
		消費者行動論	2	経営学科		
	財務諸表論Ⅰ	2	経営学科			
	財務諸表論Ⅱ	2	経営学科			
管理会計論Ⅰ	2	経営学科				
管理会計論Ⅱ	2	経営学科				
専門科目	応用 (講義)	必修	グローバルビジネス基礎セミナー	2	グローバル教育センター	オリジナル科目
		選択	国際経済史Ⅰ	2	経済学科	
	国際経済史Ⅱ		2	経済学科		
	国際経営論Ⅰ		2	経営学科		
	国際経営論Ⅱ		2	経営学科		
	人的資源管理論Ⅰ		2	経営学科		
	人的資源管理論Ⅱ		2	経営学科		
	英文会計		2	経営学科		
	国際貿易論		4	経済学科	前提科目あり	
	国際マクロ経済学		4	経済学科	前提科目あり	
	アジア開発経済論		2	経済学科		
	グローバル時代の企業戦略		2	経営学科		
	アジア経済成長論		2	経済学科		
	特別講義(開発援助論)		2	経済学科		
	グローバル化と経済学Ⅰ		2	総合グローバル学部		
	グローバル化と経済学Ⅱ		2	総合グローバル学部		
	国際経済学Ⅰ		2	総合グローバル学部		
	国際経済学Ⅱ		2	総合グローバル学部		
	開発経済学		4	総合グローバル学部		
	グローバル化と発展途上国		4	総合グローバル学部		
	アジアとグローバル企業		2	総合グローバル学部		
	INTERNATIONAL TRADE		4	国際教養学部		
	INTERNATIONAL FINANCE		4	国際教養学部		
	INTERNATIONAL MARKETING	4	国際教養学部			
INTERNATIONAL BUSINESS	4	国際教養学部				

		科目名	単 位	開講元	プログラム履修にあたっての注意	
専門科目	実践 (演習)	選択必修	グローバルビジネス応用セミナーⅠ:事例分析	2	グローバル教育センター	オリジナル科目
		グローバルビジネス応用セミナーⅡ:データ分析	2	グローバル教育センター	オリジナル科目	
		グローバルビジネス応用セミナーⅢ:英語で学ぶ経営学	2	グローバル教育センター	オリジナル科目	
		選択	経営英語(Business Communication Strategy)	2	経営学科	
		経営英語Ⅰ	2	経営学科		
		経営英語Ⅱ	2	経営学科		
	経営英語(International Business)	2	経営学科			
	グローバルビジネスのフロンティア	2	経営学科			
	経済英語Ⅰ(Intermediate)	2	経済学科			
	経済英語Ⅱ(Intermediate)	2	経済学科			
	経済英語Ⅰ(Specialized)	2	経済学科			
	経済英語Ⅱ(Specialized)	2	経済学科			

※科目の詳細内容については、各開講元のページ・シラバスを参照すること。オリジナル科目については p.117 参照。

グローバル教育センター
開講目録

「グローバル・メディア」プログラム

1. プログラムの目的

人類が直面する地球規模の諸課題を直視し、解決に導いていくためには、国際社会の理解・支持と協調が肝要となる。健全なジャーナリズムの存在が民主主義の発展に不可欠であることは言うまでもないが、他方において、現代社会における国際政治経済のアクターは、戦略的な情報発信力、国際世論への喚起力なくしては、そのプレゼンスを示し得ない。特に情報通信ネットワークの発達などによる世界規模での情報化の進展により、報道現場やメディア・ビジネスの現場で国際的に活躍できるジャーナリスト、コーディネーター、国際機関やNGOなどの広報担当者など、メディア・コミュニケーションの理論と実践を理解し、的確に発信できる人材が強く求められている。本プログラムでは、グローバル・メディア・コミュニケーションの基礎的な知識、技能を身につけ、国際理解の促進に寄与することの意義を考える機会を提供することを目的としている。

2. プログラムコーディネーター

文学部新聞学科教授 音 好宏

3. プログラム概要

	科目内容	備考
◆導入科目(1～2年次) 4科目：8～10単位	*選択必修科目(2科目履修) 指定の全学共通科目および学科科目の中から2科目を履修する(新聞学科生とそれ以外で一部指定科目が異なる)。 *選択科目(2科目履修) 指定の全学共通科目・学科科目から選択し履修する。	
◆専門科目(3～4年次)		
(1)応用科目 (講義による知識・方法論の習得) 5科目：10単位	*グローバル・メディア、グローバル・コミュニケーション、グローバル・ジャーナリズムに関する専門的知識、理論、および、その現状と課題について学ぶ。 (指定科目中5科目を履修) 例) グローバル・コミュニケーション論など。	オリジナル科目 1科目程度開講予定 (2016年度)
(2)実務科目 (基礎的スキルの修得と向上) 3科目：6単位	*グローバル・メディア、グローバル・コミュニケーションの現場での実践的知識、技能を取得する。 例) 報道英語、メディア・コンテンツ制作、デジタルアーカイブなど。	オリジナル科目 1～2科目程度開講予定 (2016年度)
(3)グローバル・メディア実践	*社会実践活動(インターンシップ等)を通じてグローバル・メディア、グローバル・コミュニケーションの実務を経験する、もしくは、専門科目で得た知識、技能を生かしコンテンツ制作を行うことが推奨される。	インターンシップ、実践活動等の参加は任意とする
合計 12科目：24～26単位とする。		

3. プログラム受講にあたって求められるスキルや前提条件(必要な知識等)

- ・ 人類が直面する地球規模の課題や国際社会で発生する時事問題への強い関心。
- ・ 複眼的な思考力や課題発見・解決力、情報発信力、表現力を高めようとする意欲があること。
- ・ グローバルなメディア・コミュニケーション、ジャーナリズムに携わる上で必要な語学力。
- ・ グローバル化、情報化が進む現代社会の諸問題を考える上で前提となる近現代史の基礎知識。
- ・ アーカイブス、ウェブ等から積極的に情報探索を行える情報リテラシー。

4. 申込条件

- ・指定の導入科目を履修済（もしくは履修中）であること。ただし、選択必修科目について、申込までに異なる2科目以上に抽選エントリーしたが落選し、1科目もしくはすべて未履修の場合は、2年次秋学期に当該科目がある場合には、必ず抽選エントリー、履修したうえで申し込むこと。（単位が修得できなかった場合にはプログラム受講資格は取り消しとなる。）
- ・2年次春学期までの全科目のGPAが2.8以上であること
- ・下記のいずれかの外国語要件を満たしていること

	条件	証明書類
TOEFL	iBT 61 (PBT 500)点以上	公式スコア*
TOEIC	660点以上	テスト実施日より2年以内のもののみ有効
TEAP	110点以上 (ReadingとListening の合計点)	
実用英語検定 (英検)	準1級以上	合格証明または証明書*
語学科目 (英語)	Academic Communication1・2のINTERMEDIATE I レベル以上を受講中、またはELEMENTARYを修得済であること	不要

*いずれもコピー可。

5. 指定科目一覧表

			科目名	単 位	開講元	プログラム科目履修にあたっての注意
導入科目	選択必修	全学部共通	総合的戦略論	2	全学共通科目	
			マルチメディア情報社会論	2	全学共通科目	
			グローバル化と国際貢献	2	全学共通科目	
			教養としてのインテリジェンス -国際情報リテラシーの課題と方法-	2	全学共通科目	
		新聞学 科 生 以 外	マス・コミュニケーション論 I	2	全学共通科目	
			マス・コミュニケーション論 II	2	全学共通科目	
		新聞学 科 生	コミュニケーション論 I	2	新聞学科	新聞学科生以外履修不可
			概説国際関係論 I	2	全学共通科目	
		選 択	概説国際関係論 II	2	全学共通科目	
	現代国際関係論 I		2	全学共通科目		
	現代国際関係論 II		2	全学共通科目		
	序説国際政治史 I		2	全学共通科目		
	序説国際政治史 II		2	全学共通科目		
	憲法		2	全学共通科目		
	INTRODUCTION TO UNITED NATIONS		2	全学共通科目	英語による授業	
INTRODUCTION TO INTERNATIONAL COOPERATION THEORY AND PRACTICE	2		全学共通科目	英語による授業		
グローバル・コンサーンと平和の促進	2		全学共通科目			
情報化社会と情報倫理	2		全学共通科目			
ナショナリズムの社会学	2		社会学科			
グローバル化の社会学	2		社会学科			
国際社会学 1	2		総合グローバル学部			
国際社会学 2	2		総合グローバル学部			
CONTROVERSIES IN GLOBALIZATION	4		国際教養学部			

※科目の詳細内容については、各開講元のページ・シラバスを参照すること。

6. 専門科目（オリジナル科目）概要（2016年度開講予定）

科目名	概要
グローバル・メディア実践入門	グローバル・メディア，グローバル・コミュニケーションにおける政治経済，社会文化に関する課題と分析方法について，演習形式で検討を進めていく。
実践メディア英語	報道英語やメディア・ビジネス英語など，ジャーナリズム，メディア・ビジネスの現場で用いられている英語を教材にしながら，メディア英語の実践的なスキルを身につけていく。
グローバル・メディア実践プログラム	国際メディア・マーケットでのサービス・ラーニングや英語による番組制作など，メディア活動の実際を体験的に学習。それらを通じて，グローバル・メディアの直面する問題の理解を促進する。

※その他専門科目は2016年度履修要覧により発表する。

「グローバル・アクション」プログラム

1. プログラムの目的

現代世界には、貧困、教育、環境、正義に関わる諸問題が渦巻いている。本プログラムの目的は、これらの問題に私達がどのように関わっているか、また私達のアクションが世界にどのような影響を与えるかを理解することである（“Think globally”）。そして、様々なボランティア、サービス・ラーニング、フィールドワークなどを通して、NGO/NPO、市民活動に学び、さらなる実践へと結びつける方途を見出してゆくことである（“Act locally”）。草の根運動を検証することで、社会的正義や市民社会といった理念が人々の生活にどう関係しているかを学び、世界の問題を解決へと導く方法を模索する。なお、このプログラムは日・英両言語を用いて科目を履修するバイリンガル・プログラムである。

2. プログラムコーディネーター

国際教養学部准教授 SLATER David

3. プログラム概要

	科目内容	備考
◆導入科目（1年次～） 4科目：8単位～	指定の全学共通科目・学科科目から4科目 ・科目は「Global Politics」、「Society & Culture」、 「Environment & Development」の3クラスターに分けられて いる。各クラスターからプログラム修了までに最低1 科目は取得。	2年次秋学期の受講 申込までに3科目は 履修すること。うち 1科目以上は英語に よる科目を必修と する。
◆専門科目（3～4年次）		
(1)リテラシー科目 （知識習得） 5科目：10単位～	*グローバル化した世界の多様な問題に対して、人びと がどのような方法を用いて市民活動を実践し、世界に 貢献してきたかを学ぶ 必修科目：原則3年次に履修 「プロジェクト・プランニング」（オリジナル科目） 選択必修科目：以下の3科目のうち2科目を履修 「Global Social Justice in Japan」 「Civil Society, NPO and Citizen Power」（オリジナル科目） 「日本における市民社会」（オリジナル科目） 選択科目：指定された専門科目群から履修 （必修科目・選択必修科目・選択科目合わせて5科目を 履修）	必修科目、選択必修 科目はいずれも 2016年度開講予定。 科目名等は変更に なる可能性がある。 5科目中、英語によ る科目を最低2科目 必修とする。
(2)サービス・ラーニン グ関連科目 1～2科目：4単位～	指定のサービス・ラーニング関連科目から4単位以上履修。 なお、1・2年次ですでに履修している場合はそれも可とする。 原則として、実践型プログラムを最低1科目履修する。	指定プログラムは 別表を参照
(3)プロジェクト科目 （実践） 1科目：2単位	*プランニングに基づき社会貢献プロジェクトを実践する 必修科目：「Praxis in Civil Society」	2016年度開講予定。 科目名等は変更に なる可能性がある。
合計 11～12科目（うち英語によるもの最低3科目）		

4. プログラム受講にあたって求められるスキルや前提条件（必要な知識等）

- ・「弱者」に対する強い関心があり、自ら進んで社会に貢献しようとする気持ちがあること。
- ・人びとの多様性を認める姿勢があること。
- ・大きな地球の問題に立ち向かおうとする意識があること。
- ・英語を自分の武器にする、という気持ちがあること。

グローバル・アクション
プログラム
開講科目
2016年度

5. 申込条件

- ・2年次春学期までの全科目のGPAが2.8以上であること
- ・下記のいずれかの外国語要件を満たしていること

	条件	証明書類
TOEFL	iBT 61 (PBT 500)点以上	公式スコア*
TOEIC	660点以上	テスト実施日より2年以内のもののみ有効
TEAP	110点以上 (ReadingとListening の合計点)	
実用英語検定 (英検)	準1級以上	合格証明または証明書*
語学科目 (英語)	Academic Communication1・2のINTERMEDIATE Iレベル以上を受講中, またはELEMENTARYを修得済であること	不要

*いずれもコピー可。

6. 指定科目一覧表

	科目名	単位	開講元	プログラム科目履修にあたっての注意
導入科目	Global Politics	INTRODUCTION TO UNITED NATIONS	2 全学共通科目	英語による授業
		INTERNATIONAL AND GLOBAL AFFAIRS 1	2 全学共通科目	英語による授業
		INTERNATIONAL AND GLOBAL AFFAIRS 2	2 全学共通科目	英語による授業
		ナショナリズムの社会学	2 社会学科	
		グローバル化の社会学	2 社会学科	
		グローバル・国際研究 1	2 総合グローバル学部	旧「国際関係論1」, 英語による授業, 1年次履修不可
		グローバル・国際研究 2	2 総合グローバル学部	旧「国際関係論2」, 英語による授業, 1年次履修不可
		THEORIES AND THEMES OF CONTEMPORARY POLITICS	4 国際教養学部	
		INTRODUCTION TO COMPARATIVE POLITICS	4 国際教養学部	
		CONTROVERSIES IN GLOBALIZATION	4 国際教養学部	
Society & Culture	現代社会と生命倫理	2 全学共通科目		
	ケアの倫理学	2 全学共通科目		
	PHILOSOPHY OF HUMAN VIOLENCE	2 全学共通科目		
	グローバル・コンサーンと平和の促進	2 全学共通科目		
	生命倫理の世界	2 全学共通科目		
	SPECIAL TOPICS IN GLOBAL ISSUES 1	2 全学共通科目	英語による授業	
	SPECIAL TOPICS IN GLOBAL ISSUES 2	2 全学共通科目	英語による授業	
	愛とケアの思想史	2 神学部		
	人権と対話の政治学	2 神学部		
	民族関係論	2 神学部		
	平和学	2 神学部		
	社会心理学 I	2 心理学科		
	ジェンダーの社会学	2 社会学科		
	国際社会学 1	2 総合グローバル学部	1年次履修不可	
	INTRODUCITON TO CULTURAL AND SOCIAL ANTHROPOLOGY	4 国際教養学部		
	ANTHROPOLOGY OF JAPAN	4 国際教養学部		
	CULTURE AND IDENTITY	4 国際教養学部		
	FUNDAMENTALS OF RELIGION	4 国際教養学部		
	INTRODUCTION TO SOCIOLOGY	4 国際教養学部		
	INTRODUCTION TO JAPANESE SOCIETY	4 国際教養学部		

		科目名	単 位	開講元	プログラム科目履修にあたっての注意
導入科目	Environment & Development	地球環境と科学技術Ⅰ	2	全学共通科目	
		地球環境と科学技術Ⅱ	2	全学共通科目	
		グローバル化と国際貢献	2	全学共通科目	
		国際協力概論 -日本による開発援助の潮流と仕組み-	2	全学共通科目	
		地球環境と科学技術	2	全学共通科目	
		INTRODUCTION TO INTERNATIONAL COOPERATION THEORY AND PRACTICE	2	全学共通科目	英語による授業
		CONSERVATION	2	全学共通科目	英語による授業
		開発経済学	4	総合グローバル学部	旧「開発経済論1・2」
		開発の社会学	2	社会学科	
		経済発展論Ⅰ	2	経済学科	前提科目あり
		地球環境学Ⅰ	2	全学共通科目	
		地球環境学Ⅱ	2	全学共通科目	
		環境法入門	2	法学部	旧「環境法」
		ENVIRONMENTAL ISSUES 1	4	国際教養学部	
HUMAN GEOGRAPHY	4	国際教養学部			

※科目の詳細内容については、各開講元のページ・シラバスを参照すること。

7. サービス・ラーニング関連科目（*は実践型プログラム。プログラム詳細は各開講元のページを参照）

・原則として、実践型プログラムを最低1科目履修する。

科目名	開講元	単 位
国際サービスラーニング論	全学共通科目	2
AJCU-AP サービスラーニング・プログラム*	全学共通科目	4
AJCU-AP サービスラーニング・プログラム*	全学共通科目	2
インド・サービスラーニング・プログラム*	全学共通科目	4
アフリカに学ぶ*	全学共通科目	2
カンボジア・エクスポージャーツアー*	全学共通科目	2
GLP グローバルリーダーシッププログラム*	全学共通科目	2
HUMAN ECOLOGY: RIVERS*	全学共通科目	2
ボランティア論	神学部	2
ボランティア演習*	神学部	4
国連ユースボランティア実習*	外国語学部	6

※科目の名称、内容、開講期については変わる可能性がある。

8. 専門科目（オリジナル科目）概要（2016年度開講予定。使用言語は日本語または英語）

科目名（仮称）	概 要
プロジェクト・プランニング	自分のプロジェクトを実践するための準備コース。
Civil Society, NPO and Citizen Power	市民社会や非営利団体の基本的モデルについて学ぶ。特に市民個人としてどう貢献できるかに焦点を当てる。
日本における市民社会	日本の市民社会の歴史的成り立ちと現在の状況に関して学ぶ。理論的視点と日本の状況がどのように違うか、また似通っているか。欧米諸国と異なる日本の市民社会の軌跡も学ぶ。
Praxis in Civil Society	担当教員の指導を受けつつ、ボランティア活動、NPO（活動側、受給側）へのインタビューやフィールドワーク、調査などを行い、自身の興味がある分野に関して個人研究する。実践のトピックは 貧困、女性保護、移民問題、環境問題、教育を始めとする諸分野。最後に報告書を作成し、発表する。

※その他専門科目は2016年度履修要覧により発表する。

5 語学科目

語学科目について

学科別履修指定言語

英語

初習言語について

ドイツ語

フランス語

イスパニア語

中国語

ロシア語

イタリア語

ロシア語・(ブラジル)ポルトガル語

アジア・アフリカ諸語他

日本語

翻訳科目

履修モデル

海外短期語学講座

開講科目一覧表

語学科目
について学科別履修
指定言語英
語初習言語
についてド
イ
ツ
語フ
ラ
ン
ス
語イ
ス
パ
ニ
ア
語中
国
語ロ
シ
ア
語イ
タ
リ
ア
語ロシ語・
ポルトガル語ア
ジ
ア
・
ア
フ
リ
カ
諸
語
他日
本
語翻
訳
科
目履
修
モ
デ
ル海
外
短
期
語
学
講
座開
講
科
目
一
覧
表

語学科目履修上の注意

1. 共通重要事項

1) 言語の選び方について

- ①必修科目は、各学科で卒業単位として必要な言語を原則として1年次に履修すること。
- ②選択必修科目が定められている学科は、卒業単位として認められる言語を選び（自言語登録）、必要単位数を履修すること。自言語登録の方法については「履修登録クイックナビ」を参照すること。
- ③必修科目、選択必修科目以外に語学科目を履修した場合、全学共通科目の選択科目に8単位まで算入できる。
- ④学科によっては、③に加え、学科科目の選択に語学科目を算入できる場合がある。学科により言語の種類・単位数は異なるので、「学科別履修指定言語（選択）」(p.138)を参照すること。

2) 語学レベルと履修順序について（詳細は、英語p.139～、初習言語p.146～参照）

- ・各言語とも、自身の語学レベルによって履修できる科目が限られている。
- ・原則として、はじめに指定された語学レベルを変更することはできない。ただし、これまでの学習歴によってレベルを変更できる場合がある。この場合は所定のレベルアップの手続きをとること。
- ・言語ごとに指定された履修順序に従って履修すること。

3) 履修できる単位数について

- ・1言語につき、各学期2単位を上限とする。ただし英語の選択科目および初習言語のオプション科目はこの限りではない。
- ・初習言語については、各言語とも、コア科目の初級・中級科目は原則として履修できる単位数は4単位までである。ただしオプション科目、および一部の言語においてコア科目を選択として履修する場合はこの限りではない。
- ・同学期中に複数の言語を同時に履修することができる。
- *コア科目・オプション科目の定義はp.146「1) 科目の種類について」を参照のこと。

4) 出席回数について

- ・単位取得の最低条件として、定められた出席回数を守ること。（→p.135「出席回数について」参照）

5) 重複履修について

原則、同一科目を2回以上履修しても卒業に必要な単位として認められない。同一科目とは、原則として科目コードが同じ科目である。ただし、言語やレベルによっては一部重複履修が認められているため、各言語のページで確認すること。

6) 語学科目の履修中止について

- ・「必修」および「選択必修」として履修している科目を履修中止することはできない。ただし、自言語登録をした言語を変更した場合は履修中止できる（自言語登録の変更については学事センターに問い合わせること）。
- ・「選択」もしくは卒業要件に関わらない科目として履修している科目は、Loyolaで履修中止することができる。
- ・手続きの詳細はガイドページ「6. 履修中止」を参照すること。

7) 語学科目のうち科目名に「-1」「-2」がついている科目について（上級科目を除く）

- ・春学期・秋学期それぞれ履修登録をすること。
- ・内容に連続性があるので、秋学期は、春学期の続きの科目（同一教員）を履修すること。
- ・春学期の成績が「F」評価の場合、秋学期の履修はできない。次年度に春学期から再履修をすること。
- ・秋学期からの履修は不可とする（秋学期の科目の再履修者を除く）。
- ・成績は春学期・秋学期それぞれ付与される。

語学科目 について
学 科 別 履 修 指 定 言 語
英 語
に 初 習 言 語 に つ い て
ド イ ッ 語
フ ラ ン ス 語
イ タ リ ア 語
中 国 語
コ リ ア 語
イ タ リ ア 語
ロ シ ン 語 ・ ポ ル ト ガ ル 語
ア ジ ア ア フ リ カ 諸 国 他
日 本 語
翻 訳 科 目
履 修 モ デ ル
語 学 講 座
海 外 短 期 一 開 講 科 目 表

・春学期・秋学期の時間割は基本的に同一である。このため、特に秋学期の時間割が学科の必修科目等と重複していないか、春学期に登録する時点で必ず確認しておくこと。

2. 概要

1) 語学科目の種類

語学科目は、次の22言語である。

- ・英語
- ・日本語
- ・初習言語（ドイツ語、フランス語、イスパニア語、ロシア語、ポルトガル語、イタリア語、中国語、コリア語、ラテン語、タイ語、インドネシア語、アラビア語、ペルシア語、カンボジア語、フィリピン語、ビルマ語、トルコ語、ベトナム語、ヒンディー語、スワヒリ語）

2) 出席回数について

語学科目の出席回数を以下のように定める。単位取得の最低条件として、定められた出席回数を守ること。ただし、出席回数を満たせば必ず単位が付与されるというわけではない。出席回数を満たしたうえで、各科目の評価基準に従い成績が付与される。①～⑤いずれも、初回の授業から出欠をカウントする。

①週1回の科目（全14回）

11回以上の出席を必須とする。

②週2回の科目（全28回）

23回以上の出席を必須とする。

③週4回の科目（全56回）

46回以上の出席を必須とする。

④週5回の科目（全70回）

59回以上の出席を必須とする。

⑤週10回の科目（全140回）

119回以上の出席を必須とする。

<特別措置>

以下の内容に当てはまるものは、出席にも欠席にも扱わない。ただし、いずれも授業に出席できない期間が**3週間を超える場合は**、いかなる理由であっても特別措置の対象としない。また2つ以上の事由の合計が3週間を超える場合、超えた期間については特別措置の対象外とする。特別措置が認められた場合の出席回数については、担当教員に確認すること。特別措置の対象者で、出席に替わって課題を課されたものは、その提出が特別措置を受ける条件となる。

- ・ 病気や怪我のうち、登校できない期間が明記された診断書を提出できる場合
- ・ 上南戦及びSOFEXに参加する者のうち、大学からの証明を提出できる場合
- ・ 裁判員選任等に伴う欠席（p.24に記載された手続きを踏むこと）
- ・ 教育実習、養護実習、介護等体験、館務実習のうち、証明書を提出できる場合
- ・ 看護学科の実習で、証明書を提出できる場合

<遅刻の取扱いについて>

授業開始時間（定刻）より、30分経過しても入室しなかった場合は、その後遅れて入室し授業を受けたとしても、欠席扱いとなる。（0時限開講の科目については、定刻より15分経過とする。）

3) ナンバリングについて

語学科目のナンバリング（分野名）は以下の通りである。

なお、ナンバリングで表記されている数字3桁はレベルを示しており、その内容は言語によって異なる。

詳細は各言語のページを参照すること。

ナンバリング (分野名)	言語
ENG	英語
GMN	ドイツ語
FRN	フランス語
SPN	イスパニア語
CHN	中国語
KOR	コリア語
RUS	ロシア語
POR	(ブラジル)ポルトガル語
ITL	イタリア語
IND	インドネシア語
TGL	フィリピン語
ARA	アラビア語
THA	タイ語
PER	ペルシア語
CAM	カンボジア語
BUR	ビルマ語
TUR	トルコ語
VIE	ベトナム語
HIN	ヒンディー語
SWA	スワヒリ語
JPN	日本語

3. 学科別履修指定言語（必修・選択必修）

以下の表は、各学科で卒業要件としている言語を一覧表にしたものである。各自で以下の表と所属学科の頁を参照の上、履修すること。

*必修科目は原則として1年次に履修すること。

*選択必修科目は、すべて同一言語で履修すること。異なる言語を組み合わせることはできない。

*日本語は、日本語を母国語としない留学生、及び所属学科の指導により、その履修の必要性が認められた者を対象とする。対象外の者が履修しても卒業に必要な単位とは認められない（翻訳科目を除く）。

学部	学科	必修科目		選択必修科目																	備考							
		英語	必要単位数	ドイツ語	フランス語	イスパニア語	中国語	ロシア語	イタリア語	ポルトガル語	ラテン語	インドネシア語	フィリピン語	アラビア語	タイ語	ペルシア語	カンボジア語	ビルマ語	トルコ語	ベトナム語		ヒンディー語	スワヒリ語	日本語	必要単位数			
神	神	※1	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○						○	○	4			
文	哲(英語選択)	※1	4	○	○						○														4			
	哲(ドイツ語選択)	※1	4																							0		
	哲(フランス語選択)	※1	4	○							○															4		
	哲(ラテン語選択)	※1	4	○	○																					4		
	史	※1	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○										○		8	※4	
	国文	※1	4																								0	
	英文	※2	8	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○										○		0		
	ドイツ文	※1	4																								0	
	フランス文	※1	4																								0	
	新聞	※1	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○											○		8	
総合人間	教育	※1	4																								0	
	心理	※1	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○								○	○		4	
	社会	※1	4																								0	
	社会福祉	※1	4																								0	
	看護	※3	8																								0	
法	法律	※1	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○											○		8	
	国際関係法	※1	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○											○		8	
	地球環境法	※1	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○											○		8	
経	経済	※1	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○							○	○		4	
	経営	※1	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○							○	○		4	
外	英語	※2	8	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○											○		0	
	ドイツ語	※1	4																								0	
	フランス語	※1	4																								0	
	イスパニア語	※1	4																								0	
	ロシア語	※1	4																								0	
	ポルトガル語	※1	4																								0	
国際教養	国際教養	* Bulletin of Information (Faculty of Liberal Arts)を参照のこと																										
総合グローバル	総合グローバル	※1	4																								0	
理工	理工学部英語コース	* Bulletin of Information (Faculty of Science and Technology)を参照のこと																										
	物質生命理工	※1	4																								0	
	機能創造理工	※1	4																								0	
	情報理工	※1	4																								0	

※1: ACADEMIC COMMUNICATION 1・2 (4単位)を履修

※2: 英語の必修科目は履修なし。選択必修科目の中から一言語を選び8単位を履修すること。

※3: 看護英語 (1年次) および (2年次)を履修

※4: 日本史専攻者は学科のページを参照すること。

語学科目
指定言語
英
語
初習言語
ドイツ語
フランス語
イタリ
ア語
中国語
ロシア語
イタリア語
ポルトガル語
ロシア語・
リカ諸語他
アジアア
フ
日本語
翻訳科目
履修モデル
海外短期
語学講座
一
開講科目
覧表

4. 選択科目

必修科目、選択必修以外に語学科目を履修した場合、全学共通科目の選択科目に8単位まで算入できる（国際教養学部、看護学科を除く）。また、学科によっては、これに加えて学科の選択科目に語学科目を算入できる場合がある。以下の表は、各学科で学科の選択科目に参入できる言語とその上限単位数を一覧表にしたものである。各自で以下の表と所属学科の頁を参照の上、履修すること。

- * 選択科目を履修する学生は、全学共通科目（選択）とするのか学科科目（選択）とするのか、履修登録時に区分を指定して登録すること。
- * 学科の指定言語以外の言語を学科の選択科目の区分に登録し履修することはできるが、その場合は卒業要件とならないので注意すること。
- * 上記に関わらず、文学部及び外国語学部の学生で、自学科の専門として学んでいる言語は、履修することはできない。
- * また、国際教養学部と看護学科の学生は、全学共通科目としての履修は認められない。
- * 日本語は、日本語を母国語としない留学生、及び所属学科の指導により、その履修の必要性が認められた者を対象とする。対象外の者が履修しても卒業に必要な単位とは認められない（翻訳科目を除く）。

学部	学科	選択科目																	備考						
		上限単位数	英語選択科目	ドイツ語	フランス語	イスパニア語	ロシア語	ポルトガル語	イタリア語	中国語	コリア語	ラテン語	インドネシア語	フィリピン語	アラビア語	タイ語	ペルシア語	カンボジア語		ビルマ語	トルコ語	ベトナム語	ヒンディー語	スワヒリ語	日本語
神	神	8	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
文	哲(英語選択)	0																							
	哲(ドイツ語選択)	0																							
	哲(フランス語選択)	0																							
	哲(ラテン語選択)	0																							
	史	4		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	国文	0																							英語および語学科目選択と併せて履修した以外の同一言語を4単位以上修得した場合のみ
	英文	0																							
	ドイツ文	0																							
フランス文	0																								
新聞	0																								
総合人間	教育	8	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	心理	0																							
	社会	8	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	社会福祉	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
看護	0																							同一言語を4単位以上修得した場合のみ	
法	法律	0																							
	国際関係法	0																							
	地球環境法	0																							
経	経済	0																							
	経営	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
外	英語	8		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ドイツ語	8		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	フランス語	8		○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	イスパニア語	8		○		○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ロシア語	8		○		○		○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ポルトガル語	8		○		○		○		○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
国際教養	国際教養	* Bulletin of Information (Faculty of Liberal Arts)を参照のこと																							
総合グローバル	総合グローバル	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
理工	理工学部 英語コース	* Bulletin of Information (Faculty of Science and Technology)を参照のこと																							
	物質生命理工	0																							
	機能創造理工	0																							
	情報理工	0																							

1) プレイメント・テストについて

英語科目を履修するためには、プレイメント・テストを受けなければならない(国際教養学部・理工学部英語コースの学生を除く)。また、英語科目の履修者以外も、下記に該当する学生はプレイメント・テストを同日に受験すること。

- ・英文学科・英語学科の学生でこれから基礎科目を履修しようとする者(基礎科目のクラス分けの参考とする)。
- ・教員免許状のうち、自学科で定められた教科以外に他教科として「英語」の免許取得を希望する学生が、課程科目の「英語科教育法」(課程センター開講)を履修する場合。
- ・英文学科生が「英語科教育法」(英文学科開講)を履修する場合。

【15年次生】

日 時	2015年4月2日(木) 午前9時30分集合 [試験時間] 10:00~12:00 (終了時間は予定)
場 所	当日、掲示板にて指示する。
結果発表	2015年4月7日(火) 13:00 [掲示場所] Loyola 掲示板(学事センター [教務])

※ やむを得ない事情で4月2日に受験できなかった学生は、4月6日(月)午後5時までに学事センター窓口へ申し出ること。

【4月2日に受験できなかった学生】

【14年次生で、まだプレイメント・テストを受けたことがない学生】

追試日時	2015年4月7日(火) 午前9時30分集合 [試験時間] 10:00~12:00 (終了時間は予定)
場 所	当日、掲示板にて指示する。
結果発表	2015年4月8日(水) 13:00 [掲示場所] Loyola 掲示板(学事センター [教務])

- ・10:15を過ぎた場合、テストは受験できない。追試を受験すること(追試も受験できなかった場合は、英語科目を履修できない)。
- ・学生証、筆記用具(マークシートのためHBの鉛筆またはシャープペンシル、消しゴム)を持参すること。
- ・時計を持参のこと。携帯電話を時計代わりに使用することはできないので注意すること。
- ・14年次生で追試の受験を希望する者は、4月6日(月)17時までに言語教育研究センターにて手続きをすること。詳細はLoyola掲示板(学事センター [教務])を確認すること。

2) ACADEMIC COMMUNICATIONについて

ACADEMIC COMMUNICATIONは、看護学科、英文学科、英語学科、国際教養学部、理工学部英語コースを除く全ての学科の必修科目である。

●科目の目的

- ・ACADEMIC COMMUNICATION 1 (春学期2単位)
学術的英語運用能力と学習スキルの習得を目指す。
- ・ACADEMIC COMMUNICATION 2 (秋学期2単位)
CLIL(内容言語統合型学習)による英語での内容学習と批判的思考の育成を目指す。

●レベルと到達目標

プレイメント・テストの結果に基づき、学生は以下の6レベルに分けられる。

【各レベルの定義】

基 礎 (INTRODUCTORY)	初歩的な内容を、読んだり聞いたりして理解し、書いたり話したりして表現することを、これから習得する。最低限の意味疎通をこれから身につける。
初 級 (ELEMENTARY)	基礎的な内容を読んだり聞いたりして、意味を理解できる。自己紹介レベルの内容を書いたり話したりできる。相手がゆっくりと話し、手助けをしてくれるならば、何とか意思疎通ができる。
中級 I (INTERMEDIATE I)	平易な内容を読んだり聞いたりして、全体を理解できる。簡単に日常的な事柄や自分自身のことについては、単純な文章で書いたり話したりできる。日常的で具体的な事柄ならば、その場での必要な意思疎通ができる。

中級Ⅱ (INTERMEDIATEⅡ)	標準的レベルの内容を読んだり聞いたりして、主要な点を理解できる。知識や興味がある内容については、一定の長さで話したり書いたりできる。ぎこちなさはあるものの、その場での意思疎通ができる。
上級Ⅰ (ADVANCEDⅠ)	やや高度な内容を読んだり聞いたりして、主旨を理解できる。ある程度の複雑さを伴う事柄について、明確で詳細な内容を書いたり話したりできる。ある程度の流暢さでその場での意思疎通ができる。
上級Ⅱ (ADVANCEDⅡ)	高度で長い内容を読んだり聞いたりして、含意まで理解できる。複雑な事柄について、明確かつ詳細で、よく構成された内容を書いたり話したりできる。流暢にその場での意思疎通ができる。社交、勉強、仕事のような目的に応じた使い分けができる。

【各レベルの到達目標】

基礎 (INTRODUCTORY)	簡単な教科書や解説を大筋で読むことができ、トピックに関する説明を大体は聞き取れる。段落構成法に基づくパラグラフを書くことができ、初歩的な質疑応答や口頭発表を行える。
初級 (ELEMENTARY)	簡単な教科書や解説を読むことができ、トピックに関する説明を聞き取れる。段落構成法に基づく複数のパラグラフを書くことができ、簡単な質疑応答や口頭発表を行える。
中級Ⅰ (INTERMEDIATEⅠ)	平易な学術論文や入門書を大意で読むことができ、入門的内容の講義の主要な点を聞き取れる。論文作法に基づく初歩的なエッセイを書くことができ、簡単な議論や口頭発表を行える。
中級Ⅱ (INTERMEDIATEⅡ)	平易な学術論文や入門書を読むことができ、入門的内容の講義を聞き取れる。論文作法に基づく基礎的なエッセイを書くことができ、基本的な議論や口頭発表を行える。
上級Ⅰ (ADVANCEDⅠ)	標準的な学術論文や専門書を大筋で読むことができ、専門的内容の講義を大体は聞き取れる。論文作法に基づく本格的なエッセイを一定の正確さで書くことができ、議論や口頭発表をある程度の流暢さで行える。
上級Ⅱ (ADVANCEDⅡ)	標準的な学術論文や専門書を細部まで読むことができ、専門的内容の講義を問題なく聞き取れる。論文作法に基づく本格的なエッセイを正確に書くことができ、議論や口頭発表を流暢に行える。

●ACADEMIC COMMUNICATION の履修時間帯

学科によって必修科目を履修する時間帯は下表のとおり決められている。また、各自の履修するクラスについても指定されるので、プレイスメント・テストの結果を確認すること。

〔ブロック表〕

時限／曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
0		基礎	基礎	基礎	基礎
1	A	D	F	D	F
2	B	E			
3				C	E
4	C		B	A	
5					

ブロック	学 科 分 類
A	神, 教育, 心理, 国文, ドイツ文, 社会福祉
B	史, フランス文, 法律, 新聞
C	ドイツ語, フランス語, ポルトガル語, 総合グローバル
D	経営, イスパニア語, 社会
E	哲, 国際関係法, 地球環境法, ロシア語
F	経済, 情報理工, 物質生命理工, 機能創造理工

※基礎にレベル分けされた学生はブロックに関係なく、週4回開講、火・水・木・金曜日の0時限(8:15~9:00)のクラスを受講すること。

語学科目について
学科別履修指定言語
英語
初習言語について
ドイツ語
フランス語
スペイン語
中国語
ロシア語
イタリア語
ポルトガル語・ロシア語・リカ諸語他
アジア語
日本語
翻訳科目
履修モデル
海外短期語学講座
一開講科目一覧表

●【重要】ACADEMIC COMMUNICATION 2におけるTEAP4技能試験の受験について

ACADEMIC COMMUNICATION 2では、1年間の英語力の伸長を測るために、学期末に「TEAP4技能試験」の受験を全員に義務付けている。ACADEMIC COMMUNICATION 2は「TEAP4技能試験」の結果も含めて評価されるため、必ず受験すること。

なお、受験日は学科によって異なる。5月末までに各学科の受験日等の詳細をLoyola掲示板（学事センター〔教務〕）に掲載するので確認すること。また、授業内においても教員から案内する。

【受験日】

2016年1月10日(日)、1月16日(土)のいずれか

*1月23日(土)を予備日とする。

【場所】

上智大学四ツ谷キャンパス

【時間】

9:00~17:00(予定) (開始・終了時間は学科によって前後する場合があります)

【持ち物等】

- ・筆記用具 (HBの黒鉛筆またはシャープペンシル、消しゴム)。
- ・無色透明のペットボトルに入った水のみ、試験中飲用可。
- ・昼休憩が40分程度となるため、昼食を持参することを推奨する。

【受験について】

- ・会場は、当日指定する。
- ・検定料 (15,000円)は、大学負担とする。
- ・やむを得ない事情により、指定した日に受験できない場合は、事前に言語教育研究センター (2号館地下2F) で手続きの上、予備日 (1月23日) に受験すること。他学科の指定日に受験することはできない。

※ 英文学科、看護学科はACADEMIC COMMUNICATIONを履修していないため受験を義務付けられていないが、1年次生のうち受験を希望する者は、指定の日時に受験した場合に限り、無料(大学負担)で受験することができる。英語学科の1年次生は受験が義務付けられている。詳細は必修科目の授業で説明する。

なお、英文学科、英語学科、看護学科の指定の受験日については、5月末までにLoyola掲示板（学事センター〔教務〕）に掲載する。

3) ACADEMIC COMMUNICATION 1・2の再履修について

1年次にACADEMIC COMMUNICATION 1若しくは2の単位を修得していない場合は、2年次に指定されたクラスを履修すること。履修クラスは、2015年4月7日13:00に学事センター（教務）掲示板に掲載される新入生プレイメントテスト結果一覧に併せて記載する。各自で確認の上、各学期の履修登録期間に登録すること。なお、履修するクラスの時間割ブロックは下表のとおり予め指定するので、抽選科目等と重複しないよう履修計画を立てること。

●ACADEMIC COMMUNICATION の履修時間帯 (2年生用)

〔ブロック表〕

時限/曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
0		基礎	基礎	基礎	基礎
1	A	D	F	D	F
2	B	E			
3				C	E
4	C		B	A	
5					

ブロック	学 科 分 類
A	神、教育、心理、ドイツ文、社会福祉
B	史、フランス文、法律、地球環境法、新聞、ポルトガル語
C	ドイツ語、フランス語、総合グローバル
D	国文、経営、スペイン語、社会
E	哲、国際関係法、ロシア語
F	経済、情報理工、物質生命理工、機能創造理工

※INTRODUCTORYを履修する学生はブロックに関係なく、週4回開講、火・水・木・金曜日の0時限 (8:15~9:00) のクラスを受講すること。

4) 選択科目について

- ・1年次にACADEMIC COMMUNICATION 1・2の単位を修得し終えた学生は、各自の興味・必要に応じて2年次以降に選択科目を履修できる。
- ・主に「学術領域」(Academic English)、「専門職領域」(Professional English)、「実用領域」(Practical English)の3分野の科目群を開講する。
- ・Academic English : アカデミックな科目を体系的に英語で学ぶ。内容言語統合型学習 (CLIL) の手法を用い、科目の基本的な内容やその分野で使用される専門用語、学問分野を英語で身につける方法について学ぶ。
- ・Professional English : 専門的な職業分野で使用される英語を学び、仕事を円滑に行うための英語スキルを身につけていく。
- ・Practical English
 - Skills courses : 日常業務や生活場面で使用される英語を実践的に活用できるよう学習していく。
 - Exam Preparation courses : 英語の資格・能力試験を受験するために必要なスキルを身につける。
- ・TOEFL単位認定を受けた場合は、1年次からの履修も可とする。
- ・春学期のみ、あるいは秋学期のみの履修が可能。
- ・教員が異なれば (もしくはナンバリングが異なれば)、同じ科目名のものを重複して履修することができる。
- ・レベル指定されているものについては、各自のレベルに応じて履修すること。指定されていないものは、レベルの目安を表示しているので、自身の判断で履修すること。詳しくは、P173～の説明書きを参照すること。
- ・Practical EnglishのExam Preparation coursesは卒業要件に算入されない。
- ・英文学科、英語学科、国際教養学部、理工英語コースの学生は履修できない。

5) 単位認定制度について (英文学科、英語学科、国際教養学部、理工英語コースを除く)

申請年度からさかのぼり2年以内にTOEFLまたは本学主催のTOEFL ITPテストを受験し、以下の認定基準を満たすスコアを取得している場合は、所定の手続きを行うことにより、**英語必修科目4単位**分として認定される。また、1年次の春学期の抽選科目登録期間終了までに提出した場合、1年次から選択科目を履修することができる。また、1年次の秋学期の抽選登録期間終了までに提出した場合、1年次秋学期から選択科目を履修することができる。

[認定基準]

試験の種類	認定基準	本学における認定単位数
TOEFL	iBT (Internet-based Test) 88点	英語必修科目4単位分
TOEFL ITP	PBT (Paper-based Test) 570点	

[申請期間]

- ・認定された4単位をもって卒業を希望する場合は、以下の期日までに申請手続きを行うこと。なお、期日をすぎたの受付は一切行わないので、認定を考える者はスコア到着日も含め受験日をよく確認のうえ早めに受験すること。
9月卒業希望者：2015年8月 7日 (金) 17:00迄
3月卒業希望者：2016年2月 26日 (金) 17:00迄
- ・その他の場合、申請は随時受け付けるが、単位認定には1ヶ月程度期間を要するため、認定された4単位を理由に履修中止を考えている者は、春学期は4月24日(金)、秋学期は10月30日(金)までに申請すること。それ以降の申請の場合、履修中止までに間に合わない可能性もあるので十分注意すること。

[申請方法]

学事センター窓口にて、所定用紙「単位認定願 (英語)」に記入し、「Official Score Report」(ITP以外の場合はExaminee Score Report) のコピーを添えて提出すること。Web画面のスコア印刷による申請は一切認めない。
2015年度申請の有効スコア：2013年4月以降受験のもの

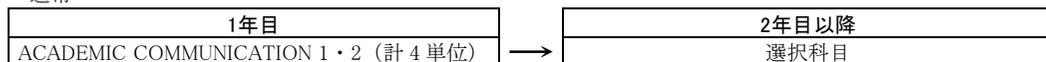
[その他]

- 1) 認定された場合は、Loyola掲示板で呼出すので、必ず、学事センター窓口にて結果を確認すること。
- 2) 認定を受けた学生は、その時点でレベルが「ADVANCED II」になる。提出後にレベルを下げることはできない。
- 3) 英語必修科目修得後の単位申請は受付しない。

6) 履修順序について

以下の順序に従って履修すること。

・通常



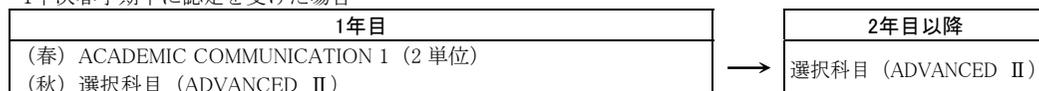
*2年目以降の選択科目のレベルは、1年次に指定されたレベルと同様とする。2年目以降、レベルを上げたい場合は所定の手続きをとること (→「7. レベルアップについて」参照)

・1年次抽選科目登録期間終了までに単位認定を受けた場合



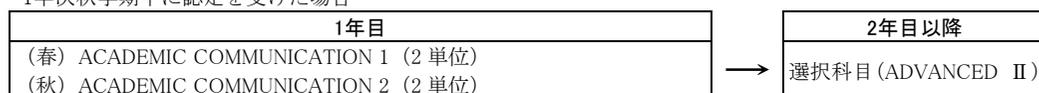
*ACADEMIC COMMUNICATION 1・2は履修免除とする (履修登録はできない)。

・1年次春学期中に認定を受けた場合



* (秋) ACADEMIC COMMUNICATION 2は履修免除とする。
ACADEMIC COMMUNICATION 1は所定の期間内であれば履修中止も可。

・1年次秋学期中に認定を受けた場合



* (秋) ACADEMIC COMMUNICATION 2は所定の期間内であれば履修中止も可。

7) 次年度以降のレベルアップについて

1年目に ACADEMIC COMMUNICATION 1・2の単位を修得し終えた学生は、2年目以降に選択科目を履修できる。レベル指定のある選択科目を履修する場合、学生のレベルは1年目と同じレベルとなるが、現レベルより上のレベルの選択科目を履修したい場合は、以下に示すスコアのいずれかを提出し、レベルアップの手続きをすること。手続き期間は、春学期・秋学期はじめにそれぞれスコアの提出期限を設ける。選択科目の履修については、秋学期からのレベルアップも可とする。具体的手続きについては、毎年2月中旬に学事センター(教務)掲示板に掲示する予定。なお、2015年度分については、2015年1月中旬に既に掲示している。

各レベルのスコア基準 ※1

レベル	TEAP ※2	TOEFL ITP ※3	TOEFL iBT	TOEIC
ADVANCED II	150	523	69	750
ADVANCED I	135	503	62	700
INTERMEDIATE II	125	487	57	650
INTERMEDIATE I	115	467	51	590
ELEMENTARY	90	430	39	485

※1：スコアの有効期限は、いずれも提出時より2年以内に取得したもとする。

※2：TEAPは公開試験のスコアのみ使用可 (ReadingおよびListeningの合計点)

※3：TOEFL ITPは本学主催の試験以外のスコアでも可。

(例) 現在は ELEMENTARY のレベルだが、来年度は INTERMEDIATE I のレベル指定がある科目を履修したい場合
→TEAP 115, TOEFL ITP 467, TOEFL iBT 51, TOEIC 590 のいずれかのスコアを取得し、スコアコピーを提出する。

【注意】

- ・レベルダウンのためのスコア提出は受付ない。
- ・一度レベルアップした後にその結果を取り消すことはできない。
- ・ACADEMIC COMMUNICATION 1・2 はレベル変更は行わない。
- ・ACADEMIC COMMUNICATION 1・2 を再履修する場合のレベルアップは認めない。
- ・TOEFL 単位認定を受けた学生は、認定された時点でレベルが ADVANCED II となるので、レベルアップの手続きをする必要はない。
- ・レベル指定のない科目を履修する場合は、レベルアップの手続きは不要となる。
- ・看護学科の学生が、初級から中級へのレベルアップを希望する場合は、上記の「INTERMEDIATE II」のレベルを満たすスコアを提出すること。

【レベルアップ例 ①】

履修時期	科目
1年次春学期	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE I)
1年次秋学期	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE I)

↓
2年次春学期のはじめにレベルアップ手続きを行い、ADVANCED I へのレベルアップが許可された場合…。

↓

履修時期	科目
2年次春学期以降	英語選択科目 (ADVANCED I)

【レベルアップ例 ②】

履修時期	科目
1年次春学期	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE I)
1年次秋学期	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE I)

↓
3年次春学期のはじめにレベルアップ手続きを行い、ADVANCED I へのレベルアップが許可された場合…。

↓

履修時期	科目
3年次春学期以降	英語選択科目 (ADVANCED I)

英 語（看護学科）

1) プレイメント・テストについて

看護英語を履修するためには、プレイメント・テストを受けなければならない。日程、注意事項はp.139参照。

2) レベルについて

テストの結果に基づき、学生は「初級」「中級」いずれかのレベルに分けられる。

初 級（1年次）	ゆっくり話された英語を理解し、簡単な質問をしたり、答えたりすることができる。自分や家族、身の回りのことについて簡単な英語で話すことができる。また、やさしい英文を読んだり、簡単な文を書いたりすることができる。
初 級（2年次）	一般的な日常場面で、英語を聞いて理解したり、話したりすることがなんとかできる。
中 級（1年次・2年次）	いろいろな場面で英語を聞いて理解したり話したりことができ、英語で授業を受けたり学習することもそれほど苦ではない。

3) 履修時間帯について

履修する時間帯は下表のとおり決められている。

曜日/時限	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1			看護（1年次）		看護（1年次）
2				看護（2年次）	
3	看護（2年次）				
4					
5					

4) 科目の種類について

科目の種類	週時間数及び単位数
看護英語（1年次）（初級もしくは中級）	週2時限/4単位
看護英語（2年次）（初級もしくは中級）	週2時限/4単位

5) 履修順序について

プレイメント・テストで指定されたレベルのクラスを1年次・2年次とも同一レベルで履修すること。レベルアップを希望する学生は、p.143を参照すること。1年次に単位を修得できなかった者は、再度1年次用の科目を履修すること。再履修が必要な学生は、履修登録期間中に学事センター語学科目担当に相談すること。

1年目	2年目
看護英語（1年次）を4単位	看護英語（2年次）（1年次と同一レベル）を4単位

6) 単位認定制度について

申請方法、申請期間、申請基準はp.142参照のこと。

- 認定を受けた場合、看護英語（4単位分）として認定される。
- 1年次の履修登録期間中に認定を受けた場合、看護英語（中級）を履修すること。2年次の看護英語は履修を免除される。
- 1年次の途中で認定を受けた場合、2年次の看護英語は履修を免除される。
- 2年次の途中で認定を受けた場合、2年次の看護英語を履修中止することができる。ただし、その場合下記の申請期間を守ること。

春学期：4月24日(金)まで 秋学期：10月30日(金)まで

7) 選択科目について

看護学科生が選択科目を履修した場合、成績評価はつくが、卒業に必要な単位に参入することはできない。

8) 継続履修について

看護英語は通年科目のため、継続履修制度の適用を受けることができる。継続履修制度とは、通年科目を履修登録し、春学期の授業を受けたあと、一年間の留学・休学期間をはさんで次年度の秋学期にその続きを履修すれば、その通年科目を履修したと見なす制度である（※カリキュラム変更により適用を受けられない場合もある）。継続履修が必要な場合は、留学・休学前に学事センター語学科目担当に問い合わせること。

語学科目について
学別履修指定言語
英語
初習言語について
ドイツ語
フランス語
イタリヤ語
中国語
ロシア語
イタリア語
ロシア語・ポルトガル語
アジア・アフリカ諸語他
日本語
翻訳科目
履修モデル
海外短期語学講座
一開講科目表

初習言語（全般）

初習言語とは、英語・日本語以外の、ドイツ語、フランス語、スペイン語、ロシア語、ポルトガル語、イタリア語、中国語、韓国語、ラテン語、タイ語、インドネシア語、アラビア語、ペルシア語、カンボジア語、フィリピン語、ビルマ語、トルコ語、ベトナム語、ヒンディー語、スワヒリ語の20言語を指す。

卒業要件となる言語は学科によって異なる（詳細はp.137～138）。なお、文学部および外国語学部の学生で、自学科の専攻として学んでいる言語は履修できない。

1) 科目の種類について

初習言語は、大きく2つの科目群に分けられている。

[コア科目]・・・100番台、200番台、300番台の科目。「必修」「選択必修」としても、「選択」としても履修できる。

[オプション科目]・・・150番台、250番台、350番台の科目。「選択」としてのみ履修できる。同一言語の履修上限（半期2単位）には含まれない。

2) 科目のレベル・ナンバリングについて

初習言語は、初級・中級・上級の3つのレベルに分けられている（中級・上級のない言語もある）。原則として、初級から履修を初め、所定の科目を4単位修得した場合、次年度から次のレベルに進むことができる。

それぞれの科目には、レベルごとに履修できる科目の種類を意味するナンバリングが付番されている。レベルごとの履修条件および履修可能科目ナンバリングは下記の通り。

レベル	履修できる条件	履修可能科目ナンバリング
初級	-	100番台、150番台
中級	初級コア科目を4単位修得済（オプション科目は除く）	150番台、200番台、250番台
上級	中級コア科目を4単位修得済（オプション科目は除く）	200番台、250番台、300番台、350番台

3) 履修区分による違いについて

初習言語は、必修・選択必修・選択という履修区分ごとに、履修条件が異なる。

どの履修区分でどの言語を履修できるかは、学科ごとに異なるので、p.137～138で確認すること。

【必修】

必修で初習言語を履修できるのは英語学科、英文学科のみ。各学科で卒業単位になる言語を選択し、原則として1年次に4単位（春学期2単位、秋学期2単位）、2年次に4単位（春学期2単位、秋学期2単位）履修すること。履修登録の前には、履修する言語1種類を決め、Loyolaに登録しなければならない（自言自语登録）。

- ・語学科目 - 必修科目の区分に登録すること。

【選択必修】

選択必修科目の履修が必要な学科の場合（p.137参照）、選択必修として履修する言語1種類を決め、Loyolaに登録しなければならない（自言自语登録）。自言自语登録がない場合、抽選科目へのエントリーおよび履修登録ができない。

- ・語学科目 - 選択必修科目の区分に登録すること。
- ・選択必修科目はコア科目から履修すること。オプション科目は選択必修としては登録できない。
- ・1年につき4単位（春学期2単位、秋学期2単位）までしか登録できない。
- ・1度登録した自言自语について、履修登録期間中であれば自分で変更することができる。ただし、選択している自言自语の科目の履修登録情報および抽選科目エントリー情報がある場合は変更できないので、抽選エントリー取消および履修登録削除を行ったうえで、自言自语登録変更を行うこと。
- ・履修登録期間終了後、自言自语の変更を希望する場合は、学事センター語学科目担当へ相談すること。

【選択】

選択科目としての履修を希望する場合、全学共通科目として登録するのか、学科科目として登録するのか、あらかじめ選択してから登録すること。学科科目として履修する場合、卒業要件にならない学科もあるので、自学科の言語種類と履修条件に注意すること（p.138参照）。

- ・選択科目としてコア科目を登録する場合は、必修、選択必修の抽選終了後、先着順登録のときにしか登録でき

ない。ただし、オプション科目は、一次抽選からエントリーできる。

- ・複数の言語を同時に履修してもよい。

4) 履修順序について

初習言語は、原則、初級コア科目（100番台）から始める。中級に進むには、初級コア科目（100番台）を4単位、上級に進むには、中級コア科目（200番台）を4単位修得し終えている必要がある。（選択必修として履修している科目については、履修度を「選択必修」としていることが条件となる）。オプション科目（150番台、250番台、350番台）は、何科目修得しても、次のレベルに進むための条件にはならない。

1年目で同じレベルの科目を4単位修得できなかった場合、レベルは上がらないため、2年目は同じレベルの未修得の科目のみを履修し、次のレベルの科目は3年目以降の履修となる。同じ年度内に、同一言語の異なるレベルのコア科目を履修することはできない。

1年次	2年次	3年次以降
初級コア科目（100番台）を4単位履修	中級コア科目（200番台）を4単位履修	上級コア科目（300番台）やオプション科目を履修
合わせて、オプション科目（150番台）を履修することも可	合わせて、オプション科目（150番台、250番台）を履修することも可。もしくは200番台のコア科目を「選択」として履修することも可（一部の言語を除く）。	（注意）上級レベルの学生は、100番台および150番台の科目は履修できない。

5) 履修モデル

① 自言語登録している言語の履修順序

【パターン1：8単位の履修が必要な場合】

1年次

履修時期	科目	修得単位
1年次春学期	初級コア科目（100番台）	2
1年次秋学期	初級コア科目（100番台）	2



2年次

履修時期	科目	修得単位
2年次春学期	中級コア科目（200番台）	2
2年次秋学期	中級コア科目（200番台）	2

更に勉強したい場合は・・・

*3年次以降に、上級科目やオプション科目を履修してもよい。

*1.2年次にオプション科目を平行して履修してもよい。

【パターン2：4単位の履修が必要な場合】

1年次

履修時期	科目	修得単位
1年次春学期	初級コア科目（100番台）	2
1年次秋学期	初級コア科目（100番台）	2

更に勉強したい場合は・・・

*2年次以降に、中級・上級科目やオプション科目を履修してもよい。

*1年次にオプション科目を平行して履修してもよい。

【パターン3：8単位の履修が必要な場合で、途中で海外短期語学講座をはさんでレベルUPした場合】

1年次

履修時期	科目	修得単位
1年次春学期	初級コア科目（100番台）	2
1年次秋学期	初級コア科目（100番台）	2
1年次春期休業	海外短期語学講座	2



2年次春学期のはじめにレベルアップ面接を受け、上級へのレベルアップが許可された場合・・・



語学科目について
学別履修指定言語
英語
初習言語について
ドイツ語
フランス語
イタリヤ語
中国語
ロシア語
イタリア語
ロシア語・ポルトガル語
アジア・アフリカ諸語他
日本語
翻訳科目
履修モデル
海外短期語学講座
開講科目一覧表

2年次

履修時期	科目	修得単位
2年次春学期	上級コア科目 (300番台)	2

更に勉強したい場合は…

*2年次の秋学期以降に、上級科目やオプション科目を履修してもよい。

*1.2年次にオプション科目を平行して履修してもよい。

※レベルアップ面接は春学期はじめに実施される。秋学期からレベルアップはできないので注意すること。

【パターン4：コア科目とオプション科目を並行して履修する場合】

1年次（初級）

履修度	科目	修得単位
選択必修	初級コア科目 (100番台)	4
選択	初級オプション科目 (150番台)	2

↓

2年次（中級）

履修度	科目	修得単位
選択必修	中級コア科目 (200番台)	4
選択	中級オプション科目 (250番台)	0

↓

3年次以降（上級）

※「選択必修」として履修したコア科目の修得単位数が4単位あれば、仮にオプション科目の成績がFとなった場合でも次のレベルへ上がる。

●以下は、次のレベルにあがれないパターンを例示したものである。

【パターン1：】

1年次（初級）

履修度	科目	修得単位
選択必修	初級コア科目 (100番台)	2
選択	初級オプション科目 (150番台)	2

↓

2年次（初級）—中級へ上がることができない

履修度	科目	修得単位
選択必修	初級コア科目 (100番台)	2
初級レベルのため、250番台の選択科目の履修は不可		

↓

3年次以降（中級）

※「選択必修」として履修したコア科目の単位数が、合計4単位に満たなければ、次のレベルへ上がることはできない。また、一度修得し終えた科目の履修度を後から変更することもできない。

【パターン2】

1年次（初級）

履修度	科目	修得単位
選択必修	初級コア科目 (100番台)	4

↓

2年次（中級）

履修度	科目	修得単位
選択必修	中級コア科目 (200番台)	2
選択	中級コア科目 (200番台)	2

↓

3年次以降（中級）—上級へ上がることができない

※「選択必修」として履修している科目を合計4単位取得できなければ、仮に「選択」としてコア科目の単位を修得していても、次のレベルへ上がることはできない

- 次のレベルへ上がれない場合、以下のようにレベルアップ面接を受けて上のレベルを履修することも可能である（ただし許可された場合に限る）

1年次（初級）

履修度	科目	修得単位
選択必修	初級コア科目（100番台）	2
選択	初級オプション科目（150番台）	2

↓

2年次、春学期初めにレベルアップ面接を受け、中級へ

履修度	科目	修得単位
選択必修	中級コア科目（200番台）	4

↓

3年次以降（上級）

履修度	科目	修得単位
選択必修	上級コア科目（300番台）	2

※レベルアップ面接は春学期はじめに実施される。秋学期からレベルアップはできないので注意すること。

② 自言語登録している言語以外（の言語）の履修順序

1年次（初級）

履修度	科目	修得単位
選択	初級コア科目（100番台）	4

↓

2年次（中級）

履修度	科目	修得単位
選択	中級コア科目（200番台）	4

↓

3年次以降（上級）

※自言語登録している言語以外の言語の場合、その履修度は選択となるが、レベルアップのルールは同じものが適用される

- 以下は、次のレベルに上がれないパターンを例示したものである

1年次（初級）

履修度	科目	修得単位
選択	初級コア科目（100番台）	2
選択	初級オプション科目（150番台）	2

↓

2年次（初級）—中級へ上がることができない

履修度	科目	修得単位
選択	初級コア科目（100番台）	2
初級レベルのため、250番台の選択科目の履修は不可		

↓

3年次以降（中級）

※コア科目を合計4単位取得できなければ、仮にオプション科目で単位を修得していても、次のレベルへ上がることはできない

語学科目について
学科別履修指定言語
英語
初級言語について
ドイツ語
フランス語
イタリヤ語
中国語
ロシア語
イタリア語
ロシア語・ポルトガル語
アジア・アフリカ諸語他
日本語
翻訳科目
履修モデル
海外短期語学講座
開講科目一覧表

6) 履修登録について

- ・登録に際しては必ずガイドページp.27以降及び「履修登録クイックナビ」「Loyolaハンドブック」を参照すること。
- ・履修登録の前に必修/選択必修として履修する言語をあらかじめ決定し、登録する。(自言語登録)(登録の方法は「履修登録クイックナビ」を参照)
なお、卒業要件上、選択必修としての履修が不要な学科については「指定言語なし」として予め登録されている。
- ・履修登録時に、各科目について履修度および区分を選択し登録するが、後でその履修度を変更することはできないので自分の卒業要件をよく理解し、登録すること。
- ・履修登録はできていても卒業単位にならない言語があるので、各学科の指定言語に注意して履修すること。(p.137～138参照)
- ・一部の言語を除き、語学科目は抽選科目となっており、人数制限が設けられている。各クラスの定員は開講科目担当表に記載されているので、参照すること。抽選科目については必ず抽選科目登録期間に所定の履修手続をすること。
- ・科目名に「-1」「-2」がついている科目は、春学期と秋学期で同一科目を続けて履修しなければならない。そのため、秋学期の学科必修科目等との時間割重複がないかどうか十分確認のうえ登録すること。

7) レベルアップについて

①ドイツ語・フランス語・スペイン語・中国語・韓国語・イタリア語

ー原則初級から始める

ーただし、以下の条件に該当する学生はレベルアップ面接を受けることで、履修する言語レベルを上げることができる。面接の結果、許可が出れば指定のレベル以上から履修可能となる。

<レベルアップ面接を受けられる学生>

- 入学前に既にその言語を学んだことがあり、中級以上のレベルから履修を希望する場合
- 長期休暇中に海外短期語学講座等を履修し、指定されたレベルより上のレベルの履修を希望する場合
- その他、本来のレベルより上のレベルでの履修を希望する場合

ーレベルアップ面接は、春学期はじめのみ開催し、秋学期には開催しない。また、一度受けた面接の結果を取り消すこと、およびレベルダウンを目的とした面接は受けつけない。

中級以上から履修を始める場合、言語によっては必要な単位数が揃わないことがあるので注意すること。

ーレベルアップ面接の日程は、春学期履修登録前にLoyolaに掲示する。

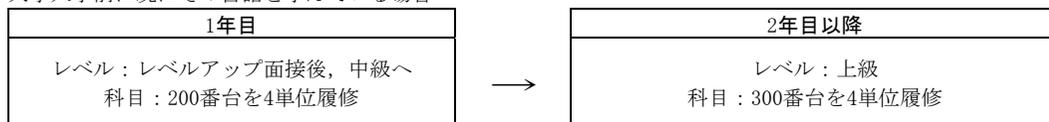
②その他の言語

ー原則初級から始める

ー授業担当教員が妥当と認めた場合は、中級以上から履修を始めることも可能である。その場合、言語によっては必要な単位数が揃わないことがあるので、卒業に必要な単位数に問題がないか、各言語のページで確認すること。

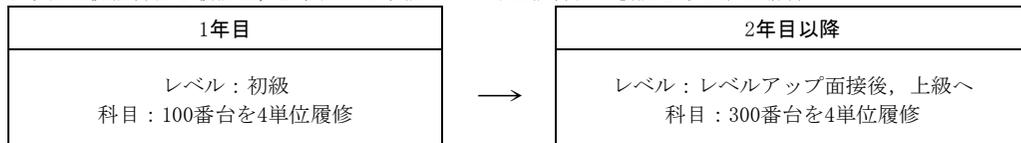
(レベルアップ例 ①)

大学入学前に既にその言語を学んでいる場合



(レベルアップ例 ②)

1年目は初級科目を履修し、2年目から中級ではなく上級科目の履修を希望する場合



ドイツ語

1) 選択必修として初級コア科目（100番台）を履修する場合

下記①～③いずれかの組み合わせで履修すること。

* 秋学期は、春学期で履修した科目の「-1」の続きの科目「-2」（同じ教員）を履修しなければならない。

* 同じ科目名ものは重複履修できない。

* 初級科目 4 単位を修得した場合、次年度に中級科目に進むことができる。初級科目は 4 単位を超えて履修することはできない。

①

履修時期	番台	科目	修得単位
春学期	100	ドイツ語初級総合（コミュニケーション総合）-1	週2時限/ 2単位
秋学期	100	ドイツ語初級総合（コミュニケーション総合）-2	週2時限/ 2単位

②

履修時期	番台	科目	修得単位
春学期	100	ドイツ語初級総合（読解重視）-1	週2時限/ 2単位
秋学期	100	ドイツ語初級総合（読解重視）-2	週2時限/ 2単位

③

履修時期	番台	科目	修得単位
春学期	100	ドイツ語初級A-1	週1時限/ 1単位
春学期	100	ドイツ語初級B-1	週1時限/ 1単位
秋学期	100	ドイツ語初級A-2	週1時限/ 1単位
秋学期	100	ドイツ語初級B-2	週1時限/ 1単位

初級総合 （コミュニケーション総合）	日常生活場面に対応する上で必要とされる基礎的な文法および語彙を学びながら、「聞く・話す・読む・書く」の四技能を総合的に身に付ける。
初級総合 （読解重視）	「聞く・話す・読む・書く」の初歩を総合的に学びながらも、文献講読や大学院入試などの学術目的を視野に入れた上で正確な読解力の定着を目指す。
初級A （文法）	基礎的なコミュニケーションにとって必要とされる文法事項を網羅的に学習する。読解や作文等の演習も適宜取り入れる。
初級B （コミュニケーション）	基礎的なコミュニケーションにとって必要とされる口頭表現を学習する。場面別に重要な表現例に基づく初歩的な情報伝達能力を身に付ける。

2) 選択必修として中級コア科目（200番台）を履修する場合

下記①②いずれかの組み合わせで履修すること。

* 秋学期は、春学期で履修した科目の「-1」の続きの科目「-2」（同じ教員）を履修しなければならない。

* 同じ科目名ものは重複履修できない。

* 中級科目 4 単位を修得した場合、次年度に上級科目に進むことができる。中級コア科目は選択必修として 4 単位を超えて履修することはできない。選択として履修することはできる。

①

履修時期	番台	科目	修得単位
春学期	200	ドイツ語中級総合-1	週2時限/ 2単位
秋学期	200	ドイツ語中級総合-2	週2時限/ 2単位

②

履修時期	番台	科目	修得単位
春学期	200	ドイツ語中級A・B・C・D -1（のうちいずれか2科目）	週1時限/ 1単位×2科目
秋学期	200	ドイツ語中級A・B・C・D -2（春学期の続きの2科目）	週1時限/ 1単位×2科目

語学科目 について
学科別履修 指定言語
英 語
に 初 言 語 に つ い て
ド イ ツ 語
フ ラ ン ス 語
イ タ リ ア 語
中 国 語
コ リ ア 語
イ タ リ ア 語
ポ ル カ ル 語 ・ ロ シ ア 語
ア ジ ア ア フ リ カ 諸 語 他
日 本 語
翻 訳 科 目
履 修 モ デ ル
海 外 短 期 語 学 講 座
一 開 講 科 目 表

中級総合 (コミュニケーション総合)	初級で学んだドイツ語の基礎を元に、発展的かつ複合的な「聞く・話す・読む・書く」能力の習得を目指す。
中級A (文法・読解)	読解力や文章表現に重点を置き、正確な文法知識に裏打ちされた精度の高い読解力の定着を図る。
中級B (コミュニケーション)	口頭表現に重点を置き、初級までの知識を組み合わせた複雑かつ豊かな情報伝達の習得を目指す。
中級C (スキル重視型)	初級で身に付けたドイツ語力に基づき、聴解・発音・語彙など特定のスキルのさらなる向上に努める。
中級D (内容重視型)	ドイツ語圏の文化・社会問題など特定の領域に関する話題を扱うことにより、ドイツ語圏への理解を深めるとともにドイツ語力のさらなる向上を目指す。

3) 選択必修として上級コア科目 (300番台) を履修する場合

- * 春学期のみ、もしくは秋学期のみの履修も可。
- * 同じ科目名のもので、担当教員が異なる場合のみ、重複履修ができる。

履修時期	番台	科目	修得単位
春学期	300	ドイツ語上級A・B・C・D -1 (のうちいずれか2科目)	週1時限/1単位×2科目
秋学期	300	ドイツ語上級A・B・C・D -2 (のうちいずれか2科目)	週1時限/1単位×2科目

上級A, B (コミュニケーション総合)	口頭表現に重点を置き、中級までに身に付けた表現力および理解力を更に高め、議論や学術的な発表にも対応できる技能の習得を目指す。
上級C, D (スキル重視型)	読解力や文章表現に重点を置き、事務的ないし学術的な領域で求められる高度な技能の習得を目指す。

4) 選択科目としてドイツ語を履修する場合

選択科目としてドイツ語を履修する場合は、上記の1)～3)のコア科目のうち、自分のレベルに該当するものを必要単位数分を履修するか、下記のオプション科目から必要単位数分を履修する。

【オプション科目】

科目名	番台	単位
ドイツ語演習 I A, I B	150	週1時限/各学期1単位

* 春学期のみ、もしくは秋学期のみの履修も可。

演習 I A, I B (スキル重視型)	ドイツ語の聴解・発音・語彙など特定のスキルを取り上げ、演習を通じて実践的な能力の強化に努める。
演習 I A, I B (内容重視型)	ドイツ語圏の文化・社会問題など特定の領域に関する話題を取り上げた上で、関連する文献や視聴覚教材の導入を通じてドイツ語力を高めるとともにドイツ語圏への理解を深める。

フランス語

1) 選択必修として初級コア科目（100番台）を履修する場合

下記①②いずれかの組み合わせで履修すること。

- * 秋学期は、春学期で履修した科目の「-1」の続きの科目「-2」（同じ教員）を履修しなければならない。
- * 同じ科目名のものは重複履修できない。
- * 初級科目 4 単位を修得した場合、次年度に中級科目に進むことができる。初級科目は 4 単位を超えて履修することはできない。

①

履修時期	番台	科目	修得単位
春学期	100	フランス語初級総合-1	週2時限/ 2単位
秋学期	100	フランス語初級総合-2	週2時限/ 2単位

②

履修時期	番台	科目	修得単位
春学期	100	フランス語初級A-1	週1時限/ 1単位
春学期	100	フランス語初級B-1	週1時限/ 1単位
秋学期	100	フランス語初級A-2	週1時限/ 1単位
秋学期	100	フランス語初級B-2	週1時限/ 1単位

初級総合 (コミュニケーション総合)	入門から始め、「聞く・話す・読む・書く」練習を総合的に行いながら、自分の意思や日常生活の具体的な出来事を簡単な言葉で伝え、相手の言ったことを大まかに理解する力をつける。
初級A (文法)	基礎的な文法事項のほぼ全体を一通り学び、それらを使って、簡単な言葉で文を作り、理解する力をつける。
初級B (コミュニケーション)	口頭表現に重点を置き、「聞く・話す」練習を中心に行いながら、自分の意思や日常生活の具体的な出来事を簡単な言葉で伝え、相手の言ったことを大まかに理解する力をつける。

2) 選択必修として中級コア科目（200番台）を履修する場合

下記①②いずれかの組み合わせで履修すること。

- * 秋学期は、春学期で履修した科目の「-1」の続きの科目「-2」（同じ教員）を履修しなければならない。
- * 同じ科目名のものは重複履修できない。
- * 中級科目 4 単位を修得した場合、次年度に上級科目に進むことができる。中級コア科目は選択必修として 4 単位を超えて履修することはできない。選択として履修することはできる。

①

履修時期	番台	科目	修得単位
春学期	200	フランス語中級総合-1	週2時限/ 2単位
秋学期	200	フランス語中級総合-2	週2時限/ 2単位

②

履修時期	番台	科目	修得単位
春学期	200	フランス語中級A・B・C・D -1 (のうちいずれか2科目)	週1時限/ 1単位×2科目
秋学期	200	フランス語中級A・B・C・D -2 (春学期の続きの2科目)	週1時限/ 1単位×2科目

中級総合 (コミュニケーション総合)	「聞く・話す・読む・書く」練習を総合的に行いながら、初級で身につけたフランス語力を高める。現在時制に加え、過去や未来時制を使って、より複雑な事柄を伝え、理解する力をつける。
中級A (文法・読解)	複合過去の復習から始め、フランス語文法の基礎を固める。簡単な文章の読解練習も行う。
中級B (コミュニケーション)	口頭表現に重点を置き、「聞く・話す」練習を中心に行いながら、初級で身につけたフランス語力を高める。さまざまな時制を使って、より複雑な事柄を伝え、理解する力をつける。
中級C (スキルアップー聞き取り) (スキルアップー文法と語彙・表現)	フランス語の聴解、口頭表現、読解、作文、語彙など、特定のスキルに重点を置いて、初級で身につけたフランス語の力を更に伸ばしていく。

語学科目について
学科別履修指定言語
英語
初習言語について
ドイツ語
フランス語
イタリヤ語
中国語
ロシア語
イタリヤ語
ロシア語・ポルトガル語
アジア・アフリカ諸語他
日本語
翻訳科目
履修モデル
海外短期語学講座
開講科目一覧表

中級D (映画で学ぶフランス語)	フランス語圏の文化、社会問題等を扱いながら、フランス語圏への理解を深めると同時にフランス語力の更なる向上を目指す。
---------------------	---

3) 選択必修として上級コア科目 (300番台) を履修する場合

* 春学期のみ、もしくは秋学期のみの履修も可。

* 同じ科目名のもので、担当教員が異なる場合のみ、重複履修ができる。

履修時期	番台	科目	修得単位
春学期	300	フランス語上級A～H -1 (のうちいずれか2科目)	週1時限/1単位×2科目
秋学期	300	フランス語上級A～H -2 (のうちいずれか2科目)	週1時限/1単位×2科目

上級A B C D (コミュニケーション)	口頭表現に重点を置き、中級までに身につけた表現力、理解力を更に高め、会話や議論に積極的に参加できるフランス語力をつける。
上級E F (スキルアップ)	フランス語の文法、聴解、読解、作文、口頭翻訳、表現など、特定のスキルに重点を置いて、フランス語のスキルを磨く。
上級G H (フランス語圏の言語と文化)	フランス語圏の文化、様々な社会問題等をフランス語で学びながら、内容を理解する力、自分の見解や意見を表現する力をつける。

4) 選択科目としてフランス語を履修する場合

選択科目としてフランス語を履修する場合は、上記の1)～3)のコア科目のうち、自分のレベルに該当するものを必要単位数分を履修するか、下記のオプション科目から必要単位数分を履修する。

【オプション科目】

科目名	番台	単位
フランス語演習 I A, I B	150	週1時限/各学期1単位
フランス語検定対策 II A・II B	250	週1時限/各学期1単位

* 春学期のみ、もしくは秋学期のみの履修も可。

* 検定対策科目は、すべての言語をあわせて2単位までを全学共通教育科目選択科目に参入可能な8単位内に含めることができる。2単位を超えて履修しても、卒業単位には参入できない。

演習 I A, I B (スキルアップ)	フランス語の聞き取り、読解、作文、会話、発音、語彙など、特定のスキルに重点を置いて、フランス語の力を伸ばしていく。
演習 I A, I B (フランス語圏の言語と文化)	フランス語圏の文化、社会問題等を扱いながら、フランス語圏への理解を深めると同時にフランス語の力をつける。
検定対策 II A (仏検3級), 検定対策 II B (仏検準2級・2級)	フランス語検定や留学の準備を通して目的に合ったフランス語力を磨く。

イスパニア語

1) 選択必修として初級コア科目（100番台）を履修する場合

下記①②のうちいずれかの組み合わせで履修すること。

* 秋学期は、春学期で履修した科目の「-1」の続きの科目「-2」（同じ教員）を履修しなければならない。

* 同じ科目名のものは重複履修できない。

* 初級科目 4 単位を修得した場合、次年度に中級科目に進むことができる。初級科目は 4 単位を超えて履修することはできない。

①

履修時期	番台	科目	修得単位
春学期	100	イスパニア語初級総合-1	週2時限/ 2単位
秋学期	100	イスパニア語初級総合-2	週2時限/ 2単位

②

履修時期	番台	科目	修得単位
春学期	100	イスパニア語初級A-1	週1時限/ 1単位
春学期	100	イスパニア語初級B-1	週1時限/ 1単位
秋学期	100	イスパニア語初級A-2	週1時限/ 1単位
秋学期	100	イスパニア語初級B-2	週1時限/ 1単位

初級総合	イスパニア語のA,B,Cから始め「聞く・話す・読む・書く」練習を総合的に行いながら、相手の言ったことを大まかに理解する力をつけ、自分自身や身近な人について話したり、自分の意思や日常生活の具体的な出来事を簡単な言葉で伝えたりできるようにする。
初級A (コミュニケーション基礎)	動詞の現在形の用法を中心に入門レベルの文法を学んでいくと共に、それらを使って、簡単な言葉で文を作り、理解する力をつける。
初級B (コミュニケーション実践)	イスパニア語の聴解および口頭表現練習を中心に行い、簡単な言葉を使って、自分自身や身近な人について話したり、自分の意思や日常生活の具体的な出来事を伝えたりできるようにする。

2) 選択必修として中級コア科目（200番台）を履修する場合

下記①②のうちいずれかの組み合わせで履修すること。(②の場合、1科目は中級Aを履修することを推奨する)。

* 秋学期は、春学期で履修した科目の「-1」の続きの科目「-2」（同じ教員）を履修しなければならない。

* 同じ科目名のものは重複履修できない。

* 中級科目 4 単位を修得した場合、次年度に上級科目に進むことができる。中級コア科目は選択必修として 4 単位を超えて履修することはできない。選択として履修することはできる。

①

履修時期	番台	科目	修得単位
春学期	200	イスパニア語中級総合-1	週2時限/ 2単位
秋学期	200	イスパニア語中級総合-2	週2時限/ 2単位

②

履修時期	番台	科目	修得単位
春学期	200	イスパニア語中級A・B・C -1 (のうちいずれか2科目) ※1	週1時限/ 1単位×2科目
秋学期	200	イスパニア語中級A・B・C -2 (春学期の続きの2科目)	週1時限/ 1単位×2科目

※1 中級総合を履修しない場合、中級Aを履修することを推奨する。

中級総合	初級で学んだイスパニア語の基礎を元に、「聞く・話す・読む・書く」練習を総合的に行う。直説法現在形のみならず、他の様々な時制を使って、より複雑な事柄を伝え、理解する力をつける。
中級A (コミュニケーション基礎)	直説法現在形に加え、様々な直説法時制および接続法時制の使い方を学び、イスパニア語文法の基礎を固めるとともに、それらを使って文を作り、理解する力をつける。適宜会話練習も取り入れて学習を進める。

語学科目について
学科別履修指定言語
英語
初習言語について
ドイツ語
フランス語
イスパニア語
中国語
ロシア語
イタリア語
ロシア語・ポルトガル語
アジア・アフリカ諸語他
日本語
翻訳科目
履修モデル
海外短期語学講座
開講科目一覧表

中級B (コミュニケーション実践)	イスパニア語の聴解および口頭表現練習を中心に学習し、初級よりさらに複雑な内容について表現できる力を身につける。適宜文法練習を補いながら進める。「最適な表現ではなくても、言いたいことは言える」レベルのイスパニア語の力をつけることを目標にする。
中級C (スキルアップ)	初級で学んだイスパニア語の基礎を元に、会話、作文、読解、聴解、語彙等の特定のスキルに重点を置いて、イスパニア語の運用能力の向上を目指す。

3) 選択必修として上級コア科目 (300番台) を履修する場合

* 春学期のみ、もしくは秋学期のみの履修も可。

* 同じ科目名のもので、担当教員が異なる場合のみ、重複履修ができる

履修時期	番台	科目	修得単位
春学期	300	イスパニア語上級A～D -1 (のうちいずれか2科目)	週1時限/1単位×2科目
秋学期	300	イスパニア語上級A～D -2 (のうちいずれか2科目)	週1時限/1単位×2科目

上級A, B (コミュニケーション)	「聞く・話す・読む・書く」練習を組み合わせることで学習しながら、中級までに身につけた表現力、理解力を更に高め、実践で使えるイスパニア語力をつける。
上級C, D (スキルアップ)	中級までに学んだイスパニア語の基礎を元に、会話、作文、読解、聴解、語彙等の特定のスキルに重点を置いて、イスパニア語の運用能力のさらなる向上を目指す。

4) 選択科目としてイスパニア語を履修する場合

選択科目としてイスパニア語を履修する場合は、上記の1)～3)のコア科目のうち、自分のレベルに該当するものを必要単位数分を履修するか、下記のオプション科目から必要単位数分を履修する。

科目名	番台	単位
イスパニア語演習ⅠA, ⅠB	150	週1時限/各学期1単位
イスパニア語演習ⅡA, ⅡB	250	週1時限/各学期1単位

* 春学期のみ、もしくは秋学期のみの履修も可。

演習ⅠA, ⅠB (スキルアップ)	イスパニア語入門レベルの会話、作文、読解、聴解、語彙等の特定のスキルに重点を置いて、イスパニア語の基礎力を固める。
演習ⅠA, ⅠB (イスパニア語圏の言語と文化)	イスパニア語圏の文化的側面に焦点を当て、文献講読やそれについての講義、ディスカッション等を通して、初級レベルのイスパニア語を学ぶと同時に、イスパニア語圏への理解を深める。
演習ⅡA, ⅡB (イスパニア語圏の言語と文化)	イスパニア語圏の文化的側面に焦点を当て、文献講読やそれについての講義、ディスカッション等を通して、イスパニア語の運用能力を高めると同時に、イスパニア語圏への理解を深める。

中国語

1) 選択必修として初級コア科目（100番台）を履修する場合

- * 秋学期は、春学期で履修した科目の「-1」の続きの科目「-2」（同じ教員）を履修しなければならない。
- * 異なる教員の科目を2科目ずつ履修すること。
- * 初級科目4単位を修得した場合、次年度に中級科目に進むことができる。初級科目は4単位を超えて履修することはできない。

履修時期	番台	科目	修得単位
春学期	100	中国語初級-1を2科目	週1時限/1単位×2科目
秋学期	100	中国語初級-2を2科目	週1時限/1単位×2科目

初級	中国語の発音記号を覚え、正しく発音できるようにする。中国語の単語や文を実際の音で聞き取り。発音記号表記と漢字表記をリンクさせて書けるようにする。基本的な文法を学び、中国語の文の発音と意味を理解し、簡単な会話と作文ができるようにする。
----	--

2) 選択必修として中級コア科目（200番台）を履修する場合

- * 秋学期は、春学期で履修した科目の「-1」の続きの科目「-2」（同じ教員）を履修しなければならない。
- * 異なる教員の科目を2科目ずつ履修すること。
- * 中級科目4単位を修得した場合、次年度に上級科目に進むことができる。中級科目は4単位を超えて履修することはできない。

履修時期	番台	科目	修得単位
春学期	200	中国語中級-1を2科目	週1時限/1単位×2科目
秋学期	200	中国語中級-2を2科目	週1時限/1単位×2科目

中級	より高度な文法を学び、自然な発音を身に付けて、長めの文を聞き取ることができるようにする。相手の意図を理解し、こちらの意思を会話でも文章でも表現できるようにする。中国語の簡単な文献を読解できるようにする。
----	---

3) 選択必修として上級コア科目（300番台）を履修する場合

- * 春学期のみ、もしくは秋学期のみの履修も可。
- * 同じ科目名のものも、担当教員が異なる場合のみ、重複履修ができる

履修時期	番台	科目	修得単位
春学期	300	中国語上級A・B-1をそれぞれ1科目ずつ	週1時限/1単位×2科目
秋学期	300	中国語上級A・B-2をそれぞれ1科目ずつ	週1時限/1単位×2科目

上級	いろいろな表現のバリエーションを学び、目的に応じてより高度な会話と作文ができるようにする。中国語のオリジナルな文献を自分の興味に応じて選び、読めるようにする。
----	---

語学科目について
学科別履修指定言語
英語
に初習言語について
ドイツ語
フランス語
イタリ語
中国語
ロシア語
イタリア語
ポルガル語・ロシア語
アジアアフリカ諸語他
日本語
翻訳科目
履修モデル
海外短期語学講座
一開講科目表

4) 選択科目として中国語を履修する場合

選択科目として中国語を履修する場合は、上記の 1) ～3)のコア科目のうち、自分のレベルに該当するものを必要単位数分を履修するか、下記のオプション科目から必要単位数分を履修する。

科目名	番台	単位
中国語演習ⅡA, ⅡB	250	週1時限/各学期1単位
中国語検定対策ⅡA, ⅡB	250	週1時限/各学期1単位

*春学期のみ、もしくは秋学期のみの履修も可。

*検定対策科目は、すべての言語をあわせて2単位までを全学共通教育科目選択科目に参入可能な 8単位内に含めることができる。2単位を超えて履修しても、卒業単位には参入できない。

中国語演習ⅡA, ⅡB (中国語圏の言葉と文化)	中国語圏の文化、社会問題、日本文化との対比等を扱いながら、中国語圏への理解を深めると同時に中国語の力をつける。
中国語検定対策ⅡA (4級) 中国語検定対策ⅡB (3級)	中国語検定や留学の準備を通して目的に合った中国語力を磨く。

코리아語

1) 選択必修として初級コア科目（100番台）を履修する場合

- * 秋学期は、春学期で履修した科目の「-1」の続きの科目「-2」（同じ教員）を履修しなければならない。
- * 異なる教員の科目を2科目ずつ履修すること。
- * 初級科目4単位を修得した場合、次年度に中級科目に進むことができる。初級科目は4単位を超えて履修することはできない。

履修時期	番台	科目	修得単位
春学期	100	코리아語初級-1を2科目	週1時限/1単位×2科目
秋学期	100	코리아語初級-2を2科目	週1時限/1単位×2科目

初級	文字を覚え、発音規則に従って正しく発音できるように練習する。そして、基本文型を学習し、それらを用いて簡単な作文や会話ができるようにする。
----	--

2) 選択必修として中級コア科目（200番台）を履修する場合

- * 秋学期は、春学期で履修した科目の「-1」の続きの科目「-2」（同じ教員）を履修しなければならない。
- * 異なる教員の科目を2科目ずつ履修すること。
- * 中級科目4単位を修得した場合、次年度に上級科目に進むことができる。中級科目は4単位を超えて履修することはできない。

履修時期	番台	科目	修得単位
春学期	200	코리아語中級-1を2科目	週1時限/1単位×2科目
秋学期	200	코리아語中級-2を2科目	週1時限/1単位×2科目

中級	書きことばと話しことばの区別を学習し、文体別によく使用される文型や表現を修得する。そして코리아語で情報を収集・発信できるよう実用的な코리아語力を養成する。
----	---

3) 選択必修として上級コア科目（300番台）を履修する場合

- * 春学期のみ、もしくは秋学期のみの履修も可。
- * 同じ科目名のもので、担当教員が異なる場合のみ、重複履修ができる

履修時期	番台	科目	修得単位
春学期	300	코리아語上級A・B-1をそれぞれ1科目ずつ	週1時限/1単位×2科目
秋学期	300	코리아語上級A・B-2をそれぞれ1科目ずつ	週1時限/1単位×2科目

上級	自然な코리아語を学習し、それらを流暢に話せるように練習する。また、様々なテキストを用いて語彙力と表現力を向上させる。
----	--

4) 選択科目として코리아語を履修する場合

選択科目として코리아語を履修する場合は、上記の1)～3)のコア科目のうち、自分のレベルに該当するものを必要単位数分を履修するか、下記のオプション科目から必要単位数分を履修する。

科目名	番台	単位
코리아語演習Ⅱ	250	週1時限/各学期1単位

코리아語演習Ⅱ (코리아の言葉と文化)	코리아語から見えてくる韓国文化のあり方や韓国人の考え方について考える。また、日本人と韓国人の間でよく起きるミスコミュニケーションの場面を取り上げ、その原因について話し合う。
------------------------	--

語学科目について
学科別履修指定言語
英語
初習言語について
ドイツ語
フランス語
イタリヤ語
中国語
코리아語
イタリヤ語
ロシア語・ポルカール語
アジア・アフリカ諸語他
日本語
翻訳科目
履修モデル
海外短期語学講座
開講科目一覧表

イタリア語

1) 選択必修として初級コア科目（100番台）を履修する場合

- * 秋学期は、春学期で履修した科目の「-1」の続きの科目「-2」（同じ教員）を履修しなければならない。
- * 同じ科目名ものは重複履修できない。
- * 初級科目 4 単位を修得した場合、次年度に中級科目に進むことができる。初級科目は 4 単位を超えて履修することはできない。

履修時期	番台	科目	修得単位
春学期	100	イタリア語初級Ⅱa-1	週1時限/1単位
春学期	100	イタリア語初級Ⅱb-1	週1時限/1単位
秋学期	100	イタリア語初級Ⅱa-2	週1時限/1単位
秋学期	100	イタリア語初級Ⅱb-2	週1時限/1単位

初級Ⅱa (基礎文法・書き言葉のコミュニケーション)	基礎的なコミュニケーションに必要なイタリア語初級文法を、おもに練習問題によって学習する。また、簡単なイタリア語作文の練習をする。一年間で、イタリア語の文法の大枠を学ぶ。
初級Ⅱb (話し言葉のコミュニケーション)	イタリア語のアルファベットの読み方、正しい発音とアクセントから学習を始める。聞く・話すの練習を中心に行う。日常生活で使われる基本的なイタリア語の表現の習得を目指し、簡単な会話の練習をする。

2) 選択必修として中級コア科目（200番台）を履修する場合

- * 秋学期は、春学期で履修した科目の「-1」の続きの科目「-2」（同じ教員）を履修しなければならない。
- * 同じ科目名ものは重複履修できない。
- * 中級科目 4 単位を修得した場合、次年度に上級科目に進むことができる。中級科目は 4 単位を超えて履修することはできない。

履修時期	番台	科目	修得単位
春学期	200	イタリア語中級Ⅱa-1	週1時限/1単位
春学期	200	イタリア語中級Ⅱb-1	週1時限/1単位
秋学期	200	イタリア語中級Ⅱa-2	週1時限/1単位
秋学期	200	イタリア語中級Ⅱb-2	週1時限/1単位

中級Ⅱa (基礎文法・書き言葉のコミュニケーション)	春学期は初級文法の復習のあと、条件法、接続法、命令法などを学ぶ。さらに、関係詞や接続法を用いた簡単な作文の練習をする。秋学期は文法の知識を活かしながら、簡単な文献の講読を行う。購読用テキストには、昔話や新聞の記事を使う。辞書を丁寧に引いて、文意を正確に把握する練習をする。文法の知識を深め、語彙を増やすこと、さらには、文献の講読を通じて、イタリアの社会、歴史、文化への関心を深めることを目標とする。
中級Ⅱb (話し言葉のコミュニケーション)	初級で学んだイタリア語の基礎をもとに、聞く・話すの練習を中心に行う。動詞の現在形だけではなく、近過去、半過去を使いながら、より複雑な内容を伝え、理解する能力を養う。

3) 選択必修として上級コア科目（300番台）を履修する場合

- * 春学期のみ、もしくは秋学期のみの履修も可。
- * 同じ科目名のもので、担当教員が異なる場合のみ、重複履修ができる。

履修時期	番台	科目	修得単位
春学期	300	イタリア語上級A-1	週1時限/1単位
春学期	300	イタリア語上級B-1	週1時限/1単位
秋学期	300	イタリア語上級A-2	週1時限/1単位
秋学期	300	イタリア語上級B-2	週1時限/1単位

上級A (イタリアの言語と社会・歴史)	春学期は新聞の講読を通じて、イタリア語の知識とイタリア現代社会への理解を深める。秋学期は昔話や歴史書を読むことによって、イタリア語の知識とイタリア史への理解を深める。
上級B (イタリアの言語と文学)	春学期はイタリア古典文学の講読を通じて、イタリア語の知識を深めながら、イタリア語の変遷をたどる。秋学期はイタリア現代文学の講読を通じて、イタリア語とイタリア文学にかんする知識を深める。

*2014年度開講科目「イタリア語上級-1,-2」とは別内容であるため、イタリア語上級-1,-2を履修済みの場合も、イタリア語上級A・Bを履修することが可能。

4) 選択科目としてイタリア語を履修する場合

選択科目としてイタリア語を履修する場合は、上記の1)～3)のコア科目のうち、自分のレベルに該当するものを必要単位数分を履修するか、下記のオプション科目から必要単位数分を履修する。

科目名	番台	単位
イタリア語演習ⅡA, ⅡB	250	週1時限/各学期1単位

*春学期のみ、もしくは秋学期のみの履修も可。

イタリア語演習ⅡA, ⅡB (イタリア語とイタリア文化)	歌詞や映画の台詞などを教材に使用し、イタリア語のコミュニケーション能力を養うと同時に、イタリア文化への理解を深めることを目指す。
---------------------------------	--

ロシア語・(ブラジル)ポルトガル語

1) 選択必修として履修する場合

*秋学期は、春学期で履修した科目の「-1」の続きの科目「-2」(同じ教員)を履修しなければならない。

*同じ科目名ものは重複履修できない。

*初級科目4単位を修得した場合、次年度に中級科目に進むことができる。初級・中級科目は4単位を超えて履修することはできない。

履修時期	番台	科目	修得単位
春学期	100	初級Ⅰ-1	週1時限/1単位
春学期	100	初級Ⅱ-1	週1時限/1単位
秋学期	100	初級Ⅰ-2	週1時限/1単位
秋学期	100	初級Ⅱ-2	週1時限/1単位

履修時期	番台	科目	修得単位
春学期	200	中級Ⅰ-1	週1時限/1単位
春学期	200	中級Ⅱ-1	週1時限/1単位
秋学期	200	中級Ⅰ-2	週1時限/1単位
秋学期	200	中級Ⅱ-2	週1時限/1単位

2) 選択科目として履修する場合

選択科目として履修する場合は、上記の1)のコア科目のうち、自分のレベルに該当するものを必要単位数分を履修する。

3) 更に学びたい学生のために

中級科目を4単位修得した学生は、ロシア語学科、ポルトガル語学科の学科専門科目のうち、以下に記載された科目を語学科目として履修することができる。

履修を希望する学生は、履修登録期間中に学事センター語学科目担当へ成績証明書と願書(自由書式)を提出すること。願書を提出しない場合、語学科目として履修することができない。履修登録期間終了後は語学科目への変更手続き等は一切できないので注意すること。

科目コード	授業科目	単位	備考
690135	ロシア語文法研究1	2	外国語学部開講科目
690136	ロシア語文法研究2	2	外国語学部開講科目
690126	ロシア語文献研究A-1	2	外国語学部開講科目

690127	ロシア語文献研究A-2	2	外国語学部開講科目
690128	ロシア語文献研究B	2	外国語学部開講科目
690131	現代ロシア語研究1	2	外国語学部開講科目
690132	現代ロシア語研究2	2	外国語学部開講科目
690125	ロシア語通訳法入門	2	外国語学部開講科目
690137	ロシア語アクティヴ・コミュニケーション1	2	外国語学部開講科目
690138	ロシア語アクティヴ・コミュニケーション2	2	外国語学部開講科目
580513	総合ポルトガル語B-1	1	ポルトガル語学科開講科目
580515	総合ポルトガル語C-1	1	ポルトガル語学科開講科目
580523	総合ポルトガル語G-1	1	ポルトガル語学科開講科目
580524	総合ポルトガル語G-2	1	ポルトガル語学科開講科目

ラテン語

ラテン語を選択必修として履修する場合は下記に定められた履修順序を守ること。

1) 科目の種類および履修順序…全科目，週2時限・2単位

1年目	2年目
ラテン語 I A (2)	ラテン語 II A (2)
ラテン語 I B (2)	ラテン語 II B (2)

アジア・アフリカ語

アジア・アフリカ諸語を選択必修として履修する場合は下記に定められた履修順序を守ること。
 選択科目として履修する場合は、自分のレベルに該当するものを必要単位数分を履修すること。

1) 科目の種類および履修順序…全科目、週1時限・1単位

言語名	1年目(春学期)	1年目(秋学期)	2年目(春学期)	2年目(秋学期)	3年目(春学期)	3年目(秋学期)
レベル (ナンバリング)	初級 (100番台)		中級 (200番台)		上級 (300番台)	
インドネシア語	初級文法1 初級読本1	初級文法2 初級読本2	中級1	中級2	上級1	上級2
フィリピン語	初級文法1 初級読本1	初級文法2 初級読本2	中級1	中級2	上級1	上級2
アラビア語	初級文法1 初級読本1	初級文法2 初級読本2	中級1	中級2	上級1	上級2
タイ語	初級1	初級2	中級1	中級2		
ペルシア語	初級1	初級2	中級1	中級2		
カンボジア語	初級1	初級2	中級1	中級2		
ビルマ語	初級1	初級2				
トルコ語	初級1	初級2				
ベトナム語	初級1	初級2				
ヒンディー語	初級1	初級2				
スワヒリ語	初級1	初級2	中級1	中級2		

*2を履修するためには、1の単位を修得するか、それと同等の学力があることを前提とする。

*中級科目を履修するためには、初級科目の単位をすべて修得するか、それと同等の学力があることを前提とする。

*上級科目を履修するためには、中級科目の単位をすべて修得するか、それと同等の学力があることを前提とする。

*同じ科目名ものは重複履修できない。

語学科目 について
学科別履修 指定言語
英 語
初習言語 について
ドイツ語
フランス語
イタリ ア語
中国語
ロシア語
イタリ ア語
ロシア語・ ポルトガル語
アジア・ア フリカ諸語 他
日本語
翻訳科目
履修モデル
海外短期 語学講座
開講科目 一覧表

【日本語】

1) 履修上の注意

【国際教養学部正規生・理工学部英語コース正規生について】

自分が所属する学部の“BULLETIN OF INFORMATION 2015-2016”の日本語科目についての説明箇所および冊子“JAPANESE LANGUAGE PROGRAM”を確認すること。

【国際教養学部正規生・理工学部英語コース正規生以外の学部正規生について】

日本語は、日本語を母国語としない留学生もしくは日本語で授業が行われる教育機関における就学期間が短い日本人学生で、所属学科の指導によりその履修の必要性が認められた者を対象とする。履修の条件、履修可能な科目、及び卒業要件への算入については、下記2)、3)を参照すること。

【交換留学生について】

冊子“JAPANESE LANGUAGE PROGRAM”を確認すること。

2) 学部（国際教養学部及び理工学部英語コースを除く）正規生で日本語を母国語としない留学生について

a) 「必修科目」、「選択必修科目」もしくは「選択科目」に算入可能な科目

下記の科目についてはLoyola上で履修登録を行なうこと。なお、アカデミック日本語ⅠA・ⅠBについては、週3コマ開講されている授業のうち、2コマを自由に選択し履修すること。

科目の種類	週時間数及び単位数
JPN411 アカデミック日本語ⅠA	週1時限半期1単位
JPN412 アカデミック日本語ⅠB	週1時限半期1単位
JPN421 アカデミック日本語ⅡA	週1時限半期1単位
JPN422 アカデミック日本語ⅡB	週1時限半期1単位
JPN423 アカデミック日本語ⅡC	週1時限半期1単位
JPN424 アカデミック日本語ⅡD	週1時限半期1単位

◆履修順序……（ ）内の数字は単位数を表す

1年目春学期	1年目秋学期	2年目
アカデミックⅠA (1) を2単位分	アカデミックⅠB (1) を2単位分	アカデミック日本語ⅡA (1)
		アカデミック日本語ⅡB (1)
		アカデミック日本語ⅡC (1)
		アカデミック日本語ⅡD (1)

※アカデミック日本語ⅠA, ⅠBの履修順序は問わないが、それぞれ2単位ずつ修得した後でなければ、アカデミック日本語ⅡA, ⅡB, ⅡC, ⅡDを履修することが出来ない。但し、事前に日本語担当教員の許可を得、所定の手続きを経たときにはこの限りではない。この場合、アカデミック日本語ⅡA～ⅡDのLoyola上での登録はできない。「日本語科目登録用紙」に必要事項を記入の上、修正登録期間最終日の午後5時までに学事センターに提出すること。

※ⅠA, ⅠBをそれぞれ2単位をこえて修得しても卒業要件に含めることはできない。

※「必修科目」「選択必修科目」「選択科目」のいずれの区分に算入可能であるかについては学科により異なる。詳しくは、p.137～138及び該当する学科のページを参照すること。

b) 「選択科目」にのみ算入可能な科目

下記の科目を履修する場合、事前に「日本語プレイスメント・テスト」を受験する必要がある。日本語プレイスメント・テストについては冊子“JAPANESE LANGUAGE PROGRAM”を確認すること。また、下記の科目のLoyola上での履修登録はできない。「日本語科目履修登録用紙」に必要事項を記載の上、履修登録期間中に学事センターに提出すること。

科目の種類	週時間数及び単位数
JPN311 Business Japanese 1	週2時限半期2単位
JPN312 Business Japanese 2	週2時限半期2単位

3) 学部（国際教養学部及び理工学部英語コースを除く）正規生で、大学入学以前に日本語で授業が行われる教育機関における就学期間が短い日本人学生について

一定の経歴にあてはまる場合と、あてはまらない場合によって、履修条件が下記のとおり異なる。いずれの場合も、履修に際し所属学科の許可が必要となるので、事前に学事センターに相談すること。修得単位は「全学共通科目選択科目（語学科目）」もしくは「学科選択科目」（学科が日本語の算入を認めている場合のみ）に算入される。

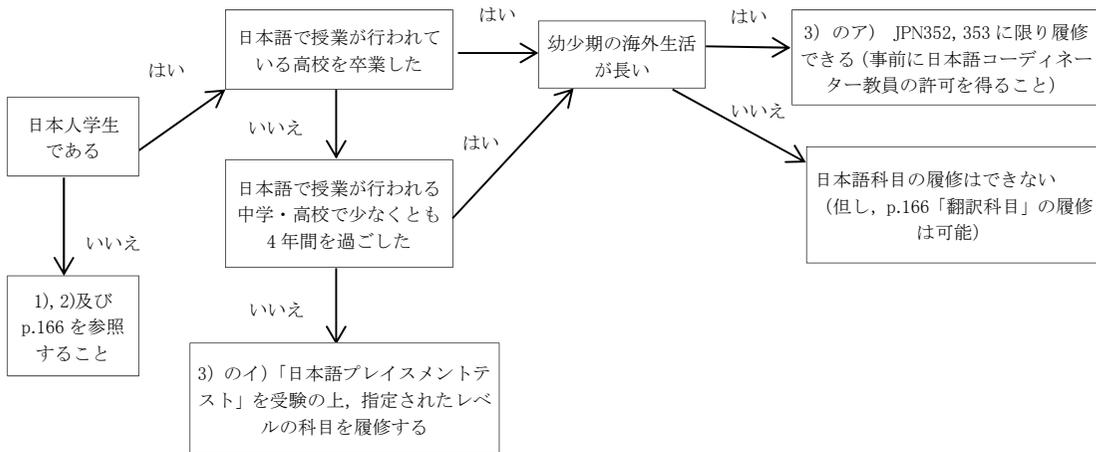
ア) 日本語で授業が行われている高校を卒業した者、若しくは日本の高校卒業ではないが、日本語で授業が行われる中学・高校で少なくとも4年間過ごした者

原則として日本語科目の履修はできないが、幼少期の海外生活が長いというような理由で日本語科目の履修を希望する場合には、日本語コーディネーター教員の許可を得た上で JPN352・JPN353 に限り履修できる（JPN352→JPN353 の順で履修すること）。この場合、日本語プレイズメント・テストの受験は不要。但し、Loyola 上での履修登録はできない。「日本語科目登録用紙」に必要事項を記載の上、修正登録期間最終日の午後5時までに学事センターに提出すること。

イ) ア) に該当しない場合

「日本語プレイズメント・テスト」を受験の上、下記の科目のうち指定されたレベルの日本語科目を Loyola 上で履修登録する。日本語プレイズメント・テストについては、冊子“JAPANESE LANGUAGE PROGRAM”を確認すること。

科目の種類	週時間数及び単位数
JPN340 Reading & Writing (Basics)	週2時限半期2単位
JPN341 Reading & Writing I	週2時限半期2単位
JPN342 Reading & Writing II	週2時限半期2単位
JPN343 Reading & Writing III	週2時限半期2単位
JPN352 Japanese Literacy 1	週2時限半期4単位
JPN353 Japanese Literacy 2	週2時限半期4単位



語学科目について
学科別履修指定言語
英語
初音言語について
ドイツ語
フランス語
イタリヤ語
中国語
ロシア語
イタリヤ語
ロシア語・ポルトガル語
アジア諸国・リカ諸国他
日本語
翻訳科目
履修モデル
海外短期語学講座
開講科目一覧表

【翻訳科目】

「翻訳科目」は学部正規生・交換留学生とともに、一定の条件を満たすことにより履修することができる。

【国際教養学部正規生・理工学部英語コースに在籍する学生について】

自分が所属する学部の“BULLETIN OF INFORMATION 2015-2016”の日本語科目についての説明箇所および冊子“JAPANESE LANGUAGE PROGRAM”を確認すること。

【国際教養学部正規生・理工学部英語コース以外の学部・コースに在籍する学生について】

下記科目は「日本語科目」に分類されるが、英語力について一定の条件を満たした場合に履修することができる。

修得単位は「全学共通科目選択科目」（語学科目を8単位まで算入可能）もしくは所属学科で日本語科目の算入が認められている場合に限り「学科科目選択科目」として卒業要件に算入される。

履修登録は学事センター窓口で行うこと。英語力の条件については p.32 「国際教養学部開講科目の履修について」を参照し、履修登録手続きの際に証明となる書類を持参すること。

科目の種類	週時間数及び単位数
JPN405 Translating English to Japanese 1	週2時限半期4単位
JPN406 Translating English to Japanese 2	週2時限半期4単位
JPN407 Translating Japanese to English	週2時限半期4単位

【履修モデル】

初習言語は、各学生の目標や学習スタイルに合わせて履修計画を組めるよう設計されている。各自、目標を設定し効率よく学べるよう履修計画をたてて学習すること。

以下に履修モデルの例を挙げる。

※その他言語別／目的別の履修モデルについては言語教育研究センターのウェブサイト(<http://www.sophia-cler.jp/>)参照

(例 1)

目標：自言語登録した言語のスキルを着実に身に着けたい
(フランス語を例とする)

1 年次

履修度	履修科目	履修単位 (年間)
選択必修	フランス語初級A (文法) + フランス語初級B (コミュニケーション)	4
選択	フランス語演習 I A, I B (スキルアップ)	2

●フランス語の基礎力を固め、特定のスキルも伸ばす



2 年次

履修度	履修科目	履修単位 (年間)
選択必修	フランス語中級A (文法・読解) + フランス語中級B (コミュニケーション)	4
選択	フランス語中級C (スキルアップ—聞き取り)	2

●初級に引き続き、基礎力を中級レベルへ発展させるとともに、特定のスキルも伸ばす



3 年次以降

履修度	履修科目	履修単位 (年間)
選択	フランス語上級E (スキルアップ) + フランス語検定対策 II A (仏検 3 級), II B (仏検準 2 級・2 級)	4

●様々なスキルを身につける、検定対策をするなど、各自の目的にあった科目を履修する

(例 2)

目標：自言語登録した言語以外の言語にも興味があり、同時に学びたい
(自言語をスペイン語と仮定する)

1 年次

履修度	履修科目	履修単位 (年間)
選択必修	イスパニア語初級総合	4
選択	ドイツ語初級総合 (読解重視)	4

●イスパニア語を自言語として学ぶが、同時にドイツ語の読解を中心に学ぶ



2 年次

履修度	履修科目	履修単位 (年間)
選択必修	イスパニア語中級 A (コミュニケーション基礎)	2
	イスパニア語中級 B (コミュニケーション実践)	2
選択	ドイツ語中級 D (内容重視型)	2

●初級に引き続きイスパニア語の中級科目を履修し、同時にドイツ語の内容重視科目を学ぶ



3 年次以降

履修度	履修科目	履修単位 (年間)
選択	イスパニア語演習 II A, II B (イスパニア語圏の言語と文化)	2
選択	ドイツ語中級 C (スキル重視型)	2

●イスパニア語の学習を発展させるとともに、ドイツ語のスキルも伸ばす

語学科目について
学科別履修指定言語
英語
初習言語について
ドイツ語
フランス語
イスパニア語
中国語
ロシア語
イタリア語
ロシア語・ポルトガル語
アジア・アフリカ諸語他
日本語
翻訳科目
履修モデル
海外短期語学講座
一開講科目表

[海外短期語学講座]

- ・本学で開講される事前指導を含む所定のプログラムを修了し、海外での講座(プログラム)に参加して所定の成果を修めたものは、単位が付与され、成績評価は「P」となる。年間最高履修限度には参入されない。
- ・開講期が春のものは夏期休業中に、秋のものは春期休業中に実施される。スケジュールが重ならないことを前提に、同学期に複数の講座を履修することもできる。
- ・卒業を予定している最終学期開講のプログラムにも参加可能だが、単位は付与されない
- ・英語圏の講座で付与された単位は語学選択科目に算入され、英語圏以外の講座の単位は、語学選択必修もしくは選択科目に算入される。
- ・参加の手続きについては、海外短期語学講座の事前説明会で確認すること。また参加資格、申込期間等詳細については、グローバル教育センター発行の「留学ハンドブック」および掲示等を参照すること。
 ＊香港中文大学、韓国カトリック大学、西江大学、韓国外国語大学については、本学との交換協定に基づき実施されるため、授業料は免除となる。ただし国際教養学部生の場合は2単位分の授業料が発生する。

科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	備考	履修年次
N99111	TAN100	海外短期語学講座（英語） McGill	2	春	言語教育研究センター教員		1～4
N99111	TAN100	海外短期語学講座（英語） University of North Carolina at Charlotte	2	春	言語教育研究センター教員		1～4
N99111	TAN100	海外短期語学講座（英語） Auckland	2	春・秋	言語教育研究センター教員		1～4
N99111	TAN100	海外短期語学講座（英語） UC-Davis	2	春・秋	言語教育研究センター教員		1～4
N99111	TAN100	海外短期語学講座（英語） Queensland	2	秋	言語教育研究センター教員		1～4
N99111	TAN100	海外短期語学講座（英語） Wollongong	2	秋	言語教育研究センター教員		1～4
N99111	TAN100	海外短期語学講座（英語） British Columbia	2	春・秋	言語教育研究センター教員		1～4
N99112	TAN101	海外短期語学講座（ドイツ語） Freiburg	2	春	言語教育研究センター教員		1～4
N99113	TAN102	海外短期語学講座（フランス語） Angers	2	秋	言語教育研究センター教員		1～4
N99113	TAN102	海外短期語学講座（フランス語） Frauche-Conté	2	春	言語教育研究センター教員		1～4
N99114	TAN103	海外短期語学講座（スペイン語） Universidad Autonoma de Barcelona	2	秋	言語教育研究センター教員		1～4
N99115	TAN104	海外短期語学講座（中国語） 香港中文	2	春	言語教育研究センター教員		1～4
N99115	TAN104	海外短期語学講座（中国語） 北京	2	秋	言語教育研究センター教員		1～4
N99116	TAN105	海外短期語学講座（韓国語） 韓国カトリック	2	春	言語教育研究センター教員		1～4
N99116	TAN105	海外短期語学講座（韓国語） 西江	2	秋	言語教育研究センター教員		1～4
N99116	TAN105	海外短期語学講座（韓国語） 韓国外国語	2	春	言語教育研究センター教員		1～4
N99117	TAN106	海外短期語学講座（イタリア語） Universita per Stranieri di Perugia	2	休講	言語教育研究センター教員	隔年開講	1～4

語学科目担当一覧表

○英語

科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	ブロック	備考	履修年次
[INTRODUCTORY]								
850075	ENG100	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTRODUCTORY)	2	春	BRINHAM Asa	—	基礎学生用	1
850076	ENG100	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTRODUCTORY)	2	秋	BRINHAM Asa	—	基礎学生用, ※注1	1
[ELEMENTARY]								
850077	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ELEMENTARY)	2	春	*佐野陽子	A		1
850078	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ELEMENTARY)	2	秋	*佐野陽子	A	※注1	1
850077	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ELEMENTARY)	2	春	藤井里美	A		1
850078	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ELEMENTARY)	2	秋	藤井里美	A	※注1	1
850077	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ELEMENTARY)	2	春	*VERLA Adrienne	A		1
850078	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ELEMENTARY)	2	秋	*VERLA Adrienne	A	※注1	1
850077	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ELEMENTARY)	2	春	田村真弓	A		1
850078	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ELEMENTARY)	2	秋	田村真弓	A	※注1	1
850077	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ELEMENTARY)	2	春	深澤英美	A		1
850078	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ELEMENTARY)	2	秋	深澤英美	A	※注1	1
850077	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ELEMENTARY)	2	春	田村真弓	B		1
850078	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ELEMENTARY)	2	秋	田村真弓	B	※注1	1
850077	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ELEMENTARY)	2	春	藤井里美	B		1
850078	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ELEMENTARY)	2	秋	藤井里美	B	※注1	1
850077	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ELEMENTARY)	2	春	MACKENZIE Graham	B		1
850078	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ELEMENTARY)	2	秋	MACKENZIE Graham	B	※注1	1
850077	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ELEMENTARY)	2	春	杉木良明	C		1
850078	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ELEMENTARY)	2	秋	杉木良明	C	※注1	1
850077	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ELEMENTARY)	2	春	*佐野陽子	C		1
850078	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ELEMENTARY)	2	秋	*佐野陽子	C	※注1	1
850077	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ELEMENTARY)	2	春	深澤英美	C		1
850078	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ELEMENTARY)	2	秋	深澤英美	C	※注1	1
850077	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ELEMENTARY)	2	春	深澤英美	D		1
850078	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ELEMENTARY)	2	秋	深澤英美	D	※注1	1
850077	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ELEMENTARY)	2	春	CUNNINGHAM Neale	D		1
850078	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ELEMENTARY)	2	秋	CUNNINGHAM Neale	D	※注1	1
850077	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ELEMENTARY)	2	春	田村真弓	E		1
850078	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ELEMENTARY)	2	秋	田村真弓	E	※注1	1
850077	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ELEMENTARY)	2	春	OBARA Diane	E		1
850078	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ELEMENTARY)	2	秋	OBARA Diane	E	※注1	1
850077	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ELEMENTARY)	2	春	*上田麻由子	F		1
850078	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ELEMENTARY)	2	秋	*上田麻由子	F	※注1	1
850077	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ELEMENTARY)	2	春	*小幡裕子	F		1
850078	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ELEMENTARY)	2	秋	*小幡裕子	F	※注1	1
850077	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ELEMENTARY)	2	春	*小室龍之介	F		1
850078	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ELEMENTARY)	2	秋	*小室龍之介	F	※注1	1
850077	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ELEMENTARY)	2	春	*鈴木由美	F		1
850078	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ELEMENTARY)	2	秋	*鈴木由美	F	※注1	1
850077	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ELEMENTARY)	2	春	逸見シャンタール	F		1
850078	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ELEMENTARY)	2	秋	逸見シャンタール	F	※注1	1
850077	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ELEMENTARY)	2	春	藤田保	F		1

語学科目
について
指定言語
英
語
初
習
言
語
に
つ
い
て
ド
イ
ッ
ツ
語
フ
ラ
ン
ス
語
イ
タ
リ
ア
語
中
国
語
コ
リ
ア
語
イ
タ
リ
ア
語
ロ
シ
ア
語・
ポ
ル
ト
ガ
ル
語
ア
ジ
ア
語
リ
カ
諸
語
他
日
本
語
履
修
モ
デ
ル
検
定
目
語
学
講
座
海
外
短
期
一
覧
表
開
講
科
目
一
覧
表

科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単位	開講期	担当者	ブロック	備考	履修 年次
850078	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ELEMENTARY)	2	秋	藤 田 保	F	※注1	1
850077	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ELEMENTARY)	2	春	藤 井 里 美	F		1
850078	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ELEMENTARY)	2	秋	藤 井 里 美	F	※注1	1
850077	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ELEMENTARY)	2	春	杉 木 良 明	F		1
850078	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ELEMENTARY)	2	秋	杉 木 良 明	F	※注1	1
850077	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ELEMENTARY)	2	春	*DILLON Thomas	F		1
850078	ENG110	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ELEMENTARY)	2	秋	*DILLON Thomas	F	※注1	1
[INTERMEDIATE I]								
850079	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE I)	2	春	*吉 岡 愛 子	A		1
850080	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE I)	2	秋	*吉 岡 愛 子	A	※注1	1
850079	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE I)	2	春	PATRICK Philip	A		1
850080	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE I)	2	秋	PATRICK Philip	A	※注1	1
850079	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE I)	2	春	*佐々木 孝 幸	A		1
850080	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE I)	2	秋	*佐々木 孝 幸	A	※注1	1
850079	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE I)	2	春	PETRIN Vincent	A		1
850080	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE I)	2	秋	PETRIN Vincent	A	※注1	1
850079	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE I)	2	春	未 定	B		1
850080	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE I)	2	秋	未 定	B	※注1	1
850079	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE I)	2	春	*BARNETT Christopher	B		1
850080	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE I)	2	秋	*BARNETT Christopher	B	※注1	1
850079	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE I)	2	春	深 澤 英 美	B		1
850080	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE I)	2	秋	深 澤 英 美	B	※注1	1
850079	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE I)	2	春	*MCEVOY Jason	B		1
850080	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE I)	2	秋	*MCEVOY Jason	B	※注1	1
850079	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE I)	2	春	*高 橋 恵	C		1
850080	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE I)	2	秋	*高 橋 恵	C	※注1	1
850079	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE I)	2	春	藤 井 里 美	C		1
850080	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE I)	2	秋	藤 井 里 美	C	※注1	1
850079	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE I)	2	春	田 村 真 弓	C		1
850080	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE I)	2	秋	田 村 真 弓	C	※注1	1
850079	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE I)	2	春	*佐々木 孝 幸	C		1
850080	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE I)	2	秋	*佐々木 孝 幸	C	※注1	1
850079	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE I)	2	春	*BARNETT Christopher	D		1
850080	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE I)	2	秋	*BARNETT Christopher	D	※注1	1
850079	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE I)	2	春	*坂 口 世 良	D		1
850080	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE I)	2	秋	*坂 口 世 良	D	※注1	1
850079	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE I)	2	春	*HARRISON David	D		1
850080	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE I)	2	秋	*HARRISON David	D	※注1	1
850079	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE I)	2	春	*相 川 弘 子	E		1
850080	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE I)	2	秋	*相 川 弘 子	E	※注1	1
850079	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE I)	2	春	*小 室 龍 之 介	E		1
850080	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE I)	2	秋	*小 室 龍 之 介	E	※注1	1
850079	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE I)	2	春	*鈴 木 由 美	E		1
850080	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE I)	2	秋	*鈴 木 由 美	E	※注1	1
850079	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE I)	2	春	*田 中 みんね	F		1
850080	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE I)	2	秋	*田 中 みんね	F	※注1	1
850079	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE I)	2	春	AOKI Quenby	F		1
850080	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE I)	2	秋	AOKI Quenby	F	※注1	1
850079	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE I)	2	春	*HILL Kent	F		1
850080	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE I)	2	秋	*HILL Kent	F	※注1	1
850079	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE I)	2	春	*PATTIMORE Roger	F		1

科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	ブロック	備考	履修年次
850080	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE 1)	2	秋	*PATTIMORE Roger	F	※注1	1
850079	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE 1)	2	春	*SANCHEZ Edward	F		1
850080	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE 1)	2	秋	*SANCHEZ Edward	F	※注1	1
850079	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE 1)	2	春	PETRIN Vincent	F		1
850080	ENG200	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE 1)	2	秋	PETRIN Vincent	F	※注1	1
[INTERMEDIATE II]								
850081	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE II)	2	春	NAULT Derrick	A		1
850082	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE II)	2	秋	NAULT Derrick	A	※注1	1
850081	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE II)	2	春	*MCEVOY Jason	A		1
850082	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE II)	2	秋	*MCEVOY Jason	A	※注1	1
850081	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE II)	2	春	*BARNETT Christopher	A		1
850082	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE II)	2	秋	*BARNETT Christopher	A	※注1	1
850081	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE II)	2	春	KNOWLES Timothy	A		1
850082	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE II)	2	秋	KNOWLES Timothy	A	※注1	1
850081	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE II)	2	春	今野 裕子	B		1
850082	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE II)	2	秋	今野 裕子	B	※注1	1
850081	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE II)	2	春	居村 啓子	B		1
850082	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE II)	2	秋	居村 啓子	B	※注1	1
850081	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE II)	2	春	*DINGLASAN Arlene Buno	B		1
850082	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE II)	2	秋	*DINGLASAN Arlene Buno	B	※注1	1
850081	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE II)	2	春	*SANCHEZ Edward	B		1
850082	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE II)	2	秋	*SANCHEZ Edward	B	※注1	1
850081	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE II)	2	春	今井 康博	B		1
850082	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE II)	2	秋	今井 康博	B	※注1	1
850081	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE II)	2	春	*原 麻里子	C		1
850082	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE II)	2	秋	*原 麻里子	C	※注1	1
850081	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE II)	2	春	*吉岡 愛子	C		1
850082	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE II)	2	秋	*吉岡 愛子	C	※注1	1
850081	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE II)	2	春	藤田 保	C		1
850082	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE II)	2	秋	藤田 保	C	※注1	1
850081	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE II)	2	春	PETRIN Vincent	C		1
850082	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE II)	2	秋	PETRIN Vincent	C	※注1	1
850081	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE II)	2	春	PATRICK Philip	C		1
850082	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE II)	2	秋	PATRICK Philip	C	[※注1]	1
850081	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE II)	2	春	OBARA Diane	D		1
850082	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE II)	2	秋	OBARA Diane	D	※注1	1
850081	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE II)	2	春	未 定	D		1
850082	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE II)	2	秋	未 定	D	※注1	1
850081	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE II)	2	春	KNOWLES Timothy	D		1
850082	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE II)	2	秋	KNOWLES Timothy	D	※注1	1
850081	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE II)	2	春	MACKENZIE Graham	E		1
850082	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE II)	2	秋	MACKENZIE Graham	E	※注1	1
850081	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE II)	2	春	*田中 みんね	E		1
850082	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE II)	2	秋	*田中 みんね	E	※注1	1
850081	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE II)	2	春	今野 裕子	E		1
850082	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE II)	2	秋	今野 裕子	E	※注1	1
850081	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE II)	2	春	*SANCHEZ Edward	E		1
850082	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE II)	2	秋	*SANCHEZ Edward	E	※注1	1
850081	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE II)	2	春	BRINHAM Asa	F		1
850082	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE II)	2	秋	BRINHAM Asa	F	※注1	1
850081	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE II)	2	春	PATRICK Philip	F		1

語学科目
指定言語
英
語
初習言語
ドイ
ツ語
フ
ラン
ス語
イ
タ
リ
ア
語
中
国
語
コ
リ
ア
語
イ
タ
リ
ア
語
ロ
シ
ヤ
語・
ポ
ー
ル
ト
ガ
ル
語
ア
ジ
ア
ナ
フ
リ
カ
諸
語
他
日
本
語
履
修
モ
デ
ル
検
定
対
策
目
録
海
外
短
期
語
学
講
座
開
講
科
目
一
覧
表

科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単位	開講期	担当者	ブロック	備考	履修 年次
850082	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE II)	2	秋	PATRICK Philip	F	※注1	1
850081	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE II)	2	春	CUNNINGHAM Neale	F		1
850082	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE II)	2	秋	CUNNINGHAM Neale	F	※注1	1
850081	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE II)	2	春	今野裕子	F		1
850082	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE II)	2	秋	今野裕子	F	※注1	1
850081	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (INTERMEDIATE II)	2	春	*PIEROWAY Carolyn	F		1
850082	ENG210	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (INTERMEDIATE II)	2	秋	*PIEROWAY Carolyn	F	※注1	1

[ADVANCED I]

850083	ENG300	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ADVANCED I)	2	春	*DINGLASAN Arlene Buno	A		1
850084	ENG300	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ADVANCED I)	2	秋	*DINGLASAN Arlene Buno	A	※注1	1
850083	ENG300	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ADVANCED I)	2	春	*LEMAY Alec	B		1
850084	ENG300	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ADVANCED I)	2	秋	*LEMAY Alec	B	※注1	1
850083	ENG300	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ADVANCED I)	2	春	PETRIN Vincent	B		1
850084	ENG300	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ADVANCED I)	2	秋	PETRIN Vincent	B	※注1	1
850083	ENG300	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ADVANCED I)	2	春	今井康博	C		1
850084	ENG300	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ADVANCED I)	2	秋	今井康博	C	※注1	1
850083	ENG300	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ADVANCED I)	2	春	NAULT Derrick	C		1
850084	ENG300	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ADVANCED I)	2	秋	NAULT Derrick	C	※注1	1
850083	ENG300	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ADVANCED I)	2	春	*荒井貴和	C		1
850084	ENG300	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ADVANCED I)	2	秋	*荒井貴和	C	※注1	1
850083	ENG300	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ADVANCED I)	2	春	*VERLA Adrienne	C		1
850084	ENG300	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ADVANCED I)	2	秋	*VERLA Adrienne	C	※注1	1
850083	ENG300	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ADVANCED I)	2	春	BRINHAM Asa	D		1
850084	ENG300	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ADVANCED I)	2	秋	BRINHAM Asa	D	※注1	1
850083	ENG300	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ADVANCED I)	2	春	*武岡由樹子	D		1
850084	ENG300	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ADVANCED I)	2	秋	*武岡由樹子	D	※注1	1
850083	ENG300	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ADVANCED I)	2	春	*篠田愛理	E		1
850084	ENG300	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ADVANCED I)	2	秋	*篠田愛理	E	※注1	1
850083	ENG300	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ADVANCED I)	2	春	*LEMAY Alec	E		1
850084	ENG300	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ADVANCED I)	2	秋	*LEMAY Alec	E	※注1	1
850083	ENG300	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ADVANCED I)	2	春	LOWE Charles	F		1
850084	ENG300	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ADVANCED I)	2	秋	LOWE Charles	F	※注1	1
850083	ENG300	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ADVANCED I)	2	春	KNOWLES Timothy	F		1
850084	ENG300	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ADVANCED I)	2	秋	KNOWLES Timothy	F	※注1	1

[ADVANCED II]

850085	ENG310	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ADVANCED II)	2	春	LOWE Charles	A		1
850086	ENG310	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ADVANCED II)	2	秋	LOWE Charles	A	※注1	1
850085	ENG310	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ADVANCED II)	2	春	LOWE Charles	B		1
850086	ENG310	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ADVANCED II)	2	秋	LOWE Charles	B	※注1	1
850085	ENG310	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ADVANCED II)	2	春	LARSON Jerry	C		1
850086	ENG310	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ADVANCED II)	2	秋	LARSON Jerry	C	※注1	1
850085	ENG310	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ADVANCED II)	2	春	LOWE Charles	C		1
850086	ENG310	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ADVANCED II)	2	秋	LOWE Charles	C	※注1	1
850085	ENG310	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ADVANCED II)	2	春	KNOWLES Timothy	C		1
850086	ENG310	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ADVANCED II)	2	秋	KNOWLES Timothy	C	※注1	1
850085	ENG310	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ADVANCED II)	2	春	*MCEVOY Jason	D		1
850086	ENG310	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ADVANCED II)	2	秋	*MCEVOY Jason	D	※注1	1
850085	ENG310	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ADVANCED II)	2	春	NAULT Derrick	D		1
850086	ENG310	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ADVANCED II)	2	秋	NAULT Derrick	D	※注1	1
850085	ENG310	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ADVANCED II)	2	春	居村啓子	E		1

科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	ブロック	備考	履修年次
850086	ENG310	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ADVANCED II)	2	秋	居村啓子	E	※注1	1
850085	ENG310	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ADVANCED II)	2	春	LARSON Jerry	E		1
850086	ENG310	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ADVANCED II)	2	秋	LARSON Jerry	E	※注1	1
850085	ENG310	ACADEMIC COMMUNICATION 1 (ADVANCED II)	2	春	LARSON Jerry	F		1
850086	ENG310	ACADEMIC COMMUNICATION 2 (ADVANCED II)	2	秋	LARSON Jerry	F	※注1	1

※注1：春学期の同一科目「-1」修得済の学生のみ履修可（ただし、秋学期科目のみの再履修者を除く）

英語（選択科目）のレベルについて

選択科目はレベルが目安のものと、指定されているものがあり、ナンバリングがそれを表している。

【レベル目安】

ENG250: Introductory, Elementary, Intermediate I のレベルの学生を対象

ENG260: Intermediate II, Advanced I, Advanced II のレベルの学生を対象

※あくまでもレベルは目安であるため、Intermediate I の学生が ENG260 の科目を履修することも可能。

【レベル指定】

TOEIC Preparation, TOEFL Preparation, IELTS Preparation のクラスは、レベルが指定されている。

ENG150: Elementary のレベルの学生のみ履修可

ENG250, 260: Intermediate I, Intermediate II のレベルの学生のみ履修可

ENG250, 260, 350: Intermediate I, Intermediate II, Advanced I のレベルの学生のみ履修可

ENG350, 360: Advanced I, Advanced II のレベルの学生のみ履修可

○英語（選択科目）

科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	ブロック	備考	履修年次
[A. ACADEMIC ENGLISH]								
854842	ENG250	Literature in English A	2	春	*松村 純	—	[30名]	2～4
854844	ENG250	Literature in English B	2	秋	*松村 純	—	[30名]	2～4
854843	ENG260	Literature in English A	2	春	ハーン 恭子 小路	—	[30名]	2～4
854845	ENG260	Literature in English B	2	秋	ハーン 恭子 小路	—	[30名]	2～4
854843	ENG260	Literature in English A	2	春	PINNER Richard	—	[30名]	2～4
854845	ENG260	Literature in English B	2	秋	PINNER Richard	—	[30名]	2～4
854838	ENG250	Linguistics in English A	2	春	*花岡 修	—	[30名]	2～4
854840	ENG250	Linguistics in English B	2	秋	*花岡 修	—	[30名]	2～4
584839	ENG260	Linguistics in English A	2	春	PIGGIN Gabrielle	—	[30名]	2～4
854841	ENG260	Linguistics in English B	2	秋	PIGGIN Gabrielle	—	[30名]	2～4
854825	ENG250	History in English A	2	春	杉木 良明	—	[30名]	2～4
854827	ENG250	History in English B	2	秋	杉木 良明	—	[30名]	2～4
854825	ENG250	History in English A	2	春	今野 裕子	—	[30名]	2～4
854827	ENG250	History in English B	2	秋	今野 裕子	—	[30名]	2～4
854826	ENG260	History in English A	2	春	KNOWLES Timothy	—	[30名]	2～4
854828	ENG260	History in English B	2	秋	KNOWLES Timothy	—	[30名]	2～4
854850	ENG250	Psychology in English A	2	春	AOKI Quenby	—	[30名]	2～4
854852	ENG250	Psychology in English B	2	秋	AOKI Quenby	—	[30名]	2～4
854851	ENG260	Psychology in English A	2	春	*ALINE David	—	[30名]	2～4
854853	ENG260	Psychology in English B	2	秋	*ALINE David	—	[30名]	2～4
854851	ENG260	Psychology in English A	2	春	今井 康博	—	[30名]	2～4
854853	ENG260	Psychology in English B	2	秋	今井 康博	—	[30名]	2～4
854846	ENG250	Philosophy in English A	2	春	*松村 純	—	[30名]	2～4
854848	ENG250	Philosophy in English B	2	秋	*松村 純	—	[30名]	2～4
854847	ENG260	Philosophy in English A	2	春	LARSON Jerry	—	[30名]	2～4
854849	ENG260	Philosophy in English B	2	秋	LARSON Jerry	—	[30名]	2～4
850268	ENG250	Economics in English A	2	春	KNOWLES Timothy	—	[30名]	2～4

語学科目について
指定言語
英語
に初習言語について
ドイツ語
フランス語
イタリヤ語
中国語
ロシア語
イタリア語
ポルトガル語・ロシア語・リカ諸語他
アジア語
日本語
履修モデル
検定科目
海外短期語学講座
開講科目一覧表

科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単位	開講期	担当者	ブロック	備考	履修 年次
854800	ENG250	Economics in English B	2	秋	KNOWLES Timothy	—	[30名]	2～4
850269	ENG260	Economics in English A	2	春	* PIEROWAY Carolyn	—	[30名]	2～4
854801	ENG260	Economics in English B	2	秋	* PIEROWAY Carolyn	—	[30名]	2～4
854833	ENG260	Law in English A	2	春	* BUSSINGER Clarence	—	[30名]	2～4
854868	ENG260	Law in English B	2	秋	* BUSSINGER Clarence	—	[30名]	2～4
854829	ENG250	International Relations in English A	2	春	油木田 美由紀	—	[30名]	2～4
854831	ENG250	International Relations in English B	2	秋	油木田 美由紀	—	[30名]	2～4
854829	ENG250	International Relations in English A	2	春	KNOWLES Timothy	—	[30名]	2～4
854831	ENG250	International Relations in English B	2	秋	KNOWLES Timothy	—	[30名]	2～4
854830	ENG260	International Relations in English A	2	春	CUNNINGHAM Neale	—	[30名]	2～4
854832	ENG260	International Relations in English B	2	秋	CUNNINGHAM Neale	—	[30名]	2～4
854830	ENG260	International Relations in English A	2	春	LARSON Jerry	—	[30名]	2～4
854832	ENG260	International Relations in English B	2	秋	LARSON Jerry	—	[30名]	2～4
850264	ENG250	Cultural Studies in English A	2	春	YAMAMOTO-WILSON John	—	[30名]	2～4
850266	ENG250	Cultural Studies in English B	2	秋	YAMAMOTO-WILSON John	—	[30名]	2～4
850264	ENG250	Cultural Studies in English A	2	春	KAUFMAN Marc	—	[30名]	2～4
850266	ENG250	Cultural Studies in English B	2	秋	KAUFMAN Marc	—	[30名]	2～4
850265	ENG260	Cultural Studies in English A	2	春	* RENJEL Renee	—	[30名]	2～4
850267	ENG260	Cultural Studies in English B	2	秋	* RENJEL Renee	—	[30名]	2～4
850265	ENG260	Cultural Studies in English A	2	春	ISHERWOOD Christopher	—	[30名]	2～4
850267	ENG260	Cultural Studies in English B	2	秋	ISHERWOOD Christopher	—	[30名]	2～4
850260	ENG250	Cross-Cultural Communication in English A	2	春	居 村 啓 子	—	[30名]	2～4
850262	ENG250	Cross-Cultural Communication in English B	2	秋	居 村 啓 子	—	[30名]	2～4
850261	ENG260	Cross-Cultural Communication in English A	2	春	* LEMAY Alec	—	[30名]	2～4
850263	ENG260	Cross-Cultural Communication in English B	2	秋	* LEMAY Alec	—	[30名]	2～4
850261	ENG260	Cross-Cultural Communication in English A	2	春	CUNNINGHAM Neale	—	[30名]	2～4
850263	ENG260	Cross-Cultural Communication in English B	2	秋	CUNNINGHAM Neale	—	[30名]	2～4
854855	ENG250	Science and Human Life in English A	2	春	* 田 中 みんね	—	[30名]	2～4
854857	ENG250	Science and Human Life in English B	2	秋	* 田 中 みんね	—	[30名]	2～4
854856	ENG260	Science and Human Life in English A	2	春	* ALINE David	—	[30名]	2～4
854858	ENG260	Science and Human Life in English B	2	秋	* ALINE David	—	[30名]	2～4
854856	ENG260	Science and Human Life in English A	2	春	* HARRISON David	—	[30名]	2～4
854858	ENG260	Science and Human Life in English B	2	秋	* HARRISON David	—	[30名]	2～4
854819	ENG250	Environmental Problems in English A	2	春	AOKI Quenby	—	[30名]	2～4
854821	ENG250	Environmental Problems in English B	2	秋	AOKI Quenby	—	[30名]	2～4
854820	ENG260	Environmental Problems in English A	2	春	* GOULD Timothy	—	[30名]	2～4
854822	ENG260	Environmental Problems in English B	2	秋	* GOULD Timothy	—	[30名]	2～4
[B. PROFESSIONAL ENGLISH]								
854802	ENG250	English for Interpreters	2	春	* 藤 井 拓 哉	—	[30名]	2～4
854802	ENG250	English for Interpreters	2	秋	* 藤 井 拓 哉	—	[30名]	2～4
854803	ENG260	English for Interpreters	2	春	* 高 橋 絹 子	—	[30名]	2～4
854803	ENG260	English for Interpreters	2	秋	* 高 橋 絹 子	—	[30名]	2～4
854818	ENG260	English for Translators	2	春	逸見 シャンタル	—	[30名]	2～4
854818	ENG260	English for Translators	2	秋	逸見 シャンタル	—	[30名]	2～4
854818	ENG260	English for Translators	2	春	* 坂 口 世 良	—	[30名]	2～4
854818	ENG260	English for Translators	2	秋	* 坂 口 世 良	—	[30名]	2～4
854813	ENG260	English for Teachers of English	2	春	* 横 本 勝 也	—	[30名]	2～4
854813	ENG260	English for Teachers of English	2	秋	* 横 本 勝 也	—	[30名]	2～4
854813	ENG260	English for Teachers of English	2	春	BRINHAM Asa	—	[30名]	2～4
854813	ENG260	English for Teachers of English	2	秋	BRINHAM Asa	—	[30名]	2～4
854810	ENG250	English for Science and Technology	2	春	* 藤 井 拓 哉	—	[30名]	2～4

科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	ブロック	備考	履修年次
854810	ENG250	English for Science and Technology	2	秋	*藤井 拓哉	—	[30名]	2~4
854811	ENG260	English for Science and Technology	2	春	* CONWAY Neil	—	[30名]	2~4
854811	ENG260	English for Science and Technology	2	秋	* CONWAY Neil	—	[30名]	2~4
854814	ENG250	English for Tourism	2	春	*小室 龍之介	—	[30名]	2~4
854814	ENG250	English for Tourism	2	秋	*小室 龍之介	—	[30名]	2~4
854815	ENG260	English for Tourism	2	春	*高橋 絹子	—	[30名]	2~4
854815	ENG260	English for Tourism	2	秋	*高橋 絹子	—	[30名]	2~4
854804	ENG250	English for Journalism	2	春	OBARA Diane	—	[30名]	2~4
854804	ENG250	English for Journalism	2	秋	OBARA Diane	—	[30名]	2~4
854805	ENG260	English for Journalism	2	春	LOWE Charles	—	[30名]	2~4
854805	ENG260	English for Journalism	2	秋	LOWE Charles	—	[30名]	2~4
854805	ENG260	English for Journalism	2	春	*HARRISON David	—	[30名]	2~4
854805	ENG260	English for Journalism	2	秋	*HARRISON David	—	[30名]	2~4
854816	ENG250	English for Trading	2	春	*島崎 正彦	—	[30名]	2~4
854816	ENG250	English for Trading	2	秋	*島崎 正彦	—	[30名]	2~4
854817	ENG260	English for Trading	2	春	*島崎 正彦	—	[30名]	2~4
854817	ENG260	English for Trading	2	秋	*島崎 正彦	—	[30名]	2~4
854836	ENG250	Legal English	2	春	藤田 保	—	[30名]	2~4
854836	ENG250	Legal English	2	秋	藤田 保	—	[30名]	2~4
[C. PRACTICAL ENGLISH] ● Skills Courses								
854823	ENG250	General Business English	1	春	*松井 恵美子	—	[30名]	2~4
854823	ENG250	General Business English	1	秋	*松井 恵美子	—	[30名]	2~4
854824	ENG260	General Business English	1	春	CUNNINGHAM Neale	—	[30名]	2~4
854824	ENG260	General Business English	1	秋	CUNNINGHAM Neale	—	[30名]	2~4
854824	ENG260	General Business English	1	春	*FRANCO Ed	—	[30名]	2~4
854824	ENG260	General Business English	1	秋	*FRANCO Ed	—	[30名]	2~4
854808	ENG250	English for Presentations	1	春	*横本 勝也	—	[30名]	2~4
854808	ENG250	English for Presentations	1	秋	*横本 勝也	—	[30名]	2~4
854808	ENG250	English for Presentations	1	春	*横本 勝也	—	[30名]	2~4
854808	ENG250	English for Presentations	1	秋	*横本 勝也	—	[30名]	2~4
854809	ENG260	English for Presentations	1	春	*佐々木 孝幸	—	[30名]	2~4
854809	ENG260	English for Presentations	1	秋	*佐々木 孝幸	—	[30名]	2~4
854809	ENG260	English for Presentations	1	春	*武岡 由樹子	—	[30名]	2~4
854809	ENG260	English for Presentations	1	秋	*武岡 由樹子	—	[30名]	2~4
854809	ENG260	English for Presentations	1	春	*BUSSINGER Clarence	—	[30名]	2~4
854809	ENG260	English for Presentations	1	秋	*BUSSINGER Clarence	—	[30名]	2~4
854859	ENG250	Writing for Business Communication	1	春	*MARX Laurie	—	[30名]	2~4
854859	ENG250	Writing for Business Communication	1	秋	*FARIA Geraldo	—	[30名]	2~4
854860	ENG260	Writing for Business Communication	1	春	*CONWAY Neil	—	[30名]	2~4
854860	ENG260	Writing for Business Communication	1	秋	*CONWAY Neil	—	[30名]	2~4
854860	ENG260	Writing for Business Communication	1	春	*水澤 祐美子	—	[30名]	2~4
854860	ENG260	Writing for Business Communication	1	秋	*水澤 祐美子	—	[30名]	2~4
854806	ENG250	English for Negotiations	1	春	*高橋 恵	—	[30名]	2~4
854806	ENG250	English for Negotiations	1	秋	*高橋 恵	—	[30名]	2~4
854807	ENG260	English for Negotiations	1	春	*小幡 裕子	—	[30名]	2~4
854807	ENG260	English for Negotiations	1	秋	*小幡 裕子	—	[30名]	2~4
854807	ENG260	English for Negotiations	1	春	*JOHNSON Stephan	—	[30名]	2~4
854807	ENG260	English for Negotiations	1	秋	*JOHNSON Stephan	—	[30名]	2~4
854812	ENG250	English for Socializing	1	春	*浦口 理麻	—	[30名]	2~4
854812	ENG250	English for Socializing	1	秋	*浦口 理麻	—	[30名]	2~4

語学科目
について
指定言語
英
語
に
初
習
言
語
に
つ
い
て
ド
イ
ッ
ツ
語
フ
ラ
ン
ス
語
イ
タ
リ
ア
語
中
国
語
コ
リ
ア
語
イ
タ
リ
ア
語
ポ
ル
ト
ガ
ル
語
ロ
シ
ヤ
語
・
リ
カ
諸
語
他
ア
ジ
ア
ア
フ
日
本
語
履
修
モ
デ
ル
検
定
対
策
目
定
海
外
短
期
語
学
講
座
開
講
科
目
一
覧
表

科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単位	開講期	担当者	ブロック	備考	履修 年次
854812	ENG250	English for Socializing	1	春	*尾 嶋 万 紀	—	[30名]	2～4
854812	ENG250	English for Socializing	1	秋	*尾 嶋 万 紀	—	[30名]	2～4
854869	ENG260	English for Socializing	1	秋	*堀 口 佐和子	—	[30名]	2～4
850258	ENG250	Academic Writing	1	春	*JOHNSON Stephan	—	[20名]	2～4
850258	ENG250	Academic Writing	1	秋	*JOHNSON Stephan	—	[20名]	2～4
850258	ENG250	Academic Writing	1	春	*小 幡 裕 子	—	[20名]	2～4
850258	ENG250	Academic Writing	1	秋	*小 幡 裕 子	—	[20名]	2～4
850259	ENG260	Academic Writing	1	春	*DILLON Thomas	—	[20名]	2～4
850259	ENG260	Academic Writing	1	秋	*DILLON Thomas	—	[20名]	2～4
850259	ENG260	Academic Writing	1	春	*FRANCO Ed	—	[20名]	2～4
850259	ENG260	Academic Writing	1	秋	*FRANCO Ed	—	[20名]	2～4
850259	ENG260	Academic Writing	1	秋	*FARIA Geraldo	—	[20名]	2～4
・Exam Preparation Courses (卒業要件には算入されない)								
854865	ENG250、 260	TOEFL Preparation	1	秋	*堀 口 佐和子	—	[30名]	2～4
854865	ENG250、 260	TOEFL Preparation	1	春	*吉 岡 愛 子	—	[30名]	2～4
854865	ENG250、 260	TOEFL Preparation	1	秋	*吉 岡 愛 子	—	[30名]	2～4
854866	ENG350、 360	TOEFL Preparation	1	春	*松 村 純	—	[30名]	2～4
854866	ENG350 360	TOEFL Preparation	1	秋	*松 村 純	—	[30名]	2～4
854866	ENG350、 360	TOEFL Preparation	1	秋	*堀 口 佐和子	—	[30名]	2～4
854862	ENG150	IELTS Preparation	1	春	*HARRISON David	—	[30名]	2～4
854862	ENG150	IELTS Preparation	1	秋	*HARRISON David	—	[30名]	2～4
854863	ENG250 260	IELTS Preparation	1	春	PATRICK Philip	—	[30名]	2～4
854863	ENG250 260	IELTS Preparation	1	秋	PATRICK Philip	—	[30名]	2～4
854864	ENG350 360	IELTS Preparation	1	春	*PIEROWAY Carolyn	—	[30名]	2～4
854864	ENG350、 360	IELTS Preparation	1	秋	*PIEROWAY Carolyn	—	[30名]	2～4
854861	ENG150	TOEIC Preparation	1	春	*小 幡 裕 子	—	[30名]	2～4
854861	ENG150	TOEIC Preparation	1	秋	*小 幡 裕 子	—	[30名]	2～4
854861	ENG150	TOEIC Preparation	1	春	*大 島 有 子	—	[30名]	2～4
854861	ENG150	TOEIC Preparation	1	秋	*大 島 有 子	—	[30名]	2～4
854867	ENG250、 260、350	TOEIC Preparation	1	春	*FARIA Geraldo	—	[30名]	2～4
854867	ENG250、 260、350	TOEIC Preparation	1	秋	*FARIA Geraldo	—	[30名]	2～4
854867	ENG250、 260、350	TOEIC Preparation	1	春	*佐々木 孝 幸	—	[30名]	2～4
854867	ENG250、 260、350	TOEIC Preparation	1	秋	*佐々木 孝 幸	—	[30名]	2～4

○英語（看護学科生用）

科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	備考
850041	ENG130	看護英語（1年次）	4	通年	OBARA Diane	初級
850051	ENG230	看護英語（1年次）	4	通年	居村 啓子	中級
850042	ENG131	看護英語（2年次）	4	通年	逸見 シャンタル	初級
850052	ENG231	看護英語（2年次）	4	通年	*松村 純	中級

○英語（理工英語コース生用）

科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	備考
850091	ENG140	ACADEMIC SKILLS 1	2	秋	OBARA Diane *BLACK Miriam	1年次
850092	ENG141	ACADEMIC SKILLS 2	2	春	OBARA Diane *BLACK Miriam	1年次
850094	ENG241	ACADEMIC SKILLS 4	2	春	*FARIA Geraldo	2年次

○ドイツ語

科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	備考
[初級総合]						
850141	GMN110	ドイツ語初級総合 (コミュニケーション総合) -1	2	春	岩崎大輔 *青山彌紀	[30名]
850142	GMN110	ドイツ語初級総合 (コミュニケーション総合) -2	2	秋	岩崎大輔 *青山彌紀	※注1
850141	GMN110	ドイツ語初級総合 (コミュニケーション総合) -1	2	春	岩崎大輔 *末定	[30名]
850142	GMN110	ドイツ語初級総合 (コミュニケーション総合) -2	2	秋	岩崎大輔 *末定	※注1
850141	GMN110	ドイツ語初級総合 (コミュニケーション総合) -1	2	春	末定 *高橋文子	[30名]
850142	GMN110	ドイツ語初級総合 (コミュニケーション総合) -2	2	秋	末定 *高橋文子	※注1
850141	GMN110	ドイツ語初級総合 (コミュニケーション総合) -1	2	春	正木晶子 *栗田圭子	[30名]
850142	GMN110	ドイツ語初級総合 (コミュニケーション総合) -2	2	秋	正木晶子 *栗田圭子	※注1
850141	GMN110	ドイツ語初級総合 (コミュニケーション総合) -1	2	春	*高橋文子 *加藤由美子	[30名]
850142	GMN110	ドイツ語初級総合 (コミュニケーション総合) -2	2	秋	*高橋文子 *加藤由美子	※注1
850141	GMN110	ドイツ語初級総合 (コミュニケーション総合) -1	2	春	岩崎大輔 *末定	[30名]
850142	GMN110	ドイツ語初級総合 (コミュニケーション総合) -2	2	秋	岩崎大輔 *末定	※注1
850141	GMN110	ドイツ語初級総合 (コミュニケーション総合) -1	2	春	末定 *加藤由美子	[30名]
850142	GMN110	ドイツ語初級総合 (コミュニケーション総合) -2	2	秋	末定 *加藤由美子	※注1
850141	GMN110	ドイツ語初級総合 (コミュニケーション総合) -1	2	春	正木晶子 *末定	[30名]

語学科目
指定言語
英語
初習言語
ドイツ語
フランス語
イタリヤ語
中国語
ロシア語
イタリヤ語
ロシア語・
ポルトガル語
アジア・
リカ諸語他
日本語
履修モデル
検
定
海外
短期
講座
開
講
科
目
一
覧
表

科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	備考
850142	GMN110	ドイツ語初級総合 (コミュニケーション総合) -2	2	秋	正木 晶子 未 定	※注1
850141	GMN110	ドイツ語初級総合 (コミュニケーション総合) -1	2	春	岩崎 大輔 未 定	[30名]
850142	GMN110	ドイツ語初級総合 (コミュニケーション総合) -2	2	秋	岩崎 大輔 未 定	※注1
850141	GMN110	ドイツ語初級総合 (コミュニケーション総合) -1	2	春	正木 晶子 ZEMSAUER Christian	[30名]
850142	GMN110	ドイツ語初級総合 (コミュニケーション総合) -2	2	秋	正木 晶子 ZEMSAUER Christian	※注1
850141	GMN110	ドイツ語初級総合 (コミュニケーション総合) -1	2	春	未 定 未 定	[30名]
850142	GMN110	ドイツ語初級総合 (コミュニケーション総合) -2	2	秋	未 定 未 定	※注1
850143	GMN111	ドイツ語初級総合 (読解重視) -1	2	春	正木 晶子 *立川 睦美	[30名]
850144	GMN111	ドイツ語初級総合 (読解重視) -2	2	秋	正木 晶子 *立川 睦美	※注1
[初級 A・B]						
850145	GMN112	ドイツ語初級A (文法) -1	1	春	岩崎 大輔	[30名]
850146	GMN112	ドイツ語初級A (文法) -2	1	秋	岩崎 大輔	※注1
850145	GMN112	ドイツ語初級A (文法) -1	1	春	*立川 睦美	[30名]
850146	GMN112	ドイツ語初級A (文法) -2	1	秋	*立川 睦美	※注1
850145	GMN112	ドイツ語初級A (文法) -1	1	春	*本田 博之	[30名]
850146	GMN112	ドイツ語初級A (文法) -2	1	秋	*本田 博之	※注1
850147	GMN113	ドイツ語初級B (コミュニケーション) -1	1	春	*清水 紀子	[30名]
850148	GMN113	ドイツ語初級B (コミュニケーション) -2	1	秋	*清水 紀子	※注1
850147	GMN113	ドイツ語初級B (コミュニケーション) -1	1	春	未 定	[30名]
850148	GMN113	ドイツ語初級B (コミュニケーション) -2	1	秋	未 定	※注1
850147	GMN113	ドイツ語初級B (コミュニケーション) -1	1	春	未 定	[30名]
850148	GMN113	ドイツ語初級B (コミュニケーション) -2	1	秋	未 定	※注1
[演習](オプション科目)						
850191	GMN150	ドイツ語演習 IA (スキル重視型)	1	春	高橋 亮介	[30名]※注2
850192	GMN150	ドイツ語演習 IB (スキル重視型)	1	秋	高橋 亮介	[30名]※注2
850193	GMN151	ドイツ語演習 IA (内容重視型)	1	春	*横山 淳子	[30名]※注2
850194	GMN151	ドイツ語演習 IB (内容重視型)	1	秋	*横山 淳子	[30名]※注2
[中級総合]						
850161	GMN210	ドイツ語中級総合 (コミュニケーション総合) -1	2	春	未 定 *志村 哲也	[30名]
850162	GMN210	ドイツ語中級総合 (コミュニケーション総合) -2	2	秋	未 定 *志村 哲也	※注1
850161	GMN210	ドイツ語中級総合 (コミュニケーション総合) -1	2	春	岩崎 大輔 未 定	[30名]
850162	GMN210	ドイツ語中級総合 (コミュニケーション総合) -2	2	秋	岩崎 大輔 未 定	※注1
850161	GMN210	ドイツ語中級総合 (コミュニケーション総合) -1	2	春	未 定 *志村 哲也	[30名]

※注 2: 初級もしくは中級レベルの学生の履修可

科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	備考
850162	GMN210	ドイツ語中級総合 (コミュニケーション総合) -2	2	秋	未定 * 志村 哲也	※注1
850161	GMN210	ドイツ語中級総合 (コミュニケーション総合) -1	2	春	正木 晶子 未定	[30名]
850162	GMN210	ドイツ語中級総合 (コミュニケーション総合) -2	2	秋	正木 晶子 未定	※注1
850161	GMN210	ドイツ語中級総合 (コミュニケーション総合) -1	2	春	未定 未定	[30名]
850162	GMN210	ドイツ語中級総合 (コミュニケーション総合) -2	2	秋	未定 未定	※注1
850161	GMN210	ドイツ語中級総合 (コミュニケーション総合) -1	2	春	岩崎 大輔 * 栗田 圭子	[30名]
850162	GMN210	ドイツ語中級総合 (コミュニケーション総合) -2	2	秋	岩崎 大輔 * 栗田 圭子	※注1
[中級 A～D]						
850163	GMN211	ドイツ語中級A(文法・読解) -1	1	春	* 清水 紀子	[30名]
850164	GMN211	ドイツ語中級A(文法・読解) -2	1	秋	* 清水 紀子	※注1
850163	GMN211	ドイツ語中級A(文法・読解) -1	1	春	* 横山 淳子	[30名]
850164	GMN211	ドイツ語中級A(文法・読解) -2	1	秋	* 横山 淳子	※注1
850163	GMN211	ドイツ語中級A(文法・読解) -1	1	春	未定	[30名]
850164	GMN211	ドイツ語中級A(文法・読解) -2	1	秋	未定	※注1
850163	GMN211	ドイツ語中級A(文法・読解) -1	1	休講		[30名]
850164	GMN211	ドイツ語中級A(文法・読解) -2	1	休講		※注1
850165	GMN212	ドイツ語中級B (コミュニケーション) -1	1	春	未定	[30名]
850166	GMN212	ドイツ語中級B (コミュニケーション) -2	1	秋	未定	※注1
850165	GMN212	ドイツ語中級B (コミュニケーション) -1	1	春	* 青山 彌紀	[30名]
850166	GMN212	ドイツ語中級B (コミュニケーション) -2	1	秋	* 青山 彌紀	※注1
850165	GMN212	ドイツ語中級B (コミュニケーション) -1	1	休講		[30名]
850166	GMN212	ドイツ語中級B (コミュニケーション) -2	1	休講		※注1
850167	GMN213	ドイツ語中級C (スキル重視型) -1	1	春	正木 晶子	[30名]
850168	GMN213	ドイツ語中級C (スキル重視型) -2	1	秋	正木 晶子	※注1
850169	GMN214	ドイツ語中級D (内容重視型) -1	1	休講		[30名]
850170	GMN214	ドイツ語中級D (内容重視型) -2	1	休講		※注1
[上級 A～D]						
850181	GMN311	ドイツ語上級A (コミュニケーション総合) -1	1	休講		[30名]
850182	GMN311	ドイツ語上級A (コミュニケーション総合) -2	1	休講		[30名]
850183	GMN312	ドイツ語上級B (コミュニケーション総合) -1	1	春	岩崎 大輔	[30名]
850184	GMN312	ドイツ語上級B (コミュニケーション総合) -2	1	秋	岩崎 大輔	[30名]
850185	GMN313	ドイツ語上級C (スキル重視型) -1	1	休講		[30名]
850186	GMN313	ドイツ語上級C (スキル重視型) -2	1	休講		[30名]
850187	GMN314	ドイツ語上級D (スキル重視型) -1	1	春	新倉 真矢子	[30名]
850188	GMN314	ドイツ語上級D (スキル重視型) -2	1	秋	新倉 真矢子	[30名]

※注1：春学期の同一科目「-1」修得済の学生のみ履修可（ただし、秋学期科目のみの再履修者を除く）

語学科目 について
指定言語
英 語
初 習 言 語 に つ い て
ド イ ツ 語
フ ラ ン ス 語
イ タ リ ア 語
中 国 語
コ リ ア 語
イ タ リ ア 語
ポ ル ト ガ ル 語 ・ ロ シ ヤ 語
ア ジ ア 語 ・ リ カ 諸 語 他
日 本 語
履 修 モ デ ル
検 定 課 目
海 外 短 期 語 学 講 座
開 講 科 目 一 覧 表

○フランス語

科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単位	開講期	担当者	備考
[初級総合]						
850404	FRN110	フランス語初級総合 (コミュニケーション総合) -1	2	春	* 山 邑 久仁子 * 猪 口 好 彦	[30名]
850405	FRN110	フランス語初級総合 (コミュニケーション総合) -2	2	秋	* 山 邑 久仁子 * 猪 口 好 彦	※注1
850404	FRN110	フランス語初級総合 (コミュニケーション総合) -1	2	春	* MEHRENBERGER 眞紀 * 大 柳 貴	[30名]
850405	FRN110	フランス語初級総合 (コミュニケーション総合) -2	2	秋	* MEHRENBERGER 眞紀 * 大 柳 貴	※注1
850404	FRN110	フランス語初級総合 (コミュニケーション総合) -1	2	春	西 川 葉 澄 * 横 田 千 晶	[30名]
850405	FRN110	フランス語初級総合 (コミュニケーション総合) -2	2	秋	西 川 葉 澄 * 横 田 千 晶	※注1
850404	FRN110	フランス語初級総合 (コミュニケーション総合) -1	2	春	* 山 邑 久仁子 * 室 井 幾世子	[30名]
850405	FRN110	フランス語初級総合 (コミュニケーション総合) -2	2	秋	* 山 邑 久仁子 * 室 井 幾世子	※注1
850404	FRN110	フランス語初級総合 (コミュニケーション総合) -1	2	春	西 川 葉 澄 北 村 亜矢子	[30名]
850405	FRN110	フランス語初級総合 (コミュニケーション総合) -2	2	秋	西 川 葉 澄 北 村 亜矢子	※注1
850404	FRN110	フランス語初級総合 (コミュニケーション総合) -1	2	春	* 三 浦 直 希 * CARIO Vincent	[30名]
850405	FRN110	フランス語初級総合 (コミュニケーション総合) -2	2	秋	* 三 浦 直 希 * CARIO Vincent	※注1
850404	FRN110	フランス語初級総合 (コミュニケーション総合) -1	2	春	* 角 津 美 愛子 * 榎 本 恵 子	[30名]
850405	FRN110	フランス語初級総合 (コミュニケーション総合) -2	2	秋	* 角 津 美 愛子 * 榎 本 恵 子	※注1
850404	FRN110	フランス語初級総合 (コミュニケーション総合) -1	2	春	* 三 浦 直 希 * 室 井 幾世子	[30名]
850405	FRN110	フランス語初級総合 (コミュニケーション総合) -2	2	秋	* 三 浦 直 希 * 室 井 幾世子	※注1
850404	FRN110	フランス語初級総合 (コミュニケーション総合) -1	2	春	西 川 葉 澄 * 角 津 美 愛	[30名]
850405	FRN110	フランス語初級総合 (コミュニケーション総合) -2	2	秋	西 川 葉 澄 * 角 津 美 愛	※注1
850404	FRN110	フランス語初級総合 (コミュニケーション総合) -1	2	春	西 川 葉 澄 北 村 亜矢子	[30名]
850405	FRN110	フランス語初級総合 (コミュニケーション総合) -2	2	秋	西 川 葉 澄 北 村 亜矢子	※注1
[初級 A・B]						
850417	FRN111	フランス語初級 A (文法) -1	1	春	* 山 上 昌 子	[30名]
850418	FRN111	フランス語初級 A (文法) -2	1	秋	* 山 上 昌 子	※注1
850417	FRN111	フランス語初級 A (文法) -1	1	春	* 二 川 比 利 美	[30名]
850418	FRN111	フランス語初級 A (文法) -2	1	秋	* 二 川 比 利 美	※注1
850417	FRN111	フランス語初級 A (文法) -1	1	春	* 浅 井 幸 夫	[30名]
850418	FRN111	フランス語初級 A (文法) -2	1	秋	* 浅 井 幸 夫	※注1
850417	FRN111	フランス語初級 A (文法) -1	1	春	* 加 藤 行 男	[30名]

科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	備考
850418	FRN111	フランス語初級 A (文法) - 2	1	秋	*加藤 行 男	※注1
850417	FRN111	フランス語初級 A (文法) - 1	1	春	*浅野 信 二	[30名]
850418	FRN111	フランス語初級 A (文法) - 2	1	秋	*浅野 信 二	※注1
850419	FRN112	フランス語初級 B (コミュニケーション) - 1	1	春	*二川 佳 己	[30名]
850420	FRN112	フランス語初級 B (コミュニケーション) - 2	1	秋	*二川 佳 己	※注1
850419	FRN112	フランス語初級 B (コミュニケーション) - 1	1	春	*井上 美 穂	[30名]
850420	FRN112	フランス語初級 B (コミュニケーション) - 2	1	秋	*井上 美 穂	※注1
850419	FRN112	フランス語初級 B (コミュニケーション) - 1	1	春	*井上 美 穂	[30名]
850420	FRN112	フランス語初級 B (コミュニケーション) - 2	1	秋	*井上 美 穂	※注1
850419	FRN112	フランス語初級 B (コミュニケーション) - 1	1	春	*山上 昌 子	[30名]
850420	FRN112	フランス語初級 B (コミュニケーション) - 2	1	秋	*山上 昌 子	※注1
[演習](オプション科目)						
850451	FRN150	フランス語演習 IA (スキルアップ)	1	春	西川 葉 澄	[30名]※注2
850452	FRN150	フランス語演習 IB (スキルアップ)	1	秋	西川 葉 澄	[30名]※注2
850453	FRN151	フランス語演習 IA (フランス語圏の言語と文化)	1	春	*DURRENBERGER Vincent	[30名]※注2
850454	FRN151	フランス語演習 IB (フランス語圏の言語と文化)	1	秋	*DURRENBERGER Vincent	[30名]※注2
[中級総合]						
850431	FRN210	フランス語中級総合 (コミュニケーション総合) - 1	2	春	*湯原 かの子 *黒木 朋 興	[30名]
850432	FRN210	フランス語中級総合 (コミュニケーション総合) - 2	2	秋	*湯原 かの子 *黒木 朋 興	※注1
850431	FRN210	フランス語中級総合 (コミュニケーション総合) - 1	2	春	*松浦 寛 夫 *浅井 幸 夫	[30名]
850432	FRN210	フランス語中級総合 (コミュニケーション総合) - 2	2	秋	*松浦 寛 夫 *浅井 幸 夫	※注1
850431	FRN210	フランス語中級総合 (コミュニケーション総合) - 1	2	春	*白石 嘉 治 *POUPI Damien	[30名]
850432	FRN210	フランス語中級総合 (コミュニケーション総合) - 2	2	秋	*白石 嘉 治 *POUPI Damien	※注1
850431	FRN210	フランス語中級総合 (コミュニケーション総合) - 1	2	春	西川 葉 澄 *岡見 さ え	[30名]
850432	FRN210	フランス語中級総合 (コミュニケーション総合) - 2	2	秋	西川 葉 澄 *岡見 さ え	※注1
850431	FRN210	フランス語中級総合 (コミュニケーション総合) - 1	2	春	*葉狩 隆 夫 西川 葉 澄	[30名]
850432	FRN210	フランス語中級総合 (コミュニケーション総合) - 2	2	秋	*葉狩 隆 夫 西川 葉 澄	※注1
850431	FRN210	フランス語中級総合 (コミュニケーション総合) - 1	2	春	北村 亜矢子 *白 須 貴 志	[30名]
850432	FRN210	フランス語中級総合 (コミュニケーション総合) - 2	2	秋	北村 亜矢子 *白 須 貴 志	※注1
[中級 A~E]						
850433	FRN211	フランス語中級A (文法・読解) - 1	1	春	*鹿島 晃 一	[30名]
850434	FRN211	フランス語中級A (文法・読解) - 2	1	秋	*鹿島 晃 一	※注1
850433	FRN211	フランス語中級A (文法・読解) - 1	1	春	*岩井 俊 一	[30名]

※注 2: 初級もしくは中級のレベルの学生のみ履修可

語学科目
指定言語
英
語
に
つ
い
て
初
習
言
語
ド
イ
ッ
ツ
語
フ
ラ
ン
ス
語
イ
タ
リ
ア
語
中
国
語
コ
リ
ア
語
イ
タ
リ
ア
語
ロ
シ
ヤ
語・
ポ
ー
ル
タ
語
ア
ジ
ア
語
リ
カ
諸
語
他
日
本
語
履
修
モ
デ
ル
検
定
対
策
科
目
海
外
短
期
語
学
講
座
開
講
科
目
一
覧
表

科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	備考
850434	FRN211	フランス語中級A(文法・読解) - 2	1	秋	* 岩井 俊一	※注1
850433	FRN211	フランス語中級A(文法・読解) - 1	1	春	* 二川 佳己	[30名]
850434	FRN211	フランス語中級A(文法・読解) - 2	1	秋	* 二川 佳己	※注1
850435	FRN212	フランス語中級B(コミュニケーション) - 1	1	春	* DURRENBERGER Vincent	[30名]
850436	FRN212	フランス語中級B(コミュニケーション) - 2	1	秋	* DURRENBERGER Vincent	※注1
850435	FRN212	フランス語中級B(コミュニケーション) - 1	1	春	西川 葉澄	[30名]
850436	FRN212	フランス語中級B(コミュニケーション) - 2	1	秋	西川 葉澄	※注1
850437	FRN213	フランス語中級C(スキルアップ-文法と語彙・表現) - 1	1	春	* 黒木 朋興	[30名]
850438	FRN213	フランス語中級C(スキルアップ-文法と語彙・表現) - 2	1	秋	* 黒木 朋興	※注1
850439	FRN213	フランス語中級C(スキルアップ-聞き取り) - 1	1	春	* MEHRENBERGER 眞紀	[30名]
850440	FRN213	フランス語中級C(スキルアップ-聞き取り) - 2	1	秋	* MEHRENBERGER 眞紀	※注1
850441	FRN214	フランス語中級D(映画で学ぶフランス語) - 1	1	春	* 大柳 貴	[30名]
850442	FRN214	フランス語中級D(映画で学ぶフランス語) - 2	1	秋	* 大柳 貴	※注1

[上級A～H]

850470	FRN311	フランス語上級A(コミュニケーション) - 1	1	休講		[30名]
850471	FRN311	フランス語上級A(コミュニケーション) - 2	1	休講		[30名]
850472	FRN312	フランス語上級B(コミュニケーション) - 1	1	休講		[30名]
850473	FRN312	フランス語上級B(コミュニケーション) - 2	1	休講		[30名]
850474	FRN313	フランス語上級C(コミュニケーション) - 1	1	春	* DURRENBERGER Vincent	[30名]
850475	FRN313	フランス語上級C(コミュニケーション) - 2	1	秋	* DURRENBERGER Vincent	[30名]
850476	FRN314	フランス語上級D(コミュニケーション) - 1	1	春	* CARIO Vincent	[30名]
850477	FRN314	フランス語上級D(コミュニケーション) - 2	1	秋	* CARIO Vincent	[30名]
850478	FRN315	フランス語上級E(スキルアップ) - 1	1	休講		[30名]
850479	FRN315	フランス語上級E(スキルアップ) - 2	1	休講		[30名]
850480	FRN316	フランス語上級F(スキルアップ) - 1	1	春	北村 亜矢子	[30名]
850481	FRN316	フランス語上級F(スキルアップ) - 2	1	秋	北村 亜矢子	[30名]
850482	FRN317	フランス語上級G(フランス語圏の言語と文化) - 1	1	休講		[30名]
850483	FRN317	フランス語上級G(フランス語圏の言語と文化) - 2	1	休講		[30名]
850484	FRN318	フランス語上級H(フランス語圏の言語と文化) - 1	1	春	* POUPI Damien	[30名]
850485	FRN318	フランス語上級H(フランス語圏の言語と文化) - 2	1	秋	* POUPI Damien	[30名]

※注1：春学期の同一科目「-1」修得済の学生のみ履修可（ただし、秋学期科目のみの再履修者を除く）

○イスパニア語

科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	備考
[初級総合]						
850531	SPN110	イスパニア語初級総合 - 1	2	春	中島 さやか * 板垣 サラゲバラ	[30名]
850532	SPN110	イスパニア語初級総合 - 2	2	秋	中島 さやか * 板垣 サラゲバラ	※注1
850531	SPN110	イスパニア語初級総合 - 1	2	春	MARTÍNEZ Jesús * 仲道 慎治	[30名]
850532	SPN110	イスパニア語初級総合 - 2	2	秋	MARTÍNEZ Jesús * 仲道 慎治	※注1
850531	SPN110	イスパニア語初級総合 - 1	2	春	MARTÍNEZ Jesús	[30名]

科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	備考
850532	SPN110	イスパニア語初級総合 -2	2	秋	MARTÍNEZ Jesús	※注1
850531	SPN110	イスパニア語初級総合 -1	2	春	* 千代 勇一 * YOLDI María	[30名]
850532	SPN110	イスパニア語初級総合 -2	2	秋	* 千代 勇一 * YOLDI María	※注1
850531	SPN110	イスパニア語初級総合 -1	2	春	* 河崎 佳代 * ISABEL GALA Carlos	[30名]
850532	SPN110	イスパニア語初級総合 -2	2	秋	* 河崎 佳代 * ISABEL GALA Carlos	※注1
850531	SPN110	イスパニア語初級総合 -1	2	春	* 廣康 好美 MOYANO López	[30名]
850532	SPN110	イスパニア語初級総合 -2	2	秋	* 廣康 好美 MOYANO López	※注1
850531	SPN110	イスパニア語初級総合 -1	2	春	中島 さやか * ISABEL GALA Carlos	[30名]
850532	SPN110	イスパニア語初級総合 -2	2	秋	中島 さやか * ISABEL GALA Carlos	※注1
850531	SPN110	イスパニア語初級総合 -1	2	春	MARTÍNEZ Jesús * 西田 依麻	[30名]
850532	SPN110	イスパニア語初級総合 -2	2	秋	MARTÍNEZ Jesús * 西田 依麻	※注1
850531	SPN110	イスパニア語初級総合 -1	2	春	* 河崎 佳代 * 板垣 サラゲバラ	[30名]
850532	SPN110	イスパニア語初級総合 -2	2	秋	* 河崎 佳代 * 板垣 サラゲバラ	※注1
850531	SPN110	イスパニア語初級総合 -1	2	春	廣康 好美 * PRIETO Beatriz	[30名]
850532	SPN110	イスパニア語初級総合 -2	2	秋	廣康 好美 * PRIETO Beatriz	※注1
850531	SPN110	イスパニア語初級総合 -1	2	春	* 菅原 昭江 * LÓPEZ Nuria	[30名]
850532	SPN110	イスパニア語初級総合 -2	2	秋	* 菅原 昭江 * LÓPEZ Nuria	※注1
[初級 A・B]						
850533	SPN111	イスパニア語初級A(コミュニケーション基礎)-1	1	春	* 安富 雄平	[30名]
850534	SPN111	イスパニア語初級A(コミュニケーション基礎)-2	1	秋	* 安富 雄平	※注1
850533	SPN111	イスパニア語初級A(コミュニケーション基礎)-1	1	春	* 瓜谷 アウロラ	[30名]
850534	SPN111	イスパニア語初級A(コミュニケーション基礎)-2	1	秋	* 瓜谷 アウロラ	※注1
850533	SPN111	イスパニア語初級A(コミュニケーション基礎)-1	1	春	* 仲道 慎治	[30名]
850534	SPN111	イスパニア語初級A(コミュニケーション基礎)-2	1	秋	* 仲道 慎治	※注1
850533	SPN111	イスパニア語初級A(コミュニケーション基礎)-1	1	春	中島 さやか	[30名]
850534	SPN111	イスパニア語初級A(コミュニケーション基礎)-2	1	秋	中島 さやか	※注1
850533	SPN111	イスパニア語初級A(コミュニケーション基礎)-1	1	春	* YOLDI María	[30名]
850534	SPN111	イスパニア語初級A(コミュニケーション基礎)-2	1	秋	* YOLDI María	※注1
850533	SPN111	イスパニア語初級A(コミュニケーション基礎)-1	1	春	* 千代 勇一	[30名]
850534	SPN111	イスパニア語初級A(コミュニケーション基礎)-2	1	秋	* 千代 勇一	※注1
850535	SPN112	イスパニア語初級B(コミュニケーション実践)-1	1	春	中島 さやか	[30名]
850536	SPN112	イスパニア語初級B(コミュニケーション実践)-2	1	秋	中島 さやか	※注1
850535	SPN112	イスパニア語初級B(コミュニケーション実践)-1	1	春	MARTÍNEZ Jesús	[30名]
850536	SPN112	イスパニア語初級B(コミュニケーション実践)-2	1	秋	MARTÍNEZ Jesús	※注1

語学科目
指定言語
英
語
初習言語
ドイツ語
フランス語
イタリヤ語
中国語
ロシア語
イタリア語
ロシア語・
ポルトガル語
アジア
リカ諸語他
日本語
履修モデル
検
定
海外短期
講座
開講科目
一覧表

科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	備考
850535	SPN112	イスパニア語初級B(コミュニケーション実践)-1	1	春	* 板垣 サラゲバラ	[30名]
850536	SPN112	イスパニア語初級B(コミュニケーション実践)-2	1	秋	* 板垣 サラゲバラ	※注1
850535	SPN112	イスパニア語初級B(コミュニケーション実践)-1	1	春	* 安 富 雄 平	[30名]
850536	SPN112	イスパニア語初級B(コミュニケーション実践)-2	1	秋	* 安 富 雄 平	※注1
850535	SPN112	イスパニア語初級B(コミュニケーション実践)-1	1	春	* 千 代 勇 一	[30名]
850536	SPN112	イスパニア語初級B(コミュニケーション実践)-2	1	秋	* 千 代 勇 一	※注1
850535	SPN112	イスパニア語初級B(コミュニケーション実践)-1	1	春	* AITO MORENO Isaac	[30名]
850536	SPN112	イスパニア語初級B(コミュニケーション実践)-2	1	秋	* AITO MORENO Isaac	※注1
[演習](オプション科目)						
850581	SPN150	イスパニア語演習 I A(スキルアップ)	1	春	廣 康 好 美	[30名]※注2
850582	SPN150	イスパニア語演習 I B(スキルアップ)	1	秋	廣 康 好 美	[30名]※注2
850583	SPN151	イスパニア語演習 I A(イスパニア語圏の言語と文化)	1	休講		[30名]※注2
850584	SPN151	イスパニア語演習 I B(イスパニア語圏の言語と文化)	1	休講		[30名]※注2
[中級総合]						
850541	SPN210	イスパニア語中級総合 -1	2	春	MARTÍNEZ Jesús	[30名]
850542	SPN210	イスパニア語中級総合 -2	2	秋	MARTÍNEZ Jesús	※注1
[中級A~C]						
850543	SPN211	イスパニア語中級A(コミュニケーション基礎)-1	1	春	* 瓜谷 アウロラ	[30名]
850544	SPN211	イスパニア語中級A(コミュニケーション基礎)-2	1	秋	* 瓜谷 アウロラ	※注1
850543	SPN211	イスパニア語中級A(コミュニケーション基礎)-1	1	春	* 安 富 雄 平	[30名]
850544	SPN211	イスパニア語中級A(コミュニケーション基礎)-2	1	秋	* 安 富 雄 平	※注1
850543	SPN211	イスパニア語中級A(コミュニケーション基礎)-1	1	春	* 河 崎 佳 代	[30名]
850544	SPN211	イスパニア語中級A(コミュニケーション基礎)-2	1	秋	* 河 崎 佳 代	※注1
850543	SPN211	イスパニア語中級A(コミュニケーション基礎)-1	1	春	中 島 さやか	[30名]
850544	SPN211	イスパニア語中級A(コミュニケーション基礎)-2	1	秋	中 島 さやか	※注1
850543	SPN211	イスパニア語中級A(コミュニケーション基礎)-1	1	春	* 新 谷 ロクサナ	[30名]
850544	SPN211	イスパニア語中級A(コミュニケーション基礎)-2	1	秋	* 新 谷 ロクサナ	※注1
850543	SPN211	イスパニア語中級A(コミュニケーション基礎)-1	1	春	* YOLDI María	[30名]
850544	SPN211	イスパニア語中級A(コミュニケーション基礎)-2	1	秋	* YOLDI María	※注1
850543	SPN211	イスパニア語中級A(コミュニケーション基礎)-1	1	春	* 菅 原 昭 江	[30名]
850544	SPN211	イスパニア語中級A(コミュニケーション基礎)-2	1	秋	* 菅 原 昭 江	※注1
850543	SPN211	イスパニア語中級A(コミュニケーション基礎)-1	1	春	* 大 森 洋 子	[30名]
850544	SPN211	イスパニア語中級A(コミュニケーション基礎)-2	1	秋	* 大 森 洋 子	※注1
850543	SPN211	イスパニア語中級A(コミュニケーション基礎)-1	1	春	廣 康 好 美	[30名]
850544	SPN211	イスパニア語中級A(コミュニケーション基礎)-2	1	秋	廣 康 好 美	※注1
850545	SPN212	イスパニア語中級B(コミュニケーション実践)-1	1	春	* 瓜谷 アウロラ	[30名]
850546	SPN212	イスパニア語中級B(コミュニケーション実践)-2	1	秋	* 瓜谷 アウロラ	※注1
850545	SPN212	イスパニア語中級B(コミュニケーション実践)-1	1	春	* FOWLER Arthur	[30名]
850546	SPN212	イスパニア語中級B(コミュニケーション実践)-2	1	秋	* FOWLER Arthur	※注1
850545	SPN212	イスパニア語中級B(コミュニケーション実践)-1	1	春	中 島 さやか	[30名]
850546	SPN212	イスパニア語中級B(コミュニケーション実践)-2	1	秋	中 島 さやか	※注1
850545	SPN212	イスパニア語中級B(コミュニケーション実践)-1	1	春	* YOLDI María	[30名]
850546	SPN212	イスパニア語中級B(コミュニケーション実践)-2	1	秋	* YOLDI María	※注1
850545	SPN212	イスパニア語中級B(コミュニケーション実践)-1	1	春	* PRIETO Beatriz	[30名]
850546	SPN212	イスパニア語中級B(コミュニケーション実践)-2	1	秋	* PRIETO Beatriz	※注1
850545	SPN212	イスパニア語中級B(コミュニケーション実践)-1	1	春	* 新 谷 ロクサナ	[30名]
850546	SPN212	イスパニア語中級B(コミュニケーション実践)-2	1	秋	* 新 谷 ロクサナ	※注1
850547	SPN213	イスパニア語中級C(スキルアップ)-1	1	春	* 千 代 勇 一	[30名]

※注 2: 初級もしくは中級レベルの学生のみ履修可

科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	備考
850548	SPN213	イスパニア語中級C(スキルアップ)-2	1	秋	* 千代 勇一	※注1
850547	SPN213	イスパニア語中級C(スキルアップ)-1	1	春	* 大場 樹精	[30名]
850548	SPN213	イスパニア語中級C(スキルアップ)-2	1	秋	* 大場 樹精	※注1
850547	SPN213	イスパニア語中級C(スキルアップ)-1	1	春	* MOYANO López	[30名]
850548	SPN213	イスパニア語中級C(スキルアップ)-2	1	秋	* MOYANO López	※注1
850547	SPN213	イスパニア語中級C(スキルアップ)-1	1	春	中島 さやか	[30名]
850548	SPN213	イスパニア語中級C(スキルアップ)-2	1	秋	中島 さやか	※注1

[演習](オプション科目)

850585	SPN250	イスパニア語演習IIA(イスパニア語圏の言語と文化)	1	春	* 四宮 瑞枝	[30名]※注3
850586	SPN250	イスパニア語演習IIB(イスパニア語圏の言語と文化)	1	秋	* 四宮 瑞枝	[30名]※注3
850585	SPN250	イスパニア語演習IIA(イスパニア語圏の言語と文化)	1	春	中島 さやか	[30名]※注3
850586	SPN250	イスパニア語演習IIB(イスパニア語圏の言語と文化)	1	秋	中島 さやか	[30名]※注3

[上級 A~D]

850561	SPN311	イスパニア語上級 A (コミュニケーション) -1	1	休講		[30名]
850562	SPN311	イスパニア語上級 A (コミュニケーション) -2	1	休講		[30名]
850563	SPN312	イスパニア語上級B (コミュニケーション) -1	1	春	MARTÍNEZ Jesús	[30名]
850564	SPN312	イスパニア語上級B (コミュニケーション) -2	1	秋	MARTÍNEZ Jesús	[30名]
850565	SPN313	イスパニア語上級C (スキルアップ) -1	1	休講		[30名]
850566	SPN313	イスパニア語上級C (スキルアップ) -2	1	休講		[30名]
850567	SPN314	イスパニア語上級D (スキルアップ) -1	1	春	廣 康 好 美	[30名]
850568	SPN314	イスパニア語上級D (スキルアップ) -2	1	秋	廣 康 好 美	[30名]

※注1：春学期の同一科目「-1」修得済の学生のみ履修可（ただし、秋学期科目のみの再履修者を除く）

※注3：中級もしくは上級レベルの学生のみ履修可

○中国語

科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	備考
[初級]						
850717	CHN110	中国語初級 -1	1	春	* 永 倉 百合子	[30名]
850718	CHN110	中国語初級 -2	1	秋	* 永 倉 百合子	※注1
850717	CHN110	中国語初級 -1	1	春	* 永 倉 百合子	[30名]
850718	CHN110	中国語初級 -2	1	秋	* 永 倉 百合子	※注1
850717	CHN110	中国語初級 -1	1	春	* 永 倉 百合子	[30名]
850718	CHN110	中国語初級 -2	1	秋	* 永 倉 百合子	※注1
850717	CHN110	中国語初級 -1	1	春	* 王 熙 萍	[30名]
850718	CHN110	中国語初級 -2	1	秋	* 王 熙 萍	※注1
850717	CHN110	中国語初級 -1	1	春	* 王 熙 萍	[30名]
850718	CHN110	中国語初級 -2	1	秋	* 王 熙 萍	※注1
850717	CHN110	中国語初級 -1	1	春	* 翁 環	[30名]
850718	CHN110	中国語初級 -2	1	秋	* 翁 環	※注1
850717	CHN110	中国語初級 -1	1	春	* 翁 環	[30名]
850718	CHN110	中国語初級 -2	1	秋	* 翁 環	※注1
850717	CHN110	中国語初級 -1	1	春	* 翁 環	[30名]
850718	CHN110	中国語初級 -2	1	秋	* 翁 環	※注1
850717	CHN110	中国語初級 -1	1	春	* 岩 井 伸子	[30名]
850718	CHN110	中国語初級 -2	1	秋	* 岩 井 伸子	※注1
850717	CHN110	中国語初級 -1	1	春	* 岩 井 伸子	[30名]
850718	CHN110	中国語初級 -2	1	秋	* 岩 井 伸子	※注1
850717	CHN110	中国語初級 -1	1	春	* 栗 原 悟	[30名]

語学科目
指定言語
英
語
初習言語
ドイツ語
フランス語
イタリア語
中国語
ロシア語
イタリア語
ロシア語・ポルトガル語
アジア・リカ諸語
日本語
履修モデル
検
定
海外短期
語学講座
開講科目
一覧表

科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単位	開講期	担当者	備考
850718	CHN110	中国語初級 -2	1	秋	* 栗原 悟	※注1
850717	CHN110	中国語初級 -1	1	春	* 胡 興智	[30名]
850718	CHN110	中国語初級 -2	1	秋	* 胡 興智	※注1
850717	CHN110	中国語初級 -1	1	春	* 中原 裕貴	[30名]
850718	CHN110	中国語初級 -2	1	秋	* 中原 裕貴	※注1
850717	CHN110	中国語初級 -1	1	春	* 中原 裕貴	[30名]
850718	CHN110	中国語初級 -2	1	秋	* 中原 裕貴	※注1
850717	CHN110	中国語初級 -1	1	春	* 島田 垂実	[30名]
850718	CHN110	中国語初級 -2	1	秋	* 島田 垂実	※注1
850717	CHN110	中国語初級 -1	1	春	* 島田 垂実	[30名]
850718	CHN110	中国語初級 -2	1	秋	* 島田 垂実	※注1
850717	CHN110	中国語初級 -1	1	春	* 劉 光赤	[30名]
850718	CHN110	中国語初級 -2	1	秋	* 劉 光赤	※注1
850717	CHN110	中国語初級 -1	1	春	* 姚 南南	[30名]
850718	CHN110	中国語初級 -2	1	秋	* 姚 南南	※注1
850717	CHN110	中国語初級 -1	1	春	* 姚 南南	[30名]
850718	CHN110	中国語初級 -2	1	秋	* 姚 南南	※注1
850717	CHN110	中国語初級 -1	1	春	* 姚 南南	[30名]
850718	CHN110	中国語初級 -2	1	秋	* 姚 南南	※注1
850717	CHN110	中国語初級 -1	1	春	* 馮 小喆	[30名]
850718	CHN110	中国語初級 -2	1	秋	* 馮 小喆	※注1
850717	CHN110	中国語初級 -1	1	春	* 馮 小喆	[30名]
850718	CHN110	中国語初級 -2	1	秋	* 馮 小喆	※注1
850717	CHN110	中国語初級 -1	1	春	* 魏 鍾祺	[30名]
850718	CHN110	中国語初級 -2	1	秋	* 魏 鍾祺	※注1
850717	CHN110	中国語初級 -1	1	春	* 魏 鍾祺	[30名]
850718	CHN110	中国語初級 -2	1	秋	* 魏 鍾祺	※注1
850717	CHN110	中国語初級 -1	1	春	張 彤	[30名]
850718	CHN110	中国語初級 -2	1	秋	張 彤	※注1
850717	CHN110	中国語初級 -1	1	春	張 彤	[30名]
850718	CHN110	中国語初級 -2	1	秋	張 彤	※注1
850717	CHN110	中国語初級 -1	1	春	黄 琬婷	[30名]
850718	CHN110	中国語初級 -2	1	秋	黄 琬婷	※注1
850717	CHN110	中国語初級 -1	1	春	黄 琬婷	[30名]
850718	CHN110	中国語初級 -2	1	秋	黄 琬婷	※注1
[中級]						
850727	CHN210	中国語中級 -1	1	春	* 永倉 百合子	[30名]
850728	CHN210	中国語中級 -2	1	秋	* 永倉 百合子	※注1
850727	CHN210	中国語中級 -1	1	春	* 王 熙萍	[30名]
850728	CHN210	中国語中級 -2	1	秋	* 王 熙萍	※注1
850727	CHN210	中国語中級 -1	1	春	* 王 熙萍	[30名]
850728	CHN210	中国語中級 -2	1	秋	* 王 熙萍	※注1
850727	CHN210	中国語中級 -1	1	春	* 翁 環	[30名]
850728	CHN210	中国語中級 -2	1	秋	* 翁 環	※注1
850727	CHN210	中国語中級 -1	1	春	* 栗原 悟	[30名]
850728	CHN210	中国語中級 -2	1	秋	* 栗原 悟	※注1
850727	CHN210	中国語中級 -1	1	春	* 中原 裕貴	[30名]
850728	CHN210	中国語中級 -2	1	秋	* 中原 裕貴	※注1
850727	CHN210	中国語中級 -1	1	春	* 中原 裕貴	[30名]

科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	備考
850728	CHN210	中国語中級 -2	1	秋	* 中 原 裕 貴	※注1
850727	CHN210	中国語中級 -1	1	春	* 島 田 亜 実	[30名]
850728	CHN210	中国語中級 -2	1	秋	* 島 田 亜 実	※注1
850727	CHN210	中国語中級 -1	1	春	* 劉 光 赤	[30名]
850728	CHN210	中国語中級 -2	1	秋	* 劉 光 赤	※注1
850727	CHN210	中国語中級 -1	1	春	* 劉 光 赤	[30名]
850728	CHN210	中国語中級 -2	1	秋	* 劉 光 赤	※注1
850727	CHN210	中国語中級 -1	1	春	* 馮 小 喆	[30名]
850728	CHN210	中国語中級 -2	1	秋	* 馮 小 喆	※注1
850727	CHN210	中国語中級 -1	1	春	* 魏 鍾 祺	[30名]
850728	CHN210	中国語中級 -2	1	秋	* 魏 鍾 祺	※注1
850727	CHN210	中国語中級 -1	1	春	* 魏 鍾 祺	[30名]
850728	CHN210	中国語中級 -2	1	秋	* 魏 鍾 祺	※注1
850727	CHN210	中国語中級 -1	1	春	張 彤	[30名]
850728	CHN210	中国語中級 -2	1	秋	張 彤	※注1
850727	CHN210	中国語中級 -1	1	春	張 彤	[30名]
850728	CHN210	中国語中級 -2	1	秋	張 彤	※注1
[演習](オプション科目)						
850741	CHN250	中国語演習ⅡA(中国語圏の言葉と文化)	1	春	* 胡 興 智	[30名]※注3
850742	CHN250	中国語演習ⅡB(中国語圏の言葉と文化)	1	秋	* 胡 興 智	[30名]※注3
[上級]						
850731	CHN310	中国語上級 A-1	1	春	* 劉 光 赤	[30名]
850732	CHN310	中国語上級 A-2	1	秋	* 劉 光 赤	[30名]
850733	CHN310	中国語上級 B-1	1	春	* 魏 鍾 祺	[30名]
850734	CHN310	中国語上級 B-2	1	秋	* 魏 鍾 祺	[30名]

※注1：春学期の同一科目「-1」修得済の学生のみ履修可（ただし、秋学期科目のみの再履修者を除く）

※注3：中級もしくは上級レベルの学生のみ履修可

○コリア語

科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	備考
[初級]						
850851	KOR110	コリア語初級 -1	1	春	* 高 權 旭	[30名]
850852	KOR110	コリア語初級 -2	1	秋	* 高 權 旭	※注1
850851	KOR110	コリア語初級 -1	1	春	* 高 權 旭	[30名]
850852	KOR110	コリア語初級 -2	1	秋	* 高 權 旭	※注1
850851	KOR110	コリア語初級 -1	1	春	* 李 善 姫	[30名]
850852	KOR110	コリア語初級 -2	1	秋	* 李 善 姫	※注1
850851	KOR110	コリア語初級 -1	1	春	* 李 善 姫	[30名]
850852	KOR110	コリア語初級 -2	1	秋	* 李 善 姫	※注1
850851	KOR110	コリア語初級 -1	1	春	金 ア ラ ン	[30名]
850852	KOR110	コリア語初級 -2	1	秋	金 ア ラ ン	※注1
850851	KOR110	コリア語初級 -1	1	春	* 孫 英 玉	[30名]
850852	KOR110	コリア語初級 -2	1	秋	* 孫 英 玉	※注1
850851	KOR110	コリア語初級 -1	1	春	* 權 在 淑	[30名]
850852	KOR110	コリア語初級 -2	1	秋	* 權 在 淑	※注1
850851	KOR110	コリア語初級 -1	1	春	* 權 在 淑	[30名]
850852	KOR110	コリア語初級 -2	1	秋	* 權 在 淑	※注1
850851	KOR110	コリア語初級 -1	1	春	* 權 在 淑	[30名]

語学科目
指定言語
英
語
初習言語
ドイッ語
フランス語
イタリテ語
中国語
コリア語
イタリテ語
ロシア語・
ポルトガル語
アジアア
リカ諸語他
日本語
履修モ
デル
検
定
海外短
期
開講科目
一覧表

科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単位	開講期	担当者	備考
850852	KOR110	韓国語初級 -2	1	秋	* 権 在 淑	※注1
850851	KOR110	韓国語初級 -1	1	春	金 ア ラ ン	[30名]
850852	KOR110	韓国語初級 -2	1	秋	金 ア ラ ン	※注1
850851	KOR110	韓国語初級 -1	1	春	* 孫 英 玉	[30名]
850852	KOR110	韓国語初級 -2	1	秋	* 孫 英 玉	※注1
850851	KOR110	韓国語初級 -1	1	春	* 野 間 秀 樹	[30名]
850852	KOR110	韓国語初級 -2	1	秋	* 野 間 秀 樹	※注1
850851	KOR110	韓国語初級 -1	1	春	* 孫 英 玉	[30名]
850852	KOR110	韓国語初級 -2	1	秋	* 孫 英 玉	※注1
850851	KOR110	韓国語初級 -1	1	春	金 ア ラ ン	[30名]
850852	KOR110	韓国語初級 -2	1	秋	金 ア ラ ン	※注1
850851	KOR110	韓国語初級 -1	1	春	* 権 在 淑	[30名]
850852	KOR110	韓国語初級 -2	1	秋	* 権 在 淑	※注1
[中級]						
850861	KOR210	韓国語中級 -1	1	春	* 李 善 姫	[30名]
850862	KOR210	韓国語中級 -2	1	秋	* 李 善 姫	※注1
850861	KOR210	韓国語中級 -1	1	春	* 高 槿 旭	[30名]
850862	KOR210	韓国語中級 -2	1	秋	* 高 槿 旭	※注1
850861	KOR210	韓国語中級 -1	1	春	* 孫 英 玉	[30名]
850862	KOR210	韓国語中級 -2	1	秋	* 孫 英 玉	※注1
850861	KOR210	韓国語中級 -1	1	春	* 孫 英 玉	[30名]
850862	KOR210	韓国語中級 -2	1	秋	* 孫 英 玉	※注1
850861	KOR210	韓国語中級 -1	1	春	金 ア ラ ン	[30名]
850862	KOR210	韓国語中級 -2	1	秋	金 ア ラ ン	※注1
850861	KOR210	韓国語中級 -1	1	春	金 ア ラ ン	[30名]
850862	KOR210	韓国語中級 -2	1	秋	金 ア ラ ン	※注1
850861	KOR210	韓国語中級 -1	1	春	* 権 在 淑	[30名]
850862	KOR210	韓国語中級 -2	1	秋	* 権 在 淑	※注1
[上級]						
850871	KOR310	韓国語上級A-1	1	春	* 高 槿 旭	[30名]
850872	KOR310	韓国語上級A-2	1	秋	* 高 槿 旭	[30名]
850873	KOR310	韓国語上級B-1	1	春	* 野 間 秀 樹	[30名]
850874	KOR310	韓国語上級B-2	1	秋	* 野 間 秀 樹	[30名]
[演習] (オプション科目)						
850881	KOR250	韓国語演習Ⅱ (韓国の言葉と文化)	1	春	金 ア ラ ン	[30名], 秋開講科目と同一科目※注3
850881	KOR250	韓国語演習Ⅱ (韓国の言葉と文化)	1	秋	金 ア ラ ン	[30名], 春開講科目と同一科目※注3

※注1：春学期の同一科目「-1」修得済の学生のみ履修可（ただし、秋学期科目のみの再履修者を除く）

※注3：中級もしくは上級レベルの学生のみ履修可

○イタリア語

科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	備考
810033	ITL111	イタリア語初級Ⅱa (基礎文法・書き言葉のコミュニケーション) -1	1	春	堤 康 徳	[30名]
810034	ITL111	イタリア語初級Ⅱa (基礎文法・書き言葉のコミュニケーション) -2	1	秋	堤 康 徳	※注1
810033	ITL111	イタリア語初級Ⅱa (基礎文法・書き言葉のコミュニケーション) -1	1	春	* 古 田 耕 史	[30名]
810034	ITL111	イタリア語初級Ⅱa (基礎文法・書き言葉のコミュニケーション) -2	1	秋	* 古 田 耕 史	※注1
810033	ITL111	イタリア語初級Ⅱa (基礎文法・書き言葉のコミュニケーション) -1	1	春	* 古 田 耕 史	[30名]
810034	ITL111	イタリア語初級Ⅱa (基礎文法・書き言葉のコミュニケーション) -2	1	秋	* 古 田 耕 史	※注1
810033	ITL111	イタリア語初級Ⅱa (基礎文法・書き言葉のコミュニケーション) -1	1	春	堤 康 徳	[30名]
810034	ITL111	イタリア語初級Ⅱa (基礎文法・書き言葉のコミュニケーション) -2	1	秋	堤 康 徳	※注1
810035	ITL112	イタリア語初級Ⅱb (話し言葉のコミュニケーション) -1	1	春	堤 康 徳	[30名]
810036	ITL112	イタリア語初級Ⅱb (話し言葉のコミュニケーション) -2	1	秋	堤 康 徳	※注1
810035	ITL112	イタリア語初級Ⅱb (話し言葉のコミュニケーション) -1	1	春	* MAGGIA Federica	[30名]
810036	ITL112	イタリア語初級Ⅱb (話し言葉のコミュニケーション) -2	1	秋	* MAGGIA Federica	※注1
810035	ITL112	イタリア語初級Ⅱb (話し言葉のコミュニケーション) -1	1	春	* MAGGIA Federica	[30名]
810036	ITL112	イタリア語初級Ⅱb (話し言葉のコミュニケーション) -2	1	秋	* MAGGIA Federica	※注1
810035	ITL112	イタリア語初級Ⅱb (話し言葉のコミュニケーション) -1	1	春	* MAGGIA Federica	[30名]
810036	ITL112	イタリア語初級Ⅱb (話し言葉のコミュニケーション) -2	1	秋	* MAGGIA Federica	※注1
810043	ITL211	イタリア語中級Ⅱa (基礎文法・書き言葉のコミュニケーション) -1	1	春	堤 康 徳	[30名]
810044	ITL211	イタリア語中級Ⅱa (基礎文法・書き言葉のコミュニケーション) -2	1	秋	堤 康 徳	※注1
810043	ITL211	イタリア語中級Ⅱa (基礎文法・書き言葉のコミュニケーション) -1	1	春	堤 康 徳	[30名]
810044	ITL211	イタリア語中級Ⅱa (基礎文法・書き言葉のコミュニケーション) -2	1	秋	堤 康 徳	※注1
810045	ITL212	イタリア語中級Ⅱb (話し言葉のコミュニケーション) -1	1	春	堤 康 徳	[30名]
810046	ITL212	イタリア語中級Ⅱb (話し言葉のコミュニケーション) -2	1	秋	堤 康 徳	※注1
810045	ITL212	イタリア語中級Ⅱb (話し言葉のコミュニケーション) -1	1	春	* MAGGIA Federica	[30名]
810046	ITL212	イタリア語中級Ⅱb (話し言葉のコミュニケーション) -2	1	秋	* MAGGIA Federica	※注1
850971	ITL310	イタリア語上級A (イタリアの言語と社会・歴史) -1	1	春	堤 康 徳	[30名]

語学科目 について
指定言語
英 語
初習言語 について
ドイツ語
フランス語
イタリ ア語
中国語
コリア 語
イタリ ア語
ロシア語・ ポルトガル語
アジア アフリ カ諸語 他
日本語
履修モ デル
検 定
海外短 期講 座
開講科目 一覧表

科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	備考
850972	ITL310	イタリア語上級A (イタリアの言語と社会・歴史) -2	1	秋	堤 康 徳	[30名]
851973	ITL310	イタリア語上級B (イタリアの言語と文学) -1	1	春	堤 康 徳	[30名]
850974	ITL310	イタリア語上級B (イタリアの言語と文学) -2	1	秋	堤 康 徳	[30名]
[演習](オプション科目)						
850981	ITL250	イタリア語演習ⅡA (イタリア語とイタリア文化)	1	春	堤 康 徳	[30名]※注3
850982	ITL250	イタリア語演習ⅡB (イタリア語とイタリア文化)	1	秋	堤 康 徳	[30名]※注3

※注1：春学期の同一科目「-1」修得済の学生のみ履修可（ただし、秋学期科目のみの再履修者を除く）

※注3：中級もしくは上級レベルの学生のみ履修可

○ロシア語

科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	備考
895916	RUS111	ロシア語初級Ⅰ-1	1	春	* 覚張 シルビア	
895917	RUS111	ロシア語初級Ⅰ-2	1	秋	* 覚張 シルビア	※注1
895914	RUS112	ロシア語初級Ⅱ-1	1	春	* MALTSEVA Svetlana	
895915	RUS112	ロシア語初級Ⅱ-2	1	秋	* MALTSEVA Svetlana	※注1
892027	RUS211	ロシア語中級Ⅰ-1	1	春	* 平 野 恵美子	
892028	RUS211	ロシア語中級Ⅰ-2	1	秋	* 平 野 恵美子	※注1
892025	RUS212	ロシア語中級Ⅱ-1	1	春	秋 山 真 一	
892026	RUS212	ロシア語中級Ⅱ-2	1	秋	秋 山 真 一	※注1

※注1：春学期の同一科目「-1」修得済の学生のみ履修可（ただし、秋学期科目のみの再履修者を除く）

○(ブラジル)ポルトガル語

科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	備考
891033	POR111	(ブラジル)ポルトガル語初級Ⅰ-1	1	春	GIBO Lucila	
891034	POR111	(ブラジル)ポルトガル語初級Ⅰ-2	1	秋	GIBO Lucila	※注1
891037	POR112	(ブラジル)ポルトガル語初級Ⅱ-1	1	春	GIBO Lucila	
891038	POR112	(ブラジル)ポルトガル語初級Ⅱ-2	1	秋	GIBO Lucila	※注1
850613	POR211	(ブラジル)ポルトガル語中級Ⅰ-1	1	春	* 荻 野 恵	
850614	POR211	(ブラジル)ポルトガル語中級Ⅰ-2	1	秋	* 荻 野 恵	※注1
850615	POR212	(ブラジル)ポルトガル語中級Ⅱ-1	1	春	* BRANDAO Renato	
850616	POR212	(ブラジル)ポルトガル語中級Ⅱ-2	1	秋	* BRANDAO Renato	※注1

※注1：春学期の同一科目「-1」修得済の学生のみ履修可（ただし、秋学期科目のみの再履修者を除く）

○アジア・アフリカ諸語

科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	備考
[インドネシア語]						
821001	IND111	インドネシア語初級文法1	1	春	* 間 瀬 朋 子	
821002	IND112	インドネシア語初級文法2	1	秋	* 間 瀬 朋 子	
821011	IND121	インドネシア語初級読本1	1	春	* KUSHAJATIE Ajiek	
821012	IND122	インドネシア語初級読本2	1	秋	* KUSHAJATIE Ajiek	
821021	IND211	インドネシア語中級1	1	春	* 間 瀬 朋 子	
821022	IND212	インドネシア語中級2	1	秋	* 間 瀬 朋 子	

科目コード	ナンバリング	授業科目	単位	開講期	担当者	備考
821031	IND311	インドネシア語上級1	1	春	* KUSHAJATIE Ajiek	
821032	IND312	インドネシア語上級2	1	秋	* KUSHAJATIE Ajiek	
[フィリピン語]						
822001	TGL111	フィリピン語初級文法1	1	春	* 田中和彦	
822002	TGL112	フィリピン語初級文法2	1	秋	* 田中和彦	
822011	TGL121	フィリピン語初級読本1	1	春	* FELIPE Imelda	
822012	TGL122	フィリピン語初級読本2	1	秋	* FELIPE Imelda	
822021	TGL211	フィリピン語中級1	1	春	* 田中和彦	
822022	TGL212	フィリピン語中級2	1	秋	* 田中和彦	
822031	TGL311	フィリピン語上級1	1	春	* FELIPE Imelda	
822032	TGL312	フィリピン語上級2	1	秋	* FELIPE Imelda	
[アラビア語]						
824001	ARA111	アラビア語初級文法1	1	春	* 高橋圭	
824002	ARA112	アラビア語初級文法2	1	秋	* 高橋圭	
824011	ARA121	アラビア語初級読本1	1	春	* 岡戸真幸	
824012	ARA122	アラビア語初級読本2	1	秋	* 岡戸真幸	
824021	ARA211	アラビア語中級1	1	春	私市正年	
824022	ARA212	アラビア語中級2	1	秋	私市正年	
824031	ARA311	アラビア語上級1	1	春	* 高橋圭	
824032	ARA312	アラビア語上級2	1	秋	* 高橋圭	
[タイ語]						
825001	THA111	タイ語初級1	1	春	* 吉川敬子	
825002	THA112	タイ語初級2	1	秋	* 吉川敬子	
825021	THA211	タイ語中級1	1	春	* 吉川敬子	
825022	THA212	タイ語中級2	1	秋	* 吉川敬子	
[ペルシア語]						
826001	PER111	ペルシア語初級1	1	春	* 鈴木珠里	
826002	PER112	ペルシア語初級2	1	秋	* 鈴木珠里	
826021	PER211	ペルシア語中級1	1	春	* 鈴木珠里	
826022	PER212	ペルシア語中級2	1	秋	* 鈴木珠里	
[カンボジア語]						
823001	CAM111	カンボジア語初級1	1	春	* 山田裕史	
823002	CAM112	カンボジア語初級2	1	秋	* 山田裕史	
823011	CAM211	カンボジア語中級1	1	春	* ニム ソティープン	
823012	CAM212	カンボジア語中級2	1	秋	* ニム ソティープン	
[ビルマ語]						
827001	BUR111	ビルマ語初級1	1	春	* 斎藤紋子	
827002	BUR112	ビルマ語初級2	1	秋	* 斎藤紋子	
[トルコ語]						
830001	TUR111	トルコ語初級1	1	春	澤江史子	
830002	TUR112	トルコ語初級2	1	秋	澤江史子	
[ベトナム語]						
831001	VIE111	ベトナム語初級1	1	春	* 菊池誠一	
831002	VIE112	ベトナム語初級2	1	秋	* 菊池誠一	

語学科目
指定言語
英
語
初習言語
ドイツ語
フランス語
イタリヤ語
中国語
ロシア語
イタリア語
ロシア語・
リカ諸語他
アジアア
フリカ諸語他
日本語
履修モデル
検
定
海外短期
開講科目
一覧表

科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単位	開講期	担当者	備考
[スワヒリ語]						
829001	SWA111	スワヒリ語初級1	1	春	*角 谷 征 昭	
829002	SWA112	スワヒリ語初級2	1	秋	*角 谷 征 昭	
829003	SWA211	スワヒリ語中級1	1	春	*角 谷 征 昭	
829004	SWA212	スワヒリ語中級2	1	秋	*角 谷 征 昭	
[ヒンディー語]						
828001	HIN111	ヒンディー語初級1	1	春	*足 立 享 祐	
828002	HIN112	ヒンディー語初級2	1	秋	*足 立 享 祐	

○ラテン語（哲学科開講）

科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単位	開講期	担当者	備考
122208	PHL102	ラテン語 I A	2	春	佐 藤 直 子	
122209	PHL103	ラテン語 I B	2	秋	佐 藤 直 子	
122206	PHL202	ラテン語 II A	2	春	*神 門 しのぶ *芝 元 航 平	
122207	PHL203	ラテン語 II B	2	秋	*神 門 しのぶ *芝 元 航 平	

○検定対策科目（英語以外）

科目 コード	ナンバ リング	授業科目	単位	開講期	担当者	備考
[フランス語]						
850461	FRN250	フランス語検定対策 II A（仏検3級）	1	春	*猪 口 好 彦	[30名]※注3
850462	FRN250	フランス語検定対策 II B（仏検準2級・2級）	1	秋	*猪 口 好 彦	[30名]※注3
[中国語]						
850751	CHN250	中国語検定対策 II A（4級）	1	春	*永 倉 百合子	[30名]※注3
850752	CHN250	中国語検定対策 II B（3級）	1	秋	*永 倉 百合子	[30名]※注3

※注3: 中級もしくは上級レベルの学生の履修可

日本語科目						
JPN111	JAPANESE 1 日本語 I	4	春・秋	Japanese instructor	1～4	
JPN112	JAPANESE 2 日本語 II	4	春・秋	Japanese instructor	1～4	
JPN150	JAPANESE M1 日本語M I	4	春・秋	Japanese instructor	1～4	
JPN180	INTENSIVE JAPANESE 1 集中日本語 I	8	春・秋	Japanese instructor	1～4	
JPN200	JAPANESE M2 日本語M II	4	春・秋	Japanese instructor	1～4	
JPN211	JAPANESE 3 日本語 III	4	春・秋	Japanese instructor	1～4	
JPN212	JAPANESE 4 日本語 IV	4	春・秋	Japanese instructor	1～4	
JPN250	JAPANESE M3 日本語M III	4	春・秋	Japanese instructor	1～4	
JPN270	INTENSIVE JAPANESE 2 集中日本語 II	8	春・秋	Japanese instructor	1～4	
JPN280	INTENSIVE JAPANESE 3 集中日本語 III	8	春・秋	Japanese instructor	1～4	
JPN311	BUSINESS JAPANESE 1 ビジネス日本語 I	2	春・秋	Japanese instructor	1～4	
JPN312	BUSINESS JAPANESE 2 ビジネス日本語 II	2	春・秋	Japanese instructor	1～4	
JPN321	ADVANCED JAPANESE 1 日本語上級 I	4	春・秋	Japanese instructor	1～4	
JPN322	ADVANCED JAPANESE 2 日本語上級 II	4	春・秋	Japanese instructor	1～4	
JPN340	READING & WRITING (BASIC) 日本語特別講座 (基礎)	2	春・秋	Japanese instructor	1～4	
JPN341	READING & WRITING 1 日本語特別講座 I	2	春・秋	Japanese instructor	1～4	
JPN342	READING & WRITING 2 日本語特別講座 II	2	春・秋	Japanese instructor	1～4	
JPN343	READING & WRITING 3 日本語特別講座 III	2	春・秋	Japanese instructor	1～4	
JPN352	JAPANESE LITERACY 1 日本語表現 I	4	春・秋	Japanese instructor	1～4	
JPN353	JAPANESE LITERACY 2 日本語表現 II	4	春・秋	Japanese instructor	2～4	
JPN370	INTENSIVE JAPANESE 4 集中日本語 IV	8	春・秋	Japanese instructor	1～4	
JPN411	ACADEMIC JAPANESE I A アカデミック日本語 I A	1	春	* 鯨 澤 千 鶴	1～4	
JPN411	ACADEMIC JAPANESE I A アカデミック日本語 I A	1	春	* 相 ヶ 瀬 千 草	1～4	
JPN412	ACADEMIC JAPANESE I B アカデミック日本語 I B	1	秋	* 鯨 澤 千 鶴	1～4	
JPN412	ACADEMIC JAPANESE I B アカデミック日本語 I B	1	秋	* 相 ヶ 瀬 千 草	1～4	
JPN421	ACADEMIC JAPANESE II A アカデミック日本語 II A	1	春	* 鯨 澤 千 鶴	1～4	
JPN422	ACADEMIC JAPANESE II B アカデミック日本語 II B	1	秋	* 鯨 澤 千 鶴	1～4	

語学科目
指定言語
英
語
初
習
言
語
に
つ
い
て
ド
イ
ッ
語
フ
ラ
ン
ス
語
イ
タ
リ
ア
語
中
国
語
コ
リ
ア
語
イ
タ
リ
ア
語
ロ
シ
ア
語・
ポ
ル
ト
ガ
ル
語
ア
ジ
ア
ア
フ
リ
カ
諸
語
他
日
本
語
履
修
モ
デ
ル
検
定
課
目
海
外
短
期
開
講
科
目
一
覧
表

JPN423	ACADEMIC JAPANESE II C	1	春	*浅山佳郎	1~4	
	アカデミック日本語ⅡC					
JPN424	ACADEMIC JAPANESE II D	1	秋	*浅山佳郎	1~4	
	アカデミック日本語ⅡD					

翻訳科目*						
JPN405	TRANSLATING ENGLISH TO JAPANESE : THEORY AND PRACTICE 1	4	春	*香取芳和	1~4	
	英文和訳Ⅰ					
JPN406	TRANSLATING ENGLISH TO JAPANESE : THEORY AND PRACTICE 2	4	秋	*香取芳和	1~4	
	英文和訳Ⅱ					
JPN407	TRANSLATING JAPANESE TO ENGLISH : THEORY AND PRACTICE	4	春・秋	*高橋絹子	1~4	
	和文英訳					

*「翻訳科目」は、日本語科目として分類される。